令和７年度

予 算 執 行 実 績 報 告 書

（主要施策の成果及び基金の運用状況について）

豊　田　市

令和７年度における主要施策の成果及び基金の運用状況について

令和７年度豊田市一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するに当たり、地方自治法第２３３条第５項の規定により、主要な施策の成果を提出します。あわせて、同法第２４１条第５項の規定により、基金の運用状況について提出します。

令和８年８月２８日提出

豊田市長　太　田　稔　彦

目　　次

Ⅰ　総　　括

１　令和７年度の財政運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

第１表　財政指数年次別比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２　一般会計・特別会計の決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

第２表　一般会計・特別会計歳入歳出決算額一覧表・・・・・・・・・・・・・　4

Ⅱ　一般会計

１　一般会計の収支状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

２　一般会計予算の編成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

第３表　一般会計予算の編成状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

３　一般会計歳入決算額の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

第４表　一般会計歳入決算額年次別比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・　28

第５表　一般会計年次別財源内訳表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28

第６表　市税決算額前年度比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30

第７表　市税徴収実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

第８表　市債の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

４　一般会計歳出決算額の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36

第９表　一般会計歳出決算額年次別比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・　42

第１０表　一般会計性質別決算額年次別比較表・・・・・・・・・・・・・・・　44

第１１表　一般会計歳出決算額節別集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・　46

第１２表　一般会計普通建設事業費の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・　48

第１３表　一般会計目別歳出決算額の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・　50

第１４表　主要工事実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　335

第１５表　土地取得実績表（補償費を除く。）・・・・・・・・・・・・・・・　347

Ⅲ　特別会計

国民健康保険特別会計・・・

Ⅰ　総　括

1　令和７年度の財政運営

1　令和７年度の国の予算編成

（１）予算編成についての考え方

令和６年度補正予算と一体として、足下の物価高、賃金や調達価格の上昇に対応しつつ、デフレを脱却し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への実現に向けた予算を編成します。

＜主なポイント＞

・物価上昇を上回る賃上げの定着と「賃上げと投資が牽引する成長型経済」の実現
・「こども未来戦略」に基づくこども・子育て支援の本格実施
・GX、DX、AI・半導体分野への重点投資など国内投資の促進
・全世代型社会保障改革の推進と持続可能な社会保障制度の構築
・安全保障環境の変化を踏まえた防衛力の抜本的強化
・教育環境の充実と教員の働き方改革

（２）一般会計予算

ア　予算規模　　115兆5,415億円（対前年度　　2兆9,698億円の増）

イ　一般歳出（国債費及び地方交付税交付金等を除いたもの）
　　68兆2,452億円（対前年度　　4,689億円の増）

2　令和７年度の地方財政計画

（１）歳入歳出規模　　97兆　644億円（対前年度　　3兆4,257億円の増）

（２）主な内訳

（歳入）

・地方税　　45兆4,493億円（対前年度　　2兆7,164億円の増）
・地方交付税　　18兆9,574億円（対前年度　　2,904億円の増）
・国庫支出金　　17兆2,070億円（対前年度　　1兆4,028億円の増）
・地方債　　5兆9,620億円（対前年度　　3,483億円の減）

（歳出）

・給与関係経費　　20兆9,784億円（対前年度　　7,492億円の増）
・投資的経費　　12兆1,133億円（対前年度　　1,237億円の増）
・公債費　　10兆7,259億円（対前年度　　1,701億円の減）

3　令和７年度の本市の財政運営

（１）当初予算編成方針

第９次総合計画の将来像「つながる　つくる　暮らし楽しむまち・とよた」を目指し、社会環境の変化による課題への的確な対応と将来のまちづくりを見据えた挑戦の一歩を踏み出すため、以下の４点を基本として予算編成します。

①　第９次総合計画の推進
②　市民生活の「安全・安心」を確保する取組の推進
③　将来を見据えたまちづくりへの投資
④　歳入の積極的な確保及び歳出の最適化による「施策の推進」と「持続可能な財政運営」の両立

（２）重点的に取り組む施策

第９次総合計画「ミライ実現戦略 2030」の以下の５つの取組目標を実現するための施策に重点的に取り組みます。

①　こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる
②　誰もがつながり合いの中で安心して暮らすことができる
③　産業中枢都市として深化し続ける
④　将来を展望した都市環境の形成を進める
⑤　脱炭素社会の実現に挑戦する

（３）当初予算

令和７年度の一般会計歳入歳出予算額は、2,197 億円（対前年度 243 億円の増）としました。なお、前年度の当初予算は骨格予算として編成しています。

歳入面では、個人市民税は対前年度 28 億 7,300 万円の増、法人市民税は対前年度 49 億 7,100 万円の減、固定資産税は対前年度 9 億 9,860 万円の増と見込み、市税全体では、前年度に対し 9 億 3,868 万円減の 1,245 億 7,752 万円を見込みました。地方特例交付金は、政府経済対策における住民税の定額減税措置の終了により、20 億 711 万円減の 5 億 5,589 万円を見込みました。国庫支出金は、児童手当負担金の増などにより、前年度に対し 57 億 8,735 万円増の 329 億 3,921 万円を見込みました。県支出金は、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費補助金の皆増などにより、前年度に対し 19 億 7,267 万円増の 140 億 551 万円を見込みました。繰入金は、前年度に対し 132 億 59 万円増の 138 億 8,099 万円とし、財政調整基金、都市高速鉄道整備基金などから繰り入れました。市債は、前年度に対し 30 億円増の 40 億円とし、投資的事業等の財源としました。

歳出面では、第９次総合計画の初年度として、「ミライ実現戦略 2030」の５つの取組目標を実現するための施策に重点配分するとともに、市民生活の「安全・安心」を確保する取組を着実に推進するための予算を確保しました。将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進するため、普通建設事業費を始めとする投資的経費の規模は、当初予算で 453 億 1,604 万円、一般会計予算全体に占める割合は 20.6%（前年度 18.9%）としました。

第１表　　財　政　指　数

区分／年度	基準財政需要額	基準財政収入額	単年度財政力指数	３年平均財政力指数	標準財政規模
Ｒ３	68,825,312	87,807,964	1.28	1.42	113,569,332
Ｒ４	67,825,446	81,951,553	1.21	1.31	105,453,981
Ｒ５	68,614,914	105,703,252	1.54	1.34	137,173,488
Ｒ６	70,567,807	105,227,352	1.49	1.41	136,620,567
Ｒ７	72,830,336	132,959,235	1.83	1.62	173,514,362

注：各比率は令和８年７月３１日現在のものです。
標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を含みます。
経常収支比率は、普通会計ベースの数値です。
健全化判断比率各欄の「－」表記は、「比率なし」となったものであり、括弧内に参考

（４）補正予算

国の総合経済対策による物価高騰対応子育て応援手当交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関連し、21 億 6,043 万円の歳入・歳出補正を行いました。また、９月５日大雨による災害対応として、4 億 8,572 万円の歳入・歳出補正を行いました。そのほかに、歳入補正では市債 17 億の増額補正を行いました。歳出補正では、道路・橋りょう事業など国の補正予算（第１号）による国庫支出金を活用した補正予算を編成しました。最終の予算額は、将来の財政運営に資するため財政調整基金の積立てなどを行い、当初予算から 121 億 2,000 万円を増額した 2,318 億 2,000 万円としました。

（５）決算

歳入決算額は 2,381 億 6,270 万円（対前年度 84 億 3,939 万円の減）となりました。このうち、市税は 1,257 億 1,928 万円（対前年度 210 億 4,708 万円の減）となりました。

主な増減の内訳は、繰入金 137 億 6,257 万円（対前年度 89 億 2,801 万円の増）、市債 39 億 1,200 万円（対前年度 19 億 9,590 万円の増）、県支出金 135 億 6,448 万円（対前年度 18 億 7,056 万円の増）、国庫支出金 333 億 117 万円（対前年度 8 億 134 万円の増）、地方特例交付金 4 億 6,108 万円（対前年度 21 億 7,175 万円の減）、法人市民税 292 億 2,902 万円（対前年度 255 億 9,298 万円の減）が挙げられます。

歳出決算額は、2,192 億 9,441 万円（対前年度 102 億 4,905 万円の減）となりました。このうち、普通建設事業費を始めとする投資的経費は 442 億 5,691 万円（対前年度 33 億 3,645 万円の増）となりました。

主な増減の内訳は、物件費 425 億 6,530 万円（対前年度 36 億 1,950 万円の増）普通建設事業費 431 億 8,363 万円（対前年度 28 億 4,418 万円の増）、補助費等 221 億 3,737 万円（対前年度 24 億 8,611 万円の増）、扶助費 460 億 1,947 万円（対前年度 24 億 1,230 万円の増）、繰出金 127 億 5,425 万円（対前年度 10 億 7,960 万円の減）、積立金 44 億 4,170 万円（対前年度 234 億 1,488 万円の減）、が挙げられます。

令和７年度の主な財政指数は第１表のとおりです。財政の健全性を示す指数は、経常収支比率 79.0%、自主財源比率 70.3%です。市債差額（償還－借入）は、28 億 9,047 万円の黒字となりました。健全化判断比率の各比率は、健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持している状況といえます。

年　次　別　比　較　表

（単位：千円、％）

経常収支比率	自主財源比率	市債差額（償還－借入）	健全化判断比率			
			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
83.5	65.0	592,357	－（Δ7.85）	－（Δ25.35）	1.6	－（Δ62.3）
71.1	68.8	3,235,934	－（Δ5.75）	－（Δ20.41）	1.3	－（Δ81.7）
75.1	71.0	3,708,715	－（Δ7.08）	－（Δ18.41）	1.2	－（Δ62.1）
65.0	72.7	4,975,806	－（Δ5.99）	－（Δ17.40）	1.6	－（Δ75.1）
79.0	70.3	2,890,468	－（Δ4.06）	－（Δ13.72）	1.4	－（Δ52.2）

値としてその値を併記しています。

2　一般会計・特別会計の決算状況

第２表　一般会計・特別会計

会計名			歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計			238,162,696	219,294,407	18,868,289
特別会計	国民健康保険		34,601,093	33,866,558	734,535
	都市計画事業土地区画整理	土橋	508,914	300,945	207,969
		花園	957,874	385,658	572,216
	分譲住宅建設事業		20,958	5,465	15,493
	卸売市場		278,133	249,741	28,392
	水道水源保全事業		87,946	82,875	5,071
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業		18,342	11,521	6,821
	介護保険事業		29,059,731	28,623,738	435,993
	財産区	盛岡	4,915	4,474	441
		賀茂	5,836	4,683	1,153
	後期高齢者医療		9,095,717	8,653,069	442,648
	産業用地造成事業		12,730	11,578	1,152
	小計		74,652,189	72,200,305	2,451,884
合計			312,814,885	291,494,712	21,320,173

歳 入 歳 出 決 算 額 一 覧 表

（単位：千円）

翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支	単年度収支	6年度 実質収支
継続費繰越し	明許費繰越し	事故繰越し	（A）	（A）－（B）	（B）
6,089,569	5,733,606		7,045,114	△ 1,147,876	8,192,990
			734,535	24,464	710,071
206,187			1,782	△ 61,320	63,102
445,242			126,974	96,335	30,639
			15,493	1,091	14,402
			28,392	△ 4,910	33,302
			5,071	2,521	2,550
			6,821	△ 5,248	12,069
			435,993	67,346	368,647
			441	187	254
			1,153	909	244
			442,648	5,553	437,095
			1,152	981	171
651,429	0	0	1,800,455	127,909	1,672,546
6,740,998	5,733,606	0	8,845,569	△ 1,019,967	9,865,536

Ⅱ　一般会計

1　一般会計の収支状況

令和７年度の本市の一般会計決算における歳入総額は、2,381 億 6,270 万円（対前年度 84 億 3,939 万円の減）で、歳出総額は、2,192 億 9,441 万円（対前年度 102 億 4,905 万円の減）となりました。

歳入歳出差引額は、188 億 6,829 万円（対前年度 18 億 966 万円の増）となりました。この歳入歳出差引額のうち、翌年度へ繰り越すべき財源は、118 億 2,318 万円（対前年度 29 億 5,753 万円の増）で、その内訳は、継続費逓次繰越額 60 億 8,957 万円、繰越明許費繰越額 57 億 3,361 万円です。

この結果、実質収支は、70 億 4,511 万円（対前年度 11 億 4,788 万円の減）となりました。

（単位：千円、％）

区　　分	７年度決算額	６年度決算額	増　減　額	伸　率
歳　入　総　額（Ａ）	238,162,696	246,602,085	△8,439,389	△3.4
歳　出　総　額（Ｂ）	219,294,407	229,543,452	△10,249,045	△4.5
歳入歳出差引額（Ｃ）＝（Ａ）－（Ｂ）	18,868,289	17,058,633	1,809,656	10.6
翌年度へ繰り越すべき財源（Ｄ）	11,823,175	8,865,643	2,957,532	33.4
実　質　収　支　額（Ｅ）＝（Ｃ）－（Ｄ）	7,045,114	8,192,990	△1,147,876	△14.0
基　金　繰　入　額（Ｆ）	0	0	0	－
翌　年　度　繰　越　額（Ｇ）＝（Ｅ）－（Ｆ）	7,045,114	8,192,990	△1,147,876	△14.0

※　基金繰入額は、地方自治法第 233 条の２の規定による実質収支額からの繰入額をいう。

○継続費逓次繰越額

（単位：千円）

事業名	翌年度逓次繰越額	左の財源内訳			
		繰越金	特定財源		
			国県支出金	地方債	その他
長寿命化改修事業（西庁舎外１施設）	1,301,172	1,301,172			
長寿命化改修事業（南庁舎外１施設）	376,368	376,368			
長寿命化改修事業（老人福祉センター豊寿園）	244,996	244,996			
渡刈クリーンセンター設備改修事業	362,677	362,677			
豊田参合館長寿命化等改修負担事業（共用部）	110,789	110,789			
市道新設事業（市道豊田西部２号線）	199,031	100,381	53,550	45,100	
市道改良事業（市道土橋竜神１号線）	132,346	132,346			
河川改良事業（準用河川長田川）	166,658	126,658	40,000		
内環状線建設事業（高橋細谷線長興寺第１工区）	1,053,589	1,053,589			
豊田市駅西口施設整備事業	1,535,606	1,535,606			
中山小学校増築等事業	37,846	37,846			
野見こども園園舎改修事業	233,856	233,856			
旧鈴木家住宅保存整備事業（その５）	69,834	43,420	26,414		
豊田参合館長寿命化等改修負担事業（中央図書館・共用部）	204,745	204,745			
豊田参合館長寿命化等改修負担事業（コンサートホール・能楽堂・共用部）	225,120	225,120			
合計（１５事業）	6,254,633	6,089,569	119,964	45,100	0

○繰越明許費繰越額

（単位：千円）

事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
超小型次世代自動車取得事業	3,432			3,432
長寿命化改修設計事業（石野交流館・出張所）	1,880			1,880
長寿命化改修事業（猿投北交流館外３施設）	18,726			18,726
石野交流館電話機器取得事業	2,489			2,489
長寿命化改修設計事業（猿投コミュニティセンター外１施設）	5,819			5,819
追分交差点横公衆便所解体設計事業	1,588			1,588
旭高原元気村車両取得事業	2,028			2,028
戸籍システム標準準拠システム移行業務委託事業	3,432			3,432
住民記録システム改修事業	11,154		11,154	
コンビニ交付システム改修事業	1,078		1,078	
長寿命化改修事業（稲武福祉センター）	3,555			3,555
公共下水道接続設計事業（旧けやきワークス）	2,717			2,717
障がい福祉施設車両取得事業	2,888			2,888
私立認定こども園施設整備費補助事業	355,177			355,177
公共下水道接続設計事業（堤ケ丘こども園）	2,717			2,717
長寿命化改修事業（堤ケ丘こども園外１園）	16,858			16,858
梅坪こども園園舎改修事業	47,017			47,017
トイレ再整備事業（伊保こども園外１園）	43,096			43,096
物価高対応子育て応援手当給付事業	23,896	820	23,076	

（単位：千円）

事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
長寿命化改修事業（環境学習施設ｅｃｏ－Ｔ）	33,913			33,913
公共施設太陽光発電設備整備補助事業	13,532		13,532	
長寿命化改修事業（渡刈クリーンセンター管理棟）	18,667			18,667
長寿命化改修事業（福祉就業センターふれあいの家）	2,969			2,969
農業用資機材購入費補助事業	183,000		46,600	136,400
有害鳥獣捕獲機器取得事業	18,000		4,600	13,400
内水面漁業振興費補助事業	14,120		3,600	10,520
地籍調査事業	122,496		43,461	79,035
林業ＤＸ推進事業費補助事業	9,000		2,300	6,700
中小事業所等ＬＥＤ照明器具更新費補助事業	135,000		29,700	105,300
喜多町駐車場消防設備更新事業	102,955			102,955
商店街等プレミアム商品券発行補助事業	355,175		100,000	255,175
建設業者高度安全機械等導入促進補助事業	50,000		12,900	37,100
新エネルギー活用促進補助事業	61,000		11,171	49,829
橋りょう長寿命化修繕事業（大清水歩道橋外５橋）	28,700		10,744	17,956
路面舗装事業（市道殿貝津挙母線外３路線）	956,780		869,800	86,980
市道改良事業（市道四郷２５号線外１路線）	11,000			11,000
市道改良事業（市道松平足助線）	81,000		60,000	21,000
市道改良事業（市道旧宮上知立２号線）	21,000			21,000

（単位：千円）

事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
歩道設置事業（市道六ツ木岩倉線）	89,797		52,400	37,397
歩行者・自転車通行環境整備事業	67,000		3,639	63,361
河川改良事業（長田川）	63,085			63,085
河川改良事業（準用河川大見川）	119,053		82,400	36,653
流域貯留施設整備事業（大別当池）	22,836	6,000	9,000	7,836
排水路改良事業（丸根町外１か所）	55,303			55,303
総合都市交通体系調査事業	7,800		2,000	5,800
駐車場整備計画策定事業	20,000			20,000
鉄道計画調査事業	12,980			12,980
公園整備計画策定事業	16,269			16,269
若林駅周辺土地区画整理調査事業	23,200		6,501	16,699
街路建設事業（都市計画道路西岡吉原線）	32,000		25,000	7,000
公共施設管理者負担事業（花園土地区画整理事業）	63,700		31,850	31,850
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	4,488,900		2,310,890	2,178,010
内環状線建設事業（都市計画道路高橋細谷線）	110,286			110,286
特定道路建設事業（都市計画道路豊田刈谷線）	50,700		13,500	37,200
特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連市道上原１４号線）	92,000		80,000	12,000
柳川瀬浄化センター解体事業	77,778			77,778
長寿命化改修等設計事業（西山公園）	12,111			12,111
矢作緑地勘八公園整備事業	18,968			18,968
土橋曙東公園整備事業	33,000		30,000	3,000

（単位：千円）

事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
歩車共存道路整備事業（市道西町若宮線）	6,951			6,951
豊田市駅東口駅前広場整備事業	94,792		57,000	37,792
豊田市駅西口昇降施設整備事業	54,000			54,000
長寿命化改修設計事業（南消防署）	5,071			5,071
消防団車両取得事業	72,521			72,521
詰所格納庫下水道接続等設計事業（土橋詰所格納庫外１施設）	5,071			5,071
小学校受変電設備改修設計事業（伊保小学校外２校）	5,940			5,940
トイレ再整備・屋根外壁改修事業（小清水小学校外７校）	489,016		153,313	335,703
バリアフリー化整備事業（加納小学校）	138,050			138,050
屋外遊具整備事業（中山小学校外１１校）	167,600			167,600
中学校受変電設備改修設計事業（藤岡中学校）	1,980			1,980
トイレ再整備・屋根外壁改修事業（朝日丘中学校外７校）	412,830		73,923	338,907
特別支援学校受変電設備改修設計事業（豊田特別支援学校）	1,980			1,980
中部給食センター天吊り消毒保管庫修繕事業	4,180			4,180
南部給食センター空調修繕事業	31,900			31,900
公共下水道接続事業（梅坪浄水運動広場外１施設）	15,866			15,866
長寿命化改修等事業（高岡公園体育館外１施設）	101,901			101,901
展覧会会場撤去事業	4,989			4,989
土木施設災害復旧事業（都市計画道路高橋細谷線）	40,000			40,000
土木施設災害復旧事業（市道足助国閑ロクロ木線外１路線）	28,846		19,366	9,480
合計（７９事業）	9,928,104	6,820	4,194,498	5,726,786

2　一般会計予算の編成状況

第３表　一般会計予算

（歳入）

款	当初	6月補正	9月補正	10月補正	12月補正
1 市税	124,577,517				
2 地方譲与税	1,419,540				
3 利子割交付金	54,000				
4 配当割交付金	719,000				
5 株式等譲渡所得割交付金	637,000				
6 法人事業税交付金	1,850,000				
7 地方消費税交付金	11,990,000				
8 ゴルフ場利用税交付金	360,000				
9 自動車取得税交付金	1				
10 環境性能割交付金	433,000				
11 地方特例交付金	555,892				
12 地方交付税	150,000				
13 交通安全対策特別交付金	45,000				
14 分担金及び負担金	79,052				
15 使用料及び手数料	2,858,887				
16 国庫支出金	32,939,209		287,051		791,670
17 県支出金	14,005,508		7,050		385,109
18 財産収入	1,081,365				
19 寄附金	364,464				
20 繰入金	13,880,994		16,140		
21 繰越金	2,000,000	25,000	496,614	485,724	4,004,037
22 諸収入	5,699,571				21,658
23 市債	4,000,000				
歳入合計	219,700,000	25,000	806,855	485,724	5,202,474

の　編　成　状　況　等

（単位：千円、％）

12月専決	1月補正	3月補正	計	継続費及び繰越事業費繰越額	合計（A）	決算額（B）	構成比	差引（B）－（A）
		610,400	125,187,917		125,187,917	125,719,282	52.8	531,365
		13,000	1,432,540		1,432,540	1,442,063	0.6	9,523
		116,000	170,000		170,000	159,275	0.1	△ 10,725
		255,000	974,000		974,000	1,004,525	0.4	30,525
		819,000	1,456,000		1,456,000	1,469,698	0.6	13,698
		286,000	2,136,000		2,136,000	2,020,444	0.8	△ 115,556
		486,000	12,476,000		12,476,000	12,544,452	5.3	68,452
		△ 17,000	343,000		343,000	343,425	0.1	425
			1		1	1	0.0	0
		△ 46,000	387,000		387,000	349,204	0.1	△ 37,796
		△ 95,172	460,720		460,720	461,078	0.2	358
			150,000		150,000	96,495	0.0	△ 53,505
		△ 3,000	42,000		42,000	40,202	0.0	△ 1,798
		△ 7,064	71,988		71,988	70,347	0.0	△ 1,641
		△ 101,935	2,756,952		2,756,952	2,808,420	1.2	51,468
1,320,540	860,635	△ 1,726,198	34,472,907	2,015,636	36,488,543	33,301,170	14.0	△ 3,187,373
	48,548	△ 539,825	13,906,390	21,591	13,927,981	13,564,481	5.7	△ 363,500
		690,482	1,771,847		1,771,847	2,004,733	0.8	232,886
		952	365,416		365,416	334,055	0.1	△ 31,361
		△ 93,934	13,803,200		13,803,200	13,762,565	5.8	△ 40,635
	△ 447,056	1,628,670	8,192,989	8,865,643	17,058,632	17,058,633	7.2	1
		△ 158,096	5,563,133	17,816	5,580,949	5,696,148	2.4	115,199
		1,700,000	5,700,000		5,700,000	3,912,000	1.6	△ 1,788,000
1,320,540	462,127	3,817,280	231,820,000	10,920,686	242,740,686	238,162,696	100.0	△ 4,577,990

（ 歳 出 ）

款	当　初	6月補正	9月補正	10月補正	12月補正	12月専決	1月補正
1 議　会　費	898, 071				4, 411		
2 総　務　費	22, 654, 383		102, 742		387, 589		
3 民　生　費	78, 392, 401		92, 992		2, 895, 456	1, 320, 540	53, 007
4 衛　生　費	21, 064, 273		52, 580		326, 039		
5 労　働　費	328, 176		37, 609		4, 117		
6 農林水産業費	3, 564, 977		23, 388		3, 474		224, 120
7 商　工　費	4, 359, 030		57, 513		1, 078, 047		185, 000
8 土　木　費	34, 208, 681	25, 000	19, 111		146, 656		
9 消　防　費	12, 027, 091		10, 142		252, 995		
10 教　育　費	34, 505, 830		410, 778		103, 690		
11 災害復旧費	242, 660			485, 724			
12 公　債　費	6, 954, 426						
13 諸 支 出 金	1						
14 予　備　費	500, 000						
歳　出　合　計	219, 700, 000	25, 000	806, 855	485, 724	5, 202, 474	1, 320, 540	462, 127

（単位：千円、％）

3月補正	計	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費充用	合計（A）	決算額（B）	構成比	翌年度繰越額（C）	不用額（A）－（B）－（C）
△ 8,649	893,833			893,833	874,529	0.4		19,304
3,660,404	26,805,118	835,388	75,267	27,715,773	25,020,020	11.4	(1,716,934) 1,729,167	966,586
△ 955,807	81,798,589	665,111		82,463,700	79,343,008	36.2	(719,841) 742,917	2,377,775
△ 880,484	20,562,408	292,667		20,855,075	19,607,308	8.9	(415,257) 428,789	818,978
1,146	371,048			371,048	351,936	0.2	(2,969) 2,969	16,143
128,267	3,944,226	62,208		4,006,434	3,535,935	1.6	(246,055) 346,616	123,883
△ 362,843	5,316,747	440,849		5,757,596	4,728,369	2.2	(661,148) 814,919	214,308
1,963,324	36,362,772	5,872,833	26,000	42,261,605	31,616,391	14.4	(6,034,844) 9,818,218	826,996
△ 259,728	12,030,500	494,432		12,524,932	12,082,093	5.5	(82,663) 82,663	360,176
535,578	35,555,876	2,257,198		37,813,074	34,285,951	15.6	(1,893,983) 2,147,633	1,379,490
	728,384		299,655	1,028,039	923,541	0.4	(49,480) 68,846	35,652
△ 3,928	6,950,498			6,950,498	6,925,326	3.2		25,172
	1			1		－		1
	500,000		△ 400,922	99,078		－		99,078
3,817,280	231,820,000	10,920,686	0	242,740,686	219,294,407	100.0	(11,823,174) 16,182,737	7,263,542

※（　　）内の数値は、「翌年度繰越額－未収入特定財源」

3　一般会計歳入決算額の概要

1款　市　　税　（第6表・第7表参照）

法人市民税などの減少により、前年度と比較して、市税総額は減少しています。

1　市　民　税

市民税には、個人市民税と法人市民税があり、それぞれの課税の基準によって均等割と所得割（法人は法人税割）に区分されています。

決算額は、638億531万円（対前年度 215億1,474万円の減）でした。

（1）個　人

個人市民税は、市内に住所がある人は均等割と所得割（納税者の所得金額に応じて負担していただくもの）を、市内に事務所・事業所又は家屋敷がある人で市内に住所のない人は均等割のみを納める仕組みになっています。

決算額は、345億7,629万円（対前年度40億7,824万円の増）でした。主な増加の要因は、政府経済対策に係る定額減税措置の終了によるものです。

（2）法　人

法人市民税は、市内に事務所や事業所などがある法人（会社など）のほか人格のない社団等にかかる税金で、均等割と国税である法人税額に応じて負担していただく法人税割があります。

決算額は、292億2,902万円（対前年度255億9,298万円の減）でした。主な減少の要因は、企業業績の変動によるものです。

2　固定資産税

固定資産税は、土地・家屋・償却資産を所有している人（個人又は法人）が納める税金です。なお、国・地方公共団体が所有する資産については、国有資産等所在市町村交付金が交付されます。

決算額は、452億7,126万円（対前年度3億1,373万円の増）でした。

（1）土　地

土地の決算額は、153億8,850万円（対前年度1億885万円の増）でした。

主な増加の要因は、評価替えに伴う負担調整や開発等に伴う地目変更によるものです。

（2）家　屋

家屋の決算額は、171億5,232万円（対前年度2億7,876万円の増）でした。

主な増加の要因は、新増築家屋と滅失家屋との差額によるものです。

（3）償却資産

償却資産の決算額は、124億9,879万円（対前年度7,543万円の減）でした。

主な減少の要因は、自動車関連企業を中心とした設備投資の減少によるものです。

（４）交付金

決算額は、2億3,165万円（対前年度155万円の増）でした。

3　軽自動車税

軽自動車税は、原動機付自転車、小型特殊自動車、軽自動車及び二輪の小型自動車を所有している人にかかる税金で、軽自動車の取得に対して負担していただく環境性能割と、軽自動車等の所有に対して負担していただく種別割があります。

決算額は、11億9,773万円（対前年度4,149万円の増）でした。主な増加の要因は、新税率が適用される軽乗用自家用車の課税台数が増加したことによるものです。

4　市たばこ税

市たばこ税は、製造たばこ製造者、特定販売業者又は卸売販売業者が、市内の小売販売業者に売り渡した製造たばこに対してかかる税金です。

決算額は、28億6,701万円（対前年度5,311万円の減）でした。主な減少の要因は、売り渡し本数の減少によるものです。

5　鉱　産　税

鉱産税は、市内の鉱区で鉱物の掘採事業を行う鉱業者に対してかかる税金です。

決算額は、40万円（対前年度5万円の減）でした。

6　入　湯　税

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他の消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるための目的税であり、鉱泉浴場における入湯客に対してかかる税金です。

決算額は、135万円（対前年度6万円の増）でした。

7　事 業 所 税

事業所税は、より快適な都市づくりに必要な費用に充てるための目的税であり、市内に所在する事業所等に対してかかる税金で、事業年度末時点の床面積に応じて負担していただく資産割と、事業年度中に従業者へ支払った給与総額に応じて負担していただく従業者割があります。

決算額は、78億9,123万円（対前年度1億1,159万円の増）でした。主な増加の要因は、従業者給与総額の増加によるものです。

8　都市計画税

都市計画税は、土地区画整理事業などの都市計画事業に要する費用に充てるための目的税であり、課税対象となる資産は、市内の市街化区域内にある土地及び家屋です。

決算額は、46億8,499万円（対前年度5,394万円の増）でした。

２款　地方譲与税

地方譲与税は、自動車重量税法などの法律に基づき、徴収財源を各々の定める基準により地方公共団体に譲与されるものです。

決算額は、14 億 4,206 万円（対前年度 2,415 万円の増）でした。

内訳は、自動車重量譲与税 9 億 3,612 万円（対前年度 2,779 万円の増）、地方揮発油譲与税 2 億 8,174 万円（対前年度 1,507 万円の減）、森林環境譲与税 2 億 2,420 万円（対前年度 1,143 万円の増）です。

森林環境譲与税は、以下の事業に充当しました。

（単位：千円）

区　分		事　業	事　業　費	森林環境譲与税充当額
農林水産業費	林　業　費	新規就業者育成推進事業費補助金	19,125	19,125
		間伐材搬出路網開設費補助金	55,851	55,851
		林道修繕費	66,447	21,468
		間伐促進費補助金	58,760	58,760
		森づくり推進組織育成費交付金	36,564	36,564
		モニタリング調査費	3,718	3,718
		森づくり人材育成費	2,500	2,500
		テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金	12,104	12,104
		森林環境教育・啓発費	10,766	6,110
教育費	小学校費	管理備品整備費	23,299	4,000
	中学校費	管理備品整備費	17,329	4,000
合　計			306,463	224,200

３款　利子割交付金

利子割交付金は、利子等について 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、1 億 5,928 万円（対前年度 1 億 1,236 万円の増）でした。

４款　配当割交付金

配当割交付金は、一定の上場株式等の配当等について 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、10 億 453 万円（対前年度 4,389 万円の増）でした。

５款　株式等譲渡所得割交付金

株式等譲渡所得割交付金は、一定の特定口座における上場株式等の譲渡による所得の 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるも

のです。

決算額は、14億6,970万円（対前年度1億9,579万円の増）でした。

6款　法人事業税交付金

法人事業税交付金は、県税である法人事業税のうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、20億2,044万円（対前年度3億6,418万円の減）でした。

7款　地方消費税交付金

地方消費税交付金は、人口割、従業者数割により地方消費税の2分の1相当額が県から市町村に交付されるものです。

決算額は、125億4,445万円（対前年度9億2,827万円の増）でした。社会保障財源分は66億5,054万円で、以下のとおり充当しました。

（単位：千円）

区分		事業費	特定財源		一般財源		主な事業
			国県支出金	その他		引き上げ分の地方消費税交付金	
社会福祉	障がい者福祉事業	4,413,094	1,725,663		2,687,431	772,103	心身障がい者扶助料給付費
	高齢者福祉事業	120,535		26,205	94,330	27,101	老人福祉施設措置費
	児童福祉事業	18,211,804	10,022,132	32,997	8,156,675	2,343,426	子ども医療助成費
	母子福祉事業	990,675	330,225		660,450	189,748	児童扶養手当給付費
	生活保護扶助事業	3,926,546	2,944,911		981,635	282,025	生活保護扶助費
社会保険	介護保険事業	3,268,755			3,268,755	939,119	介護保険事業特別会計繰出金
	国民健康保険事業	1,532,635	1,058,186		474,449	136,310	国民健康保険特別会計繰出金
	その他	4,072,773			4,072,773	1,170,114	療養給付費負担金
保健衛生	疾病予防対策事業	2,672,814	20,714	1	2,652,099	761,952	定期予防接種費
	医療提供体制確保事業	114,450		14,764	99,686	28,641	公的病院救命救急センター機能運営費補助金
合計		39,324,081	16,101,831	73,967	23,148,283	6,650,539	

8款　ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金は、県税であるゴルフ場利用税の7割相当額が市町村に交付されるもので、市内には交付対象ゴルフ場は20か所あります。

決算額は、3億4,343万円（対前年度1,269万円の減）でした。

9款　自動車取得税交付金

自動車取得税交付金は、県税である自動車取得税の95%の額の7割相当額が市町村

に交付されるものです。自動車関連税制の見直しにより、令和元年10月1日以降、自動車取得税は廃止となりました。ただし、滞納分の収入があった場合等に交付されることがあります。

決算額は、500円（対前年度1,821万円の減）でした。

10款　環境性能割交付金

環境性能割交付金は、県税である自動車税環境性能割の 95%の額の 43%相当額が市町村に交付されるものです。

決算額は、3億4,920万円（対前年度579万円の減）でした。

11款　地方特例交付金

地方特例交付金には、住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金、定額減税減収補填特例交付金及び新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金があります。

決算額は、4億6,108万円（対前年度21億7,175万円の減）でした。主な減少の要因は、政府経済対策に係る定額減税措置の終了に伴う、定額減税減収補填特例交付金の減少によるものです。

12款　地方交付税

地方交付税には、普通交付税と特別交付税の2種類があります。

決算額は、9,650万円（対前年度4,158万円の減）でした。

1　普通交付税

各市町村が一定水準のサービスを供給できるように、財源不足額に応じて交付されるものです。本市の場合、通常の算定では交付対象となりませんが、合併による特例措置（合併算定替）として、合併年度とそれに続く15か年度、普通交付税が交付されていました。

特例措置が終了しているため、決算額は0円（対前年度 同額）でした。

2　特別交付税

普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対して交付されるものです。

決算額は、9,650万円（対前年度4,158万円の減）でした。

13款　交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金は、道路交通法に定める反則金が交通事故発生件数、人口集中地区人口及び改良済道路延長に応じて、算定交付されるものです。

決算額は、4,020万円（対前年度143万円の減）でした。

14款　分担金及び負担金

分担金及び負担金は、市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度と

して徴収するものです。

決算額は、7,035 万円（対前年度 3,199 万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区　　分	7 年度決算額	6 年度決算額	増 減 額	伸　率
児童福祉費負担金	32,997	65,694	△ 32,697	△ 49.8
老人福祉費負担金	26,206	24,662	1,544	6.3

15 款　使用料及び手数料

使用料及び手数料は、市の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するものです。

決算額は、28 億 842 万円（対前年度 1 億 8,141 万円の減）でした。

内訳は、使用料 18 億 1,212 万円（対前年度 1 億 4,868 万円の減）、手数料 9 億 9,630 万円（対前年度 3,273 万円の減）です。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区　　分		7 年度決算額	6 年度決算額	増 減 額	伸　率
使　　用　　料		1,812,118	1,960,797	△ 148,679	△ 7.6
主なもの	住 宅 使 用 料	438,201	449,720	△ 11,519	△ 2.6
	児童福祉使用料	305,626	386,681	△ 81,055	△ 21.0
	文化体育使用料	255,777	323,182	△ 67,405	△ 20.9
	都市計画使用料	246,061	267,694	△ 21,633	△ 8.1
手　　数　　料		996,303	1,029,032	△ 32,729	△ 3.2
主なもの	清 掃 手 数 料	742,668	766,141	△ 23,473	△ 3.1
	戸籍住民手数料	92,761	101,662	△ 8,901	△ 8.8
	保健衛生手数料	67,954	66,875	1,079	1.6

16 款　国庫支出金

決算額は、333 億 117 万円（対前年度 8 億 134 万円の増）でした。

内訳は、国庫負担金 181 億 6,854 万円（対前年度 27 億 8,923 万円の増）、国庫補助金 150 億 2,944 万円（対前年度 19 億 9,207 万円の減）、国庫委託金 1 億 319 万円（対前年度 418 万円の増）です。

なお、主な増加の要因は、児童手当負担金の増によるものです。

（単位：千円、％）

区分		７年度決算額	６年度決算額	増減額	伸率
国庫負担金		18,168,539	15,379,307	2,789,232	18.1
主なもの	児童福祉費負担金	7,995,390	5,926,387	2,069,003	34.9
	障がい者福祉費負担金	6,566,867	5,940,974	625,893	10.5
	生活保護費負担金	3,101,914	3,111,290	△ 9,376	△ 0.3
	小学校費負担金	252,443	78,982	173,461	219.6
国庫補助金		15,029,443	17,021,514	△ 1,992,071	△ 11.7
主なもの	児童福祉費補助金	4,753,290	3,472,912	1,280,378	36.9
	都市計画費補助金	2,966,523	4,862,666	△ 1,896,143	△ 39.0
	総務費補助金	2,899,660	4,809,229	△ 1,909,569	△ 39.7
	小学校費補助金	1,108,757	1,282,046	△ 173,289	△ 13.5
	文化体育費補助金	850,405	478,206	372,199	77.8
	道路橋りょう費補助金	422,133	397,283	24,850	6.3
国庫委託金		103,187	99,009	4,178	4.2
主なもの	社会福祉費委託金	76,104	75,981	123	0.2
	戸籍住民基本台帳費委託金	10,284	5,120	5,164	100.9

17款　県支出金

決算額は、135億6,448万円（対前年度18億7,056万円の増）でした。

内訳は、県負担金71億3,301万円（対前年度2億7,166万円の増）、県補助金49億253万円（対前年度12億1,310万円の増）、県委託金15億1,474万円（対前年度3億8,518万円の増）、県交付金1,421万円（対前年度63万円の増）です。

なお、主な増加の要因は、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費補助金の皆増によるものです。

（単位：千円、％）

区分		７年度決算額	６年度決算額	増減額	伸率
県負担金		7,133,012	6,861,349	271,663	4.0
主なもの	障がい者福祉費負担金	3,209,844	2,899,379	310,465	10.7
	児童福祉費負担金	2,152,204	2,091,222	60,982	2.9
	国民健康保険負担金	1,071,496	1,079,104	△ 7,608	△ 0.7
	老人福祉費負担金	650,584	634,877	15,707	2.5
県補助金		4,902,529	3,689,433	1,213,096	32.9
主なもの	社会福祉費補助金	1,313,086	1,346,978	△ 33,892	△ 2.5
	小学校費補助金	778,757	347	778,410	224,325.6
	児童福祉費補助金	651,546	578,304	73,242	12.7
県委託金		1,514,735	1,129,560	385,175	34.1
主なもの	徴税費委託金	743,400	741,307	2,093	0.3
	選挙費委託金	320,048	150,773	169,275	112.3
県交付金		14,205	13,578	627	4.6
市町村事務移譲交付金		13,961	13,332	629	4.7
戸籍住民基本台帳費交付金		244	246	△ 2	△ 0.8

18款　財産収入

財産収入は、市有財産の貸付け、売払い等により得た収入のことです。普通財産の売払収入や、基金の利子等が該当します。

決算額は、20億473万円（対前年度4,712万円の増）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区　　分	7年度決算額	6年度決算額	増減額	伸率
利子及び配当金	687,862	213,118	474,744	222.8
土地売払収入	610,931	1,290,138	△ 679,207	△ 52.6
出資金償還金	473,371	216,377	256,994	118.8

19款　寄附金

寄附金は、民法上の譲与で金銭に限られるものです。

決算額は、3億3,405万円（対前年度1,535万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区　　分	7年度決算額	6年度決算額	増減額	伸率
一般寄附金	246,611	214,580	32,031	14.9
教育費寄附金	51,077	71,398	△ 20,321	△ 28.5
総務費寄附金	17,794	11,101	6,693	60.3
衛生費寄附金	6,168	28,600	△ 22,432	△ 78.4

20款　繰入金

決算額は、137億6,256万円（対前年度89億2,801万円の増）でした。

主な内訳は、財政調整基金繰入金78億7,159万円、都市高速鉄道整備基金繰入金20億円、公共施設安全安心基金繰入金12億円、保健医療福祉基金繰入金10億円、地域づくり振興基金繰入金8億円などです。

21款　繰越金

繰越金は、前年度の決算上の剰余金です。

令和6年度からの繰越金の決算額は、170億5,863万円（対前年度2,835万円の減）でした。

主な内容は、継続費逓次繰越額41億8,321万円、繰越明許費繰越額46億8,243万円、純繰越金（実質収支額）81億9,299万円です。

22款　諸収入

決算額は、56億9,615万円（対前年度5億3,304万円の増）でした。

内訳は、雑入47億2,537万円（対前年度3億5,494万円の増）、受託事業収入4億262万円（対前年度1,410万円の増）、貸付金元利収入3億6,861万円（対前年度6,337万円の増）、延滞金、加算金及び過料4,053万円（対前年度2,478万円の減）、市預金利子1億5,902万円（対前年度1億2,542万円の増）です。

なお、主な増加の要因は、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の増によるものです。

（単位：千円、％）

区分		７年度決算額	６年度決算額	増減額	伸率
雑入		4,725,371	4,370,435	354,936	8.1
主なもの	雑入	3,269,088	3,078,965	190,123	6.2
	医療助成費返納金	416,421	493,854	△ 77,433	△ 15.7
	給食費収入	327,749	328,374	△ 625	△ 0.2
	児童健全育成費負担金	300,986	278,110	22,876	8.2
受託事業収入		402,622	388,525	14,097	3.6
貸付金元利収入		368,606	305,233	63,373	20.8
市預金利子		159,019	33,601	125,418	373.3
延滞金、加算金及び過料		40,531	65,313	△ 24,782	△ 37.9

23款　市　　債

決算額は、39億1,200万円（対前年度19億9,590万円の増）でした。

※資料編　地方債現在高の状況を参照

第４表　　一般会計歳入

款＼年度	令和３年度			令和４年度		
	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
1 市税	96,142,850	46.0	△ 10.1	121,306,134	56.0	26.2
2 地方譲与税	1,331,260	0.6	1.5	1,355,693	0.6	1.8
3 利子割交付金	53,390	0.0	△ 35.3	35,994	0.0	△ 32.6
4 配当割交付金	654,438	0.3	35.4	630,995	0.3	△ 3.6
5 株式等譲渡所得割交付金	746,869	0.4	63.6	433,585	0.2	△ 41.9
6 法人事業税交付金	3,731,167	1.8	27.5	3,090,777	1.4	△ 17.2
7 地方消費税交付金	10,752,166	5.1	8.8	11,229,638	5.2	4.4
8 ゴルフ場利用税交付金	369,523	0.2	14.2	366,804	0.2	△ 0.7
9 自動車取得税交付金	19	0.0	皆増	17	0.0	△ 10.5
10 環境性能割交付金	231,175	0.1	△ 3.6	281,120	0.1	21.6
11 地方特例交付金	1,770,248	0.8	222.8	563,678	0.3	△ 68.2
12 地方交付税	245,696	0.1	△ 75.7	273,862	0.1	11.5
13 交通安全対策特別交付金	57,539	0.0	△ 5.1	50,058	0.0	△ 13.0
14 分担金及び負担金	104,588	0.1	△ 40.8	104,318	0.0	△ 0.3
15 使用料及び手数料	2,552,922	1.2	0.4	2,634,773	1.2	3.2
16 国庫支出金	35,963,368	17.2	△ 48.2	30,068,092	13.9	△ 16.4
17 県支出金	10,846,168	5.2	5.1	14,722,398	6.8	35.7
18 財産収入	1,067,836	0.5	69.9	415,650	0.2	△ 61.1
19 寄附金	177,707	0.1	△ 73.2	513,731	0.2	189.1
20 繰入金	16,195,012	7.7	△ 7.4	3,691,228	1.7	△ 77.2
21 繰越金	13,839,061	6.6	△ 8.4	14,225,520	6.6	2.8
22 諸収入	5,740,036	2.7	19.9	6,312,734	2.9	10.0
23 市債	6,506,000	3.1	△ 18.1	4,422,800	2.0	△ 32.0
歳入合計（Ａ）	209,079,038	100.0	△ 17.5	216,729,599	100.0	3.7
予算現額（Ｂ）	218,355,273	-	-	226,348,460	-	-
差引（Ａ）－（Ｂ）	△ 9,276,235	-	-	△ 9,618,861	-	-

※予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

第５表　　一般会計年次

区分＼年度	令和３年度			令和４年度		
	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
自主財源	135,820,012	65.0	△ 8.4	149,204,088	68.8	9.9
依存財源	73,259,026	35.0	△ 30.2	67,525,511	31.2	△ 7.8
一般財源	141,974,680	67.9	△ 3.6	156,214,941	72.1	10.0
特定財源	67,104,358	32.1	△ 36.7	60,514,658	27.9	△ 9.8

決算額年次別比較表

（単位：千円、％）

令和５年度			令和６年度			令和７年度				款
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年増減額	
116,817,952	53.8	△ 3.7	146,766,366	59.5	25.6	125,719,282	52.8	△ 14.3	△ 21,047,084	1
1,372,294	0.6	1.2	1,417,915	0.6	3.3	1,442,063	0.6	1.7	24,148	2
34,813	0.0	△ 3.3	46,912	0.0	34.8	159,275	0.1	239.5	112,363	3
721,925	0.3	14.4	960,638	0.4	33.1	1,004,525	0.4	4.6	43,887	4
742,009	0.3	71.1	1,273,905	0.5	71.7	1,469,698	0.6	15.4	195,793	5
1,797,528	0.8	△ 41.8	2,384,628	1.0	32.7	2,020,444	0.8	△ 15.3	△ 364,184	6
11,081,241	5.1	△ 1.3	11,616,181	4.7	4.8	12,544,452	5.3	8.0	928,271	7
354,721	0.2	△ 3.3	356,112	0.1	0.4	343,425	0.1	△ 3.6	△ 12,687	8
2,442	0.0	14,264.7	18,208	0.0	645.6	1	0.0	△ 100.0	△ 18,207	9
305,744	0.1	8.8	354,993	0.1	16.1	349,204	0.1	△ 1.6	△ 5,789	10
545,796	0.3	△ 3.2	2,632,826	1.1	382.4	461,078	0.2	△ 82.5	△ 2,171,748	11
262,759	0.1	△ 4.1	138,078	0.1	△ 47.5	96,495	0.0	△ 30.1	△ 41,583	12
44,362	0.0	△ 11.4	41,636	0.0	△ 6.1	40,202	0.0	△ 3.4	△ 1,434	13
124,945	0.1	19.8	102,333	0.0	△ 18.1	70,347	0.0	△ 31.3	△ 31,986	14
2,883,262	1.3	9.4	2,989,829	1.2	3.7	2,808,420	1.2	△ 6.1	△ 181,409	15
29,852,311	13.8	△ 0.7	32,499,831	13.2	8.9	33,301,170	14.0	2.5	801,339	16
12,087,156	5.6	△ 17.9	11,693,920	4.7	△ 3.3	13,564,481	5.7	16.0	1,870,561	17
2,591,206	1.2	523.4	1,957,617	0.8	△ 24.5	2,004,733	0.8	2.4	47,116	18
304,595	0.1	△ 40.7	349,409	0.1	14.7	334,055	0.1	△ 4.4	△ 15,354	19
7,778,129	3.6	110.7	4,834,554	2.0	△ 37.8	13,762,565	5.8	184.7	8,928,011	20
16,761,498	7.7	17.8	17,086,987	6.9	1.9	17,058,633	7.2	△ 0.2	△ 28,354	21
6,729,121	3.1	6.6	5,163,107	2.1	△ 23.3	5,696,148	2.4	10.3	533,041	22
3,834,100	1.8	△ 13.3	1,916,100	0.8	△ 50.0	3,912,000	1.6	104.2	1,995,900	23
217,029,909	100.0	0.1	246,602,085	100.0	13.6	238,162,696	100.0	△ 3.4	△ 8,439,389	－
220,122,644	－	－	247,622,646	－	－	242,740,686	－	－	－	－
△ 3,092,735	－	－	△ 1,020,561	－	－	△ 4,577,990	－	－	－	－

別財源内訳表

（単位：千円、％）

令和５年度			令和６年度			令和７年度			
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年増減額
153,990,708	71.0	3.2	179,250,202	72.7	16.4	167,454,183	70.3	△ 6.6	△ 11,796,019
63,039,201	29.0	△ 6.6	67,351,883	27.3	6.8	70,708,513	29.7	5.0	3,356,630
154,603,803	71.2	△ 1.0	192,362,320	78.0	24.4	169,900,733	71.3	△ 11.7	△ 22,461,587
62,426,106	28.8	3.2	54,239,765	22.0	△ 13.1	68,261,963	28.7	25.9	14,022,198

第６表　市税決算額前年度比較表

（単位：千円、％）

区分＼年度		７年度 決算額	６年度 決算額	増減額	伸率
市民税		63,805,314	85,320,051	△ 21,514,737	△ 25.2
内訳	個人	34,576,294	30,498,054	4,078,240	13.4
	法人	29,229,020	54,821,997	△ 25,592,977	△ 46.7
固定資産税		45,271,264	44,957,537	313,727	0.7
内訳	土地	15,388,501	15,279,648	108,853	0.7
	家屋	17,152,322	16,873,565	278,757	1.7
	償却資産	12,498,793	12,574,224	△ 75,431	△ 0.6
	交付金	231,648	230,100	1,548	0.7
軽自動車税		1,197,730	1,156,238	41,492	3.6
市たばこ税		2,867,009	2,920,115	△ 53,106	△ 1.8
鉱産税		400	449	△ 49	△ 10.9
入湯税		1,345	1,287	58	4.5
事業所税		7,891,234	7,779,644	111,590	1.4
都市計画税		4,684,986	4,631,045	53,941	1.2
合計		125,719,282	146,766,366	△ 21,047,084	△ 14.3

第 7 表　　市 税

区分 / 税目別	調定済額		
	現年課税分	滞納繰越分	合 計（A）
一 普通税	113,076,801	764,916	113,841,717
1 法定普通税	113,076,801	764,916	113,841,717
(1) 市民税	63,692,110	578,320	64,270,430
(ｱ) 個人均等割	706,605	11,314	717,919
(ｲ) 所得割	33,743,317	540,311	34,283,628
上記のうち退職所得分	176,264		176,264
(ｳ) 法人均等割	1,035,348	21,643	1,056,991
(ｴ) 法人税割	28,206,840	5,052	28,211,892
(2) 固定資産税	45,315,809	168,480	45,484,289
(ｱ) 純固定資産税	45,084,161	168,480	45,252,641
(ⅰ) 土地	15,403,720	57,564	15,461,284
(ⅱ) 家屋	17,169,286	64,162	17,233,448
(ⅲ) 償却資産	12,511,155	46,754	12,557,909
(ｲ) 交付金	231,648		231,648
(3) 軽自動車税	1,201,473	18,116	1,219,589
(ｱ) 環境性能割	99,961		99,961
(ｲ) 種別割	1,101,512	18,116	1,119,628
(4) 市たばこ税	2,867,009		2,867,009
(5) 鉱産税	400		400
2 法定外普通税	－	－	－
二 目的税	12,581,197	28,878	12,610,075
1 入湯税	1,345		1,345
2 事業所税	7,891,259	8,436	7,899,695
3 都市計画税	4,688,593	20,442	4,709,035
(1) 土地	2,578,918	11,244	2,590,162
(2) 家屋	2,109,675	9,198	2,118,873
合計（一～二）	125,657,998	793,794	126,451,792

徴　収　実　績　表

（単位：千円、％）

収　　入　　済　　額			徴　収　率	
現年課税分	滞納繰越分	合　計（B）	B／A	前年度
112,907,925	233,792	113,141,717	99.4	99.4
112,907,925	233,792	113,141,717	99.4	99.4
63,635,059	170,255	63,805,314	99.3	99.3
705,762	3,435	709,197	98.8	98.1
33,703,081	164,016	33,867,097	98.8	98.1
176,264		176,264	100.0	100.0
1,034,782	99	1,034,881	97.9	100.0
28,191,434	2,705	28,194,139	99.9	100.0
45,212,101	59,163	45,271,264	99.5	99.6
44,980,453	59,163	45,039,616	99.5	99.6
15,368,287	20,214	15,388,501	99.5	99.6
17,129,791	22,531	17,152,322	99.5	99.6
12,482,375	16,418	12,498,793	99.5	99.6
231,648		231,648	100.0	100.0
1,193,356	4,374	1,197,730	98.2	98.4
99,961		99,961	100.0	100.0
1,093,395	4,374	1,097,769	98.0	98.2
2,867,009		2,867,009	100.0	100.0
400		400	100.0	100.0
－	－	－	－	－
12,570,387	7,178	12,577,565	99.7	99.8
1,345		1,345	100.0	100.0
7,891,234		7,891,234	99.9	99.9
4,677,808	7,178	4,684,986	99.5	99.6
2,572,986	3,948	2,576,934	99.5	99.5
2,104,822	3,230	2,108,052	99.5	99.6
125,478,312	240,970	125,719,282	99.4	99.4

第８表　市 債 の 状 況

（単位：千円、％、年）

事業名	事業費	借入額	借入先	借入年月日	利率	償還（据置）
地域振興事業債	98,788	61,900	財務省財政融資資金	8.5.26	1.700	5 (1)
清掃事業債	2,234,331	848,200	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
		120,000	（公財）愛知県市町村振興協会	8.5.29	1.800	10 (2)
河川事業債	110,348	89,600	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
都市計画事業債	2,578,800	1,128,900	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
	140,000	62,500	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
	688,500	309,800	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
道路橋りょう事業債	28,000	14,000	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
	55,745	19,900	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
交通安全施設事業債	36,800	16,500	財務省財政融資資金	8.5.26	2.100	10 (2)
小学校事業債	686,167	357,300	財務省財政融資資金	8.3.25	1.900	10 (2)
中学校事業債	630,000	248,400	財務省財政融資資金	8.3.25	1.900	10 (2)
消防事業債	2,273,645	635,000	豊田信用金庫	8.5.27	2.400	10 (2)
合計	9,561,124	3,912,000				

4　一般会計歳出決算額の概要

1　目的別一般会計歳出決算額（款項目別の詳細は第13表を参照）

1款　議　会　費

議会費の決算額は、8億7,453万円（対前年度132万円の減）でした。

主な内訳は、議員人件費5億9,218万円です。

減少の主な項目は、議員人件費591万円の減です。

2款　総　務　費

総務費の決算額は、250億2,002万円（対前年度132億5,105万円の減）でした。

主な内訳は、一般職人件費57億5,518万円、財政調整基金積立金44億円、非常勤一般職人件費11億7,852万円です。

増加の主な項目は、庁舎等整備費7億5,997万円の増です。

減少の主な項目は、地域づくり振興基金積立金100億円の皆減、財政調整基金積立金37億円の減です。

3款　民　生　費

民生費の決算額は、793億4,301万円（対前年度40億4,498万円の増）でした。

主な内訳は、児童手当給付費94億1,396万円、教育・保育給付費63億8,703万円、障がい者介護給付費61億4,177万円です。

増加の主な項目は、児童手当給付費22億7,927万円の増、物価高対応子育て応援手当給付費12億9,712万円の皆増です。

減少の主な項目は、物価高騰対応重点支援給付金給付費33億950万円、国民健康保険特別会計繰出金10億8,749万円の減です。

4款　衛　生　費

衛生費の決算額は、196億731万円（対前年度22億6,362万円の減）でした。

主な内訳は、渡刈クリーンセンター費47億1,080万円、予防接種費16億9,966万円、豊田地域医療センター施設等整備費15億963万円です。

増加の主な項目は、豊田地域医療センター施設等整備費14億7,232万円、渡刈クリーンセンター費13億7,586万円の増です。

減少の主な項目は、脱炭素社会推進基金積立金49億9,236万円、感染症対策費3億9,291万円の減です。

5款　労　働　費

労働費の決算額は、3億5,194万円（対前年度1億8,555万円の増）でした。

主な内訳は、就労支援費1億6,881万円です。

増加の主な項目は、就労支援費 9,604 万円の増です。

6款　農林水産業費

農林水産業費の決算額は、35 億 3,594 万円（対前年度 4 億 8,504 万円の増）でした。

主な内訳は、用水保全費 3 億 5,295 万円、土地改良事業費補助金 2 億 378 万円、多面的機能支払費 1 億 8,966 万円です。

増加の主な項目は、排水機場整備費 1 億 7,113 万円の増です。

減少の主な項目は、林道開設費 4,241 万円の皆減です。

7款　商　工　費

商工費の決算額は、47 億 2,837 万円（対前年度 6 億 6,915 万円の増）でした。

主な内訳は、産業立地政策推進費 10 億 8,568 万円、プレミアム商品券発行事業負担金 5 億円、カーボンニュートラル促進費 4 億 1,553 万円、資金融資費 3 億 1,400 万円です。

増加の主な項目は、プレミアム商品券発行事業負担金 5 億円の皆増です。

減少の主な項目は、観光客等誘引宿泊促進費 1 億 5,768 万円の皆減、商業活性化対策費 1 億 3,867 万円の減です。

8款　土　木　費

土木費の決算額は、316 億 1,639 万円（対前年度 78 億 4,691 万円の減）でした。

主な内訳は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 37 億 104 万円、都心環境計画推進費 27 億 7,782 万円、下水道事業負担金 24 億 1,429 万円、道路修繕費 23 億 3,433 万円、公園維持管理費 12 億 4,596 万円、道路等管理費 11 億 7,491 万円、バス運行推進費 10 億 3,100 万円です。

増加の主な項目は、都心環境計画推進費 7 億 2,734 万円の増です。

減少の主な項目は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 47 億 5,078 万円の減、都心環境計画推進基金積立金 36 億円の皆減、樹木資源保全基金積立金 9 億 9,928 万円、豊田刈谷線 9 億 7,245 万円の減です。

9款　消　防　費

消防費の決算額は、120 億 8,209 万円（対前年度 41 億 7,742 万円の増）でした。

主な内訳は、通信施設整備費 37 億 8,657 万円、常備消防活動費 7 億 8,861 万円、消防車両整備費 5 億 3,769 万円、防災設備費 4 億 2,996 万円です。

増加の主な項目は、通信施設整備費 37 億 8,628 万円の増です。

減少の主な項目は、防災設備費 4 億 1,472 万円の減です。

10款　教　育　費

教育費の決算額は、342 億 8,595 万円（対前年度 32 億 1,874 万円の増）でした。

主な内訳は、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費 31 億 3,872 万円、体育館等暑さ対策

費25億7,619万円、中央公園費19億120万円、学校給食協会委託費16億4,550万円、文化振興財団運営費補助金15億5,705万円、小学校施設管理運営費12億3,668万円、世界ラリー選手権開催推進費11億4,796万円、給食材料費10億3,300万円です。

増加の主な項目は、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費31億3,872万円の皆増、中央公園費6億4,612万円、世界ラリー選手権開催推進費3億1,012万円、作品収集費2億9,894万円の増です。

減少の主な項目は、体育館等暑さ対策費13億2,885万円、総合体育館費4億3,791万円の減、髙橋節郎館改修費3億8,843万円の皆減です。

11款　災害復旧費

災害復旧費の決算額は、9億2,354万円（対前年度4億1,494万円の増）でした。

主な内訳は、農業施設災害復旧事業費4億9,087万円、土木施設災害復旧事業費3億8,790万円です。

増加の主な項目は、農業施設災害復旧事業費3億3,321万円の増です。

12款　公　債　費

公債費の決算額は、69億2,533万円（対前年度8,195万円の減）でした。

内訳は、元金は68億247万円（対前年度8,944万円の減）、利子は1億2,286万円（対前年度749万円の増）です。

13款　諸 支 出 金

諸支出金の決算額は、0円（対前年度 同額）でした。

2　性質別一般会計歳出決算額（詳細は第 10 表を参照）

（1）人　件　費

人件費の決算額は、357 億 3,877 万円（対前年度 23 億 1,412 万円の増）でした。

主な内訳は、一般職人件費 258 億 9,298 万円、非常勤一般職人件費 74 億 7,566 万円、職員退職手当 8 億 242 万円です。

増加の主な項目は、一般職人件費 15 億 9,621 万円の増です。

（2）物　件　費

物件費の決算額は、426 億 1,590 万円（対前年度 36 億 7,010 万円の増）でした。

主な内訳は、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費 31 億 3,872 万円、予防接種費 16 億 7,036 万円、学校給食協会委託費 16 億 4,550 万円、放課後児童健全育成費 15 億 2,513 万円、渡刈クリーンセンター費 13 億 7,627 万円、公園維持管理費 12 億 3,382 万円、道路等管理費 10 億 8,388 万円、重層的支援体制整備事業費 10 億 6,663 万円、給食材料費 10 億 3,300 万円です。

増加の主な項目は、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費 31 億 3,872 万円の皆増、放課後児童健全育成費 2 億 1,308 万円の増です。

減少の主な項目は、感染症対策費 3 億 8,920 万円、副読本・教師用教科書等購入費 2 億 5,183 万円の減です。

（3）維持補修費

維持補修費の決算額は、32 億 1,186 万円（対前年度 1 億 7,618 万円の増）でした。

主な内訳は、道路修繕費 9 億 8,184 万円、河川修繕費 4 億 6,272 万円、市有建築物維持管理費 1 億 7,530 万円です。

増加の主な項目は、道路修繕費 1 億 6,033 万円、美術館施設保全費 1 億 620 万円の増です。

（4）扶　助　費

扶助費の決算額は、460 億 1,947 万円（対前年度 24 億 1,230 万円の増）でした。

主な内訳は、児童手当給付費 94 億 1,396 万円、教育・保育給付費 63 億 8,703 万円、障がい者介護給付費 61 億 4,177 万円、障がい者訓練等給付費 43 億 670 万円、生活保護扶助費 39 億 2,655 万円、子ども医療助成費 23 億 9,893 万円、児童発達支援費 22 億 5,801 万円です。

増加の主な項目は、児童手当給付費 22 億 7,927 万円の増、物価高対応子育て応援手当給付費 12 億 8,778 万円の皆増、障がい者介護給付費 7 億 4,103 万円の増です。

減少の主な項目は、物価高騰対応重点支援給付金給付費 33 億 2,210 万円の減です。

（5）補 助 費 等

補助費等の決算額は、221 億 3,917 万円（対前年度 24 億 8,791 万円の増）でした。

主な内訳は、下水道事業負担金 24 億 1,429 万円、私立認定こども園振興費 18 億 6,310 万円、文化振興財団運営費補助金 15 億 5,705 万円、福祉事業団運営費補助金 14 億 6,707 万円、産業立地政策推進費 10 億 7,615 万円、バス運行推進費 9 億 4,878 万円、水道事業補助金 9 億円、世界ラリー選手権開催推進費 8 億 8,313 万円です。

増加の主な項目は、プレミアム商品券発行事業負担金 5 億円の皆増、私立認定こども園振興費 4 億 1,920 万円、世界ラリー選手権開催推進費 3 億 3,596 万円の増です。

減少の主な項目は、商業活性化対策費 1 億 3,580 万円、高齢者活動推進費 7,867 万円の減です。

（６）公　債　費

公債費の決算額は、69 億 2,533 万円（対前年度 8,195 万円の減）でした。

内訳は、元金は 68 億 247 万円（対前年度 8,944 万円の減）、利子は 1 億 2,286 万円（対前年度 749 万円の増）です。

（７）積　立　金

積立金の決算額は、44 億 4,170 万円（対前年度 234 億 1,488 万円の減）でした。

主な内訳は、財政調整基金積立金 44 億円です。

減少の主な項目は、地域づくり振興基金積立金 100 億円の皆減、脱炭素社会推進基金積立金 49 億 9,249 万円、財政調整基金積立金 37 億円の減、都心環境計画推進基金積立金 36 億円の皆減です。

（８）投資及び出資金

投資及び出資金の決算額は、9 億 2,881 万円（対前年度 8,191 万円の減）でした。

内訳は、下水道事業出資金 4 億 7,000 万円（対前年度 4,000 万円の増）、世界ラリー選手権開催推進費 2 億 5,000 万円、水道事業出資金 2 億 881 万円（対前年度 7,809 万円の増）です。

（９）貸　付　金

貸付金の決算額は、3 億 1,400 万円（対前年度 6,400 万円の増）でした。

内訳は、小規模企業等振興資金預託金 2 億 3,300 万円（対前年度 4,800 万円の増）、商工業者事業資金預託金 8,100 万円（対前年度 1,600 万円の増）です。

(10) 繰　出　金

繰出金の決算額は、127 億 5,425 万円（対前年度 1 億 796 万円の減）でした。

主な内訳は、介護保険事業特別会計繰出金 42 億 5,926 万円、療養給付費負担金 40 億 7,277 万円、国民健康保険特別会計繰出金 28 億 9,595 万円です。

増加の主な項目は、療養給付費負担金 2 億 8,494 万円の増です。

減少の主な項目は、国民健康保険特別会計繰出金 10 億 8,749 万円の減です。

(11) 普通建設事業費

普通建設事業費の決算額は、431 億 3,189 万円（対前年度 27 億 9,244 万円の増）でした。

主な内訳は、消防通信施設整備費 37 億 6,930 万円、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 37 億 104 万円、渡刈クリーンセンター費 33 億 1,294 万円、都心環境計画推進費 27 億 7,743 万円、豊田地域医療センター施設等整備費 14 億 5,183 万円、道路修繕費 13 億 120 万円、中央公園費 10 億 6,972 万円です。

増加の主な項目は、消防通信施設整備費 37 億 6,930 万円の皆増、豊田地域医療センター施設等整備費 14 億 3,236 万円、渡刈クリーンセンター費 13 億 588 万円、庁舎等整備費 8 億 8,965 万円、都心環境計画推進費 7 億 3,283 万円、中央公園費 7 億 1,321 万円の増です。

減少の主な項目は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 47 億 5,078 万円、体育館等暑さ対策費 13 億 2,885 万円、豊田刈谷線 9 億 7,245 万円の減です。

(12) 災害復旧事業費

災害復旧事業費の決算額は、10 億 7,327 万円（対前年度 4 億 9,226 万円の増）でした。

主な内訳は、農業施設災害復旧事業費 4 億 9,087 万円、土木施設災害復旧事業費 3 億 8,790 万円です。

増加の主な項目は、農業施設災害復旧事業費 3 億 3,321 万円、土木施設災害復旧事業費 6,503 万円の増です。

第９表　　一般会計歳出

年度 / 款		令和３年度			令和４年度		
			構成比	伸率		構成比	伸率
1	議会費	837,784	0.4	0.9	837,956	0.4	0.0
2	総務費	24,107,082	12.4	△ 64.8	30,979,006	15.5	28.5
3	民生費	71,569,108	36.7	19.9	66,916,662	33.5	△ 6.5
4	衛生費	20,700,683	10.6	△ 9.9	22,270,807	11.1	7.6
5	労働費	327,253	0.2	△ 22.4	158,123	0.1	△ 51.7
6	農林水産業費	2,644,964	1.4	△ 7.6	2,912,069	1.5	10.1
7	商工費	4,738,439	2.4	△ 13.4	4,543,639	2.3	△ 4.1
8	土木費	25,505,861	13.1	△ 26.6	24,601,871	12.3	△ 3.5
9	消防費	7,017,764	3.6	△ 3.2	6,951,398	3.5	△ 0.9
10	教育費	29,668,047	15.2	6.3	31,716,009	15.9	6.9
11	災害復旧費	489,052	0.3	△ 50.4	318,371	0.2	△ 34.9
12	公債費	7,247,481	3.7	△ 8.2	7,777,800	3.9	7.3
13	諸支出金		－	－		－	－
14	予備費		－	－		－	－
歳出合計（Ａ）		194,853,518	100.0	△ 18.6	199,983,711	100.0	2.6
予算現額（Ｂ）		218,355,273	－	－	226,348,460	－	－
差引（B-A）（Ｃ）		23,501,755	－	－	26,364,749	－	－
(C)の内訳	翌年度繰越額	14,588,460	6.7	－	15,416,644	6.8	－
	不用額	8,913,295	4.1	－	10,948,105	4.8	－

※１　予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。
　２　「（Ｃ）の内訳」欄の構成比は、予算現額に対する比率である。

決算額年次別比較表

（単位：千円、％）

令和５年度			令和６年度			令和７年度				款
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年増減額	
866,757	0.4	3.4	875,850	0.4	1.0	874,529	0.4	△ 0.2	△ 1,321	1
23,021,179	11.5	△ 25.7	38,271,074	16.7	66.2	25,020,020	11.4	△ 34.6	△ 13,251,054	2
69,379,045	34.7	3.7	75,298,033	32.8	8.5	79,343,008	36.2	5.4	4,044,975	3
17,174,817	8.6	△ 22.9	21,870,928	9.5	27.3	19,607,308	8.9	△ 10.3	△ 2,263,620	4
163,965	0.1	3.7	166,387	0.1	1.5	351,936	0.2	111.5	185,549	5
3,179,310	1.6	9.2	3,050,900	1.3	△ 4.0	3,535,935	1.6	15.9	485,035	6
5,731,350	2.9	26.1	4,059,217	1.8	△ 29.2	4,728,369	2.2	16.5	669,152	7
32,507,380	16.3	32.1	39,463,305	17.2	21.4	31,616,391	14.4	△ 19.9	△ 7,846,914	8
7,135,911	3.6	2.7	7,904,674	3.4	10.8	12,082,093	5.5	52.8	4,177,419	9
32,109,259	16.1	1.2	31,067,207	13.5	△ 3.2	34,285,951	15.6	10.4	3,218,744	10
1,020,609	0.5	220.6	508,606	0.2	△ 50.2	923,541	0.4	81.6	414,935	11
7,653,340	3.8	△ 1.6	7,007,271	3.1	△ 8.4	6,925,326	3.2	△ 1.2	△ 81,945	12
	－	－		－	－		－	－	0	13
	－	－		－	－		－	－	0	14
199,942,922	100.0	0.0	229,543,452	100.0	14.8	219,294,407	100.0	△ 4.5	△ 10,249,045	－
220,122,644	－	－	247,622,646	－	－	242,740,686	－	－	－	－
20,179,722	－	－	18,079,194	－	－	23,446,279	－	－	－	－
11,362,646	5.2	－	10,920,686	4.4	－	16,182,737	6.7	－	－	－
8,817,076	4.0	－	7,158,508	2.9	－	7,263,542	3.0	－	－	－

第１０表　　一般会計性質別

区分	令和３年度			令和４年度		
		構成比	伸率		構成比	伸率
人件費	30,926,324	15.9	2.9	31,077,430	15.5	0.5
物件費	35,916,607	18.4	4.1	37,816,897	18.9	5.3
維持補修費	2,689,708	1.4	41.1	2,278,843	1.1	△ 15.3
扶助費	41,845,717	21.5	26.6	37,313,322	18.7	△ 10.8
補助費等	20,516,724	10.5	△ 67.0	22,838,466	11.4	11.3
公債費	7,247,481	3.7	△ 8.2	7,777,800	3.9	7.3
積立金	5,308,069	2.7	△ 35.8	16,306,589	8.2	207.2
投資及び出資金	410,000	0.2	△ 9.0	280,000	0.1	△ 31.7
貸付金	512,000	0.3	△ 3.6	512,000	0.3	0.0
繰出金	12,618,378	6.5	△ 5.7	11,987,529	6.0	△ 5.0
普通建設事業費	36,321,545	18.6	△ 21.2	31,442,230	15.7	△ 13.4
うち人件費	1,016,722	0.5	△ 15.7	915,715	0.5	△ 9.9
災害復旧事業費	540,965	0.3	△ 50.0	352,605	0.2	△ 34.8
うち人件費	51,913	0.0	△ 46.2	34,234	0.0	△ 34.1
失業対策事業費		－	－		－	－
歳出合計	194,853,518	100.0	△ 18.6	199,983,711	100.0	2.6

決算額年次別比較表

（単位：千円、％）

令和５年度			令和６年度			令和７年度			
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年増減額
30,248,770	15.1	△ 2.7	33,424,646	14.6	10.5	35,738,768	16.3	6.9	2,314,122
35,952,451	18.0	△ 4.9	38,945,807	17.0	8.3	42,615,902	19.4	9.4	3,670,095
2,459,354	1.2	7.9	3,035,678	1.3	23.4	3,211,858	1.5	5.8	176,180
39,037,104	19.5	4.6	43,607,171	19.0	11.7	46,019,466	21.0	5.5	2,412,295
21,425,455	10.7	△ 6.2	19,651,261	8.6	△ 8.3	22,139,171	10.1	12.7	2,487,910
7,653,340	3.8	△ 1.6	7,007,271	3.1	△ 8.4	6,925,326	3.2	△ 1.2	△ 81,945
6,734,899	3.4	△ 58.7	27,856,584	12.1	313.6	4,441,700	2.0	△ 84.1	△ 23,414,884
994,672	0.5	255.2	1,010,725	0.4	1.6	928,811	0.4	△ 8.1	△ 81,914
190,000	0.1	△ 62.9	250,000	0.1	31.6	314,000	0.1	25.6	64,000
13,572,848	6.8	13.2	13,833,849	6.0	1.9	12,754,246	5.8	△ 7.8	△ 1,079,603
40,497,733	20.3	28.8	40,339,451	17.6	△ 0.4	43,131,887	19.7	6.9	2,792,436
971,885	0.5	6.1	1,067,120	0.5	9.8	1,093,911	0.5	2.5	26,791
1,176,296	0.6	233.6	581,009	0.3	△ 50.6	1,073,272	0.5	84.7	492,263
155,687	0.1	354.8	72,403	0.0	△ 53.5	149,731	0.1	106.8	77,328
	－	－		－	－		－	－	0
199,942,922	100.0	0.0	229,543,452	100.0	14.8	219,294,407	100.0	△ 4.5	△ 10,249,045

第１１表　一般会計歳出

節＼款	1 議会費	2 総務費	3 民生費	4 衛生費	5 労働費	6 農林水産業費	7 商工費	8 土木費
1 報酬	367,432	965,324	2,214,631	181,412	9,777	58,793	13,002	138,755
2 給料	76,192	2,608,532	3,233,750	1,341,296	36,250	262,058	202,352	1,217,369
3 職員手当等	223,200	3,694,694	3,325,789	1,163,746	33,425	232,659	192,181	1,098,904
4 共済費	122,516	1,235,694	1,556,366	529,326	15,123	103,822	74,419	482,038
5 災害補償費		2,929						
6 恩給及び退職年金								
7 報償費	1,169	103,830	128,091	48,713	2,507	3,114	2,159	28,740
8 旅費	9,613	68,704	59,605	11,230	376	3,378	2,713	11,417
9 交際費	1,674	2,428				20		
10 需用費	4,557	1,134,993	912,307	917,574	27,927	509,638	92,240	2,573,710
11 役務費	9,981	960,478	205,359	263,121	1,186	102,514	20,014	949,326
12 委託料	27,122	5,289,342	5,352,535	7,820,912	81,050	359,688	332,881	4,994,666
13 使用料及び賃借料	6,319	799,854	265,103	46,928	23,046	11,659	34,334	212,840
14 工事請負費		825,951	473,733	2,450,746	2,234	207,058	129,314	7,358,001
15 原材料費		747	324	3,734		3,622	71	33,007
16 公有財産購入費		75,813	155,280					2,563,528
17 備品購入費	506	340,645	176,067	1,581,397	117	1,636	2,262	176,106
18 負担金補助及び交付金	24,248	2,191,793	11,344,408	2,931,401	118,918	1,587,921	3,300,689	8,606,465
19 扶助費			41,031,597	5,529				
20 貸付金							314,000	
21 補償、補塡及び賠償金		242	1,556			600		290,871
22 償還金利子及び割引料		297,342	730,134	87,851				12,132
23 投資及び出資金				208,811				470,000
24 積立金		4,419,106	1,554	8,948		449	3,199	3,665
25 寄附金								
26 公課費		1,579	7	4,633				151
27 繰出金			8,174,812			87,306	12,539	394,700
28 予備費								
合計	874,529	25,020,020	79,343,008	19,607,308	351,936	3,535,935	4,728,369	31,616,391

決 算 額 節 別 集 計 表

（単位：千円、％）

9　消防費	10　教育費	11　災害復旧費	12　公債費	13　諸支出金	14　予備費	計	構成比	前年度構成比
133,721	2,087,465					6,170,312	2.8	2.3
2,285,913	920,900					12,184,612	5.6	5.0
2,178,938	1,129,371					13,272,907	6.1	5.6
942,871	538,443					5,600,618	2.6	2.2
3,562	466					6,957	0.0	0.0
						0	－	－
43,321	252,280					613,924	0.3	0.2
19,178	71,857					258,071	0.1	0.1
36	44					4,202	0.0	0.0
439,618	4,155,976	674,512				11,443,052	5.2	4.6
117,665	425,775	30,344				3,085,763	1.4	1.2
4,308,292	8,434,121	16,808				37,017,417	16.9	14.2
432,821	1,035,266					2,868,170	1.3	1.3
213,813	3,387,667	11,154				15,059,671	6.9	5.7
292	1,424	172				43,393	0.0	0.0
33,117	2,819,003					5,646,741	2.6	3.4
722,013	3,744,506					6,745,255	3.1	0.8
201,369	4,496,699	190,551				34,994,462	16.0	16.4
	507,382					41,544,508	18.9	16.2
						314,000	0.1	0.1
	1,325					294,594	0.1	0.1
	21,198		6,925,326			8,073,983	3.7	3.6
	250,000					928,811	0.4	0.4
	4,779					4,441,700	2.0	12.1
						0	－	－
5,553	4					11,927	0.0	0.0
						8,669,357	4.0	4.4
						0	－	－
12,082,093	34,285,951	923,541	6,925,326	0	0	219,294,407	100.0	100.0

第１２表　一 般 会 計 普 通

区　　分	補助事業費	単独事業費	計	構成比
1　議　　会　　費			0	-
2　総　　務　　費	17,378	1,955,678	1,973,056	4.6
うち庁舎等		997,273	997,273	2.3
3　民　　生　　費	248,478	886,503	1,134,981	2.6
うち保育所	13,543	437,903	451,446	1.0
4　衛　　生　　費	155,933	5,362,935	5,518,868	12.8
うちごみ処理		3,526,420	3,526,420	8.2
うちし尿処理			0	-
5　労　　働　　費		2,597	2,597	0.0
6　農林水産業費		1,612,049	1,612,049	3.7
うち林道		309,776	309,776	0.7
うち農業農村整備		777,387	777,387	1.8
7　商　　工　　費	236,231	420,253	656,484	1.5
うち観光		19,747	19,747	0.0

※県営事業負担金等は単独事業に含む。

建 設 事 業 費 の 状 況

（単位：千円、％）

区　　分	補助事業費	単独事業費	計	構成比
8　土　　木　　費	7,243,802	11,473,173	18,716,975	43.4
うち 道路橋りょう	721,993	3,890,023	4,612,016	10.7
うち　河　川	64,966	1,496,991	1,561,957	3.6
うち　街　路	4,040,714	3,258,361	7,299,075	16.9
うち　区画整理	120,000	132,086	252,086	0.6
うち　公　園	167,300	797,598	964,898	2.2
うち　住　宅	285,100	154,710	439,810	1.0
9　消　　防　　費	290,692	4,992,459	5,283,151	12.2
10　教　　育　　費	3,625,168	4,608,558	8,233,726	19.1
うち　小学校	1,901,935	1,523,963	3,425,898	7.9
うち　中学校	1,000,723	841,033	1,841,756	4.3
うち　幼稚園	14,400	254,983	269,383	0.6
うち　社会教育	78,952	855,528	934,480	2.2
11　そ　　の　　他			0	－
合　　計	11,817,682	31,314,205	43,131,887	100.0

第１３表　一般会計目別歳出決算額の概要

１款　　議会費

１款　　議会費

		（前年度）
当初予算額	898,071,000円	（　891,082,000円）
予算現額	893,833,000円	（　893,726,000円）
決算額	874,528,740円	（　875,850,015円）
翌年度繰越額	0円	（　0円）
不用額	19,304,260円	（　17,875,985円）

１－１－１目　　議会費

		（前年度）
当初予算額	898,071,000円	（　891,082,000円）
予算現額	893,833,000円	（　893,726,000円）
決算額	874,528,740円	（　875,850,015円）
翌年度繰越額	0円	（　0円）
不用額	19,304,260円	（　17,875,985円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

※【課名】は、令和８年度の所管課を示しています。

１　人件費（議員４５人、一般職１８人、非常勤一般職７人）

【（議）総務課・人事課】　７８９，３４０，０７１円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　４３５，３２０円

３　議会活動費【（議）総務課・議事調査課】　７５，５６５，１６１円

（１）　議案審議等

ア　本会議　定例会４回（会期日数９６日、開議日数２５日）

臨時会３回（会期日数　３日、開議日数　３日）

イ　委員会

議会運営委員会	２４回
企画総務委員会	７回
地域生活委員会	８回
教育社会委員会	８回
環境福祉委員会	７回
産業建設委員会	８回
予算決算委員会	３６回
歴史・文化芸術を生かしたまちづくり推進特別委員会	１４回
議会活性化推進特別委員会	１０回
議会だより編集委員会	１７回

ウ　審議案件等

議案　　１７３件　承認　　３件　認定　１３件
報告　　１０件　同意　１０件　意見書　１件
議員提出議案　２件　請願　　１件　陳情　１７件

（２）　各種加盟協議会等出席

全国市議会議長会、東海市議会議長会、中核市議会議長会、
愛知県市議会議長会、三河部市議会議長会、
愛知県中核市議会議長協議会、西三河市議会議長協議会　ほか

（３）　調査研究

＜政務活動費＞　　２２，６４４，９４４円

－内訳－

豊田市議会自民クラブ議員団２８名　１４，４５０，７９５円
豊田市議会市民フォーラム　　９名　　５，４００，０００円
公明党豊田市議団　　４名　　１，０１１，０６１円
新しい風とよた　　３名　　１，４８１，４４７円
諸派（日本共産党豊田市議団）１名　　３０１，６４１円

＜委員会視察＞

議会運営委員会（柏市、草加市）
企画総務委員会（藤沢市、中央区、宇都宮市）
地域生活委員会（つくば市、秩父市、鹿沼市）
教育社会委員会（西宮市、呉市、京都市）
環境福祉委員会（千葉市、調布市、三島市）
産業建設委員会（仙台市、神崎町、川崎市）
歴史・文化芸術を生かしたまちづくり推進特別委員会
（埼玉県、長野市、十日町市）
議会活性化推進特別委員会
（所沢市、つくば市、守谷市）

＜議員研修会＞

第１回「最近の犯罪情勢と対策」
第２回「議会運営のあり方と改革のポイント」

（４）　議会だより発行　　１１，８７９，５３１円

定例会号４回、臨時会号１回を発行し、市内全戸へ配布しました。（令和７年度からデザインを全面改訂）

４　事務局費【（議）総務課・議事調査課】　　７，９２３，２７８円

（１）　情報提供の推進

各種会議録の調製、執行部情報の提供

（２）　行政視察の対応

他市議会等から１１０件８０４人の視察受入れ
うち　議会報告会１件、オンライン委員会１件

（千葉県東金市、滋賀県彦根市）

（３）　議会に関するＰＲ活動の充実

ケーブルテレビ・ＦＭラジオ放送・インターネット配信

議会要覧、議会年報等の刊行

＜本会議傍聴（来場）者数＞

５月臨時会　　０人

６月定例会　　２３６人

９月定例会　　２４２人

１０月臨時会　　０人

１２月定例会　　３３１人

１月臨時会　　０人

３月定例会　　３０４人

（計）　１，１１３人

５　議会活性化推進費【議事調査課】　　１，２６４，９１０円

（１）　市議会報告会兼意見交換会

企画総務委員会　１２月　８日（月）

団体名　豊田商工会議所

テーマ「豊田市の未来に向けたまちづくりのために」

地域生活委員会　　２月　４日（水）

団体名　特定非営利活動法人　愛知ネット

テーマ「激甚化・頻発化する災害におけるボランティアとの連携について」

産業建設委員会　１０月３１日（金）

団体名　名鉄バス株式会社、豊栄交通株式会社、株式会社オーワ

テーマ「持続的な公共交通の在り方について」

（２）　若者との意見交換会

教育社会委員会　　１月２１日（水）

参加者　童子山小学校６年生全４クラス

テーマ「みんなが暮らしやすい町に」

（３）　市民シンポジウム

環境福祉委員会　　１月１７日（土）

参加者　１６９名　　場所　福祉センター

テーマ「過去から未来へと想いをつなぐ「人生ファイル」～今日から記してみませんか～」

第１部　基調講演

講師：クラスター豊田　上原房枝氏

第２部　パネルディスカッション

テーマ「人生ファイル」を通して安心して暮らせる
地域を考える

◆特記事項

地方議会議員年金制度廃止後の年金等の給付に要する経費として、負担金９０，０６１，２００円を執行しました。【（議）総務課】

2款　総務費

		（前年度）
当初予算額	22,654,383,000円	（20,845,780,000円）
予算現額	27,715,772,697円	（40,084,584,198円）
決算額	25,020,020,135円	（38,271,074,338円）
翌年度繰越額	1,729,166,358円	（　835,388,000円）
不用額	966,586,204円	（　978,121,860円）

2- 1- 1目　一般管理費

		（前年度）
当初予算額	5,470,147,000円	（ 5,210,374,000円）
予算現額	5,566,399,715円	（ 5,196,134,239円）
決算額	5,454,997,580円	（ 5,029,757,819円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	111,402,135円	（ 166,376,420円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（不当要求行為等審査会委員４人、特別職３人、一般職５０９人、非常勤一般職３５４人）

【法務課・人事課】　５，１９５，１００，６１３円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２２，１８０，５００円

3　庶務費【（総）庶務課】　２８，９４４，３２６円

4　車両管理費【（総）庶務課】　１１３，４５７，１７６円

（１）　業務費　５０，２０８，４３７円

ア　車検・点検

（ア）　対象車両　２１５台

（イ）　定期点検整備　延べ　２７１台

（ウ）　車検前点検整備　７２台

（エ）　車検等外注　２９１台

（オ）　その他修理　延べ　２２１台

イ　公用車事故件数

加害	双方	自損	小計	被害	総計
７件	０件	９件	１６件	１件	１７件

（２）　車両導入費　６３，２４８，７３９円

総リース車両　１５９台（うち、更新リース車両１４台）

5　安全運転推進費【（総）庶務課】　３，２３０，２９０円

＜研修会等＞

正副安全運転管理者講習会　１５人

運転技能講習会（採用１０年目職員、事故当事者等）　７４人
安全運転講習会（新規採用職員）　８４人
外部講師による運転業務添乗チェック研修　１８人
運転に不慣れな職員に対する安全運転技能講習　８人
運転苦手克服研修　９人
バック運転研修　６人
安全運転所属長研修（３回）　延べ３１８人
各部局における安全運転講習会　１２０人

6　法務費【法務課】　２３，６８４，３３９円

（１）　事務費　６，７７８，３２２円

ア　内部弁護士職員による法律相談　３４５件

イ　スクールロイヤー法律相談　７５件

（２）　電子例規システム費　１，２００，３０８円

＜データ更新に係る例規の制定改廃別状況＞

		制定	全部改正	一部改正	廃止
条　例	７８件	１件	０件	７７件	０件
規　則	１０２件	２件	０件	１００件	０件
規程等	２９件	１件	０件	２６件	２件

（３）　訴訟等事務費　１５，７０５，７０９円

＜令和７年度中に終了した訴訟事件＞

令和５年（ワ）第１４７号　損害賠償請求事件

令和７年（ネ）第５２６号　損害賠償請求控訴事件

令和５年（行ウ）第５１号　処分取消等請求事件

令和７年（行コ）第５０号　処分取消等請求控訴事件

令和７年（ワ）第５８３号　動産引渡請求事件

＜令和７年度末係属中の訴訟事件＞

令和７年（ワ）第２１９号　土地所有権確認請求事件※

令和７年（ワ）第８３１号　損害賠償等請求事件

※は、代理人の委任に係る弁護士報酬について、令和７年度の支出がないもの

＜令和７年度中に弁護士報酬の支出があった、その他の交渉事件＞　４件

7　政策法務推進費【法務課】　９６８，７８３円

（１）　法務研修

法治主義を貫く職員力の向上を図るため、弁護士職員や外部有識者による法務研修を実施しました。

研修区分	開催回数	参加人数（累計）
弁護士職員による法務研修	２回	１１８人

外部有識者による法務研修　　５回　　１８３人

（２）　派遣研修

政策法務担当等の能力向上と機能強化を図るため、外部研修機関主催の法務研修に２０人の職員を派遣しました。

（３）　書籍の購入

法執行環境の向上に資するため、参考図書を購入しました。

（４）　自治体法務検定の団体受検

職員の能力育成効果を検証するため、自治体法務検定の団体受検を実施しました。

８　外部監査費【法務課】　　１０，６２６，０００円

地方自治法に基づく包括外部監査契約を締結し、監査結果の報告を受けました。監査の実施状況は次のとおりです。

包括外部監査人　公認会計士　中條　尚治郎（補助者６人）

監査テーマ　　教育に係る財務事務の執行について

９　総務管理費過年度国県支出金返還金【財政課】

５６，８０５，５５３円

2- 1- 2目　秘書費

			（前年度）
当初予算額	24,274,000円	（	23,176,000円）
予算現額	21,360,000円	（	35,021,350円）
決算額	16,905,790円	（	30,096,584円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	4,454,210円	（	4,924,766円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（表彰審査委員会委員４人）【秘書課】　　３２，０００円

２　秘書事務費【秘書課】　　１３，０６１，６４６円

（１）　名義後援等申請　３３４件

（２）　名誉市民・市政功労者懇談会　１０月２７日（２２人出席）

（３）　新年あいさつ会　１月７日（約２００人出席）

３　市制記念式典開催費【秘書課】　　３，８１２，１４４円

市制７５周年記念式典　３月７日（約３７０人出席）

（１）　市政功労者に三宅英臣様を推挙しました。

（２）　特別功労賞として７人を表彰しました。

（３）　表彰条例に基づき２２５人、２２団体を表彰しました。

2- 1- 3目　広報費

		（前年度）
当初予算額	242,850,000円	（ 235,521,000円）
予算現額	234,264,000円	（ 227,841,000円）
決算額	219,208,376円	（ 219,580,447円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	15,055,624円	（ 8,260,553円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　広報事務費【広報課】　１００，００２，０５２円

（１）　広報とよた等発行

・広報とよた（月１回）　１回平均　１７３，６９１部

・広報とよた点字版（月１回）１回平均　５２部

・声の広報（月１回）　１回平均　４２部

・広報モニター（アンケート実施　１２回、モニター数　前後期各２５人）

（２）　市政記録映像

・「市政の歩み」の制作（主要な事業や出来事を映像で記録）

（３）　Ｅモニター制度

・アンケート実施　１７回

・モニター数　２００人

（４）　広報活動推進

・地上デジタル放送を活用した行政情報の発信　７４件

・本市の魅力を発信する動画をＹｏｕＴｕｂｅ広告等として配信　視聴回数　約８８万回

・ホームページで歴史的な出来事や自然・風景など画像・動画をオープンデータとして公開　約２，９００件

（５）　ホームページ管理運営

・ページビュー数　約１，６５５万件

2　テレビ・ラジオ等広報費【広報課】　１１９，２０６，３２４円

（１）　ＣＡＴＶ放送

・市政情報提供番組「とよたＮＯＷ」（放送時間２０分、１日９回）

（２）　コミュニティＦＭ放送

・市政情報提供番組「ホットニュースとよた」（平日放送時間１０分、１日２回、土日放送時間２０分、１日１回）

2- 1- 4目　人事管理費

		（前年度）
当初予算額	1,181,318,000円	（ 2,064,871,000円）
予算現額	1,558,400,000円	（ 2,142,798,000円）
決算額	1,483,389,687円	（ 2,057,541,403円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	75,010,313円	（ 85,256,597円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費【人事課】　1，２０８，１８７，４９２円

（１）　報酬等審議会委員報酬　２０９，９２０円

（２）　職員退職手当　８０２，４１８，７９７円

	支給者数	平均支給額
定年	該当なし	
定年以外	７２人	１１，１３１千円
失業者の退職手当	３人	３０６千円

（３）　児童手当　２７６，５５５，０００円

年６回支給（４月・６月・８月・１０月・１２月・２月）

延べ６，０１１人分

（４）　公務災害補償基金負担金　２９，２８４，４８６円

職員　３，２０９人分

（５）　労働保険　９６，７２７，７７３円

会計年度任用職員等　１，９３５人分

（６）　災害補償費　２，９２９，４０４円

非常勤職員の療養補償費等を１８人に支払いました。

（７）　恩給及び退職年金　６２，１１２円

2　人事管理事務費【人事課】　２３５，６７２，１８３円

（１）　事務費　１５，６７４，６８５円

（２）　職員採用試験費　６，８３５，３７６円

	採用者数	
行　政　職	１０４人	年度途中採用者含む
消　防　職	１４人	
教育保育職	６２人	
技能労務職	６人	
医　療　職	１人	計　１８７人

（３）　職員人事考課費　４，１８７，５４９円

職員の能力・成果主義を徹底するため、目標管理を活用した人事考課制度を実施するとともに、必要に応じて能力開発プログラ

ムを実施しました。

ア　対象者：全職種・職位（３，４８８人）

イ　特　色：制度運用を通した人材マネジメント

考課結果を得点化し、賞与・昇任・昇給へ反映

目標管理による組織パフォーマンスの向上

ウ　研　修：年２回の研修を実施

（４）　職員昇任試験費　８８７，５７９円

職員の資質向上や人材発掘を推進するため、能力・実績に基づく昇任試験を実施しました。

ア　対象：行政職課長級昇任試験

教育保育職上級保育師昇任試験

技能労務職主任昇任試験

イ　試験内容：筆記・論述（論文）・面接・人事考課のうちから試験区分によって実施

ウ　試験結果：行政職課長級　受験者　５９人　合格者２２人

教育保育職上級保育師

受験者　３２人　合格　７人

技能労務職主任　受験者　７人　合格者　５人

（５）　人事管理システム費　１９，２７７，５５２円

（６）　安全衛生委員会費　５，６９３，７６０円

健康管理をテーマとした研修の実施、非常勤産業医による復職支援等、職員の心身のケアに力を入れて活動しました。

・非常勤産業医による相談　延べ１３１人

・安全衛生委員会研修受講者　３６人

・衛生管理者免許の取得　免許取得者　６人

（７）　職員厚生費　１０２，４９４，１３２円

ア　健康管理の充実

職員の健康把握と疾病予防のため、労働安全衛生法に基づく健康診断等を実施しました。

＜令和７年度実施人数＞

定期健康診断	１，１３２人
深夜勤務者健診	４１５人
ＶＤＴ健診	２２人
業務別特殊健康診断　有機溶剤	２８人
業務別特殊健康診断　特定化学物質	１１人
人間ドック	２，５６１人
Ｂ型肝炎抗体確認検査	３１人
Ｂ型肝炎予防接種	２８人

破傷風予防接種　１０４人
雇用前健康診断　１７７人
ストレスチェック　４，０７７人

イ　福利の推進

（ア）　被服貸与規程に基づき、作業服を貸与しました。

（イ）　法令及び条例に基づき、愛知県都市職員共済組合と職員互助会に対して負担金を支出しました。

（８）　非常勤職員管理費　８０，２９４，５００円

労務管理や報酬支払業務等を民間委託により実施しました。

（９）　災害復興支援事務費　３２７，０５０円

３　職員研修費【人事課】　３９，５３０，０１２円

（１）　事務費　５，６５２，２７３円

（２）　一般研修費　１５，８６２，２１５円

能率的な行政経営を担う人材を育成するため、各階層に応じて研修を実施しました。

３０コース　延べ１，６１７人　５３．５日

（３）　特別研修費　５，０５２，５６６円

特定の職員の能力開発のため、テーマや課題を設定して研修を実施しました。　１０コース　延べ１，２０４人　１３．２５日

（４）　部局研修費　１，７１８，５９５円

仕事を通して自己実現を図ることや活力ある職場づくりを推進するため、部局が自発的に実施する人材育成を支援しました。

研修会、講演会、先進地視察　１８回

（５）　自己啓発研修費　１，０６８，９７８円

職員一人ひとりが、自らの適性や志向を生かした能力開発に励むため、自己啓発を奨励し支援を行いました。

自主研究サークル　７グループ
自主学習援助　８２人

（６）　短期派遣研修費　４，２８１，５８８円

業務に必要な専門的な知識や技能を修得するため、専門団体や研修機関等へ短期的（１年未満）に職員を派遣しました。

市町村アカデミー　１７人
国際アカデミー　４人
愛知県市町村振興協会研修センター　２９人
国土交通大学校、全国建設研修センター　１４人
自治大学校　３人

（７）　長期派遣研修費　５，８９３，７９７円

多角的な視野や専門的な知識を習得するため、組織風土の異な

る国や民間企業等へ長期的（１年以上）に職員を派遣しました。

省庁派遣	５人
民間企業派遣	２人
政策研究大学院大学	１人
事業構想大学院大学	１人

2- 1- 5目　検査費

		（前年度）
当初予算額	16,415,000円	（ 14,683,000円）
予算現額	15,615,000円	（ 13,523,000円）
決算額	14,289,718円	（ 13,129,572円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	1,325,282円	（ 393,428円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　検査事務費【技術管理課】　１４，２８９，７１８円

検査実施件数　１８５件

完成検査　１７１件

中間・既済部分検査等　１４件

査察実施件数　８件

2- 1- 6目　事務管理費

		（前年度）
当初予算額	27,348,000円	（ 20,790,000円）
予算現額	36,714,617円	（ 40,722,243円）
決算額	34,386,701円	（ 38,086,850円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	2,327,916円	（ 2,635,393円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（市政顧問会議委員６人、地域経営懇話会委員１２人）

【経営戦略課・行政改革推進課】　２３７，６００円

２　事務管理事務費【経営戦略課・行政改革推進課】

２４，８７６，１６５円

（１）　事務改善費　５，１８４，６８０円

ア　公共施設予約システムの改修を実施しました。

イ　地方分権改革に関する提案募集を活用して、８件の規制緩和の提案を行いました。

（２）　職員提案費　５８９，２７６円
改善提案　１１，７８７件

（３）　経営戦略事務費　１７，２３２円

（４）　官民連携事業推進費　１９，７００円
指定管理者の更新に際し、適正な事業者選定に努めました。

（５）　行政改革推進費　１９，０６５，２７７円
ア　７か所の職場をフリーアドレス化するために必要な物品を購入しました。
イ　総務部オフィス改革実証に必要な物品を購入しました。
ウ　スポーツ施設利用システムと公共施設予約システムを統合した新たな予約システムの構築に着手しました。

３　中核市市長会事務費【経営戦略課】　６５３，５３０円
中核市市長会の会員市として各種会議等に参加し、国への提言活動等に取り組みました。

４　東京事務所費【東京事務所】　８，６１９，４０６円
首都圏における情報の収集・発信や本庁業務の支援等を行いました。

2- 1- 7目　文書管理費

			（前年度）
当初予算額	304,404,000円	（	274,917,000円）
予算現額	301,666,000円	（	272,064,000円）
決算額	274,679,732円	（	260,543,532円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	26,986,268円	（	11,520,468円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（情報公開・個人情報保護審査会委員６人）【法務課】　３１５，２００円

２　文書管理業務費【（総）庶務課・法務課】２３６，９５４，０７６円

（１）　文書管理運営費　９，７２７，４７８円

（２）　文書郵送集配費　２２２，７６７，１９８円
発送文書数　４，７２６，４６４通

（３）　文書マイクロフィルム化費　４，４５９，４００円

３　印刷業務費【（総）庶務課】　３７，２９９，２９０円
電子印刷機（印刷室大型機）　２台
カラー印刷機　１台
簡易印刷機　２台

電子複写機（複合機）　１５７台

４　歴史公文書管理業務費【法務課】　１１１，１６６円

公開歴史公文書数（令和７年度末）　１０，８３３文書

2- 1- 8目　公平委員会費

		（前年度）
当初予算額	892,000円	（814,000円）
予算現額	703,000円	（780,000円）
決算額	655,780円	（722,154円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	47,220円	（57,846円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（公平委員会委員３人）【法務課】　２３７，６００円

２　公平委員会事務費【法務課】　４１８，１８０円

2- 1- 9目　財政管理費

		（前年度）
当初予算額	117,172,000円	（105,686,000円）
予算現額	4,418,726,000円	（8,106,680,000円）
決算額	4,418,190,867円	（8,106,127,309円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	535,133円	（552,691円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　財政事務費【財政課】　５５０，８１４円

＜参考＞

●普通建設事業費

当初予算額　４５，０７３，３８４千円

令和６年度からの繰越額　１０，４７７，６３５千円

執行額　４３，１３１，８８７千円

●市債の発行により、将来のまちづくりに必要な投資額を確保しました。

新規借入額　３，９１２，０００千円

元金償還額　６，８０２，４６８千円

●基金に関しては、将来の財政需要に弾力的に対応する財源として一定規模の資金積立基金残高を確保することとしました。

令和７年度末資金積立基金残高　９２，０５５，５２７千円

2　公会計改革推進費【財政課】　１，４５３，１００円

発生主義や複式簿記の考え方を導入して、貸借対照表等の財務書類を作成しました。

3　財政調整基金積立金【財政課】　４，４００，０００，０００円

将来にわたって財政の健全な運営を図るため、財政調整基金に積み立てました。

令和７年度末基金残高　３８，０００，０００千円

4　減債基金積立金【財政課】　１６，１８６，９５３円

減債基金の利子を同基金に積み立てました。

令和７年度末基金残高　２，１８２，３５０千円

2- 1-10目　財産管理費

		（前年度）
当初予算額	3,156,246,000円	（ 1,480,091,000円）
予算現額	3,929,305,000円	（ 2,285,394,000円）
決算額	2,165,896,453円	（ 1,509,533,902円）
翌年度繰越額	1,677,540,000円	（ 665,324,000円）
不用額	85,868,547円	（ 110,536,098円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	１，６７７，５４０，０００円
長寿命化改修事業（西庁舎外１施設）	１，３０１，１７２，０００円
長寿命化改修事業（南庁舎外１施設）	３７６，３６８，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　財産管理費【財産管理課】　１４８，０１２，７２７円

建物買取、土地開発基金からの買戻し等を行いました。

2　庁舎管理費【財産管理課・建築保全・住宅課】

６９１，０２１，２４７円

（１）事務費　６７５，８１９，２４７円

（２）施設保全費　１５，２０２，０００円

東庁舎直流電源装置ほか蓄電池取替修繕等を行いました。

3　庁舎等整備費【財産管理課】　９５３，５３３，４６６円

南庁舎１階の待合整備や組織改編に伴うパーテーション等の移設等を行いました。

4　有料駐車場管理費【財産管理課】　７５，８４６，８８２円

委託業者　（一社）豊田市身障協会

利用実績　年間総駐車台数（４か所）　６６７，９３５台

5　市有建築物維持管理費【建築保全・住宅課】

２９７，４８２，１３１円

法定点検等の実施及び点検結果の不具合対応や突発的修繕を行いました。

2- 1-11目　情報システム費

		（前年度）
当初予算額	1,425,562,000円	（ 948,706,000円）
予算現額	1,106,438,383円	（ 891,919,757円）
決算額	1,045,922,347円	（ 872,482,996円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	60,516,036円	（ 19,436,761円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　情報システム事務費【情報システム課】　１７３，５７２，２１８円

2　情報システム基盤費【情報システム課】　７９９，２８０，５９１円

（１）基幹業務系システム及び行政情報ネットワークを活用した内部情報系システムの運用・開発・改修を実施しました。

基幹業務系システム数　住民記録システム始め３６システム

内部情報系システム数　文書管理システム始め３３システム

（２）事務用パソコンやインターネットパソコン、ファイルサーバなど各種サーバを配備しました。

事務用パソコン　４，４５６台

インターネットパソコン　２５５台

サーバ　１４０台

（３）本庁及び庁外施設のネットワークの管理を行いました。

ネットワーク接続対象施設数　１６３施設

（４）インターネットを利用した市民向け地図情報サービス「とよたｉマップ」で情報提供を行いました。

提供情報数　１６マップ、５６種類の情報

3　情報セキュリティ推進費【情報システム課】７３，０６９，５３８円

ＩＣカードを利用した庁舎入退や業務用コンピュータ及びネットワークへの接続権限の管理を行うとともに、ファイアウォールの設置、インターネット通信の監視に加え、ウイルス対策ソフト、情報漏えい対策ソフト、ファイル無害化システム等の利用による重層的な対策を講じました。

2款　総務費

2- 1-12目　契約費

			（前年度）
当初予算額	31,029,000円	（	25,221,000円）
予算現額	34,027,000円	（	25,008,000円）
決算額	32,104,977円	（	18,902,120円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	1,922,023円	（	6,105,880円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　契約事務費【契約課】　２１，１７３，９６７円

＜参　考＞

種別	競争入札	随意契約	合計契約金額
工事	１６６件	０件	１０，３９３，３７１千円
工事関係委託	１４２件	１件	２，０４２，７３０千円
その他委託	４７５件	２６７件	１１，４１５，５４８千円
労働者派遣	２件	５件	９２，６７２千円
物品購入	２３１件	２０件	５，３９７，９３４千円
物品借入	４６件	７０件	２，０５８，４００千円

工事契約全体に占める市内本店業者受注割合は、件数では９５．８％と引き続き高い水準で推移しており、金額では８１．３％でした。

また、入札不調・不成立の発生割合は、建設工事全体で８．６％となり、令和６年度の１２．８％と比較して４．２ポイント減少しました。

2　物品管理費【契約課】　１０，９３１，０１０円

庁用消耗品及び庁用備品の調達・管理を行いました。

2- 1-13目　企画費

			（前年度）
当初予算額	614,630,000円	（	437,680,000円）
予算現額	500,441,000円	（	472,830,000円）
決算額	476,359,934円	（	437,461,153円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	24,081,066円	（	35,368,847円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　企画事務費【企画課】　１，３７４，４５８円

2　資産経営事務費【資産経営課】　３８３，７９５円

3　建築事業推進事務費【建築事業推進課】　２，８６９円

4　ふるさと寄附金推進費【シティプロモーション課】
１３３，１６７，０５５円

ふるさと寄附金の制度を活用して、豊田市ならではのサービスや産品を返礼品とする寄附を募るためのＰＲを実施し、豊田市の魅力を発信しました。

5　総合計画事業調整費【企画課】　６，５８３，２２７円

第９次総合計画の推進に向けて、総合計画推進会議を開催し、有識者との意見交換を行ったほか、市民の市政に対する評価やニーズを統計的に把握・分析するため、第２５回市民意識調査を実施しました。

6　経営戦略調査費【経営戦略課】　２，７７９，０９６円

自治体ランキングの評価の内容を把握するため、非公表となっているデータの収集及び変動状況の整理等を行いました。

7　情報政策推進費【情報戦略課】　２６１，１９３，９９１円

（１）　６名のＣＤＯ補佐官（民間人材）と連携し、ＤＸ施策に関する各部局の施策推進の支援、第２次デジタル強靭化戦略の推進やＤＸ人材育成を行いました。

（２）　ＤＸの一環として民間企業の知見を取り入れた伴走型のＢＰＲ支援及び内部事務効率化のためのバックオフィス改革調達仕様書作成等を行いました。また、市民サービスの向上のため、市民ポータルの公開やデジタル通知の導入を行いました。

（３）　メタバースとよたを活用したイベント等の開催により、各種事業の普及啓発を行いました。また、ＤＸ人材育成に関する取組やＤＸにおける官民共創の推進として民間企業への行政課題の発信や職員向けの研修会等を実施しました。

8　公共施設等総合管理計画推進費【資産経営課】
３２，４００，１７８円

（１）　公共施設の再編に向けた検討の基礎資料等を整理しました。

（２）　未利用の公有財産について、利活用に向けた調査等を実施しました。

9　大学等との包括連携協定推進費【経営戦略課】７，４４０，５０４円

（１）　大学等との包括連携協定推進費　１，２２６，５０４円

「外国人住民の声を活かす防災の人口づくり」、「災害時における外国人住民の健康問題把握と防災教育プログラム開発」、「豊田スタジアムのスタジアムツアーを活用したヘリテージスポーツツーリズムの開発」、「豊田市のブラジル人学校に通う児童・生徒の健康維持・増進を支える支援モデルの構築」の４事業を実施しました。

（２）　大学・高専応援補助金（１０／１０）　６，２１４，０００円
大学等が行う地域貢献や人材育成等の取組を支援するため、ふるさと納税型クラウドファンディングで集めた寄附金の一部を補助金として交付しました。

１０　ＷＥ　ＬＯＶＥ　とよた推進費【経営戦略課】
１，３２１，９６８円

（１）　ＷＥ　ＬＯＶＥ　とよたアワードの実施、パンフレットやグッズの配布、広報とよたへの記事掲載等を通じて、取組の理解向上と行動促進を図りました。

（２）　ＷＥ　ＬＯＶＥ　とよたスペシャルサポーターを１名、ＷＥ　ＬＯＶＥ　とよたサポーターズを１名任命しました。

１１　シティプロモーション推進費【シティプロモーション課】
２９，７１２，７９３円

若者・子育て世代をターゲットに、「住む場所」「遊ぶ場所」としての本市の印象を高めるため、マスメディアやインフルエンサー等を活用した情報発信を実施しました。

2- 1-14目　土地利用調整費

		（前年度）
当初予算額	115,429,000円	（ 66,728,000円）
予算現額	41,202,000円	（ 59,818,000円）
決算額	40,236,502円	（ 56,538,714円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	965,498円	（ 3,279,286円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　土地取得調整事務費【用地審査課】　１７，６３９，１８１円
公有地取得処分審査会審査件数　１件
公有地価格査定委員会査定件数　７６件

２　土地開発基金管理事務費【用地審査課】　３，８９２，７４０円

３　土地利用対策調整費【都市計画課】　４，８５１，０００円
えきちか居住誘導エリアである竹村駅の西側地区での市街地整備による周辺への浸水被害の影響について検証しました。

４　土地利用構想調査費【企画課】　２，８９４，０１２円
第９次総合計画における将来都市構造の実現に向けた土地利用に関する周辺交通への影響を把握するため、交通需要予測を実施しました。

５　土地開発公社運営費補助金（１０／１０）【用地審査課】

１０，９５９，５６９円

2- 1-15目　会計管理費

			（前年度）
当初予算額	125,158,000円	（	76,231,000円）
予算現額	120,658,000円	（	76,231,000円）
決算額	107,883,311円	（	63,993,198円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	12,774,689円	（	12,237,802円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　会計事務費【会計課】　１０７，８８３，３１１円

（１）　出納事務及び決算調製

ア　支出伝票数　１１２，０５９件

イ　支払件数　８３３，５５２件

ウ　納入件数　１，８３８，０９４件

（２）　公金の保管及び運用

金融機関の経営状況に関する情報収集を行い、指定金融機関等の健全性を確認しつつ、決済用口座を使うことで公金を安全、確実に保管しました。

また、歳計・歳計外現金及び基金の金利入札による預金預け入れや基金を活用した債券購入により効率的な運用に努めました。

令和７年度　公金の入札及び運用状況

〈区分〉	〈歳計・歳計外現金〉	〈基　金〉
入札回数	９回	１２回
運用件数	２０件	６１件
最高利率	１．６１０％	１．８２５％
最低利率	０．４３０％	０．５５０％
加重平均利率	０．９００％	１．３９５％
平均運用額	３，１５０百万円	１，３４６百万円
平均運用期間	９４日	３１０日
年間資金運用益	２１３，４５６千円	７０６，０７０千円
（普通預金利息　１８，１０４千円含む。）		
年間債券運用益		１，３９９千円

（３）　指定金融機関への手数料

ア　歳入システム使用手数料　９，９００，０００円

イ　ＡＩ―ＯＣＲサービス手数料　４，２５１，０６０円

ウ　派出業務手数料　５，７２０，０００円

エ　口座振込手数料　８２，２８６，７６５円
指定金融機関宛　１６２，３９２件
他金融機関宛　４４４，５７７件
オ　組戻訂正手数料　１，３０１，５２０円

2- 1-16目　国際交流費

			（前年度）
当初予算額	75,066,000円	（	71,375,000円）
予算現額	72,954,000円	（	65,750,000円）
決算額	67,519,752円	（	61,649,139円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	5,434,248円	（	4,100,861円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　国際まちづくり推進事務費【多様性社会共創課】
１９８，５７１円
多文化共生及び国際交流の情報収集等を実施しました。

２　豊田・デトロイト姉妹都市提携費【多様性社会共創課】
５，１８５，６８２円

（１）　交流推進費　２，９９２，４３６円
デトロイト姉妹都市提携６５周年記念式典に参加しました。

（２）　交換学生派遣費　４６４，３１９円
市内在住の高校生を交換学生派遣団としてデトロイト市へ派遣し、ホームステイ及びデトロイト市内各施設の視察等を通じて、交流を深めました。
派遣人数：１０人（高校生８人、引率２人）
派遣期間：７月３１日～８月１４日　１５日間

（３）　交換学生派遣費補助金（１０／１０・１／２）
１，７２８，９２７円
交換学生派遣団に対し、渡航費等の補助を行いました。

３　豊田・ダービーシャー姉妹都市提携費【多様性社会共創課】
６，２０６，９７２円

（１）　交流推進費　９５７，７３８円
姉妹都市関係者とのネットワーク構築及び高校生派遣新規プログラムの協議、調整のためダービーシャーを訪問しました。

（２）　高校生派遣費　８３０，９３５円
市内の高等学校・高等専門学校に在学中の生徒を高校生派遣団としてダービーシャーに派遣し、現地のカレッジにおけるスタデ

ィツアーへの参加及び現地の学生を含む英国在住者との交流を行いました。

派遣人数：１５人（生徒１４人、引率１人）

派遣期間：3月１３日～２５日　１３日間

（３）　高校生派遣費補助金（１０／１０・１／２）

４，４１８，２９９円

高校生派遣団に対し、渡航費等の補助を行いました。

４　多文化共生推進費【多様性社会共創課】　３８，６４０，５８０円

（１）　多文化共生まちづくり推進費　１３，６４１，９７１円

ア　市内在住の外国人とともに、互いに尊重し合って暮らすことのできるふれあいのあるまちづくりを進めるため、豊田市多文化共生推進協議会を２回開催しました。また、第４次豊田市国際化推進計画策定委員会を３回開催し、計画の方向性及び施策内容について協議し、第４次豊田市国際化推進計画を策定しました。

イ　第４次豊田市国際化推進計画における施策の参考とするため、外国人の意見を聴く会を開催しました。

参加者数：５か国、１０人

ウ　全国１０都市で構成される外国人集住都市会議に参画し、「外国人集住都市会議そうじゃ２０２５」への参加をはじめ、自治体における多文化共生施策の推進のための検討を行いました。

エ　日本の学校に通う外国人児童生徒に対する放課後学習支援を行いました。

放課後学習支援教室：２２５日　延べ参加者数：３，０９６人

（２）　多文化共生居場所づくり推進費　３，９１１，０５０円

不就学の外国人のこどもに関する学校等との連絡調整及び社会適応のための日本語学習支援を行いました。

教室：２２３日　延べ参加者数：４８９人

（３）　多文化共生人材育成費　３，６３４，５８２円

ア　外国人青少年に対する自立支援を行いました。

自立支援事業実施回数：４５回　延べ参加者数：１６６人

イ　（公財）豊田市国際交流協会と多文化共生及び国際交流事業等の実施に関する年度協定事業を行いました。

こども向け国際理解推進事業

こども国際クラブ：全９回　参加者数：３０人

（４）　多文化子育て支援費　１，００７，６００円

未就園児を持つ外国人の保護者等に、母語の重要性及び多言語環境下で育つこどものことばの発達に関する理解促進のための啓発等を行いました。

１０回　延べ参加者数：２７２人

（５）　幼児の日本語学習環境整備費　　２，７３０，２００円

外国につながりのある幼児が就学前から日本語に触れる機会を創出するとともに、その保護者に対してこどもの言語習得等の啓発を行いました。

日本語教室

保見団地教室　：２０日　延べ参加者数：　７５人
伊保こども園　：２０日　延べ参加者数：１１９人
美和こども園　：２０日　延べ参加者数：　８０人
梅坪こども園　：２０日　延べ参加者数：１１８人
東山こども園　：２０日　延べ参加者数：１４６人
宮口こども園　：２０日　延べ参加者数：１０２人
堤ケ丘こども園：２０日　延べ参加者数：　６６人

保護者向け啓発

保見団地教室　：１０日　延べ参加者数：　２５人
伊保こども園　：　２日　延べ参加者数：　　４人
美和こども園　：　２日　延べ参加者数：　　７人
梅坪こども園　：　２日　延べ参加者数：　１６人
東山こども園　：　１日　　参加者数：　１５人
宮口こども園　：　１日　　参加者数：　　２人
堤ケ丘こども園：　４日　延べ参加者数：　１４人

（６）　多文化共生理解促進費　　１３，５５６，９７７円

ア　外国人住民が地域で円滑な日常生活を営むために必要な最低限の日本語能力及び地域住民として必要な基本的知識を習得するため、「とよた日本語学習支援システム」を活用した日本語教室の運営を行いました。

教室数：７教室　延べ回数：１９４回
教室利用者数：６７７人　＜内訳＞外国人学習者：３６１人
日本人支援者：３１６人

イ　（公財）豊田市国際交流協会と多文化共生及び国際交流事業等の実施に関する年度協定事業を行いました。

外国人多言語相談事業

ポルトガル語、中国語、ベトナム語、英語
相談件数：４０５件

通訳派遣・翻訳事業

通訳派遣：７件　翻訳：４８件
外国人教育支援員の派遣：１人、ポルトガル語
派遣先：２団体

派遣口数：１９６口

国際理解推進事業

国際理解教育　　：１５回　延べ参加者数：１，１９２人

国際理解セミナー：　３回　延べ参加者数：　　１３０人

（７）　多文化共生活躍促進費　　１５８，２００円

アジア競技大会・アジアパラ競技大会開催を見据えた機運醸成の取組として「豊田市小中学校アジア各国・地域に関する異文化理解学習業務委託」に係るプロポーザル選考委員会を実施しました。

５　国際交流協会運営費補助金（１０／１０）【多様性社会共創課】

１７，２８７，９４７円

2- 1-17目　未来都市推進費

			（前年度）
当初予算額	687,855,000円	（	568,427,000円）
予算現額	556,601,000円	（	511,670,000円）
決算額	414,146,629円	（	477,839,283円）
翌年度繰越額	3,432,000円	（	0円）
不用額	139,022,371円	（	33,830,717円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　　３，４３２，０００円

超小型次世代自動車取得事業　　３，４３２，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　未来都市推進事務費【未来都市推進課】　１６９，５３５，８７０円

（１）　未来都市推進事務費　　１５，８１３，８２１円

ニューヨークの国連本部で開催された「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム」に参加し、本市の取組を世界に向け発信しました。

（２）　ＳＤＧｓ推進費　　１５３，７２２，０４９円

ア　とよたＳＤＧｓパートナーの共働事業支援を行いました。

とよたＳＤＧｓパートナー登録企業・団体数　３０６団体

共働事業　１４件

イ　豊田市ＳＤＧｓ認証制度の第５回及び第６回の認証を行いました。２回の受付で累計６０件の申請があり、５９件を認証しました。

ウ　豊田市ＳＤＧｓ研修カードゲーム「とよたＳＤＧｓマスター」の公認ファシリテーターを１９人養成しました。

エ　とよたＳＤＧｓミライ大学を開催し、こども向けＳＤＧｓ講座を１９講座開催し、延べ２７４人が参加しました。

オ　国際連合経済社会局と共催で「２０２５国際首長フォーラム」を開催し、６８都市の首長ら約２９０人が参加しました。また、同会議に合わせ、会議会場周辺では市民参加型のイベントを開催しました。

2　次世代エネルギーシステム推進費【未来都市推進課】

５６，０８７，０８８円

（１）　水素社会の構築に向けて、戦略に基づき、水素普及促進のためのシンポジウム等の実施や、水素ステーションへの水素燃料費差支援補助金を創設しました。

（２）　小水力発電事業の事業性評価を行い、発電事業者の公募を行ったほか、蓄電池の活用に向けた施設の改修などを行いました。

3　次世代自動車普及促進事業費【未来都市推進課】

２３，２０７，１７３円

（１）　燃料電池給食配送車及び次世代電気自動車を新たに導入し、移動の脱炭素化を推進しました。

（２）　電気自動車用充電器及び設備を老朽化に伴う更新のため撤去しました。

4　先進技術等移動支援事業費【未来都市推進課】

３４，０３０，１９５円

（１）　歩行領域ＢＥＶ「Ｃ＋ｗａｌｋ」でまちなかを回遊できる事業「まち＋モビ」を展開しました。

（２）　里モビＬＩＦＥプロジェクトの取組を推進しました。

（３）　自動運転走行実証を実施しました。

5　次世代社会システム実証推進費【未来都市推進課】

１２８，４３４，５９５円

（１）　先進技術実証に対する補助制度を創設し、補助事業１件を含む１６件の実証実験を支援しました。

（２）　豊田市つながる社会実証推進協議会の取組として、社会参加型介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」を展開しました。

6　介護予防事業推進基金積立金【未来都市推進課】

２，８５１，７０８円

介護予防事業推進基金の利子を同基金に積み立てました。

◆特記事項

・超小型次世代自動車取得事業において、車両の販売時期の延期により年度内の納入が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【未来都市推進課】

2款　総務費

2- 1-18目　諸費

		（前年度）
当初予算額	320,000円	（ 280,000円）
予算現額	374,000円	（ 320,000円）
決算額	374,000円	（ 320,000円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	0円	（ 0円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　総務事務費【（総）庶務課】　３７４，０００円

防衛省からの委託を受け、自衛官の募集事務を実施しました。

愛知環状鉄道車内広告掲載　４月１日～　３月３１日

啓発用うちわ作成　１，２００個

啓発用ポケットティッシュ作成　４，０００個

2- 2- 1目　地域振興費

		（前年度）
当初予算額	725,419,000円	（ 569,674,000円）
予算現額	731,176,816円	（10,556,202,865円）
決算額	643,386,160円	（10,474,594,304円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	87,790,656円	（ 81,608,561円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（市民活動促進委員１１人）【地域交流課】４６０，４００円

2　地域支援事務費【地域交流課】　１０，３７２，８７６円

3　山村振興事務費【総合山村室】　３，８３６，３２５円

4　市民活動事務費【地域交流課】　５２，５８０円

5　自治区活動推進費【地域交流課】　５，０８６，０００円

（１）　自治区デジタル活用支援事業補助金（定額）

デジタル技術を使った先進的な取組に対して補助し、自治区業務の効率化や、地域活動の効率化を図りました。

２６件　４，３８６，０００円

（２）　区長会補助金（定額）　７００，０００円

住民自治活動を推進するため、豊田市区長会へ「自治区運営の手引」の作成費用等を補助しました。

6　犯罪のないまちづくり活動推進費【交通安全防犯課】

９５，４５０，２１８円

（１）　民間警備会社に地域安全巡回業務を委託し、登下校時における子どもの見守り活動、特殊詐欺被害防止のための車両広報及び夜間等の青色防犯パトロールを実施しました。

午前６時３０分～午後０時３０分　学校開校日の月、水、金

午後２時～午後８時　学校開校日

午後１０時～午前４時　毎日

午前９時～午後６時　２４４日　※特殊詐欺被害防止啓発

（２）　地域安全指導員（警察官ＯＢ）を配置し、青色防犯パトロール及び地域の自主防犯活動団体の活動支援、子どもの防犯教室を実施しました。

子どもの防犯教室　３２校実施

（３）　自主防犯活動に必要な物品の支給等により、地域の犯罪のないまちづくり活動を支援しました。

自主防犯活動団体　３３７団体（廃止２２団体、新規３団体）

（４）　「犯罪のないまちづくり推進強化地区」を指定し、地域安全巡回の強化等の取組を実施しました。

住宅対象侵入盗対策推進強化地区　１地区（衣丘小学校区）

自動車関連窃盗対策推進強化地区　１地区（高嶺小学校区）

自転車盗対策推進強化地区　１地区（浄水中学校区）

（５）　身の安全を確保するとともに防犯意識の向上を図るため、新入学児童や転入児童に対して、防犯ブザーを配付しました。

（６）　豊田・みよし防犯協会連合会及び足助防犯協会との間で地域安全活動に関する協定を締結し、関係機関・団体との連携を密にして、安全で安心なまちづくりに努めました。

（７）　市民の防犯意識を高めるとともに犯罪等に対する注意喚起を促すため、「緊急メールとよた」等により、不審者情報や詐欺情報等の迅速な提供に努めました。

「緊急メールとよた」登録件数　３３，２７２件（犯罪情報）

（８）　市民、事業者及び関係機関が連携して犯罪のないまちづくりを推進するため、豊田市防犯ネットワーク会議の適正な運営に努めました。

防犯ネットワーク会議　２回開催

（９）　地域の防犯力の向上を図るため、自主防犯活動団体等を対象に地域防犯ボランティア・ステップアップ講座兼防犯リーダー養成講座を開催しました。

講座実施　３回　　受講者　延べ１１３人

（１０）身近で起こる犯罪から身を守る対応策等を学ぶ機会として生涯学習出前講座を実施しました。

出前講座実施　３７回　　受講者　１，７４８人

（１１）市民の防犯意識の向上を図るため、安全なまちづくり市民大会を開催しました。

７　防犯設備設置費【交通安全防犯課】　　１４，３６０，２８０円

市域全体の犯罪を抑止するため、主要交差点に設置した防犯カメラの運用を行いました。

８　防犯設備設置支援費【交通安全防犯課】　　２０，９６１，０３０円

（１）　推進強化地区（高嶺小学校区）において試験的に防犯カメラを設置しました。

（２）　防犯設備整備費補助金により自治区等の防犯カメラ等の設置を支援しました。（補助率４／５・１／２）

交付件数　３４件　（新設５３台、更新・移設２３台）

（３）　特殊詐欺被害等防止機器購入費補助金により迷惑防止機能付き電話機等の購入を支援しました。（補助率１／２）

交付件数　１，０９９件

９　　犯罪被害者等支援費【交通安全防犯課】　　１１０，０００円

犯罪被害者等支援条例を施行し、犯罪被害者等支援の体制を整えました。

１０　犯罪被害者等見舞金（定額）【交通安全防犯課】３００，０００円

１１　自治区施設整備費【地域交流課】　　１，３２９，２８０円

（１）　地域集会施設耐震診断等事業費補助金（８／１０）

１件　１，０００，０００円

（２）　地域集会施設整備資金利子補給補助金

６件　　３２９，２８０円

１２　共働推進費【地域交流課】　　１００，３２０円

市民との共働によるまちづくりを推進するために、「現場視察研修」を開催しました。

参加人数　１５人（４団体訪問）

１３　市民活動センター費【地域交流課】　　９１，１３６，７５８円

とよた市民活動センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者　（同）なんつな

利用者総数　７８，１００人

利用団体数　　３，０５２団体

１４　市民活動促進費【地域交流課・学び体験推進課】

１７，１２６，５４９円

（１）　市民活動団体の活動支援を実施しました。また、多様な人との出会いを通して、社会課題に気づくきっかけづくりとなる場を開催しました。

連携促進コラボカフェ　１回　８４人
会計税務相談会　２回　２団体
運営相談会　４回　４団体
広報紙（年６回発行）　１，５００部／回
ＷＥ　ＬＯＶＥ　とよたフェスタ　１１８団体

（２）　シニア世代の学びを通じた活躍を支援しました。
シニアアカデミー　通年コース　３学科　９６人
はじめの一歩講座・専門コース　１０７人

１５　市民活動促進補助金（１０／１０・２／３・１／３）
【地域交流課】　９１９，０００円
立上期：はじめの一歩部門（設立５年未満）
＜１年目＞　１団体（補助率１０／１０　限度額：１０万円）
＜２年目＞　３団体（補助率１０／１０　限度額：　５万円）
継続期：活動継続部門
＜１年目＞　３団体（補助率２／３　限度額：２０万円）
＜２年目＞　１団体（補助率１／３　限度額：１０万円）

１６　都市美化運動費【地域交流課】　５９，０７４，６８６円
「まちと川を美しくする会」を中心とした地域住民の積極的な参加による環境美化活動を支援しました。
環境美化月間　６月、９月
参加人数　春　７２，４３７人
秋　６６，７１８人　計１３９，１５５人

１７　コミュニティ推進費【地域交流課】　２，５００，０００円
（一財）自治総合センターの助成を受けて地区コミュニティ会議の備品を整備しました。
１地区コミュニティ会議（下山）

１８　地域課題解決事業費　３６，９３１，５７１円
【地域交流課・旭支所・足助支所・小原支所・高橋支所】
緊急性のある地域課題に対して、機動的に事業を実施しました。
里山・河川を活用した地域の交流促進事業（地域交流課）
４，４８８，０００円
安心安全な暮らしを守る支障木伐採事業（旭支所）
１２，９１４，０００円
香嵐渓オーバーツーリズム対策事業（足助支所）
１５，５９６，９００円
豊田小原和紙卒業証書未来へつなぐ周知・共感事業（小原支所）
１，０３７，９９９円
美里地区の高齢者に関する実態調査（高橋支所）

２，８９４，６７２円

１９　わくわく事業補助金【地域交流課・各支所】

１２８，４９７，０００円

地域の活動団体を支援し、地域の知恵や工夫を生かした地域課題の解決や個性豊かな地域づくりを推進しました。

＜事業種別＞

保健、医療又は福祉を通して地域づくりを推進する事業　１３件
地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツを通して地域づくりを推進する事業　６１件
安全・安心な地域づくりを推進するための事業　２０件
地域の生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全を図る事業　１１０件
子どもの健全育成を通して地域づくりを推進する事業　６９件
地域の特性を生かした産業振興のための事業　８件
地域づくりに有効な助言や提言を受けるための事業　０件
その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業　３８件
計　３１９件

＜地区別＞

旭	１０件	４，１１０千円
足助	１７件	１２，４０３千円
稲武	８件	５，２５７千円
小原	２４件	１３，７７１千円
上郷	１０件	３，６１６千円
末野原	４件	２，０２４千円
逢妻	１２件	３，６５８千円
朝日丘	１０件	４，０１２千円
梅坪台	１０件	４，０５８千円
浄水	６件	２，６７９千円
崇化館	８件	１，７０４千円
豊南	１５件	４，３４８千円
井郷	１６件	６，３４６千円
石野	１４件	３，８９０千円
猿投	１２件	８，３４０千円
猿投台	１１件	４，８４１千円
保見	９件	４，１２３千円
下山	１３件	４，５５８千円
前林	１４件	５，０８３千円

竜神　１４件　２，５０１千円
若園　８件　２，０２６千円
若林　６件　３，２６６千円
高橋　１０件　２，３０７千円
益富　１１件　２，１２５千円
美里　１２件　１，２２６千円
藤岡　１４件　６，０１１千円
藤岡南　５件　２，８７８千円
松平　１６件　７，３３６千円

２０　住民自治推進費【地域交流課】　３１５，１６６円

地域における外国人住民と日本人住民の共生をめざし、自治区に対し、翻訳支援を行いました。また、自治区運営の改善取組を共有するため、自治区改善取組発表会を開催しました。

２１　市民の誓い推進費【地域交流課】　３３５，９７３円

明るく住みよい地域社会づくりを推進するため、市民の誓いの啓発・普及に努めました。

市内全小中学校、特別支援学校へ市民の誓い啓発ポスター及びひまわりのたね賞シール配布を実施しました。

２２　都市内分権推進費【地域交流課】　３５９，９５０円

地域会議の効果的な運営のために、ファシリテーション研修等を実施しました。

２３　山村地域計画推進費【総合山村室】　１５，１９１，２４０円

令和８年度から１２年度までの５年間を計画期間とする「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する計画－とよたのさんそん未来プラン－」を策定しました。

また、山村地域の集落機能を維持するため、住民自治組織の在り方の検討やモデル地域における組織再編のコーディネート支援を行いました。

２４　都市と山村の共生推進費【総合山村室】　４０，４８６，５００円

都市と山村の交流をコーディネートする中間支援組織「おいでん・さんそんセンター」を運営し、山村地域への移住・定住や交流に関する相談対応、都市と山村の交流マッチング、集落活動を応援するとよたの山里応援隊の派遣等を行いました。

また、山村地域への関係人口の受入体制強化と、集落活動の担い手となる人材の発掘・育成を行う「山里ひとなる塾」を実施するため、山里ひとなる塾実行委員会に対し負担金を支出しました。

２５　定住促進費【総合山村室】　９８，０９２，４５８円

（１）　定住促進費　１３８，６００円

移住・定住に関する補助・支援制度をとりまとめたパンフレットを作成しました。

（２）　山村地域等空き家再生事業補助金（８／１０）
２５，４９０，０００円

山村地域等に新たな定住者を増やすため、空き家情報バンクで成約した物件の改修に係る費用を補助しました。

補助件数　２３件

（３）　空き家情報バンク登録促進事業補助金（８／１０）
２，０６４，０００円

空き家情報バンクへの登録を促進するため、空き家の家財処分等に係る費用を補助しました。

補助件数　１２件

（４）　山村地域等空き家活用起業支援事業補助金（定額）
６９，８５８円

山村地域等の地域活性化のため、当該地域の空き家を活用し、起業する者に対し、利子補給を実施しました。

補助件数　　２件

（５）　住宅取得費補助金（１／１０）　　７０，３３０，０００円

山村地域等のコミュニティ維持と地域づくりのため、地域活動への参加を前提とする移住・定住者に対し、住宅・土地の取得費用を補助しました。

補助件数　７８件

2- 2- 2目　安全対策費

		（前年度）
当初予算額	298,109,000円	（ 464,972,000円）
予算現額	301,158,000円	（ 464,971,000円）
決算額	287,822,366円	（ 458,316,418円）
翌年度繰越額	0円	（ 3,049,000円）
不用額	13,335,634円	（ 3,605,582円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　安全対策事務費【交通安全防犯課】　　６，５３６，７６３円

新入学児童に反射材付黄色帽子を配付したほか、交通安全啓発用の広報車両を更新しました。

２　交通指導員活動費【交通安全防犯課】　　４９０，７２６円

児童等の登下校時の交通指導及び交通安全の啓発活動のため、交通指導員３０人を配置し、交通事故防止に努めました。

3　高齢者交通安全費【交通安全防犯課】　１４，９２０，８９０円

（１）　交通安全教育費　１４，０９０，８９０円

７５歳以上の高齢者が住む世帯を訪問し、交通安全指導を行い高齢者の交通事故防止に努めたほか、高齢ドライバーを対象に交通の状況に応じた実践的な安全運転技能の習得を図る講習を実施しました。

訪問地区　五ケ丘小学校区始め１３小学校区

訪問世帯数　９，２５２世帯

（２）　後付け安全運転支援装置設置費補助金（９／１０）　８３０，０００円

６５歳以上の高齢ドライバーに対して、後付けのアクセルとブレーキの踏み間違い加速抑制装置の設置を促進しました。

交付台数　１６台

4　若者交通安全費【交通安全防犯課】　３００，０００円

若者に対する交通安全対策として、豊田地区安全運転管理協議会のヤングドライバーセーフティ推進委員会が実施する事業を支援しました。

5　安全対策推進費【交通安全防犯課】　１４，８８７，９００円

（１）　校区交通安全推進協議会補助金（１０／１０）　５６校区　９，６５０，０００円

地域の交通安全意識向上のため、校区交通安全推進協議会が実施する事業を支援しました。

（２）　自転車乗車用ヘルメット購入費補助金（１／２）　５，２３７，９００円

自転車利用者に対して、ヘルメットの着用を促進しました。

交付個数　２，６９３個

6　交通安全学習センター費【交通安全防犯課】　２２１，１５２，４００円

（１）　管理運営費　１９５，９８０，０００円

指定管理者　（株）トヨタ中央自動車学校

一般来場者数　７１，９２７人

団体講習受講者数　１２，５４７人／３３２回

出張講習受講者数　６，１１７人／　５３回

（２）　施設整備費　２５，１７２，４００円

ミニＳＬの駆動車両を更新しました。

7　県派遣職員人件費負担金【交通安全防犯課】１０，７３４，７３５円

派遣職員数　１人

8　交通安全市民会議負担金【交通安全防犯課】１３，０２９，９５２円

（１）　警察、交通安全関係団体等との密接な連携の下、全市的な啓発活動や地域・職域を中心とした交通安全運動を積極的に展開しました。

（２）　歩行者側からドライバーに対し「とまってくれてありがとう」と感謝を伝える取組を全市的に展開しました。

（３）　交通安全の推進に尽力された個人・団体の表彰を行いました。

交通安全功労者　３名

交通安全グリーン功労章　１８名・４団体

（４）　交通事故死ゼロの日、交通安全市民運動期間中及び交通死亡事故多発非常事態宣言発令期間中などに広報活動を行い、啓発に努めました。また、運動期間中には関係機関・団体と協力して街頭活動を行い、交通安全意識を高めました。

９　豊田みよし・足助交通安全協会負担金【交通安全防犯課】

５，７６９，０００円

豊田みよし交通安全協会及び足助交通安全協会が実施する交通安全事業を支援しました。

2- 2- 3目　市民相談費

			（前年度）
当初予算額	25,188,000円	（	18,521,000円）
予算現額	22,773,000円	（	18,226,000円）
決算額	18,829,778円	（	15,353,007円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	3,943,222円	（	2,872,993円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　市民相談事務費【市民相談課】　１６，５４０，５７８円

（１）職員による相談　８５９件

（２）専門家による相談　１，７７３件

主な内訳：法律相談　１，１００件

家庭悩みごと相談　１９９件

登記相談（名義変更）　１７２件

税務相談　１０１件

（３）通訳職員による外国語対応　８，９２７件

通訳（ポルトガル語・スペイン語・英語）　８，６１１件

翻訳（ポルトガル語始め６言語）　３１６件

※うち、生成ＡＩを活用した翻訳（東南アジア系３言語）

６７件
（４）遠隔通訳サービス事業　３，６９８件
電話（ポルトガル語始め２３言語）　１，９６０件
映像（ポルトガル語始め１５言語）　１，７３８件
（５）陳情・要望等　１１件
（６）おくやみコーナー　１，９１６件

2　人権推進費【市民相談課】　１，９４６，２００円
人権教室の実施
（１）講演会　開催回数　１３回
参加人数　４，０２４人
（２）講座、ワークショップ　開催回数　３３回
参加人数　４，４０１人

3　豊田人権擁護委員協議会負担金【市民相談課】　３４３，０００円

2- 2- 4目　交流館費

		（前年度）
当初予算額	670,085,000円	（ 749,002,000円）
予算現額	751,474,000円	（ 967,163,135円）
決算額	722,538,607円	（ 915,916,000円）
翌年度繰越額	23,094,958円	（ 7,920,000円）
不用額	5,840,435円	（ 43,327,135円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	２３，０９４，９５８円
長寿命化改修設計事業（石野交流館・出張所）	１，８７９，９００円
長寿命化改修事業（猿投北交流館外３施設）	１８，７２６，０００円
石野交流館電話機器取得事業	２，４８９，０５８円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　交流館事務費【地域交流課】　２４，９４０，７５８円
2　交流館施設管理運営費【地域交流課】　５８３，７６９，１７０円
指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団
施設利用者数（交流館全２８館）
ア　総利用者　延べ　２，５６４，３９８人
イ　うち講座参加者　延べ　３０，３１９人
ウ　うち図書利用者　延べ　２５８，９８９人
3　地域交流館施設管理運営費【小原支所】　１４９，６５０円
小原地域交流館管理運営費
4　地域交流館施設保全費【建築保全・住宅課】　５，５００，０００円

足助地域交流館施設保全費

足助交流館小荷物専用昇降機修繕を行いました。

5　交流館施設保全費【建築保全・住宅課】　６６，７１３，３２０円

梅坪台交流館空調機修繕等を行いました。

6　交流館施設整備費【地域交流課】　２４，３０２，７０９円

（１）　諸営繕工事　１９，０４０，１０９円

ア　井郷交流館手摺修繕等を行いました。

イ　梅坪台交流館で電話機更新を行いました。

ウ　朝日丘交流館ほか２２館でＬＥＤリース事業を開始しました。

（２）　駐車場整備費　１，１９９，２００円

（３）　長寿命化推進費　４，０６３，４００円

猿投北交流館ほか２館で受変電設備改修設計を行いました。

7　地域交流館施設整備費【小原支所・稲武支所】

１３，７３３，０００円

（１）　小原地域交流館長寿命化推進費　９，１７２，９００円

小原交流館で空調及び受変電設備改修設計を行いました。

（２）　稲武地域交流館長寿命化推進費　４，５６０，１００円

ア　稲武地域交流館で受変電設備改修設計を行いました。

イ　稲武地域交流館で受変電設備改修工事に取り掛かりました。

8　交流館活動費【地域交流課】　３，４３０，０００円

交流館ふれあいまつりに補助金を交付しました。

参加市民　９０，８９０人

開催地区　２８地区

◆特記事項

・長寿命化改修設計事業（石野交流館・出張所）において、事業の平準化を図るため、９月議会で１，９８０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【地域交流課】

・長寿命化改修事業（猿投北交流館外３施設）において、事業の平準化を図るため、９月議会で２１，７３４千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【地域交流課・稲武支所】

・石野交流館電話機器取得事業において、導入機器の選定等に時間を要し年度内の納入が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【地域交流課】

2- 2- 5目　挙母地域振興費

		（前年度）
当初予算額	274,435,000円	（ 244,727,000円）
予算現額	246,174,968円	（ 235,250,700円）
決算額	240,420,806円	（ 228,953,638円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	5,754,162円	（ 6,297,062円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　地域会議運営費【地域交流課】　７１１，４００円

地域の課題解決のための検討及び提言を行いました。

逢妻地域会議（委員１７人）９回開催

住民の防災意識向上に向けた取組や防災対策の仕組みづくりへの支援について市長へ提言を行いました。

朝日丘地域会議（委員１４人）１１回開催

住民の防災意識向上に向けた取組について市長へ提言を行いました。

梅坪台地域会議（委員９人）１０回開催

地域と子どものつながりに向けた取組について市長へ提言を行いました。

浄水地域会議（委員１０人）８回開催

団体や世代を超えた地域のつながりや地域における移動支援の取組について検討しました。

崇化館地域会議（委員１７人）１０回開催

地域と学生のつながりに向けた取組について検討しました。

豊南地域会議（委員１６人）８回開催

子どもと高齢者の居場所づくりに向けた取組について検討しました。

2　地域振興事業費【地域交流課】　１８５，９９３，４２８円

（１）　地域振興事務交付金

自治区が実施する環境美化、地域福祉等の活動の活性化を図り住みよい生活環境を築きました。

４８自治区　１４０，３３７，４２８円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

地区コミュニティ会議が実施する青少年育成、地域福祉、環境保全等の取組を通して、コミュニティの健全な発展を図るとともに、ふれあい豊かで住みよい地域社会を築きました。

６地区コミュニティ会議　２，２２０，０００円

逢妻、朝日丘、崇化館、豊南　各３８０千円
梅坪台　３６０千円
浄水　３４０千円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

自治区活動に使われる机、イス、ＡＥＤ等の備品の整備に対する補助を行い、自治区活動の推進を図りました。また、重点パソコン等の整備に対する補助を行い、自治区のデジタル化の推進を図りました。

５２件（うち重点パソコン等　９件）８，７５２，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

自治区に対し、防犯灯の設置を助成し、安全で安心な地域づくりを推進しました。

省エネ型　新設３５灯、更新２４６灯、移設２０灯
撤去６灯
ポール　設置等　３灯　９，８６２，０００円

（５）　放送施設整備費補助金（５／１０）

放送施設の整備に対する補助により、自治区活動の推進を図りました。

修理２件　２９６，０００円

（６）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

集会施設の整備に対する補助により、ふれあい豊かな住民自治の推進を図りました。

改修３２件、バリアフリー１件　２１，５５０，０００円

（７）　自主防災事業補助金（１／２）

自主防災会の育成及び活動を支援するため、防災マップの作成及び防災資機材の整備等に対し補助金を交付しました。

資機材２２件、防災マップ４件、防災士取得１件
修繕１件　２，９７６，０００円

３　地域課題解決事業費【地域交流課】　３，０９０，９１５円

地域会議等で集約した地域意見を基に、地域の活性化などに取り組み、地域課題の解決を図りました。

管理費　１６２，８００円
逢妻地域　安全・安心・ゆとりの交通安全事業　３２４，０９０円
梅坪台地域　梅坪台地域健康づくり事業　１６２，７４５円
浄水地域　多世代交流事業　１，８８６，２８０円
崇化館地域　地域と一体となった水害対策事業　５５５，０００円

4　西部コミュニティセンター費【地域交流課】５０，６２５，０６３円

西部コミュニティセンターの適切な維持管理に努めました
また、備品等を更新しました。
指定管理者　（株）豊田ほっとかん
施設利用者数　７９，７６８人

2- 2- 6目　高橋地域振興費

		（前年度）
当初予算額	203,746,000円	（ 184,741,000円）
予算現額	176,942,512円	（ 185,463,000円）
決算額	165,096,840円	（ 171,902,268円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	11,845,672円	（ 13,560,732円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　地域会議運営費【高橋支所】　５８７，４８９円

高橋地域会議（委員１７人）１２回開催
新たな地域課題解決事業について協議し、「高齢者支援及び担い手不足」並びに「旧今井貯木場施設の保存と活用」について提言しました。
益宮地域会議（委員１７人）１１回開催
新たな地域課題解決事業について協議し、「高齢者の孤立化対策や移動手段の確保」について提言しました。
美里地域会議（委員２０人）１３回開催
令和６年度の提言に基づき「美里地区高齢者実態調査」の調査方法を検討し、調査を実施しました。
高橋代表者会議（委員６人）　１回開催
各地域会議の委員構成及び新たな地域課題に関する提言について意見交換を実施しました。

2　支所・コミュニティセンター管理費【高橋支所・建築保全・住宅課】
７６，６４９，４０１円

自家用発電機設備等の修繕を行いました。
指定管理者　ホーメックス（株）
施設利用者数　１４４，７２０人

3　地域振興事業費【高橋支所】　８４，０９８，９１２円

（１）　地域振興事務交付金
４３自治区　６１，６１５，９１２円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

３地区コミュニティ会議　１，１２０，０００円
高橋・美里　各３８０千円
益宮　３６０千円

（３）自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）
２８件（うち重点パソコン等４件）　３，０６２，０００円

（４）防犯灯設置費補助金（定額）
省エネ型　新設１７灯、移設１２灯、更新７５灯
ポール設置３本　３，６５６，０００円

（５）放送施設整備費補助金（５／１０）
移設・増設・修理　１２件　１，３８１，０００円

（６）地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）
増築　１件
改修　２２件　１２，０５０，０００円

（７）自主防災事業補助金（１／２）
施設　２件
資機材１４件　１，２１４，０００円

４　地域課題解決事業費【高橋支所】　３，７６１，０３８円
管理費　２３１，５５０円
高橋地域　危険箇所みんなで共有　交通安全大作戦
３，１７３，９３５円
益宮地域　将来を見据えた「益宮地区まちづくり計画」策定
１１５，６３２円
美里地域　「みさと」の「みんな」で交流促進事業
５９，６７５円
３地域合同　高橋・美里・益富地区　ラリーフォトコンテスト
１８０，２４６円

2- 2- 7目　上郷地域振興費

		（前年度）
当初予算額	103,922,000円	（ 93,935,000円）
予算現額	91,039,000円	（ 83,330,000円）
決算額	89,602,459円	（ 82,051,508円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	1,436,541円	（ 1,278,492円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【上郷支所】　３２８，０２０円
上郷地域会議（委員１５人）９回開催

上郷地域における課題解決に向け、防災に関する解決策について協議を実施しました。

末野原地域会議（委員１６人）９回開催

末野原地域における課題解決に向け、防災に関する解決策について協議を実施しました。

２　支所・コミュニティセンター管理費【上郷支所】　７，７５０，８５１円

（１）　事務費　５２１，０７０円

（２）　施設管理費　７，１４１，０００円

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

上郷公園グラウンドの施設利用者数　９，９９０人

（３）　施設整備費　８８，７８１円

３　地域振興事業費【上郷支所】　７６，１９８，３２９円

（１）　地域振興事務交付金

２８自治区　４７，２１５，３２９円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

２地区コミュニティ会議　７４０，０００円

上郷　３６０千円　　末野原　３８０千円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

１９件（うち重点パソコン等５件）　４，９６８，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型　新設２２灯、更新２４灯、移設５灯、撤去６灯、ポール設置等６本　１，８５６，０００円

（５）　放送施設整備費補助金（５／１０）

移設３件、改修４件　１，６２３，０００円

（６）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

増築１件、改修１８件、バリアフリー３件　１７，３３４，０００円

（７）　自主防災事業補助金（１／２）

防災施設１件、資機材１６件　２，４６２，０００円

４　地域課題解決事業費【上郷支所】　５，１４７，８１０円

管理費　２，７０６，０００円

上郷・末野原地区史跡名勝案内看板４基を更新しました。

上郷地域　　地域で取り組む交通安全対策事業　４７７，７３０円

末野原地域　みんな安全・安心！思いやりのまち

末野原プロジェクト
１，９６４，０８０円

５　地域交通推進費【上郷支所】　１７７，４４９円

上郷・末野原地域の生活交通手段の確保及び利用促進を図るために上郷地域バス運営協議会を開催しました。

年間利用者数　４，３０８人

2- 2- 8目　高岡地域振興費

		（前年度）
当初予算額	347,195,000円	（ 322,676,000円）
予算現額	348,670,644円	（ 352,856,300円）
決算額	342,638,603円	（ 347,021,740円）
翌年度繰越額	1,980,000円	（ 0円）
不用額	4,052,041円	（ 5,834,560円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　１，９８０，０００円

長寿命化改修設計事業（猿投コミュニティセンター外１施設）　１，９８０，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【高岡支所】　５５５，０００円

前林地域会議（委員１９人）９回開催

地域活性化、交通安全対策、防災対策について協議し、事業内容の検討を行いました。

竜神地域会議（委員１７人）１１回開催

地域住民の防災及び交通安全意識の向上について協議し、事業内容の検討を行いました。

若園地域会議（委員１６人）１１回開催

高齢者と高齢者を取り巻く方々が安全・安心に暮らせるまちの実現について協議し、市長へ提言を行いました。

若林地域会議（委員１８人）１２回開催

防犯対策の充実とあいさつでつながりを深める地域づくりについて協議し、市長へ提言を行いました。

高岡代表者会議（委員８人）１回開催

次期地域会議委員の選考について協議を行いました。

２　支所・コミュニティセンター管理費【高岡支所・建築保全・住宅課】
７３，３６０，２２９円

指定管理者　アクティオ（株）

施設利用者数　１７２，９７８人

高岡コミュニティセンター湧水排水ポンプの修繕を行うなど、施設の適切な維持管理に努めました。

3　地域振興事業費【高岡支所】　１３６，９２４，０５９円

（１）　地域振興事務交付金

２６自治区　７３，９９９，０５９円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

４地区コミュニティ会議　１，４８０，０００円

前林、竜神　各３８０千円　若園、若林　各３６０千円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

２９件（うち重点パソコン２件）　６，４０２，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

ＬＥＤ　新設６０灯、更新２６２灯、移設１０灯　撤去１灯

従来型　移設１灯、撤去１灯

ポール　新設　１本　１１，５８４，０００円

（５）　放送施設整備費補助金（５／１０）

３件　６８６，０００円

（６）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

新築１件、改修１７件、バリアフリー２件

４１，４１７，０００円

（７）　自主防災事業補助金（１／２）

防災士資格８件、資機材等２１件　１，３５６，０００円

4　地域課題解決事業費【高岡支所】　２３，５０４，０１７円

管理費　１，１２１，５９６円

前林地域　安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」

４４，０００円

商業機能を起点とした地域の活性化促進事業

２，９３７，０００円

災害に強いまちづくり事業　１６９，５６０円

竜神地域　安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」

５２１，４００円

若園地域　若園交流館などを拠点とした地域交流、地域活動の拡大事業　８，２７８，４００円

若林地域　地域住民がつながる防災対策事業

２，３１３，１１１円

高美町桜並木の保存　２，４２０，０００円

安全・安心なまちづくり「通学路の交通安全対策」

３６３，０００円

４地域　高岡４地域防災力向上事業　３４０，８７０円

世界ラリー選手権を生かした交通安全啓発事業
４，２１７，１８０円
青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動
７７７，９００円

５　地域交通推進費【高岡支所】　１０８，２９５，２９８円

前林地域の通勤者、通学者、高齢者等の生活交通手段の確保を図るため、ふれあいバスの運行を行いました。

年間利用者数　２路線　１４３，１２１人

◆特記事項

長寿命化改修設計事業（高岡コミュニティセンター）において、事業の平準化を図るため、９月議会で１，９８０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【高岡支所】

2- 2- 9目　猿投地域振興費

		（前年度）
当初予算額	284,689,000円	（ 221,089,000円）
予算現額	253,381,905円	（ 197,345,000円）
決算額	239,799,432円	（ 188,817,135円）
翌年度繰越額	3,839,000円	（ 0円）
不用額	9,743,473円	（ 8,527,865円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　３，８３９，０００円

長寿命化改修設計事業（猿投コミュニティセンター外１施設）　３，８３９，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【猿投支所】　９４６，６１９円

地域の課題解決のための提言・検討を行いました。

井郷地域会議（委員１６人）１２回開催

「自治振興」の分野について地域課題の深掘りを行いました。

また、「交通安全」について、提言に向けた検討を行いました。

石野地域会議（委員１４人）１１回開催

「自治振興」の分野について地域課題の深堀りを行いました。

また、「高齢者」について、提言に向けた検討を行いました。

猿投地域会議（委員１７人）１０回開催

「交通安全・防犯対策」の２分野について地域課題の深掘りを行いました。また、「高齢者・交通安全」について、提言に向けた検討を行いました。

猿投台地域会議（委員２０人）１１回開催

「自治振興」の分野について地域課題の深掘りを行いました。
また、「防災対策」について、提言に向けた検討を行いました。
保見地域会議（委員１４人）９回開催
「交通安全」の分野について地域課題の深掘りを行いました。
猿投代表者会議（委員１０人）１回開催
諮問答申、提言、地域課題解決事業及びわくわく事業等の意見交換を実施しました。

２　支所・コミュニティセンター管理費【猿投支所・建築保全・住宅課】
１９，４５５，１４３円
（１）　事務費　８１１，０６５円
（２）　施設管理費　１４，３４２，２７５円
体育館・武道場の指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団
体育館・武道場の施設利用者数　３４，６９２人
（３）　施設保全費　３，１３９，５４３円
保見交流館音響設備修繕を行いました。
（４）　施設整備費　１，１６２，２６０円
ＬＥＤ照明のリースを行いました。

３　出張所管理費【猿投支所】　５５４，２８８円

４　地域振興事業費【猿投支所】　１８１，３０３，９０５円
（１）　地域振興事務交付金
５６自治区　６３，９８１，９０５円
（２）　地区コミュニティ推進交付金
５地区コミュニティ会議　１，７２０，０００円
井郷・猿投台　各３６０千円
猿投・保見　各３４０千円
石野　３２０千円
（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）
３４件（うち重点パソコン等５件）　４，２１６，０００円
（４）　防犯灯設置費補助金（定額）
省エネ型　新設５３灯、移設１５灯、更新５３灯、撤去３灯
ポール　修繕１本　４，１４１，０００円
（５）　放送施設整備費補助金（５／１０）
新設１件、移設１件、増設・修理５件　７９３，０００円
（６）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）
新築・建替新築２件、太陽光２件、改修２３件
バリアフリー１件、バリアフリー・改修１件
１０２，５８８，０００円
（７）　自主防災事業補助金（１／２）

資機材等３８件　３，８６４，０００円

5　地域課題解決事業費【猿投支所】　１９，２１２，６０４円

管理費　１，４１３，９９０円

井郷地域　井郷まちづくりプラン推進事業　２，０９５，８７６円

安全で安心して歩けるまちづくり事業　３６１，１９６円

石野地域　人と人をつなげる・駅舎と廃線敷を中心とした活性化事業　７，６１４，１４１円

猿投地域　さなげふれあいマルシェ☆スタート事業　４９９，０９０円

猿投台地域　矢作川河畔環境整備事業２，９３３，２７９円

防災・防犯活動を通じた多世代交流事業　３９８，８０５円

ゾーン３０区域内における安全性向上事業　２，３５３，３８７円

保見地域　アートを活かした保見地区　生活環境向上事業　１，４６８，６４０円

すこやか保見地区　つながる健康づくり事業　７４，２００円

6　地域交通推進費【猿投支所】　１６，９２０，９８９円

保見・石野地域の生活交通手段を確保するため、地域バスの運行を行いました。また、利用促進を図るため、地域バス運営協議会を開催しました。

保見地域バス年間利用者数　3路線　１，３５０人

石野地域バス年間利用者数　3路線　６７２人

7　地域活動推進費【猿投支所】　１，４０５，８８４円

地域が活用している三河線廃線敷の草刈りの実施と５地区スポーツ大会を開催しました。

◆特記事項

長寿命化改修設計事業（猿投コミュニティセンター）において、事業の平準化を図るため、９月議会で３，８３９千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【猿投支所】

2- 2-10目　松平地域振興費

			（前年度）
当初予算額	57,111,000円	（	59,489,000円）
予算現額	36,476,755円	（	34,493,000円）
決算額	34,446,330円	（	32,367,272円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	2,030,425円	（	2,125,728円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　地域会議運営費【松平支所】　１２８，６４０円

松平地域会議（委員１６人）１０回開催

「第２次松平地域まちづくり構想」に基づき、こどもの施策と鳥獣害に関して提言を行いました。

2　支所・コミュニティセンター管理費【松平支所】　１，５３０，６４９円

施設の適正な維持管理を行いました。

3　地域振興事業費【松平支所】　１９，８４１，６４９円

（１）　地域振興事務交付金

２２自治区　１５，２２８，６４９円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

松平地区コミュニティ会議　３４０，０００円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

１１件（うち重点パソコン等1件）　８５４，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型　新設８灯、移設３灯、更新１５灯

ポール　設置４本、撤去１本　９７１，０００円

（５）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

改修　６件　１，４４０，０００円

（６）　自主防災事業補助金（１／２）

資機材１４件　１，００８，０００円

4　地域課題解決事業費【松平支所】　１２，９４５，３９２円

管理費　３５２，１１２円

地域ぐるみの子育て事業　２６３，２８２円

松平移住定住促進事業　３３４，２５６円

歴史・文化の継承事業　５４９，８９０円

松平地域防災事業　３３５，８５２円

支障木の伐採支援事業　１１，１１０，０００円

2款　総務費

2- 2-11目　藤岡地域振興費

			（前年度）
当初予算額	245,632,000円	（	244,137,000円）
予算現額	242,405,000円	（	226,021,000円）
決算額	231,436,643円	（	214,307,900円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	10,968,357円	（	11,713,100円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　地域会議運営費【藤岡支所】　４６０，９３０円

藤岡地域会議　（委員１６人）１１回開催

「藤岡地区まちづくりビジョン」の改正を行いました。

藤岡南地域会議（委員１６人）１１回開催

「藤岡南地区まちづくりビジョン」の改正を行いました。

藤岡代表者会議（委員８人）１回開催

次期地域会議委員の選考について協議を行いました。

2　支所管理費【藤岡支所】　１５，１９９，１４８円

（１）　事務費　１，２２３，６０８円

（２）　施設管理費　９，３５５，５４０円

（３）　施設整備費　４，６２０，０００円

藤岡コミュニティ広場照明設備の修繕を行いました。

3　地域振興事業費【藤岡支所】　４０，６２０，８９５円

（１）　地域振興事務交付金

２４自治区　２５，１４８，８９５円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

２地区コミュニティ会議　６８０，０００円

藤岡・藤岡南　各３４０千円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

１９件（うち重点パソコン等６件）　２，４２５，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型　新設４１灯、移設２灯、更新１１５灯、撤去１灯

従来型　撤去２灯

ポール　設置２本、撤去２本　５，７０５，０００円

（５）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

改修８件、耐震補強１件　４，９００，０００円

（６）　自主防災事業補助金（１／２）

防災施設１件、資機材１３件　１，７６２，０００円

4　地域課題解決事業費【藤岡支所】　２９，４７８，１４８円

管理費　５５０，６８３円
藤岡地域　安心・安全なまちづくり事業　１９４，８７１円
藤岡南地域　多世代交流拠点「ふじなんＢＡＳＥ」発掘事業
９４，３７４円
２地域　健康づくり事業　４６５，５００円
石畳ふれあい広場魅力向上事業
３，７４２，２３４円
「自慢したいまち」藤岡の魅力発掘・発信事業
４，６６７，２０１円
ふじの回廊周辺活性化事業
１０，０３５，９８５円
支障木伐採事業　９，７２７，３００円

5　地域交通推進費【藤岡支所】　７５，２３０，６１３円

藤岡地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バス３路線の運行を行いました。また、藤岡地域バス運営協議会を３回開催し、ダイヤ改正を行いました。

年間利用者数　３路線　３０，９２５人

6　地域活動推進費【藤岡支所】　１７，８６４，０００円

地域観光協会補助金（定額）

藤岡地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、藤岡観光協会が行う観光事業を支援しました。

飯野川桜ライトアップ	４月１日～６日	５，４５０人
ふじまつり	４月１９日～５月５日	２７，３８８人
ふじおか夏まつり	７月５日	３，５００人
ふじおか紅葉まつり	１１月２１日～２３日	６２，８００人

7　一般観光施設費【藤岡支所】　７，５０７，８７６円

（１）　施設管理費　６，４７６，７３６円

観光施設の適切な維持管理に努めました。

管理施設　ふじの回廊、城ケ根山展望台、天狗岩展望台、上川口公衆便所、東海自然歩道、木瀬散策路休憩所

（２）　施設整備費　１，０３１，１４０円

ふじの回廊ふじ棚腕木の修繕を行いました。

8　石畳ふれあい広場施設費【藤岡支所・建築保全・住宅課】　１９，９７６，３６８円

（１）　施設管理費　１０，８７７，３８８円

指定管理者　藤岡石畳地区地域づくり協議会

施設利用者数　４４，９３４人

（２）　施設保全費　９，０２０，０００円

石畳ふれあい広場ろ過ユニットほか更新修繕を行いました。

（３）　施設整備費　７８，９８０円

９　藤岡ふれあいの館費【藤岡支所】　２５，０９８，６６５円

管理運営費　２５，０９８，６６５円

指定管理者　ホーメックス（株）

施設利用者数　３８，５１９人

2- 2-12目　小原地域振興費

		（前年度）
当初予算額	218,371,000円	（ 255,968,000円）
予算現額	287,812,000円	（ 309,009,000円）
決算額	252,953,110円	（ 214,588,341円）
翌年度繰越額	0円	（ 82,128,000円）
不用額	34,858,890円	（ 12,292,659円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【小原支所】　６２２，９８０円

小原地域会議（委員１８人）１１回開催

まちづくり計画「第２期おばらみらいプラン」の具現化について検討を行いました。また、地域課題解決事業の評価を行いました。

２　支所管理費【小原支所】　１６，４５４，８７９円

（１）　事務費　３，４８８，７０１円

（２）　施設管理費　１２，６６９，７０６円

（３）　施設整備費　２９６，４７２円

ＬＥＤ化を推進しました。

３　地域振興事業費【小原支所】　１４，５６７，６９８円

（１）　地域振興事務交付金

１２自治区　９，１００，６９８円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

小原地区コミュニティ会議　３２０，０００円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

備品購入２件　２９０，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型　新設１６灯、更新１９灯

ポール　新設３本　１，３１５，０００円

（５）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

改修５件　３，２４１，０００円

（６）　自主防災事業補助金（１／２）

資機材等７件　３０１，０００円

４　地域課題解決事業費【小原支所】　１７，４８８，５５７円

管理費　９９，０００円

まちづくりリーダー育成事業　１００，０００円

定住促進サポート事業　９６７，４７７円

小原のショーケースづくり事業　２，０００，０００円

高齢者を地域で支える体制づくり　２２６，５９５円

耕作放棄地整備支援事業　９２６，７４０円

おばらマルシェ創出事業　１２３，７５０円

四季桜・紅葉の育成体制の構築事業　１，８４４，３３５円

市場城跡活用事業　１，５２０，６６０円

生活道路環境整備推進事業　９，６８０，０００円

５　地域交通推進費【小原支所】　２６，１２１，６２３円

小原地区の生活交通手段の確保のため、おばら桜バスをエリアデマンド方式により運行しました。また、おばら桜バス利用促進会を１回開催し、運行内容などを検討しました。

運行日数　２４３日（平日５日間運行　タクシー車両２台）

利用者数　３，８０８人

６　観光交流推進費【小原支所】　１６６，９１６円

川見四季桜の里に設置した和紙原料展示畑を適正管理しました。

７　地域活動推進費【小原支所】　２０，６７０，０００円

地域観光協会補助金（定額）

四季桜まつり期間における来訪者受入の取組のほか、小原観光協会が行う観光事業を支援しました。

四季桜まつり期間　来訪者数　４３，９９５人（推計）

８　一般観光施設費【小原支所】　８，３２７，６６９円

（１）　施設管理費　８，２７９，０４９円

管理施設　小原ふれあい公園、四季桜公園、小原親水公園、平畑公衆便所、樽俣公衆便所、簗平公衆便所、有平橋公衆便所、上仁木公衆便所、川見公衆便所、川見駐車場、上仁木駐車場、川見さくら広場

（２）　施設整備費　４８，６２０円

ＬＥＤ化を推進しました。

９　定住推進費【小原支所】　３，３７３，５６４円

移住定住の促進を目的とした利活用を図るため、小原支所多目的用地の測量、地目変更を行いました。

１０　小原和紙のふるさと費【小原支所】　８７，９９０，００５円

豊田小原和紙工芸を世界に向けて情報発信し、地域文化の向上と

発展に資する事業を実施しました。

（１）　施設管理費　２９，９０２，６７０円

施設来場者数　２３，０４８人

紙漉き体験者数　３，７９９人

（２）　施設整備費　３６，４４３，８３６円

大雨により被災した池の護岸土砂崩れの修繕及び給水ポンプ室解体に伴う河川護岸工事を実施しました。また、ＬＥＤ化を推進しました。

（３）　展覧会開催費　１，４６７，４００円

子ども和紙作品展などの展覧会を５回開催しました。

小原和紙美術館観覧者数　５，４３７人

（４）　小原和紙育成事業費　７，２０３，１１８円

小原地区の子どもによる和紙作品制作を実施しました。

参加者　１５３人

伝統的和紙漉きと豊田小原和紙工芸技術講習を実施し、後継者の育成に努めたほか、和紙原料の地産化を図りました。

（５）　小原和紙振興費　１２，９７２，９８１円

「和紙良いフェスタ２０２５」を開催するとともに、市内外のイベントに出展し、豊田小原和紙のＰＲを図りました。

和紙良いフェスタ参加者　１，２００人

カンゾカシキ（コウゾ収穫と皮剝）　参加者　９８人

豊田小原和紙工芸作品購入　４点

藤井達吉作品額装　７点

ＯＢＡＲＡ　ＰＡＰＥＲ　ＳＣＡＰＥ　２０２５を和紙とうるしの芸術祭プレイベントとして実施しました。

高岡地区　六鹿会館でのアウトリーチ企画展開催　４１３人

市内交流館（２０館）での作品展示、ワークショップ実施　２８，０８０人

小原和紙美術館企画展　２回開催

和紙漉きの技術で繊維系廃棄物を芸術素材として活用する共同研究を愛知県立芸術大学と行い、成果発表展を開催しました。

豊田市博物館での成果発表展観覧者数　２３，９００人

１１　四季の回廊費【小原支所】　５０，２０４，８２３円

（１）　施設管理費　８，３５２，０２３円

川見四季桜の里の管理委託や、川見さくら山・鳥屋平工房跡地の草刈等を行い、施設を適正に管理しました。

（２）　施設整備費　４１，８５２，８００円

大雨により被災した雑敷里山林の復旧修繕や、川見四季桜の里

の案内看板の製作を実施しました。

１２　北部生活改善センター費【小原支所】　２，２６５，８４８円

（１）　管理運営費　２，１５２，９００円

指定管理者　小原北部開発推進協議会

施設利用者数　１，８９９人

（２）　施設整備費　１１２，９４８円

ＬＥＤ化を推進しました。

１３　四季桜まつり渋滞対策費【小原支所】　３，４７８，５４８円

四季桜まつり期間中に、国道４１９号の渋滞対策を行うことで沿線住民の生活や企業活動への影響の緩和を図りました。

１４　小原歌舞伎伝承活動負担金【小原支所】　１，２２０，０００円

年２回の定期公演への補助金交付、各交流館やイベントへの出張講座、小原歌舞伎保存会発足５０周年記念誌の作成等、小原歌舞伎の普及及び人材育成を目的とする小原歌舞伎保存会の活動を支援しました。

2- 2-13目　足助地域振興費

		（前年度）
当初予算額	562,408,000円	（ 545,305,000円）
予算現額	549,781,000円	（ 533,327,000円）
決算額	532,254,387円	（ 475,302,006円）
翌年度繰越額	1,588,400円	（ 22,550,000円）
不用額	15,938,213円	（ 35,474,994円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　１，５８８，４００円

追分交差点横公衆便所解体設計事業　１，５８８，４００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【足助支所】　２３７，０００円

足助地域会議（委員１４人）９回開催（３分科会３０回開催）

地域課題の解決に向けて、地域会議・分科会で検討を行いました。

２　支所管理費【足助支所】　１５，７４６，３８８円

（１）　事務費　１，９０２，０８８円

（２）　施設管理費　１３，８４４，３００円

３　地域振興事業費【足助支所】　２３，９６１，８４２円

（１）　地域振興事務交付金

１４自治区　１５，６９２，８４２円

（２）　地区コミュニティ推進交付金
　　足助地区コミュニティ会議　　３４０，０００円
（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）
　　７件（うち重点パソコン０件）　　５７３，０００円
（４）　防犯灯設置費補助金（定額）
　　省エネ型　新設１３灯、移設０灯、更新４灯
　　ポール　　新設　４本、撤去２本　　６９４，０００円
（５）　放送施設整備費補助金（５／１０）
　　３件　　１４７，０００円
（６）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）
　　改修・バリアフリー等　１７件　　５，３４４，０００円
（７）　自主防災事業補助金（１／２）
　　防災、資機材　６件　　７７１，０００円
（８）　財産区まちづくり支援交付金
　　４００，０００円

４　地域課題解決事業費【足助支所】　　３４，９２８，６２６円
（１）地域自治振興費　　１３，９８５，８００円
　　森と緑の里山づくり推進事業
（２）地域定住対策費　　３，７３２，１２６円
　　空き家の提供支援による定住促進事業
　　あすけだよりによるＵターン促進事業
　　子どもの遊び場創設事業
　　放課後児童クラブ利用支援事業
（３）地域観光交流費　　１２，０３０，７００円
　　足助の町並みを活用した地域活性化事業
（４）地域防災対策費　　４，１８０，０００円
　　足助地区自主防災力向上事業
（５）足助地区空き家店舗活用補助金（８／１０）
　　１，０００，０００円

５　地域活動推進費【足助支所】　　１４１，３０７，１１４円
（１）　観光まちづくり事業推進費　　１９，７００円
　　旧田口家住宅修繕・活用事業者募集の公募型プロポーザルを実施しました。
（２）　足助スクールバス運行費　　６８，６０６，７３１円
　　スクールバスを運行し、遠距離に居住する児童・生徒等の通学を支援しました。
　　スクールバス利用児童・生徒実数　１１４人
（３）　足助地域バス運行費　　４５，９４１，６２８円

足助地域バス（あいま～る）を運行し、移動が困難な地区に居住する高齢者等の生活交通を確保しました。

年間利用者数　３，７１６人

（４）　地域観光協会補助金（定額）　２２，７３７，７８１円

足助地区の観光客の誘致及び地域活性化のため、豊田市足助観光協会が行う観光事業に対し補助しました

香嵐渓もみじまつり　１１月１日～３０日

約５７０，０００人

中馬のおひなさん　２月１４日～３月８日

約１７，４１２人

（５）　定住促進費　３１２，４００円

移住定住を促進するための候補地の草刈を実施しました。

（６）　中学校生徒通学費補助金（１０／１０）２，２９１，３６０円

通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期代を補助しました（名鉄バス利用）。

生徒数　１２人

（７）　中学校生徒通学支援費　７１２，８００円

通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期券を配付しました（おいでんバス利用）。

生徒数　１５人

（８）　山村地域高校機能維持活動推進費　６８４，７１４円

足助高等学校の魅力化を支援するため、地域団体等を中心に構成する足助高等学校運営協議会に対し負担金を支出しました。

６　一般観光施設費【足助支所】　３９，１８６，１１０円

（１）　施設管理費　９，１８９，７７９円

観光施設の適切な維持管理に努めました。

管理施設

公衆便所　５か所（追分・藤ノ木・伊勢神・本町・陣屋）

一般観光施設　３か所（東海自然歩道・鈴木正三史跡公園・旧田口家住宅）

指定管理施設　２か所

ア　田町活性化施設

指定管理者　田町自治会

イ　西町活性化施設

指定管理者　（有）あすけ町づくり工房

（２）　施設整備費　２９，９９６，３３１円

あゆみ橋の修繕等を行いました。

７　香嵐渓費【足助支所・建築保全・住宅課】１９１，３１４，８６９円

（１）　施設管理費　　１２８，４６２，９２５円

香嵐渓園地及び園地内施設について適切な維持管理に努めました。

指定管理者　（株）三州足助公社

駐車場利用台数　小型　　１０９，４３３台

大型　　１，６０２台

足助屋敷入館者数　　４１，６８５人

足助村利用者数　　４，０８４人

（２）　施設保全費　　１５，０９１，３１９円

香嵐渓内施設の土蔵瓦屋根修繕を行いました。

（３）　施設整備費　　２３，９３９，０２５円

三州足助屋敷の茅葺き屋根修繕を行いました。

（４）　再整備費　　２３，８２１，６００円

香嵐渓を観光資源として健全に保全していくため、もみじの育成に支障のあるスギ等の除伐を実施しました。

８　百年草費【足助支所】　　７１，００２，４３８円

管理運営費　　７１，００２，４３８円

指定管理者　　（株）三州足助公社

施設利用者数　宿泊１，６６７人　入浴１５，０４４人

９　里山耕費【足助支所】　　１４，５０３，０００円

施設管理費　　１４，５０３，０００円

「里山くらし体験館　すげの里」について適切な維持管理に努めました。

延べ来館者　　２，８２２人

うち簡易宿泊利用者　　４４３人

１０　足助観光施設整備基金積立金【足助支所】　　６７，０００円

香嵐渓産間伐材活用パートナーシップ事業における分配金を積み立てました。

◆特記事項

追分交差点横公衆便所解体設計事業において、事業の平準化を図るため、９月議会で１，７９０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【足助支所】

2- 2-14目　下山地域振興費

			（前年度）
当初予算額	241,968,000円	（	495,357,000円）
予算現額	224,661,000円	（	491,141,000円）
決算額	217,384,172円	（	475,560,603円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	7,276,828円	（	15,580,397円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　地域会議運営費【下山支所】　１４９，０００円

下山地域会議（委員１４人）　１２回開催

下山地域における課題解決に向け、「耕作放棄地に対する農地保全」及び「持続的な地域社会づくり」に関する必要な取組について、市長へ２件の提言を行いました。

2　支所管理費【下山支所・建築保全・住宅課】３１，０５３，２５６円

（１）　事務費　７６８，７７１円

（２）　施設管理費　２０，００６，７７８円

（３）　施設保全費　２，５３０，０００円

地下タンクライニング修繕を行いました。

（４）　施設整備費　７，７４７，７０７円

ＬＥＤ化の推進及び電話設備の更新等を行いました。

3　地域振興事業費【下山支所】　１６，９４１，２６７円

（１）　地域振興事務交付金

７自治区　９，１６７，２６７円

（２）　地区コミュニティ推進交付金

下山地区コミュニティ会議　３２０，０００円

（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）

備品　３件　５０４，０００円

（４）　防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型　新設５５灯、更新６３灯

ポール　新設　４本　４，０１５，０００円

（５）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）

改修　７件　２，１５９，０００円

（６）　自主防災事業補助金（１／２）

防災倉庫１件、資機材５件　７７６，０００円

4　地域課題解決事業費【下山支所】　２３，７７４，３６４円

管理費　１０１，９００円

しもやまスマイルプラン推進事業　２，９２６，０００円

しもやま魅力発見事業　１，６７７，３９４円
世界ラリー選手権を生かした安心安全なまちづくり推進事業
９６９，９９９円
しもやま住んでみりん定住促進事業　２，１６７，０００円
しもやま観光戦略プラン推進事業　６，４９４，０７１円
下山地区支障木伐採事業　９，４３８，０００円

5　地域交通推進費【下山支所】　３６，９６０，５３６円
地域バス利用者数　９，６４１人

6　地域活動推進費【下山支所】　１６，１５４，４１２円
（１）　定住促進費　１５４，４１２円
２戸２戸作戦宅地分譲事業のＰＲを行いました。
（２）　地域観光協会補助金（定額）　１６，０００，０００円
下山地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、豊田市しもやま観光協会が行う観光事業を支援しました。

産業フェスタ＆鯉恋フェスタ	４月	参加者	１，５００人
レンタサイクル	５～１２月	参加者	２８人
しもやま三河湖花火	１０月	参加者	１，５００人
三河高原アドベンチャー	１０～１１月	参加者	３５０人
しもやまフォトコンテスト		応募数	１７７点

7　観光交流推進費【下山支所】　１０，８３３，７８０円
ラリージャパン２０２５及び豊田しもやまラリーに合わせたイベントの開催など、地域を盛り上げる取組を行いました。

8　一般観光施設費【下山支所】　９０９，７００円
屋外広告物の安全点検を行いました。

9　下山基幹集落センター費【下山支所】　３，５１５，５９２円
（１）　管理運営費　３，０７７，０００円
指定管理者　（公社）豊田市シルバー人材センター
施設利用者数　７，２９９人
（２）　施設整備費　４３８，５９２円
ＬＥＤ化を推進しました。

１０　下山憩の家費【下山支所】　７，２１５，１３７円
（１）　管理運営費　７，００１，０００円
指定管理者　（公社）豊田市シルバー人材センター
施設利用者数　２，９７０人
（２）　施設整備費　２１４，１３７円
ＬＥＤ化を推進しました。

１１　香恋の里費【下山支所・建築保全・住宅課】
６６，９２５，９５３円

2款　総務費

（１）　施設管理費　　６５，５３２，２５３円

管理施設　香恋の館、手づくり工房山遊里、
三河湖観光センター、
下山ふるさと水と土ふれあい公園

指定管理者　（株）香恋の里

施設利用者数　香恋の館　　６５，７６０人
手づくり工房山遊里　５２，３９８人
ふれあい公園　３２，８８０人
三河湖観光センター　４５，８１３人

（２）　施設保全費　　１，３９３，７００円

手づくり工房山遊里の電気設備機器の更新を行いました。

１２　三河湖観光費【下山支所】　　２，９５１，１７５円

三河湖園地の適切な維持管理に努めました。

施設利用者数　　１２，６２７人

2- 2-15目　旭地域振興費

			（前年度）
当初予算額	277,459,000円	（	702,366,000円）
予算現額	271,788,000円	（	694,810,000円）
決算額	250,506,910円	（	676,547,640円）
翌年度繰越額	2,028,000円	（	0円）
不用額	19,253,090円	（	18,262,360円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　　２，０２８，０００円
旭高原元気村車両取得事業　　２，０２８，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【旭支所】　　１５０，０００円

旭地域会議（委員１３人）１２回開催

第２次旭地区まちづくり計画・後期計画を策定しました。

２　支所管理費【旭支所・建築保全・住宅課】　１１，２８１，６２８円

（１）　事務費　　１，０９５，８０５円

（２）　施設管理費　　８，４２３，８８５円

（３）　施設保全費　　１，４７０，３９４円

旭支所庁舎のトイレ換気扇取替修繕を行いました。

（４）　施設整備費　　２９１，５４４円

ＬＥＤ化を推進しました。

３　地域振興事業費【旭支所】　　８，３２２，００９円

（１）　地域振興事務交付金
　　５自治区　５，８８２，００９円
（２）　地区コミュニティ推進交付金
　　旭地区コミュニティ会議　３２０，０００円
（３）　自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）
　　１件　３９，０００円
（４）　防犯灯設置費補助金（定額）
　　省エネ型　新設２３灯、更新５灯　９６２，０００円
（５）　地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）
　　改修３件　３５３，０００円
（６）　自主防災事業補助金（１／２）
　　防災マップ５件、防災倉庫２件
　　避難・救助用具１件　７６６，０００円

4　地域課題解決事業費【旭支所】　２２，０９５，６９４円
　旭木の駅プロジェクト推進事業　４５０，０００円
　定住促進事業　１，０３２，０８０円
　あさひ高齢者見守り事業　６０，５００円
　地域資源を活かした「花の里づくり事業」
　　３，４５１，３５９円
　通行支障木の伐採支援事業　１３，８６０，０００円
　ツキノワグマ対策事業　３，１２２，６５８円
　里山の景観保全支援事業　１１９，０９７円

5　観光交流推進費【旭支所】　１０，２７８，４０８円
　観光拠点周辺の渋滞対策として、警備員による誘導や案内看板等を設置したほか、ラリージャパン２０２５の開催に合わせて、地域を盛り上げるためのイベント等を実施しました。

6　地域活動推進費【旭支所】　４７，６５８，８８４円
（１）　地域観光協会補助金（定額）　１１，４０１，２６５円
　旭地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、旭観光協会が行う観光事業を支援しました。
　上中のしだれ桃　３月２９日～４月１３日　約４，４００人
　小渡夢かけ風鈴　７月２０日～８月３１日　約１５，０００人
　旭やまびこ花火大会　８月１５日　約２，３００人
　笹戸温泉じねんじょ・もみじまつり　１１月２２日、２３日
　　約２，１００人
（２）　旭バス運行費　３６，２５７，６１９円
　旭地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスを運行しました。

地域バス利用者数　１，６６２人

7　一般観光施設費【旭支所】　４，５８７，８６０円

（１）　施設管理費　４，５４８，１７２円

東海自然歩道・矢作ダム周辺施設・笹戸公園・公衆便所の清掃や草刈りを実施し適切な維持管理に努めました。

（２）　施設整備費　３９，６８８円

ＬＥＤ化を推進しました。

8　旭高原自然活用村費【旭支所】　１１７，１５４，００６円

（１）　管理運営費　１１６，８９０，００６円

指定管理者　（株）旭高原

施設利用者数　１１６，７３５人（愛知県自然の家含む。）

（２）　施設整備費　２６４，０００円

おむつ交換台を交換しました。

9　笹戸生活改善センター費【旭支所】　７４４，０００円

笹戸生活改善センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者　笹戸自治区

施設利用者数　３，６５９人

１０　つくば工房費【旭支所】　４２７，９００円

農林水産物処理加工施設「つくば工房」について適切な維持管理に努めました。

１１　旭農林会館費【旭支所・建築保全・住宅課】５，０２７，９５６円

（１）　管理運営費　３，８７４，３２０円

指定管理者　旭観光協会

施設利用者数　２，２６６人

（２）　施設保全費　１，０１２，０００円

浄化槽蓋取替修繕を行いました。

（３）　施設整備費　１４１，６３６円

ＬＥＤ化を推進しました。

１２　浅野会館費【旭支所】　１，５４７，７００円

浅野生活改善センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者　浅野自治区

施設利用者数　１，２２８人

１３　敷島農村環境改善センター費【旭支所】　１，４２４，８００円

敷島農村環境改善センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者　敷島自治区

施設利用者数　７，１１８人

１４　築羽農村環境改善センター費【旭支所】　１，００９，３００円

築羽農村環境改善センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者　築羽自治区

施設利用者数　３，６４７人

１５　城山森林公園費【旭支所】　８０８，５００円

森林環境の学習の場としての「城山森林公園」について適切な維持管理に努めました。

１６　介護予防拠点施設老人憩の家あさひ荘費　８，５２８，２６５円

【旭支所・建築保全・住宅課】

（１）　管理運営費　７，４２０，２５７円

指定管理者　敷島自治区加塩町内会

施設利用者数　３，９５１人

（２）　施設保全費　１，０５６，０００円

給湯器の更新を行いました。

（３）　施設整備費　５２，００８円

ＬＥＤ化を推進しました。

１７　里山林整備事業費【旭支所】　９，４６０，０００円

里山林を整備し、地域の交流拠点を築くための整備を行いました。

◆特記事項

旭高原元気村車両取得事業において、車両の製造に時間を要し、年度内の納入が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【旭支所】

2- 2-16目　稲武地域振興費

		（前年度）
当初予算額	429,917,000円	（ 346,194,000円）
予算現額	436,189,400円	（ 350,324,000円）
決算額	416,146,484円	（ 344,425,742円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	20,042,916円	（ 5,898,258円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　地域会議運営費【稲武支所】　１１５，８６７円

稲武地域会議（委員１４人）１２回開催

稲武地域のニーズに合った地域独自の「子どもの居場所」について、検討を行いました。

２　支所管理費【稲武支所・建築保全・住宅課】　３，９９２，０１５円

（１）事務費　１，１７２，１２１円
（２）施設管理費　１，３１２，８９４円
（３）施設保全費　１，５０７，０００円
支所北側出入口床修繕を行いました。
3　地域振興事業費【稲武支所】　４２，１３３，０３０円
（１）地域振興事務交付金
１３自治区　８，５６２，０３０円
（２）地区コミュニティ推進交付金
稲武地区コミュニティ会議　３２０，０００円
（３）自治区活動備品整備費補助金（１０／１０・５／１０）
３件（うち重点パソコン等１件）　１４１，０００円
（４）防犯灯設置費補助金（定額）　５５５，０００円
省エネ型　新設３灯、更新１１灯、移設１灯
ポール　設置２本、撤去２本
（５）地域集会施設整備費補助金（８／１０・５／１０）
改修３件　４１６，０００円
（６）財産区まちづくり支援交付金
８自治区　３２，１３９，０００円
4　地域課題解決事業費【稲武支所】　２３，０９５，１１７円
（１）管理費　３，７７９円
（２）地域定住対策費　７，１８０，９３８円
稲武移住定住促進事業　１，６６２，９３８円
いなぶラボ推進事業　５，５１８，０００円
（３）観光交流推進費
城山整備事業　５，４１２，０００円
（４）地域交通安全対策費
生活道路における支障木伐採事業　１０，４９８，４００円
5　観光交流推進費【稲武支所】　１２，１１０，０００円
ラリージャパン２０２５の開催に合わせて、地域を盛り上げるためのイベント等を実施しました。
6　地域活動推進費【稲武支所】　７３，７６１，６８４円
（１）地域観光協会補助金（定額）　１７，６７９，０００円
稲武地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、いなぶ観光協会が行う観光事業を支援しました。
ひな祭り　２月から４月上旬　約４，５００人
大井平公園もみじまつり　１１月　約４５，０００人
いなぶの四季を写そう写真大会　応募数１４６点
（２）稲武地域バス運行費　５３，３６４，２８４円

稲武地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスの運行とイベント開催時に合わせた利用促進活動を行いました。

年間利用者数　８，６９６人

（３）児童生徒通学支援費　１，１６６，４００円

遠距離通学者の利便を図るために、路線バス利用者に通学定期券を支給しました。

通学定期券支給者数　児童３７人　生徒６人

（４）三市ふれあい協定事業費　１，５５２，０００円

ふるさとふれあいウォーキング大会の開催及び名古屋市中学生の植樹体験事業を実施しました。

７　一般観光施設費【稲武支所】　１８，１２３，２０７円

（１）施設管理費　１４，３８３，２０７円

観光施設の適切な維持管理に努めました。

管理施設　水別広場・大井平公園・城山公園・押川大滝公園
名倉川遊歩道・どんぐりの森・道の駅モニュメント

（２）施設整備費　３，７４０，０００円

大井平公園のつり橋修繕を行いました。

８　どんぐりの里費【稲武支所・建築保全・住宅課】
１７０，０５４，０６０円

（１）管理運営費　１６４，１９０，５１０円

指定管理者　（株）どんぐりの里いなぶ

施設利用者数　どんぐりの湯　１１８，２９１人
どんぐり横丁　３７７，９６８人

（２）施設保全費　４，４００，０００円

どんぐりの湯浴槽循環ろ過装置更新修繕等を行いました。

（３）施設整備費　１，４６３，５５０円

老朽化した製氷機を更新しました。

９　稲武どんぐり工房費【稲武支所】　４５，２０４，５６２円

（１）管理運営費　１０，３０１，４６９円

山里体験プログラムをコーディネートし、体験型観光を推進しました。

指定管理者　いなぶ観光協会

施設利用者数　１２，２０８人

（２）施設整備費　３４，９０３，０９３円

老朽化した冷蔵庫の更新及びどんぐり工房にスロープ整備を行いました。

１０　帰農者滞在施設費【稲武支所】　６，４７０，７８８円

管理運営費

帰農者滞在施設の適切な維持管理及び農地の水捌け機能を回復する修繕を行いました。

１１　農林漁家高齢者センター費【稲武支所】　５，１４３，９３６円

（１）管理運営費　５，０８７，８８０円

農林漁家高齢者センターの適切な維持管理に努めました。

指定管理者　（公社）豊田市シルバー人材センター

施設利用者数　１，４０５人

（２）施設整備費　５６，０５６円

ＬＥＤ化を推進しました。

１２　面ノ木風力発電所費【稲武支所】　１５，９４２，２１８円

施設管理費

面ノ木風力発電施設の維持管理、撤去準備を行いました。

売電電力量　３１８，０４１ｋＷｈ

2- 3- 1目　税務総務費

		（前年度）
当初予算額	1,029,858,000円	（ 972,098,000円）
予算現額	1,054,624,000円	（ 1,015,857,000円）
決算額	1,051,427,786円	（ 985,662,567円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	3,196,214円	（ 30,194,433円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（固定資産評価審査委員会委員６人、一般職１１８人、非常勤一般職４４人）【市民税課・人事課】　１，０４６，２２５，１６１円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２，７３０，２００円

３　市民税税務事務費【市民税課】　１，８３６，５２２円

４　資産税税務事務費【資産税課】　６３５，９０３円

2- 3- 2目　賦課費

		（前年度）
当初予算額	703,687,000円	（ 774,207,000円）
予算現額	729,129,000円	（ 862,486,200円）
決算額	707,627,255円	（ 836,609,532円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	21,501,745円	（ 25,876,668円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　市民税等賦課事務費【市民税課】　２４２，４９１，９１５円

個人市民税納税義務者	２４０，５７９人
法人市民税納税義務者	８，７１４人
事業所税納税義務者	７１２人
申告相談受付	６，２３３人
不申告等調査	３，３２３件
扶養調査	１２，８４３件
法定資料箋調査	２，２４９件

＜その他の取組事業＞

自治体標準準拠システムを導入しました。

2　資産税等賦課事務費【資産税課】　３７１，４６６，０７０円

固定資産税納税義務者	
土　地	１３９，５７６人
家　屋	１２８，０６５人
償却資産	１２，５７１人
土地現況地目調査	１０，３４２件
土地路線調査	２６本
家屋調査（新増築等調査）	２，０３４件
〃　（取壊し調査）	１，６１９件
償却資産の実地調査等	５４１件

＜その他の取組事業＞

自治体標準準拠システムを導入しました。

3　軽自動車税賦課事務費【市民税課】　４４，６８９，７１２円

軽自動車税課税件数	１４１，１７０件
軽自動車申告等処理	５１，３４４件
軽自動車税未納分等調査	２９件

＜その他の取組事業＞

自治体標準準拠システムを導入しました。

4　電子申告システム推進費【市民税課】　４８，９７９，５５８円

エルタックス電子申告	３８，８５６件
国税連携データ	６８，９０１件

2- 3- 3目　徴収費

			（前年度）
当初予算額	603,004,000円	（	765,347,000円）
予算現額	592,610,000円	（	750,758,800円）
決算額	512,306,067円	（	642,540,687円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	80,303,933円	（	108,218,113円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　徴収事務費【債権管理課】　２２８，２２２，２３９円

（１）　現年滞繰合計収納率　目標９９．４１％　実績９９．４２％

滞納繰越分市税徴収額　目標　３．０億円　実績　２．４億円

（２）　口座振替加入率　４５．７１％

口座振替新規加入件数　８，６３９件

口座振替新規加入率　４．５８％

督促状、催告書発行件数　１７３，２０７件

（３）　電話等催告件数（委託）　６１，０６８件

返戻督促状処理件数（委託）　４，６１３件

差押件数（不動産、動産、債権、参加差押）２，０８１件

猶予件数（徴収、換価）　２件

＜その他の取組事業＞

自治体標準準拠システムを導入しました。

2　電子収納システム推進費【債権管理課】　４１，４１５，１１４円

コンビニ納付件数　３４８，１７７件

ＡＴＭ（ペイジー）納付件数　３，４７３件

インターネットバンク納付件数　７，５０１件

クレジットカード決済件数　２１，１１１件

スマートフォン決済件数　４８，６２９件

3　債権管理推進費【債権管理課】　３，７９０，６９３円

弁護士委任件数　１１４件

回収額　６，６４４，３１３円

4　過誤納還付金【債権管理課】　２３８，８７８，０２１円

税額更正、誤った納付による市税の還付等を４，３３３件執行しました。

2- 4- 1目　戸籍住民基本台帳費

		（前年度）
当初予算額	1,154,895,000円	（ 1,062,091,000円）
予算現額	1,223,653,000円	（ 1,053,235,000円）
決算額	1,174,778,977円	（ 961,255,941円）
翌年度繰越額	15,664,000円	（ 54,417,000円）
不用額	33,210,023円	（ 37,562,059円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	１５，６６４，０００円
戸籍システム標準準拠システム移行業務委託事業	３，４３２，０００円
住民記録システム改修事業	１１，１５４，０００円
コンビニ交付システム改修事業	１，０７８，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職５４人、非常勤一般職６２人）【人事課】
６７２，０３５，４４８円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　５，０６１，６２０円

3　戸籍住民基本台帳費【市民課】　４７８，４１３，３１９円

（１）　戸籍住民基本台帳事務費　２７２，３５８，７７９円

＜年間処理件数＞

戸籍届	１６，３９２件（送付分を含む。）
住民基本台帳異動処理	１１６，４７４件
印鑑登録	１３，８２９件
出入国在留管理庁連携処理	２７，０１５件
住民票の写し等発行	４６６，７２５件（公用・無料含む。）
税証明等発行	１０１，７７０件（公用・無料含む。）
臨時運行許可	１，５８９件
住民実態調査（消除件数）	１９件

＜参考＞　（３月３１日現在）

本籍数	１５３，８３５戸
本籍人口	３９２，１８６人
住民登録人口	４１４，３９３人
日本人	３９０，７５７人
外国人	２３，６３６人
住民登録世帯数	１９２，８７８世帯
日本人	１７９，００９世帯
外国人	１３，８６９世帯
印鑑登録者数	２７０，３８５人

＜その他の取組事業＞

・自治体標準準拠システムを導入しました。
・豊田浄水特定土地区画整理事業の換地処分（令和７年１０月１０日）に伴い、５，００４世帯、１１，３５６人の住所変更を実施しました。
・年度末、年度始めの市民窓口の混雑緩和と市民サービスの向上のため、南庁舎１階で休日臨時窓口を開設しました。
実施日及び受付件数
R　7．4．6　　４８５件
R　7．4．12　　３５４件
R　8．3．28　　４８６件
R　8．3．29　　３５０件
・豊田市オリジナル婚姻届を作成し、婚姻届を提出したカップルに記念品をプレゼントする結婚お祝い事業を実施しました。
記念品配付数（木製フォトフレーム）１，５４２個／年
・豊田市オリジナル和紙製フォトスタンドとクリアファイルを作成し、出生届を提出した方にプレゼントする出生お祝い事業を実施しました。
記念品配付数（和紙製フォトスタンド）２，４５７個／年

（２）　住民基本台帳ネットワークシステム管理費　４７，３９０，０９０円

＜年間処理件数＞
広域住民票交付　４１８件（３の（１）内の再掲）

（３）　個人番号カード交付事務費　１１５，３２１，５９１円

＜年間処理件数＞
個人番号カード交付（再交付・更新を含む）　７０，２６０件
公的個人認証発行　署名用　８１，８１５件
利用者証明用　５８，３６６件

＜参考＞　（３月３１日現在）
個人番号カード保有枚数　３５６，５３３枚
個人番号カード保有枚数率　８６．０％

＜その他の取組事業＞
・市民サービス向上のため、休日窓口を２７回開設しました。
個人番号カード交付　５，４６９件
個人番号カード申請　２３０件
・支所・出張所で出張申請窓口を１３回開設しました。
個人番号カード申請　２２７件
・委託業者による福祉施設等での出張申請窓口を１６施設で実施しました。

個人番号カード申請　１０５件

（４）　コンビニエンスストアにおける証明書交付推進費

４３，３７２，８５９円

全国のコンビニエンスストア等の店舗にて証明書交付サービスを実施しました。

コンビニ交付取扱事業者件数　５件

＜年間処理件数＞　（３の（１）内の再掲）

住民票の写し　６１，９７９件

印鑑登録証明書　４９，８９７件

課税証明書　７，８７１件

戸籍全部（個人）事項証明書　１０，７１１件

４　豊田市駅西口サービスセンター費【市民課】１９，２３８，５９０円

＜年間処理件数＞

住民票等発行　２２，８６８件（３の（１）内の再掲）

税証明等発行　５，３９６件（３の（１）内の再掲）

税等の収納　２，７７４件

県証紙等の売りさばき　２８，８５８件

来客数　３１，５３５人

◆特記事項

・戸籍システム標準準拠システム移行業務委託事業において、戸籍附票システムの一部機能の標準化移行時期が国の認可を受けて延期されたことから、１２月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【市民課】

・住民記録システム改修事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【市民課】

・コンビニ交付システムの改修事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【市民課】

2- 5- 1目　選挙管理委員会費

		（前年度）
当初予算額	2,529,000円	（2,305,000円）
予算現額	2,748,467円	（2,030,000円）
決算額	2,502,788円	（1,913,347円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	245,679円	（116,653円）

2款　総務費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（選挙管理委員４人）【選挙管理委員会事務局】

９９８，７００円

2　選挙管理委員会事務費【選挙管理委員会事務局】

１，４４８，１７６円

（１）　委員会の開催（開催回数１７回）

任期満了に伴う足助・稲武地区の１４財産区議会議員一般選挙を４月に、任期満了に伴う参議院議員通常選挙を７月に、解散に伴う衆議院議員総選挙を２月に執行しました。

（２）　選挙人名簿の登録

登録者数　３３３，０５７人（３月２日現在）

3　在外選挙人名簿登録事務費【選挙管理委員会事務局】５５，９１２円

登録者数　２４２人（３月２日現在）

2- 5- 2目　選挙啓発費

		（前年度）
当初予算額	602,000円	（541,000円）
予算現額	548,000円	（488,000円）
決算額	507,295円	（485,561円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	40,705円	（2,439円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　選挙啓発事務費【選挙管理委員会事務局】　５０７，２９５円

（１）　選挙出前トーク事業

職員による選挙出前トーク（選挙の話、模擬投票）を実施し、選挙に対する意識啓発を図りました。

小学校１８校　中学校１校　特別支援学校（高等部）１校

計２０校

（２）　啓発ポスター募集事業

市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象に募集を行い、表彰及び展示を行いました。

応募点数　１５２点　入選作品　３１点

（３）　啓発グッズの配布

付箋やカイロ等を購入し、交流館祭等に提供しました。

啓発用品支給　２６回

2- 5- 3目　参議院議員通常選挙費

当初予算額	211,687,000円
予算現額	176,368,450円
決算額	176,368,450円
翌年度繰越額	0円
不用額	0円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（投票管理者１２７人、投票立会人２９４人、開票管理者１人、開票立会人１１人、期日前投票管理者１７３人、期日前投票立会人２１１人、非常勤一般職９人、投開票事務等職員）

【選挙管理委員会事務局】　６０，７２０，７８６円

2　参議院議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】

１１５，６４７，６６４円

任期満了による参議院議員通常選挙を７月２０日に、事務従事者９５１人によって行いました。１２６か所の投票所に加え、当日の指定投票所によらず投票することができる共通投票所を開設しました。また、おいでんバスを活用した移動期日前投票所を市内自動車学校２校と足助病院に開設しました。

開票については、当日午後９時からスカイホール豊田にて、事務従事者５０６人によって行い、選挙区が午前１時に、比例代表が午前５時５０分に終了しました。

	（選挙区）	（比例代表）
当日の有権者数	３３３，６３５人	３３３，６３５人
投票者数	２２４，３９３人	２２４，３８８人
投票率	６７．２６％	６７．２６％

2- 5- 4目　財産区議会議員選挙費

当初予算額	4,436,000円
予算現額	184,000円
決算額	175,220円
翌年度繰越額	0円
不用額	8,780円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（選挙長１４人、選挙立会人４２人）

【選挙管理委員会事務局】　１６６，６００円

2　財産区議会議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】　８，６２０円

任期満了による財産区議会議員一般選挙を、令和７年４月２２日に告示しましたが、いずれも立候補者が定数を超えなかったため、無投票でした。

財産区名	定数	立候補者	当選人	
稲橋	６人	６人	６人	稲武地区
中当	６人	６人	６人	稲武地区
夏焼	６人	６人	６人	稲武地区
野入	６人	６人	６人	稲武地区
大野瀬	６人	６人	６人	稲武地区
押山	６人	６人	６人	稲武地区
武節町	６人	６人	６人	稲武地区
桑原	６人	６人	６人	稲武地区
御所貝津	６人	６人	６人	稲武地区
川手	６人	６人	６人	稲武地区
黒田	６人	６人	６人	稲武地区
小田木	６人	６人	６人	稲武地区
明川	６人	６人	６人	足助地区
連谷	６人	６人	６人	足助地区

2- 5- 5目　衆議院議員総選挙費

当初予算額	0円
予算現額	148,817,065円
決算額	148,817,065円
翌年度繰越額	0円
不用額	0円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（投票管理者１２７人、投票立会人３００人、開票管理者１人、開票立会人７人、期日前投票管理者１３８人、期日前投票立会人１８５人、非常勤一般職９人、投開票事務等職員）

【選挙管理委員会事務局】　５５，２２２，６５５円

２　衆議院議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】

９３，５９４，４１０円

解散による衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査を２月８日に事務従事者９５１人によって行いました。１２６か所の投票所に加え、当日の指定投票所によらず投票することができる共通投票所を開設しました。また、水素燃料電池バス『ＳＯＲＡ』を活用した移動期日前投票所を市内自動車学校２校に開設しました。

開票については、当日午後９時から豊田市運動公園体育館にて、事務従事者５２８人によって行い、小選挙区が午前１時２５分に、比例代表が午前１時５５分に、国民審査が午前３時３０分に終了しました。

愛知県１１区

衆議院総選挙	（小選挙区）	（比例代表）
当日の有権者数	３３２，７０２人	３３２，７０２人
投票者数	２２１，６４８人	２２１，６４８人
投票率	６６．６２％	６６．６２％

最高裁判所裁判官国民審査

当日の有権者数	３３２，７０２人
投票者数	２０３，７６６人
投票率	６１．２５％

2- 6- 1目　統計調査総務費

		（前年度）
当初予算額	949,000円	（955,000円）
予算現額	542,000円	（617,000円）
決算額	505,560円	（527,935円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	36,440円	（89,065円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　統計事務費【（総）庶務課】　１２１，０００円

２　統計書等発行費【（総）庶務課】　３８４，５６０円

（発行図書名）	（発行部数）
『豊田市統計書』	１００冊
『豊田市の人口』	５０冊

2- 6- 2目　基幹統計費

		（前年度）
当初予算額	257,373,000円	（23,967,000円）
予算現額	200,591,000円	（18,612,000円）
決算額	195,010,211円	（17,955,303円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	5,580,789円	（656,697円）

2款　総務費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（基幹統計調査指導員２９９人、
基幹統計調査調査員１，８１１人、非常勤一般職２０人、
基幹統計事務職員手当）
【（総）庶務課】　１７３，２８５，６７３円

2　基幹統計調査費【（総）庶務課】　２１，６７０，５３８円

（１）　国勢調査費　２１，５４４，２０５円
調査目的：国内の人口及び世帯の実態を把握する。
調査期日：令和７年１０月１日
調査対象：市内全世帯、２，９８４調査区
調査従事者数：指導員　２９９人、調査員１，９１１人

（２）　経済センサス活動調査費　１２６，３３３円
令和８年に実施する経済センサス活動調査の準備をしました。

3　統計調査員確保対策費【（総）庶務課】　５４，０００円
登録統計調査員１６６人

2- 7- 1目　監査委員費

			（前年度）
当初予算額	103,594,000円	（	100,545,000円）
予算現額	98,205,000円	（	101,586,000円）
決算額	97,582,238円	（	99,315,159円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	622,762円	（	2,270,841円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（監査委員４人、特別職１人、一般職８人）
【監査委員事務局・人事課】　９３，６８６，１１９円

2　監査事務費【監査委員事務局】　３，８９６，１１９円
・定期監査
部局監査
工事監査（技術士の協力を得て実施）
学校・こども園監査
・財政援助団体監査
・出資団体監査（公認会計士の協力を得て実施）
・指定管理者監査（公認会計士の協力を得て実施）
・例月出納検査
・決算等審査
・健全化判断比率等審査

・財産区の定期監査及び決算審査

・内部統制評価報告書審査

3款　民生費

		（前年度）
当初予算額	78,392,401,000円	（70,147,962,000円）
予算現額	82,463,700,454円	（77,899,457,746円）
決算額	79,343,008,545円	（75,298,033,169円）
翌年度繰越額	742,916,641円	（665,111,454円）
不用額	2,377,775,268円	（1,936,313,123円）

3- 1- 1目　社会福祉総務費

		（前年度）
当初予算額	8,513,708,000円	（8,502,972,000円）
予算現額	9,282,703,000円	（10,001,977,431円）
決算額	9,007,222,173円	（9,707,595,586円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	275,480,827円	（294,381,845円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（民生委員推薦会委員６人、社会福祉審議会委員５０人、一般職１０１人、非常勤一般職５９人）１，０７３，０５６，４６１円
【よりそい支援課・やすらぎ福祉総務課・人事課】

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　５，５８７，５５０円

3　社会福祉総務事務費【やすらぎ福祉総務課・よりそい支援課】　８７９，１１３円

4　地域福祉計画推進費【地域包括ケア企画課】　２，００２，０００円
第３次地域福祉計画を策定しました。

5　再犯防止推進計画推進費【地域包括ケア企画課】　１８８，７００円
再犯防止推進委員会を開催し、第２次計画における取組や委員会の今後の体制等について意見交換を実施しました。

6　社会福祉援護費【よりそい支援課・生活福祉課】　１１，５４０，８３８円
緊急的に保護を必要とする人の一時宿泊費、医療費、その他日用品費等や、引き取り手のない人の葬儀費用を支援しました。

7　指導監査費【やすらぎ福祉総務課】　３４４，８２８円
社会福祉法人の適正な運営を確認するため監査を実施しました。
許認可・届出受理件数
社会福祉法人・設立認可　０件
社会福祉法人・定款変更　４件
指導監査実施件数

社会福祉法人監査　　８法人（対象法人１８法人）

８　民生児童委員活動費【よりそい支援課】　　８８，０７３，２４０円

（１）　活動事務費　　７８，４３９，３００円

民生児童委員活動の充実を図るための指導や委員の資質向上のための研修事業を実施しました。また、民生児童委員及び地区協議会に対し、活動の推進を図るため費用弁償費等の支給を行いました。

（研修実績）

地区会長研修　　１回

新任委員研修　　９回

（２）　地区協議会活動助成費補助金（定額）　９，６３３，９４０円

９　遺家族援護費【やすらぎ福祉総務課】　　１，６１６，６７２円

（１）　遺家族援護事務費　　７２６，６７２円

（２）　戦没者遺族連合会事業費補助金（１０／１０）

８９０，０００円

戦没者遺族連合会が実施する「平和をかたりつぐ事業」に補助を行いました。

内容　アニメ「この世界の片隅に」及び映像記録「うすれゆく戦中戦後の記憶」（ダイジェスト版）上映会開催

１０　戦没者追悼費【やすらぎ福祉総務課】　　３，８２０，３８３円

（１）　戦没者追悼事務費　　２，２２７，３８３円

戦没者に対し追悼の意を表し平和を祈念するため、豊田市戦没者追悼式を開催しました。

開催日　４月１９日（土）

参加者　２３９人

（２）　戦没者追悼費補助金（１０／１０）　　１，５９３，０００円

７地区の遺族会が開催する追悼式に対し、補助を行いました。

開催時期　６～１１月

開催地区　高橋、高岡、猿投、旭、足助、小原、下山

１１　中国残留邦人等地域生活支援費【生活福祉課】

１，５１２，２３２円

（１）　中国残留邦人等地域生活支援費　　１，４６０，０３２円

中国残留邦人等が、地域で生き生きとした暮らしを実現するため、支援・相談員を配置しました。

（２）　中国残留邦人等地域生活支援事業費補助金（１０／１０）

５２，２００円

中国帰国者支援交流センター等が行う日本語教室等、交流事業に通所するための交通費の助成を行いました。

１２　生活困窮者自立支援費【よりそい支援課・生活福祉課】

９４，２３０，２９９円

社会福祉協議会等に委託し、生活困窮者の相談窓口を設置し生活相談や就労支援などを行いました。また、家計改善や健康管理が必要な被保護世帯に対する支援を行いました。

相談件数　延べ　１２，００６件

住居確保給付金　１０件

家計改善支援　延べ　１９２件

就労準備支援　９件

自立相談支援による就労支援　６１件

子どもの学習・生活支援　開催箇所数　６か所

参加児童生徒数　９５人

健康管理支援　通知発送３００件、新規窓口健康管理支援４８件

１３　孤独・孤立対策等総合調整費【よりそい支援課】

１２，１５９，８４０円

国が定めた孤独・孤立対策強化月間に合わせたイベントなどを活用し、孤独・孤立に関する市民の理解を促進するとともに、つながり合いの機会を創出しました。

１４　重層的支援体制整備事業費【よりそい支援課】

１６１，０２０，０６５円

（１）　生活困窮者自立支援費　　９７，９５７，９４０円

（２）　多機関協働費　　６３，０６２，１２５円

個別支援と支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し（社会福祉協議会委託）、包括的な支援体制の推進を図りました。また、民間事業者との連携により、支援が必要な人の社会参加を進めました。

１５　福祉人材確保推進費【地域包括ケア企画課】１，８１９，７３２円

民間企業と連携し、福祉事業所における人材確保のため、スポットワークの活用支援を実施しました。

１６　社会福祉大会負担金【やすらぎ福祉総務課】　３６７，７５４円

福祉功績者を顕彰する社会福祉大会を社会福祉協議会との共催で開催しました。

開催日　　１２月６日（土）

顕彰者　　個人　３４０人、法人・団体　４９団体

１７　社会福祉協議会運営費補助金（１０／１０）【よりそい支援課】

１８８，５０８，９３５円

１８　地域生活意思決定支援費【よりそい支援課】４，９４７，２６７円

社会福祉協議会と連携し、誰もが安心して歳を重ねられる社会の

実現に向けて、身寄りのない高齢者などの生活上の困りごとに関する包括的な相談窓口を運営しました。

１９　社会福祉基金積立金【やすらぎ福祉総務課】１，５５４，１００円

多くの市民の善意を福祉基金として積み立て、基金の利子を福祉事業に活用しました。

令和７年度寄附金件数　９件（個人　４件、法人・団体　５件）

基金現在高（令和７年度末）　５５９，５５１，１７１円

２０　国民健康保険特別会計繰出金【国保年金課】

２，８９５，９４４，７７１円

（内訳）

保険基盤安定繰出金（保険税軽減分）	８５２，６８６，６３９円
保険基盤安定繰出金（保険者支援分）	５５８，２２７，６７３円
未就学児均等割保険税繰出金	１３，４９７，９７５円
職員給与費等繰出金	３６８，４６５，２６４円
産前産後保険税繰出金	４，２４８，５０３円
出産育児一時金等繰出金	４９，８７４，９５３円
財政安定化支援事業繰出金	１２１，７２０，０００円
保健事業繰出金	２０１，６５５，８８４円
その他繰出金	７２５，５６７，８８０円

２１　介護保険事業特別会計繰出金【介護保険課】

４，２５９，２６０，７６６円

介護保険財政運営のため、介護給付費に対する１２．５％、地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業に対する１２．５％、地域支援事業の包括的支援事業等に対する１９．２５％を市の負担分として繰り出しました。また、低所得者に対して保険料の軽減を行うため、保険料軽減分を繰り出しました。

（内訳）

介護給付費繰出金	３，２６８，７５４，７４７円
地域支援事業繰出金	１２７，８７５，６２４円
包括的支援事業等繰出金	５０，１３０，０００円
職員給与費等繰出金	２３８，４５８，５３９円
介護保険事務費等繰出金	４３３，４４２，９２５円
低所得者保険料軽減繰出金	１４０，５９８，９３１円

２２　社会福祉費過年度国県支出金返還金　１９８，７８６，６２７円

【やすらぎ福祉総務課・よりそい支援課・生活福祉課】

3款　民生費

3- 1- 2目　国民年金事務費

			（前年度）
当初予算額	31,042,000円	（	46,536,000円）
予算現額	30,453,000円	（	50,787,500円）
決算額	29,812,062円	（	50,530,626円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	640,938円	（	256,874円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　国民年金事務費【国保年金課】　２９，８１２，０６２円

＜その他の取組事業＞

自治体標準準拠システムを導入しました。

3- 1- 3目　医療助成費

			（前年度）
当初予算額	5,194,743,000円	（	5,237,465,000円）
予算現額	5,194,743,000円	（	5,232,967,500円）
決算額	4,990,857,517円	（	4,976,086,124円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	203,885,483円	（	256,881,376円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　福祉医療総務事務費【福祉医療課】　２，７９３，７４５円

2　子ども医療助成費【福祉医療課】　２，４３０，１５３，１７２円

市条例・規則に基づき、小学校就学前までの乳幼児、小中学生及び高校生世代の入通院医療並びに大学生等の入院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。このうち、小中学生の通院医療、高校生世代の入通院医療及び大学生等の入院医療については市単独事業として実施しました。

なお、市単独事業以外の部分は、県補助制度により１／２補助を受けました。

受給者証交付者数　乳幼児　１７，８７７人（年度平均）

小中学生　３０，８８６人（年度平均）

高校生世代　１１，５１２人（年度平均）

入院助成申請人数　大学生等　８６人

3　心身障がい者医療助成費【福祉医療課】　９１１，８９５，１４３円

市条例・規則に基づき、心身障がい者（身体障がい者手帳１級から３級所持者、療育手帳Ａ・Ｂ判定所持者、白閉症と診断された人

等）の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数　５，２２１人（年度平均）

4　母子・父子家庭医療助成費【福祉医療課】２２４，０８６，２２３円

市条例・規則に基づき、母子・父子家庭世帯（所得制限あり）の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数　４，８８５人（年度平均）

5　精神障がい者医療助成費【福祉医療課】　５２３，７９４，０７０円

市条例・規則に基づき、精神障がい者保健福祉手帳１・２級所持者の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。また、この対象外の人でも、自立支援医療（精神通院）による通院医療の自己負担額を全額、精神疾患の診断書による精神科入院医療については、健康保険自己負担額の半額を助成しました。このうち、精神障がい者保健福祉手帳１・２級所持者の精神疾患以外に係る入通院医療、自立支援医療（精神通院）による通院医療及び診断書による精神科入院医療は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数

精神障がい者保健福祉手帳１・２級所持者
２，４５３人（年度平均）

自立支援医療（精神通院）による通院医療
５，２６４人（年度平均）

診断書による精神科入院医療
１１２人（年度平均）

6　福祉給付金助成費【福祉医療課】　８９８，１３５，１６４円

市要綱に基づき、後期高齢者医療制度の被保険者で、一定の条件（身体障がい者手帳１級から３級所持者、戦傷病者手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳１・２級所持者、独居老人等）を満たす人の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

このうち、独居老人等一部の条件の対象者は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数

県補助対象者　６，６８４人（年度平均）

市単独事業対象者　１，５３０人（年度平均）

3- 1- 4目　福祉センター費

			（前年度）
当初予算額	454,072,000円	（	422,083,000円）
予算現額	618,916,959円	（	462,017,000円）
決算額	614,807,206円	（	452,772,047円）
翌年度繰越額	3,555,000円	（	1,980,000円）
不用額	554,753円	（	7,264,953円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　３，５５５，０００円

長寿命化改修事業（稲武福祉センター）　３，５５５，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　福祉センター費【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】

２６０，４４０，２０２円

（１）　管理運営費　９９，７８８，８１７円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　１５３，０８４人

（２）　施設保全費　４，９７０，９００円

舞台設備修繕を行いました。

（３）　施設整備費　１５５，６８０，４８５円

駐車場拡張事業用地を取得しました。

２　藤岡福祉センターふじのさと費【やすらぎ福祉総務課】

５５，３８５，６２０円

（１）　管理運営費　５５，１１７，０００円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　８，８０８人

（２）　施設整備費　２６８，６２０円

ＡＥＤを更新しました。

３　小原福祉センターふくしの里費　７６，１３５，６２０円

【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】

（１）　管理運営費　７３，１１７，０００円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　１２，２２１人

（２）　施設保全費　２，７５０，０００円

動力盤改修修繕を行いました。

（３）　施設整備費　２６８，６２０円

ＡＥＤを更新しました。

４　介護予防拠点施設足助まめだ館費【やすらぎ福祉総務課】

３６，５８０，６９１円

（１）　管理運営費　３６，０７２，５６３円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　３，４８５人

（２）　施設整備費　５０８，１２８円

ＡＥＤ、会議テーブル及び消火器を更新しました。

5　百年草老人デイサービスセンター費【やすらぎ福祉総務課】

２５，３１３，４２６円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　４，５５１人

6　下山保健福祉センターまどいの丘費　５８，６１２，１２０円

【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】

（１）　管理運営費　５７，０２３，５００円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　１９，３８５人

（２）　施設保全費　１，３２０，０００円

火災受信盤取替修繕を行いました。

（３）　施設整備費　２６８，６２０円

ＡＥＤを更新しました。

7　老人福祉センターぬくもりの里費【やすらぎ福祉総務課】

５４，３２５，３２２円

（１）　管理運営費　５３，８８３，５４２円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　１２，６４０人

（２）　施設整備費　４４１，７８０円

ＡＥＤ及び消火器を更新しました。

8　稲武福祉センター費【やすらぎ福祉総務課】４８，０１４，２０５円

（１）　管理運営費　４３，４９３，０５５円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

施設利用者数　１２，４３４人

（２）　長寿命化推進費　４，２２１，３００円

受変電設備改修の設計と工事を行いました。

（３）　施設整備費　２９９，８５０円

ＡＥＤ及び消火器を更新しました。

◆特記事項

長寿命化改修事業（稲武福祉センター）において、事業の平準化を図るため、９月議会で６，２２２千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【やすらぎ福祉総務課】

3- 1- 5目　物価高騰対応重点支援給付金給付費

		（前年度）
当初予算額	1,335,000,000円	（0円）
予算現額	1,505,995,135円	（4,875,821,315円）
決算額	1,239,811,752円	（4,550,650,231円）
翌年度繰越額	0円	（295,342,094円）
不用額	266,183,383円	（29,828,990円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（非常勤一般職２人、物価高騰対応重点支援給付金給付事業事務職員手当）【やすらぎ福祉総務課】６，４１３，７２８円

2　物価高騰対応重点支援給付金給付費【やすらぎ福祉総務課】

１，２３３，３９８，０２４円

（１）　事務費　１４１，６９８，０２４円

（２）　物価高騰対応重点支援給付金給付事業費補助金（定額）

１，０９１，７００，０００円

基準日（令和６年１２月１３日）において、令和６年度住民税均等割が非課税である世帯に対して、給付金を給付しました。また、同世帯に属する１８歳以下のこどもがいる場合は加算して給付金を給付しました。

住民税均等割非課税世帯

１世帯当たり　３万円　６３５世帯

こども加算　１人当たり　２万円　１６０人

令和６年に実施した「当初調整給付（定額減税しきれないと見込まれる方への給付）」の給付に不足が生じる方等に対し、不足する額を給付しました。

支給対象者　３８，５３４人　１，０６９，４５０千円

◆特記事項

令和６年度住民税均等割が非課税である世帯に対する給付金の給付対象世帯数が見込みを下回ったため、約２６６，１８３千円の不用額が生じました。【やすらぎ福祉総務課】

3- 2- 1目　障がい者福祉総務費

		（前年度）
当初予算額	2,647,411,000円	（ 2,598,741,000円）
予算現額	2,791,390,000円	（ 2,677,123,000円）
決算額	2,744,828,834円	（ 2,628,787,664円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	46,561,166円	（ 48,335,336円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（身体障がい程度判定医５人）【障がい福祉課】
４，７４７，７００円

2　障がい者福祉事務費【障がい福祉課】　２，７５１，７３８円

3　発達障がい児者支援費【障がい福祉課】　１９，２５０円

発達障がい児の子育て経験のある人を相談役とした情報交換会を３回開催しました。

4　指導監査費【障がい福祉課】　７，８７６，８６０円

障がい福祉サービス事業所等の適正な運営及び報酬請求を確認するため指導、監査業務を実施しました。

運営指導件数　１５３事業所（対象事業所５２０事業所）

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数　１５０事業所

監査件数　１事業所（１法人）

5　障がい者相談員費【障がい福祉課】　４３５，５００円

４人の身体障がい者相談員及び３人の知的障がい者相談員が、本人や家族の相談に応じ、必要な援助や助言を行いました。

6　障がい者計画策定費【障がい福祉課】　２，３７６，０００円

障がい者計画等に係る実態調査を実施しました。

7　身体障がい者手帳交付費【障がい福祉課】　３５２，１１０円

身体障がい者手帳交付者（再交付を含む。）　１，４６０人

8　障がい者生活支援サービス費【障がい福祉課】２，０９８，９００円

（１）「食」の自立支援費

「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし障がい者等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。

利用登録者数（３月末現在）　１６人

延べ配食数　３，９６０食

（２）訪問理美容サービス費

外出困難な障がい者の保健衛生の向上を図るため、理美容師の出張費相当額の助成を行いました。

利用回数　延べ１３０回

９　障がい者就労・生活支援センター費【障がい福祉課】

３，４７３，０００円

運営を福祉事業団に委託し、障がい者が地域生活において自立と社会参加ができるよう関係機関とのネットワークを活用することで個々のニーズに応じた就労・生活支援を行いました。

１０　障がい者就業・生活支援センター運営費補助金（１０／１０）【障がい福祉課】　１１９，８１５円

１１　障がい理解・啓発促進事業費【障がい福祉課】　２５５，７２０円

心のバリアフリー推進講座を実施し、障がい理解の推進を図りました。また、市内各所で障がいの特性に応じた接し方や障がい者差別解消法に関する動画を配信し、啓発を行いました。

１２　障がい者優先調達推進費【障がい福祉課】１０，１３６，０００円

障がい者就労施設等の製品を販売する置き型菓子ボックスを公共施設等に設置したほか、共同受注窓口として発注や相談に応じることで、販路の拡大を図りました。

１３　障がい福祉事業従事者育成確保費【障がい福祉課】

１，３７３，０００円

強度行動障がい支援者養成研修として、基礎研修及び実践研修を実施し、強度行動障がい者支援の充実を図りました。

１４　障がい者社会参加促進費【障がい福祉課】　３２，０００円

全国ろうあ者体育大会に愛知県代表選手として出場する聴覚障がい者の派遣費用の一部を補助しました。

１５　福祉交通対策費【障がい福祉課】　３１，０９３，２４２円

（１）　ハンディキャブ運行費補助金（２／３）

ボランティアによるリフト付き福祉車両を運行する団体に対し事業費の一部を補助しました。

送迎回数　１，６２２回

（２）　福祉交通対策負担金

単独で公共交通機関を利用することが困難な障がい者等の外出手段を確保するため、施設送迎車両の空き時間を利用して送迎を行いました。

送迎回数　１，０４９回

（３）　福祉有償運送運営協議会費

障がい者等の移動制約者の生活に必要な輸送を確保するため、ＮＰＯ法人等が行う福祉有償運送に関し、必要な事項を協議しました。

１６　福祉事業団運営費補助金（１０／１０）【障がい福祉課】

１，４６７，０６９，５０６円

１７　総合支援事業費補助金【障がい福祉課】　１，５７５，０００円

（１）　障がい者就労施設ＩＣＴ機器等導入支援事業（３／４）

障がい福祉サービス等事業所が業務効率化及び職員の業務負担軽減のためにＩＣＴを導入する際の経費を補助しました。

補助件数　１件

（２）　介護テクノロジー導入支援事業（３／４）

障がい者支援施設等事業者が介護業務の負担軽減等を図るために介護ロボットやＩＣＴを導入する際の経費を補助しました。

補助件数　１件

１８　特別障がい者手当等給付費【障がい福祉課】

２１６，１８９，９６０円

日常生活において常時特別な介護を必要とする最重度の身体・知的障がい者（児）の生活安定のため、手当を支給しました。

受給者数（３月末現在）

特別障がい者手当　４４６人

障がい児福祉手当　２０７人

経過的福祉手当　２人

１９　障がい者手当給付費【障がい福祉課】　８１７，６３５，５００円

（１）　心身障がい者扶助料給付費

障がい者（児）の生活安定と福祉増進を図るため、手当を支給しました。

助成額（月額）

４，５００円　身体１・２級、知的Ａ判定、精神１級

４，０００円　身体３級、知的Ｂ判定、精神２級

２，５００円　身体４～６級、知的Ｃ判定、精神３級

受給者数（３月末現在）　１７，４３６人

（２）　在宅重度心身障がい者手当給付費

日常生活に介護を要する在宅の重度障がい者（児）の福祉増進を図るため、手当を支給しました。

受給者数（３月末現在）　５６０人

２０　障がい者更生援護費【障がい福祉課】　４５，４８０，５９９円

（１）　タクシー料金助成費

公共交通機関による移動が困難な障がい者にタクシー料金の一部を助成することで、障がい者の社会参加の促進を図りました。

助成額（年額）

１６，０００円　身体１・２級、知的Ａ判定、精神１級

１２，０００円　身体３級、知的Ｂ判定、精神２級

４，０００円　視覚障がい４～６級、下肢障がい４級、脳原性移動機能障がい４級

交付者数　１５，５７９人

（２）　心身障がい者扶養共済掛金助成費

障がい者の保護者が死亡又は重度障がい者となった場合の経済的保障となる愛知県心身障がい者扶養共済制度の掛金の一部（一口目の６０％）を補助しました。

助成者数（３月末現在）　１１４人

（３）　福祉電話設置費

ひとり暮らしの在宅重度障がい者の自宅に、緊急通報システムを設置し、安心かつ安全な生活の確保に努めました。

緊急通報システム設置者数（３月末現在）　１９人

（４）　中等度難聴児支援費

中等度以下の難聴児に対して適切な補聴器装用を奨励するために補聴器の購入等費用の３分の２を助成しました。

助成件数　３０件

２１　難病患者支援費【保健支援課】　５０，５８５，４６４円

特定医療費受給者又は特定疾患医療給付事業受給者のうち対象となる方に支援金を支給しました。

給付者数　１，６８５人

２２　障がい者福祉費過年度国県支出金返還金【障がい福祉課】　７９，１５１，９７０円

3- 2- 2目　障がい者自立支援費

		（前年度）
当初予算額	10,535,550,000円	（ 9,606,549,000円）
予算現額	11,899,683,795円	（10,329,406,000円）
決算額	11,638,485,259円	（10,292,938,802円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	261,198,536円	（ 36,467,198円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（障がい支援区分等認定審査会委員１０人）【障がい福祉課】　１，８３２，１００円

２　自立支援事務費【障がい福祉課】　１９，４４４，５１０円

３　自立支援協議会運営費【障がい福祉課】　５１，５００円

４　介護給付費【障がい福祉課】　６，１４１，７７１，５８６円

（１）　居宅介護費

日常生活に支障のある障がい者（児）の家庭で食事・入浴等の介護や調理、清掃等の援助を行い、障がい者（児）の自立支援と家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数　　５６５人（３月利用実績）

延べ提供量　３２０，５４４時間

（２）　生活介護費

障がい者の自立促進、生活能力向上のため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動を提供し、自立の支援と家族の負担軽減を図りました。

利用者数　　９３３人（３月利用実績）

延べ提供量　２０５，３７９日

（３）　短期入所費

障がい者（児）の在宅生活の維持向上等のために、短期間入所施設等で食事や入浴、排せつ等の介護等を行い、障がい者（児）の家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数　　１６４人（３月利用実績）

延べ提供量　　１０，６２８日

（４）　療養介護費

１８歳以上のＡＬＳ患者・筋ジス患者・重症心身障がい者について、専門の医療機関において機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を実施しました。

利用者数　　３０人（３月利用実績）

延べ提供量　　１１，５０３日

（５）　施設入所支援費

施設入所する人の安定した日常生活のため、夜間や休日における食事、入浴、排せつの介護等の支援を実施しました。

利用者数　　２３８人（３月利用実績）

延べ提供量　　８２，１０６日

5　障がい者福祉サービス費還付金【障がい福祉課】　　６，０９４，２１０円

同一世帯の障がい者等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払により支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数　　高額障がい者福祉サービス費還付金　延べ８７１件

障がい者福祉サービス費還付金　　延べ　１３件

6　訓練等給付費【障がい福祉課】　　４，３０６，７０１，４９０円

（１）　共同生活援助費

障がい者の地域生活を支援するため、夜間や休日、共同生活を

行う住居で、相談や日常生活上の援助を行い、障がい者の自立を支援しました。

利用者数　４５６人（３月利用実績）

延べ提供量　１４７，１２５日

（２）　就労継続支援費

一般企業での雇用が困難な障がい者に対し、就労や生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数　１，３３５人（３月利用実績）

延べ提供量　２５１，４１７日

（３）　就労移行支援費

企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数　１７５人（３月利用実績）

延べ提供量　３９，８９８日

（４）　就労定着支援費

一般就労した障がい者に対し、企業、自宅等へ訪問するなど、課題解決に向けて必要な支援を実施し就労の定着を図りました。

利用者数　５７人（３月利用実績）

延べ提供量　６１３日

（５）　自立訓練費

日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行いました。

利用者数　３６人（３月利用実績）

延べ提供量　８，７９０日

7　更生医療支給費【障がい福祉課】　３２２，８５８，４０４円

身体障がい者（主に腎臓、心臓、免疫機能）の障がいの状態の軽減を図るため、施術等の医療費の一部を支給しました。

給付者数　９６１人

8　補装具費支給費【障がい福祉課】　７１，１３５，７５４円

身体障がい者等の身体上の障がいを補うための用具の購入や修理に要する費用の一部を支給しました。

給付件数　６３２件

9　地域生活支援費【よりそい支援課・障がい福祉課】

５２０，６２４，０７５円

（１）　移動入浴費

寝たきり等のため家庭において入浴が困難な在宅重度身体障がい者（児）の健康と衛生を維持するため、移動入浴車を各家庭に

派遣し、移動入浴を実施しました。

利用者数　　４８人（３月利用実績）

延べ提供量　　５，６４０回

（２）　日中一時支援費

障がい者（児）の地域生活を援助するため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動の提供を行い、障がい者（児）の自立支援と家族の負担軽減を図りました。

地域デイ　利用者数　　６５人（３月利用実績）

延べ提供量　７，８２３日

日中短期　利用者数　　１０３人（３月利用実績）

延べ提供量　３，８７１日

（３）　ケアスタッフ居宅派遣費

地域で生活する重度全身性障がい者（児）の居宅に、早朝、夜間等のヘルパーが派遣できない時間帯にケアスタッフを派遣し、障がい者（児）の自立生活の支援を実施しました。

利用者数　　９人（３月利用実績）

延べ提供量　　１，４９４時間

（４）　教養教室等開設費

障がい者の教養を高め、自主性の高揚を図るため、各種教養教室を開催しました。また、豊田市民文化会館において障がい者作品展を開催しました。

教養教室　延べ受講者数　２，２５９人

作品展　　出展者数　　１，００７人

入場者数　　１，５５０人

（５）　成年後見制度利用支援費

判断能力が不十分な障がい者の権利を守り、法的保護を図るため、成年後見制度の利用促進を目的とした成年後見支援センターの運営業務を委託し、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数　　２７３件（高齢者等を含む。）

利用支援事業助成件数　４０件

（６）　意思疎通支援費

意思疎通に支障のある障がい者に手話通訳者等を派遣するとともに手話奉仕員等の養成講座、市民向けの手話体験会及び点字体験会を実施しました。

意思疎通支援者派遣回数　　６３２回

手話奉仕員講習会　　受講者数　６０人

要約筆記奉仕員講習会　受講者数　　８人

点訳講習会　　受講者数　　６人

（７）　地域活動支援センター費

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対し、創作的活動や日中活動場所の提供をしました。

利用者数　　１７人（３月利用実績）

延べ提供量　　１，８０３日

（８）　福祉ホーム運営費補助金（１０／１０）

交付団体数　　２か所

利用者数　　２３人（３月末現在）

（９）　日常生活用具給付費

在宅の障がい者等の日常生活を円滑にするために、日常生活用具及び住宅改修に係る給付を行いました。

ストーマ装具、紙おむつ、動脈血中酸素飽和度測定器等

給付件数　　４，５１２件

（１０）　移動支援費

屋外での移動が困難な障がい者（児）にヘルパーを派遣し、外出のための支援を行うことで、社会参加の促進を図りました。

利用者数　　３２１人（３月利用実績）

延べ提供量　　３３，３１９時間

（１１）　障がい者就労支援奨励金支給費

就労支援事業所等を利用する障がい者に対して、奨励金を支給し、障がい者の就労意欲の向上と継続的な就労活動を支援しました。

利用者数　　１，７０７人

利用事業所数　　１７９事業所

（１２）　自動車改造等助成費

身体障がい者の就労・社会参加促進のため、免許の条件に合致する自動車改造に要する費用の一部を助成しました。

自動車改造費助成数　　１６人

（１３）　知的障がい者職親費

相当な作業能力を持ちながら就職が難しい知的障がい者を事業主が預かり、職場に定着できるように指導訓練を行いました。

利用者数　　１人（３月末現在）

１０　重層的支援体制整備事業費【障がい福祉課・保健支援課】

１４２，５１５，４８７円

（１）　相談支援費

障がい者（児）及び家族に対して生活支援、相談、福祉サービス利用に関する助言等を総合的に行うため、相談支援事業の委託を行い、障がい者（児）が自立した日常生活、社会生活を営むこ

とができるように支援しました。

実績　福祉サービスの利用に関する支援　５，７２１件
障がいや病状の理解に関する支援　９１１件
健康・医療に関する支援　１，３０６件
不安の解消・情緒安定に関する支援　１，６７９件
保育・教育に関する支援　４０７件
家族関係・人間関係に関する支援　７４７件
家計・経済に関する支援　７４９件
生活技術に関する支援　８２０件
就労に関する支援　８１８件
社会参加・余暇活動に関する支援　２５７件
権利擁護に関する支援　４２３件
その他　９１０件
合　計　１４，７４８件

（２）　地域活動支援センター運営費

精神障がい者とその家族等に、相談や日中活動場所等を提供するため、医療法人及び社会福祉協議会に事業を委託しました。

委託先　３か所

１１　相談支援給付費【障がい福祉課】　１０５，４５６，１４３円

障がい者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細やかな支援をしました。

延べ利用者数　５，５８９人

3- 2- 3目　障がい者福祉施設費

			（前年度）
当初予算額	574,627,000円	（	687,498,000円）
予算現額	532,366,205円	（	548,097,000円）
決算額	499,642,727円	（	474,495,955円）
翌年度繰越額	5,605,000円	（	32,300,000円）
不用額	27,118,478円	（	41,301,045円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	５，６０５，０００円
公共下水道接続設計事業（旧けやきワークス）	２，７１７，０００円
障がい福祉施設車両取得事業	２，８８８，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　障がい者総合福祉会館費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】
５８，８７４，７１２円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会
障がい者福祉会館延べ利用者数　２４，３６７人
サン・アビリティーズ豊田延べ利用者数　２０，１８２人

２　けやきワークス費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】
７７，０６４，９０１円
施設の長寿命化工事を実施しました。
指定管理者　（社福）豊田市福祉事業団
定員　５０人　契約者　４１人（３月末現在）

３　第二ひまわり費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】
４２，９８５，１６２円
指定管理者　（社福）豊田市福祉事業団
定員　５５人　契約者　４６人（３月末現在）

４　重症心身障がい者通所施設費（暖）【障がい福祉課】
３７，７６５，４５８円
指定管理者　（社福）豊田市福祉事業団
定員　３６人　契約者　２９人（３月末現在）

５　さくらワークス費【障がい福祉課・建築保全・住宅課】
８３，６０４，７９０円
指定管理者　（社福）こじま福祉会
定員　３６人　契約者　２３人（３月末現在）

６　知的障がい者グループホーム費【障がい福祉課】
２，０５０，１７０円
指定管理者　（社福）豊田市福祉事業団
定員　７人　契約者　４人（３月末現在）

７　障がい者施設設置支援費【障がい福祉課】　７７，９２４，７５０円
（１）　公共施設活用管理費
民間事業所に貸与している施設等の維持管理を行いました。
（２）　公共施設活用整備費
民間事業所による公共施設の活用のため、施設の整備を行いました。
（３）　民間障がい者施設整備費補助金（３／４）
施設の修繕費用の一部を補助しました。
補助件数　１件
（４）　グループホーム整備費補助金（３／４）
グループホームの創設費用の一部を補助しました。
補助件数　２件

８　民間障がい者施設運営費補助金（１０／１０）【障がい福祉課】
２２，１７０，０００円

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設の利用者の処遇向上と健全経営への取組に対して、運営費等の一部を補助しました。

運営費補助　　１４件

償還金補助　　４件

９　グループホーム等設置促進費【障がい福祉課】

７４，５０２，７２４円

障がい者が地域で生活していくための居住の場の運営費の一部を補助しました。

運営費補助　　５０か所

家賃補助　　５４か所

賃借運営費補助　　１か所

１０　重症心身障がい者等支援費【障がい福祉課】

２２，７００，０６０円

（１）　移動支援費

重症心身障がい者等本人が希望に沿った生活を送られるよう、日中活動の場への送迎支援を行いました。

送迎回数　延べ９８回

（２）　短期入所利用支援事業費補助金（定額）

重症心身障がい者（児）を受け入れた短期入所事業所に対し、費用の一部を補助し、本人及び家族の福祉の向上を図りました。

交付事業所　２か所

（３）　グループホーム受入促進事業費補助金（１０／１０）

重度障がい者等を受け入れられる手厚い支援体制を確保するために、グループホームの運営費の一部を補助しました。

交付事業所　　２事業所（３住居）

受入日数　２，４２８日

（４）　家族介護者負担軽減事業費補助金（１０／１０）

緊急時においても、預け先があるといった安心感を確保するとともに、在宅生活を支える重症心身障がい者等の家族負担を軽減するために、受け入れた医療機関に対し、費用の一部を補助しました。

利用者数　　３４人

利用日数　１，２７５日

◆特記事項

・公共下水道接続設計事業（旧けやきワークス）において、事業の平準化を図るため、９月議会で２，７１７千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【障がい福祉課】

・障がい福祉施設車両取得事業において、メーカーの生産状況により年

度内の納品が困難になったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【障がい福祉課】

3- 3- 1目　老人福祉総務費

		（前年度）
当初予算額	1,554,481,000円	（ 1,657,808,000円）
予算現額	1,527,207,516円	（ 1,619,969,013円）
決算額	1,356,564,573円	（ 1,401,076,556円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	170,642,943円	（ 218,892,457円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（入所判定委員会委員３人）【よりそい支援課】
２５６，７００円

２　老人福祉総務事務費【高齢福祉課・介護保険課】
３，２５４，８６７円

３　介護保険制度施行推進費【介護保険課】　１，９４７，２８７円

（１）　社会福祉法人利用者負担軽減対策費補助金（１／２）
１，１５３，４４１円

社会福祉法人が行う介護サービスの利用者負担を減額することにより、低所得利用者の負担軽減を図りました。市は社会福祉法人が自ら減額した金額に応じて、社会福祉法人に対して助成を行いました。

助成法人　３法人

（２）　在宅サービス低所得者負担軽減対策費　７９３，８４６円

低所得者の介護サービスの利用支援として、すべての在宅系サービスの利用者負担額の２割を軽減しました。

延べ利用者数　２１９人

４　指導監査費【介護保険課】　１６，８２３，８４６円

介護保険サービス事業者及び有料老人ホームの適正な運営及び報酬請求を確認するため指導、監査業務を実施しました。

介護保険サービス事業者指導・ケアプランチェック業務

運営指導件数　１７５事業所（対象事業所７３３事業所）

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数１１６事業所

ケアプランチェック件数

２１事業所（対象事業所２１７事業所）

監査件数　５事業所（３法人）

有料老人ホーム立入検査業務

立入検査件数　　１４施設（対象施設４９施設）

うち指定市町村事務受託法人への委託施設数１４施設

5　認知症対策費【高齢福祉課】　　5，３９５，８５５円

（１）　認知症施策推進計画策定費　　７４０，９８６円

認知症施策推進計画の策定準備として、認知症の人や家族の声を聞く会や、認知症の人が経験を語る講座等を開催しました。

認知症の人の活躍回数　３０回

（２）　認知症地域共生推進費　　１，３８４，０１９円

認知症の人の社会参加を図るため、地域包括支援センターと連携しながら企業・事業所等とのマッチングを行いました。

社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センター数

２６か所

（３）　認知症伴走型支援事業費　　３，２７０，８５０円

認知症伴走型支援拠点「オレンジほっとテラス」において、認知症に関する日常的な相談に対応しました。

6　重層的支援体制整備事業費　　６７４，００１，６２７円

【よりそい支援課・高齢福祉課・健康づくり応援課】

（１）　地域包括支援センター運営費　　６４８，４７３，１６４円

市内に２９か所（基幹型地域包括支援センター１か所を含む）設置し、高齢者の介護・福祉・保健・医療等の総合相談、高齢者の権利擁護の支援、地域のネットワークづくりを行いながら、地域における高齢者の生活を支援しました。

高齢者やその家族に対する相談・対応　延べ１５７，４６２人

介護保険の要支援者の介護予防支援　　延べ３３，７５２人

事業対象者等の介護予防ケアマネジメント延べ１９，８７５人

介護予防教室・家族介護交流会開催　　１５８回

（２）　地域介護予防活動支援事業費　　３，３１７，７５１円

健康づくりボランティアであるヘルスサポートリーダーの養成や、活動支援を行いました。

ヘルスサポートリーダー養成講座　　修了者数　３１人

健康講座　　実施回数２５５回　延べ参加者数１１，６７６人

（３）　生活支援体制整備事業費　　２２，２１０，７１２円

支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し（社会福祉協議会委託）、高齢者を中心とした地域の課題解決に向けた協議・連携体制づくりを行いました。

7　在宅医療・介護連携推進費【地域包括ケア企画課】

３，３６６，２８７円

在宅療養を支える医療・福祉関係者の情報共有ツール「豊田みよし

ケアネット」の運用を行いました。

豊田みよしケアネット登録施設数　５５１施設（９８３人）

登録患者数　１，９５６人

８　介護人材確保事業費【介護保険課】　１５，２０３，７３１円

介護に関わる人材の定着・確保・育成を支援するための取組を行いました。

介護人材支援基礎研修　受講者数　２３人

介護の仕事相談会　参加者数　１４６人

外国人材日本語学習支援講座・介護福祉士国家試験対策講座

受講者数　３２人

９　生活支援サービス費【高齢福祉課・介護保険課】

３２０，８９１，２９０円

（１）　シルバーカー購入費助成費　１，８８８，３５６円

高齢者の外出する機会を増やすことで、介護予防と社会参加の促進を図るため、歩行の補助として使うシルバーカーの購入費を助成しました。

助成券利用者数　１９２人

（２）　ひとり暮らし高齢者等移動費助成費　２９，５２３，３３０円

日常生活に介護又は支援を要するひとり暮らし高齢者等が地域社会の中で自立した生活を送ることができるように、タクシー料金の助成を行いました。

助成券交付者数　４，２７８人

（３）　「食」の自立支援費　２２０，３２２，８４４円

「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし高齢者や高齢世帯等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。

利用登録者数（月平均）　１，６８８人

延べ配食数　４２０，６１２食

（４）　すこやか住宅リフォーム助成費　５０，６８２，４３９円

要支援・要介護認定者に対し、自宅のバリアフリー化により生活環境の改善を図り、住み慣れた地域で継続して生活ができるように住宅改修費の一部を助成しました。

助成件数　５０１件

（５）　寝具貸与・クリーニング等サービス費　５２４，２４６円

衛生管理が困難な高齢者に対し、寝具貸与とクリーニング等のサービスを実施しました。

延べ利用者数　１３１人

（６）　訪問理美容サービス費　２５７，０００円

理美容所へ出掛けることが困難な高齢者が自宅で散髪などのサービスを受けやすくするために、理美容師の出張費相当額を助成しました。

交付者数　２３８人、延べ利用回数　２５７回

（７）　家族リフレッシュショートステイ利用費８，０８０，５７５円

介護する家族の疲れを癒し、介護に対する心身の負担感の軽減を目的として、介護保険の給付限度額を超えた分のショートステイ利用額を１年に５日を上限に助成しました。

延べ利用件数　　４３４件

延べ利用日数　　９５０日

（８）　高齢者等補聴器購入助成費　　９，６１２，５００円

コミュニケーションの円滑化による生活の質の改善や、社会的孤立を防ぎ、高齢者等の社会参加の促進を図るため、補聴器の購入に要する費用の一部を助成しました。

助成人数　　４８８人

１０　安心支援サービス費【よりそい支援課・高齢福祉課】

３４，０６６，３５３円

（１）　福祉電話設置費　　１，２０１，０６３円

介護認定のあるひとり暮らし高齢者に対して福祉電話訪問を行い、孤独感の解消と安否確認を行いました。また、呼吸器、循環器等の疾患があるひとり暮らし高齢者に対しては、緊急通報システムを設置し、日常生活での不安解消と安全確保に努めました。

福祉電話訪問利用者数（７年度末）　　１６人

緊急通報システム設置者数（７年度末）　　５８人

（２）　成年後見制度利用支援費　　３２，５１３，５４０円

判断能力が不十分な高齢者の権利を守り、法的保護を図るため成年後見制度の利用促進を目的とした成年後見支援センターの運営委託を行い、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数　　２７３件（障がい者等を含む）

（３）　お元気ですかボランティア訪問費　　３５１，７５０円

ひとり暮らし高齢者等の話を傾聴し、孤独感の解消を図るために、お元気ですかボランティアによる高齢者宅への訪問活動を実施しました。

ボランティア総数（７年度末）１０７人

延べ訪問回数　　６３０回

１１　家族介護支援対策費【よりそい支援課・高齢福祉課】

１６，２９０，２１１円

（１）　徘徊高齢者家族支援費　　１，２７７，１９１円

行方不明となった高齢者を早期発見・保護するために、対象者情報の事前登録、見守り安心マークの配布及び行方不明高齢者情報のメール配信を実施しました。また、事前登録者を対象に、介護する家族の心理的負担を軽減するため、個人賠償責任保険事業を実施しました。

事前登録者数（７年度末）　５１９人
個人賠償責任保険加入者数（７年度末）　５１１人
見守り安心マーク配付者数（７年度末）　１０２人
行方不明高齢者情報配信メール　１５件

（２）　生活管理指導等短期宿泊費　１４，７９３，０２０円

日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対して、養護老人ホームへの短期宿泊等の支援を行いました。

利用者数　３１人

（３）　徘徊者捜索機器利用促進費補助金（１０／１０）　２２０，０００円

認知症により行方不明になるおそれがある高齢者等に対して、ＧＰＳ機器の導入費用を助成しました。

助成人数　１０人

１２　老人福祉施設措置費【よりそい支援課】１２０，５３５，２２２円

日常生活に支障がある高齢者に対して心身の状況、その置かれている環境を勘案し、養護老人ホームへの入所措置を行いました。

措置者数（７年度末）　５２人

１３　在宅老人緊急保護費【よりそい支援課】　５，０８８，７１２円

自立した生活を営むことが困難で身寄りがない等のやむを得ない事由のある高齢者に対して、特別養護老人ホームへの入所措置を行いました。

措置者数（７年度末）　６人

１４　敬老金支給費【高齢福祉課】　３２，７１５，２１９円

贈呈者数：　８０歳　４，１６３人
９０歳　１，７６５人
１００歳　１３４人

１５　高齢者住宅等安心確保サービス費【高齢福祉課】３３２，９７０円

シルバーハウジング入居者に対して、緊急通報装置を設置し、安心して暮らすことができるように努めました。

設置戸数（７年度末）　１３６戸

１６　高齢者虐待防止・養護者支援費【よりそい支援課】　１３６，３４９円

高齢者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携

協力体制を整備し、高齢者虐待の早期発見及び防止に努めました。

１７　高齢者活動推進費【地域交流課】　３９，７５６，７３９円

（１）　作品展開催費　１，０６４，０００円

出品点数　２７０点　　来場者数　１，５９４人

（日本画、書道、工芸、洋画、写真、手芸）

（２）　高齢者活動事務交付金　２６，０３５，６８０円

高齢者の自主的な地域活動・社会貢献活動を促進し、共働のまちづくりを推進するため、単位高齢者クラブの活動を支援しました。

単位クラブ数　１５１クラブ　会員数　１４，５５０人

加入率　１１．５％（会員数／６０歳以上人口）

加入率　１３．８％（会員数／６５歳以上人口）

交付金執行憩の家数　１３１か所

（３）　高齢者クラブ連合会補助金（８／１０）

１０，５４５，８４７円

（４）　憩の家管理運営費補助金（１／２・定額）

２，１１１，２１２円

補助金執行憩の家数　２３か所

１８　金婚祝賀会開催費【地域交流課】　１，３４７，２８４円

写真撮影組数　２６４組

１９　避難行動要支援者対策費【よりそい支援課】３，０３６，７２０円

災害時における避難行動要支援者の支援体制の確立を目的に、対象者名簿を整備するとともに、情報提供に同意を得られた方の名簿を地域の支援者等関係者へ提供しました。

避難行動要支援者数及び同意者数（７年度末）

対象者８，４３６人、同意者６，７３２人、同意率７９．８％

２０　老人ホーム入所者生活補給金【よりそい支援課】４８５，１００円

養護老人ホーム入所者のうち、無収入又は収入が低額な人に対し生活補給金を支給しました。

支給人数（７年度末）　５人

２１　介護保険関係研修受講料補助金（１／２）【介護保険課】

８８２，０００円

介護サービス事業所職員の研修受講料の助成を行いました。

法人数　　２２法人

受講者数　４２人

２２　軽費老人ホーム利用料補助金（１０／１０）【高齢福祉課】

５９，５３２，０１６円

軽費老人ホーム利用者の利用料負担の軽減と施設の健全な運営を

図るため、施設を運営する社会福祉法人に補助を行いました。

ホーム利用者数（７年度末）　９８人

２３　老人保健医療事業費【福祉医療課】　７９３，１８８円

（１）　一般管理事務費　１，１８８円

（２）　医療費返還金　７９２，０００円

医療機関等から返還された老人保健医療給付費を高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき処理するために、愛知県後期高齢者医療広域連合へ全額納入しました。

２４　老人福祉費過年度国県支出金返還金　４２５，０００円

【よりそい支援課・健康づくり応援課・地域交流課】

3- 3- 2目　高齢者福祉施設費

		（前年度）
当初予算額	962,731,000円	（ 948,785,000円）
予算現額	889,591,484円	（ 687,105,987円）
決算額	631,573,962円	（ 644,666,735円）
翌年度繰越額	244,996,000円	（ 28,535,000円）
不用額	13,021,522円	（ 13,904,252円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆　２４４，９９６，０００円

長寿命化改修等事業（老人福祉センター豊寿園）　２４４，９９６，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　老人福祉センター豊寿園費【高齢福祉課】

２１１，３０５，６１１円

（１）　管理運営費　１１０，６９１，７１１円

指定管理者　（社福）豊田市社会福祉協議会

年間利用者数：個人　６９，５３７人

団体　７，９６９人

会議・講座等　７，７４８人

（２）　施設整備費　３９４，９００円

カラオケマイクセットの更新等を行いました。

（３）　長寿命化推進費（継続費）　１００，２１９，０００円

長寿命化改修ほか工事を行いました。

２　高齢者温泉休養施設費【高齢福祉課】　１０６，４９８，０５３円

（１）　管理運営費　１０５，５５７，５５３円

指定管理者　（株）平畑温泉観光サービス

年間利用者数：宿泊　５，７１８人

休憩　１４，２８８人

（２）　施設整備費　９４０，５００円

冷凍冷蔵庫の更新等を行いました。

３　温浴施設費【高齢福祉課】　１１３，６２１，７７８円

指定管理者　（株）豊田ほっとかん

年間利用者数：１００，１０６人

４　福祉就業センター費【産業人材活躍課】　１，８５７，９００円

長寿命化のための受変電設備改修工事設計委託を行いました。

５　特別養護老人ホーム等費【介護保険課】　１９３，４４１，０００円

（１）　建設費補助金（１／２・１／３・定額）　８５，９２２，０００円

認知症高齢者グループホーム等の２施設に対し、建設費等の一部を補助しました。

（２）　施設開設準備経費助成特別対策事業等補助金（定額）　７０，４６８，０００円

認知症高齢者グループホーム等の４施設に対し、開設準備経費等の一部を補助しました。

（３）　防災改修等補助金（３／４・定額）　３７，０５１，０００円

認知症高齢者グループホーム等の４施設に対し、非常用自家発電設備の整備等に対する費用を補助しました。

６　高齢者福祉施設費国県支出金返還金【介護保険課】　４，８４９，６２０円

3- 3- 3目　後期高齢者医療費

		（前年度）
当初予算額	5,523,054,000円	（ 5,081,388,000円）
予算現額	5,479,670,000円	（ 5,147,439,000円）
決算額	5,452,287,856円	（ 5,126,613,703円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	27,382,144円	（ 20,825,297円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　後期高齢者医療健診費【健康政策課】　２５９，５５７，９９２円

対象者　後期高齢者医療制度被保険者（おおむね７５歳以上）

受診者数　１９，２１１人

受診率　３２．２％

２　療養給付費負担金【福祉医療課】　４，０７２，７７３，３１５円

豊田市の療養給付費負担分（全体のうち約１／１２）を負担しま

した。

被保険者数　６０，３３３人（年度平均）

３　後期高齢者医療広域連合事務費負担金【福祉医療課】

１０１，２４８，５４９円

愛知県後期高齢者医療広域連合事務費豊田市分を負担しました。

４　後期高齢者医療特別会計繰出金【福祉医療課】

１，０１８，７０８，０００円

（１）　保険基盤安定繰出金　８６７，４４６，０００円

（２）　職員給与費繰出金　８３，２３１，０００円

（３）　後期高齢者医療事務費繰出金　６８，０３１，０００円

3- 4- 1目　児童福祉総務費

		（前年度）
当初予算額	5,550,828,000円	（ 5,020,712,000円）
予算現額	6,327,733,360円	（ 5,420,493,706円）
決算額	5,783,482,951円	（ 5,261,541,416円）
翌年度繰越額	355,177,000円	（ 67,344,360円）
不用額	189,073,409円	（ 91,607,930円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　３５５，１７７，０００円

私立認定こども園施設整備費補助事業　３５５，１７７，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（子どもの権利擁護委員３人、子どもにやさしいまちづくり推進会議委員２０人、一般職６１人、非常勤一般職１５９人）

【こども・若者政策課・人事課】　９１３，５０３，１２１円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　８，３２７，９６０円

３　児童福祉総務事務費【保育課】　１，１６７，５３７円

４　児童相談等事務費【こども相談課】　９９２，６４３円

５　育児電話相談費【こども相談課】　１２，４８１，２４７円

コールセンター育児相談件数　５，３６２件

６　児童虐待防止費【こども相談課・おやこ応援課】

１３，３１８，３０８円

（１）　産前産後支援費　８，４５９，４９７円

妊婦又は乳幼児を養育する家庭にヘルパーを派遣しました。

派遣家庭数　１８９世帯

派遣時間　３，０３９．５時間

（２）　児童虐待防止対策費　４，８５８，８１１円

児童虐待への適切な対応のためスーパーバイザーによる職員向けの研修、助言等を実施するとともに、虐待防止のため市民向けの教育や啓発を実施しました。

研修、助言等　３０回

児童虐待防止教育（ＣＡＰプログラム）

３０か所　９５回　１，７１３人

１１月の「児童虐待防止推進月間」における広報・啓発活動

７　児童手当等支給事務費【おやこ応援課】　１，１９５，９８１円

８　特別児童扶養手当支給事務費【障がい福祉課】　２１６，５９０円

９　病児保育事業費【保育課】　２８，２４６，０００円

病気やケガの回復期にある児童（病後児）又は回復期に至らない児童（病児）などの集団保育が困難な児童等を市が委託した施設で一時的に預かり、子育てと仕事の両立を支援しました。

実施施設　２施設　利用延べ人数　８１０人

１０　とよた子育て総合支援センター費【保育課】

１２，７１４，８４８円

（１）　ファミリーサポートセンター費　１２，０８４，９４８円

ファミリー・サポート・センター事業活動件数　４，２９８件

（２）　ファミリーサポートセンター事業利用費補助金（１／２）

６２９，９００円

ひとり親、多子、多胎児、障がい及び生活保護等の世帯のファミリー・サポート・センター事業利用費に対して補助を行いました。

補助件数　２４件

１１　志賀子どもつどいの広場費【保育課】　２８４，５９２円

ＬＥＤ照明のリースを行いました。

１２　柳川瀬子どもつどいの広場費【保育課】　１３０，６８０円

ＬＥＤ照明のリースを行いました。

１３　一時保育プラス費【保育課】　６，８５１，２５５円

とよた子育て総合支援センター、志賀子どもつどいの広場、上郷こども園の３施設で、６か月から２歳児の預かり専用部屋（一時保育プラス）で一時的に児童を預かる事業を実施しました。

また、令和８年度から実施する「こども誰でも通園制度プラス」に必要な修繕を行いました。

一時保育プラス延べ利用者数　４，０１１人

・とよた子育て総合支援センター　１，０２０人

・志賀子どもつどいの広場　２，０３２人

・上郷こども園　９５９人

１４　子ども条例費【こども・若者政策課】　５，７７４，０２１円

子どもが幸せに暮らすことができるまちを実現するため、子ども会議及びこども提案課ワークショップの開催、こども園、小中学校などでの子どもの権利学習プログラムの実施、とよたこどもの権利フォーラムの開催などを通じて、子ども条例の推進を図りました。

子ども会議の開催　８回

こども提案課ワークショップの開催　３回

権利学習プログラム実施対象　５歳児、小１、小３、小５、中２
地域・保護者向け（４か所）

とよたこどもの権利フォーラム２０２５の開催
延べ参加者数　４７７人

１５　子どもの権利相談室費【こども・若者政策課】
２，１７７，５７９円

子どもの権利擁護委員・子どもの権利相談員による相談を通して子どもの権利の侵害について、その救済を図り、権利の回復を支援しました。

新規相談件数　１３１件

相談延べ回数　１，４７６回

１６　子どもの居場所づくり推進費【こども・若者政策課】
９５，４８２，７７６円

主に地域住民による運営で、地域の中に子どもたちが活動する場や大人たちと交流する場を提供する「地域子どもの居場所づくり事業」を実施しました。また、逢妻ふれあい子ども館の解体・駐車場整備工事を実施しました。

地域子どもの居場所づくり事業　実施地区　３８地区

１７　放課後児童健全育成費【こども・若者政策課】
１，６０２，１５１，１６１円

就労等で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後児童クラブを開設し、児童の健全育成に努めました。また、クラブの支援内容充実のため、研修を実施しました。令和７年度からは、全てのクラブで、対象を小学６年生までに拡大しました。

開設校数　７１校

参加人数　４，５４４人（夏季　６，３４１人）

市主催研修　９回

１８　保育ママ事業費【保育課】　１１，５８２，２７８円

待機児童対策として、保育ママと市の共働による保育を実施しました。

山之手こども園　延べ利用児童数　１３人

１９　認証保育所交付金【保育課】　７２，８２５，０００円

豊田市独自の認証基準に基づき認可外保育施設を評価し、決定した認証区分に基づき交付金を交付し、保育環境改善を図りました。

認証保育所数　１９施設

２０　私立こども園振興費【保育課】　４１３，７９７，７１０円

職員の処遇向上、施設の運営改善、保育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。また、物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立こども園　６園

園児数　６９７人（令和７年４月１日時点）

２１　私立認定こども園振興費【保育課】２，００３，８７５，０３０円

職員の処遇向上、施設の運営改善、教育・保育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。また、園舎老朽化による改築のため施設整備費の一部を補助したほか、高岡地区の新園創設に伴い、道路拡幅工事設計委託を実施しました。さらに物価高騰対策として給食材料費に係る経費の一部を補助しました

私立認定こども園　２５園

園児数　４，１７３人（令和７年４月１日時点）

２２　認可外保育施設振興費【保育課】　１２，０１７，３４０円

物価高騰対策として給食材料費、光熱費及び燃料費に係る経費の一部を補助しました。

交付施設数　４５園

２３　家庭的保育事業等振興費【保育課】　２，６３８，０００円

物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

家庭的保育事業等　４園

２４　重層的支援体制整備事業費【保育課】　１１５，６０２，８３２円

（１）　地域子育て支援センター管理運営費　１１，９２０，５５６円

足助、飯野、伊保、越戸、堤、渡刈、宮口、山之手、若園、稲武、大草、大沼、杉本の各子育て支援センターにおいて、子育て中の家庭への育児支援を目的とした講座等の開催、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。

来所者数　１３センター　計　５５，３９１人

相談件数　１，４１６件

（２）　とよた子育て総合支援センター管理運営費

７７，４１６，０７２円

子育て支援の中核施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及びサークル育成を行いました。

来所者数　１０６，０２７人

相談件数　　５１９件

（３）　志賀子どもつどいの広場管理運営費　　５，４４１，７８９円

単独型の支援施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及び屋外施設等を利用した地域との交流活動を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。

来所者数　　２８，０８１人

相談件数　　３１２件

（４）　柳川瀬子どもつどいの広場管理運営費

２０，８２４，４１５円

民間の子育て支援団体との共働で運営し、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。

来所者数　　４３，５７６人

相談件数　　５２３件

２５　児童福祉費過年度国県支出金返還金　　４４６，１２８，４６２円

【こども・若者政策課・こども相談課・おやこ応援課・保育課】

◆特記事項

私立認定こども園施設整備費補助事業において、事業者の工事スケジュールの見直しにより、年度内の事業完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保育課】

3- 4- 2目　児童措置費

		（前年度）
当初予算額	16,773,277,000円	（13,185,468,000円）
予算現額	15,961,023,000円	（13,222,344,248円）
決算額	15,888,773,477円	（13,073,325,891円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	72,249,523円	（149,018,357円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　教育・保育給付費【保育課】　　６，３８７，０２７，１５６円

私立こども園等の児童の教育・保育の経費（施設型給付費、委託費、地域型保育給付費）を支払いました。

また、市外の保育園等に通園した豊田市民の児童の教育・保育に要する費用も支払いました。

給付対象児童数　　５，２１５人（令和７年４月１日時点）

その他、給食費無償化に伴い、市の給食提供が受けられない児童の保護者に対し、給食費相当額の費用を給付しました。

給付件数　８８８件

2　子育て支援施設等利用給付費【保育課】　５１，５９４，６０６円

預かり保育事業、認可外保育施設等における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。

給付対象児童数　８０９人（実人数）

3　母子生活支援施設委託措置費【おやこ応援課】

３５，７０１，３１５円

３月末入所者数　７世帯１６人

4　児童手当給付費【おやこ応援課】　９，４１３，９５５，０００円

３月末受給者数　３３，６５６人

5　子育て短期支援利用費【こども相談課】　４９５，４００円

保護者の疾病等の理由により、家庭における養育が困難になった児童を児童養護施設等で一時的に保護・養育しました。

利用者数　２４人　延べ利用日数　７０日

3- 4- 3目　母子父子福祉費

		（前年度）
当初予算額	1,280,902,000円	（ 1,256,112,000円）
予算現額	1,171,266,000円	（ 1,188,098,000円）
決算額	1,141,364,971円	（ 1,156,440,102円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	29,901,029円	（ 31,657,898円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　ひとり親家庭等日常生活支援費【おやこ応援課】　２８，０００円

２世帯　７回

2　母子家庭等就業支援費【おやこ応援課】　２，２４１，２５９円

就業支援講習会（豊田会場）参加者数　１６人

3　児童扶養手当給付費【おやこ応援課】　９９０，６７５，０５０円

３月末受給者数　２，２６４人

4　ひとり親家庭等支援手当給付費【おやこ応援課】

１４２，２８１，０００円

３月末受給者数　２，６５６人

5　母子父子家庭自立支援給付費【おやこ応援課】４，６８１，８７４円

自立支援教育訓練給付金（介護職員初任者研修等）　６人

高等職業訓練促進給付金（看護師養成機関等）　３人

高等職業訓練修了支援給付金　１人

6　養育費確保支援事業補助金（１０／１０）【おやこ応援課】

５５９，７８８円

補助件数　３０人

7　母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金【おやこ応援課】

８９８，０００円

3-4-4目　保育園費

		（前年度）
当初予算額	10,325,953,000円	（ 9,080,074,000円）
予算現額	10,761,474,615円	（ 9,456,051,046円）
決算額	10,161,331,109円	（ 8,798,149,857円）
翌年度繰越額	109,687,640円	（ 239,610,000円）
不用額	490,455,866円	（ 418,291,189円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	１０９，６８７，６４０円
公共下水道接続設計事業（堤ケ丘こども園）	２，７１７，０００円
長寿命化改修事業（堤ケ丘こども園外１園）	１６，８５８，０００円
梅坪こども園園舎改修事業	４７，０１６，６４０円
トイレ再整備事業（伊保こども園外１園）	４３，０９６，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（こども園医３３人、こども園歯科医４６人、一般職７７７人
非常勤一般職１，０８２人）【保育課・人事課】
８，０４２，４２４，７２７円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　３８，３１２，４９０円

3　管理運営費【保育課】　３９６，６６９，１５０円
公立こども園　５２園（うち２園休園）
園児数　４，２７８人（令和７年４月１日時点）

4　こども園給食運営費【保育課】　９２１，１５１，２５９円
公立こども園、私立こども園、私立認定こども園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。

5　園児対象事業費【保育課】　７，８５１，８００円
自然とのふれあい事業（総合野外センター）５歳児対象
動物とのふれあい事業（移動動物園）　全園児対象（隔年）

6　こども園地域活動費【保育課】　７２６，５９８円
こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種の行事を実施しました。
（１）　子育てひろば利用者（公立こども園分）　２，３１５人
（２）　高齢者福祉施設訪問等世代間交流事業　８４回
（３）　地域における異年齢児交流事業　８９回

（４）　保護者等への育児講座　　６３回
（５）　郷土文化伝承活動　　４３回
（６）　こども園卒園児との交流　　５７回

７　施設維持補修費【建築保全・住宅課】　　１７５，４２４，３４２円

８　施設保全費【建築保全・住宅課】　　５８，４３４，２６３円

足助もみじこども園空調機更新修繕等を行いました。

９　長寿命化推進費【保育課】　　１３２，３３７，０４０円

長寿命化改修として、工事を３園、設計を３園で行いました。

１０　施設整備費【保育課】　　２７２，５３３，５１０円

（１）　諸営繕工事　　１４７，１６０，７８１円

大草こども園の増築の施設整備等を行いました

（２）　トイレ改修費　　７７，７８７，８２０円

洋式トイレの再整備として、工事を４園、設計を６園で行いました。

（３）　ＩＣＴ推進費　　４７，５８４，９０９円

保育士、保護者の負担軽減及び保育の質の向上を図るため、保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。

また、保育士業務支援システム用タブレット端末の更新やインターネットバンキングサービスを新たに導入しました。

１１　保育備品整備費【保育課】　　１１５，４６５，９３０円

園の環境整備のため、遊具の更新や乳母車等の備品を購入しました。

◆特記事項

・公共下水道接続設計事業（堤ケ丘こども園）、長寿命化改修事業（堤ケ丘こども園外１園）及びトイレ再整備事業（伊保こども園外１園）において、事業の平準化を図るため、９月議会で２４，４１１千円を増額補正し、翌年度に繰り越しました。【保育課】

・梅坪こども園園舎改修事業において、事業の進捗に伴う年割額の変更に対応するため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保育課】

3- 4- 5目　心身障がい児施設費

		（前年度）
当初予算額	2,603,376,000円	（ 2,302,141,000円）
予算現額	2,628,230,000円	（ 2,450,274,000円）
決算額	2,558,047,225円	（ 2,386,481,894円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	70,182,775円	（ 63,792,106円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　児童発達支援費【障がい福祉課】　２，２５８，００８，５１１円

（１）　子育て特別支援費

こども園等の給食費無償化制度の適用を受けない児童発達支援事業所を利用する障がい児の保護者に対して、代替給付を行いました。また、児童発達支援等の対象となる障がい福祉サービスを利用する、０歳から２歳児の第二子以降の障がい児の障がい福祉サービス利用負担額に相当する費用を給付しました。

児童発達支援昼食費給付　延べ６９件

児童発達支援事業等利用者負担金給付　延べ５３件

（２）　児童発達支援費

未就学の障がい児の日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の療育、指導を行いました。

利用者数　３３０人（３月利用実績）

延べ提供量　３９，５１８日

（３）　放課後等デイサービス費

就学中の障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進等の療育、訓練を行いました。

利用者数　１，０８１人（３月利用実績）

延べ提供量　１４２，５８０日

（４）　保育所等訪問支援費

こども園等に訪問し、集団生活に適応することができるよう専門的な支援を行いました。

訪問回数　１２６回

（５）障がい児措置費

障がい児通所支援等を本来の手続きによって利用できない特別な事情がある障がい児に対して、特例的に支援措置を行いました。

対象件数　１件

2　こども発達センター費【障がい福祉課】　２３４，３７６，２３０円

（１）　管理運営費

ア　外来相談部門

０歳から３歳頃までの心身の発達の遅れが心配される乳幼児とその保護者を対象として、療育指導、助言を行いました。

外来療育グループ「あおぞら」

登録者　３５５人　利用延べ人数　８，７２９人

外来療育グループ「おひさま」

登録者　１９８人　利用延べ人数　５，０３８人

相談業務　３，６５７件

イ　診療部門「のぞみ診療所」

障がいの早期発見、診断、治療及び総合的評価を行い、多職種による専門的な訓練等により、発達の促進と機能の改善を図りました。

診療、訓練等の状況（延べ人数）

児童精神科	７，４８２人	理学療法	２，４０３人
小児神経科	３，７３３人	作業療法	３，６３４人
小児整形外科	２，０２１人	言語・聴覚療法	３，２５７人
耳鼻咽喉科	３２８人	心理療法・検査	１，４８１人
泌尿器科	３４人	検　査	２，１７０件
小児歯科	２，４８４人	薬局処方	５，２５７件
外来栄養相談支援	１１３人		

ウ　通園部門

「なのはな」

就学前の難聴児等を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員　３０人　　契約者　３９人（３月末現在）

「たんぽぽ」

就学前の肢体不自由児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員　３０人　　契約者　３０人（３月末現在）

「ひまわり」

就学前の知的障がい児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員　５０人　　契約者　５０人（３月末現在）

（２）　施設整備費

こども発達センターの備品更新を実施しました。

３　障がい児通所給付費還付金【障がい福祉課】　４，１５８，８６７円

同一世帯の障がい児等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払

いにより支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数　高額障がい児通所給付費還付金　延べ２７６件

障がい児通所給付費還付金　延べ７４３件

４　相談支援給付費【障がい福祉課】　６１，５０３，６１７円

障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細やかな支援を実施しました。

延べ利用者数　２，９５６人

3- 4- 6目　物価高対応子育て応援手当給付費

当初予算額	0円
予算現額	1,323,748,385円
決算額	1,299,852,384円
翌年度繰越額	23,896,001円
不用額	0円

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	２３，８９６，００１円
物価高対応子育て応援手当給付事業	２３，８９６，００１円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（非常勤一般職５人、物価高対応子育て応援手当給付事務職員手当）【おやこ応援課】　２，７２９，９５６円

２　物価高対応子育て応援手当給付費【おやこ応援課】　１，２９７，１２２，４２８円

（１）事務費　９，３４２，４２８円

（２）物価高対応子育て応援手当給付事業費補助金（定額）　１，２８７，７８０，０００円

令和７年９月分の児童手当受給者及び令和８年３月３１日までの出生児童の父母等に対して、手当を支給しました。

支給児童数　６４，３８９人

◆特記事項

物価高対応子育て応援手当給付事業において、令和８年３月３１日までの出生児童等に係る支給に対応するため、令和７年１２月２２日専決で１，３２０，５４０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【おやこ応援課】

3款　民生費

3- 5- 1目　生活保護総務費

		（前年度）
当初予算額	305,949,000円	（ 284,270,000円）
予算現額	313,014,559円	（ 301,100,467円）
決算額	304,465,986円	（ 292,428,698円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	8,548,573円	（ 8,671,769円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職２９人、非常勤一般職１５人）【人事課】
２８５，５７１，０６７円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　１，９６４，６６０円

3　生活保護総務事務費【生活福祉課】　１６，９３０，２５９円

3- 5- 2目　扶助費

		（前年度）
当初予算額	4,185,166,000円	（ 4,198,069,000円）
予算現額	4,184,485,441円	（ 4,197,592,533円）
決算額	3,965,537,046円	（ 3,995,270,119円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	218,948,395円	（ 202,322,414円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　生活保護扶助費【生活福祉課】　３，９２６，５４５，８４７円

生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立ができるよう支援しました。

保護世帯の状況　（７年度末）

高齢者世帯	８５５世帯
母子世帯	９８世帯
障がい者世帯	３１５世帯
傷病者世帯	２０６世帯
その他世帯	３３８世帯
計	１，８１２世帯

2　中国残留邦人等支援給付費【生活福祉課】　３６，７３３，６７１円

中国残留邦人等の生活の安定のため、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対して、生活支援給付を実施しました。

生活支援給付費受給世帯の状況（７年度末）２０世帯　２２人

3　中国残留邦人等配偶者支援金給付費【生活福祉課】

２，２５７，５２８円

中国残留邦人等死亡後の特定配偶者（中国残留邦人が永住帰国する前から継続して配偶者である者）に対して支援金給付を実施しました。

対象者（７年度末）　５人

3- 6- 1目　災害救助費

		（前年度）
当初予算額	40,531,000円	（ 31,291,000円）
予算現額	40,005,000円	（ 30,793,000円）
決算額	34,259,475円	（ 28,181,163円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	5,745,525円	（ 2,611,837円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　緊急生活物資備蓄対策費【防災対策課】　３４，０５６，４７５円

（１）　避難者対策費　２９，８５７，０９５円

災害時の避難者用に緊急生活物資及び資機材を備蓄しました。

飲料水、食料、ミルク（粉、液体）、段ボールベッド、避難者用テント、乳幼児物品等

（２）　帰宅困難者対策費　４，１９９，３８０円

災害時の帰宅困難者用に緊急生活物資を備蓄しました。

ライスクッキー、防寒シート、避難者用テント等

2　災害見舞金支給費【よりそい支援課】　２０３，０００円

支給件数　住宅・家財の全焼　３件

住宅・家財の半焼・半壊　３件

4款　衛生費

		（前年度）
当初予算額	21,064,273,000円	（17,045,253,000円）
予算現額	20,855,075,000円	（23,040,148,000円）
決算額	19,607,307,585円	（21,870,927,988円）
翌年度繰越額	428,789,000円	（　292,667,000円）
不用額	818,978,415円	（　876,553,012円）

4- 1- 1目　保健衛生総務費

		（前年度）
当初予算額	4,603,145,000円	（ 3,082,263,000円）
予算現額	4,862,711,675円	（ 3,456,484,000円）
決算額	4,779,536,411円	（ 3,372,752,706円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	83,175,264円	（ 83,731,294円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（統計調査員７人、地域保健審議会委員８人、一般職１９８人、非常勤一般職５９人）【健康政策課・人事課】
１，８８７，８９７，２５８円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　４，６９７，１９０円

3　保健衛生総務事務費【地域包括ケア企画課・健康政策課】
８，３７２，２７２円

4　地域保健関係職員等研修費【健康政策課】　２，９４３，９４８円

市民の需要に対応した保健・医療・福祉の総合的なサービスを実施するために、地域保健、医療、福祉関係者等に対して、最新情報の提供や研修会等を行いました。

5　医事監視指導費【健康政策課】　１３３，７５２円

病院等を科学的で適正な医療を行う場にふさわしいものとするため立入検査を実施し、人員や構造設備、管理の状況について検査しました。

また、医療安全支援センターにおいて、市民からの医療に関する相談に対応し、医療安全推進協議会を開催しました。

	立入件数	指導件数
病院	１８か所	６３件
一般診療所	５８か所	８３件
歯科診療所	１８か所	４５件
助産所	３か所	８件
施術所	３３か所	５９件

歯科技工所　　１６か所　　２５件
医療安全支援センター相談件数　５３２件
医療安全推進協議会　　１回

6　統計調査費【健康政策課】　　５５２，１４６円

（１）　厚生労働省の委託を受けて、人口動態調査を実施しました。

（２）　厚生労働省の委託を受けて、各種統計調査を実施しました。

＜厚生労働統計＞
地域保健・健康増進事業報告
衛生行政報告例
福祉行政報告例
社会福祉施設等調査
医療施設動態調査
病院報告　　１８施設
国民生活基礎調査（世帯票・健康票）　　７調査地区
国民生活基礎調査（介護票）　　１調査地区
国民生活基礎調査（所得票・貯蓄票）　　６単位区
＜その他統計＞
社会保障に関する意識調査　　２単位区
家庭の生活実態及び生活意識に関する調査　　４単位区
出生動向基本調査　　１単位区

7　健康危機管理対策費【健康政策課】　　３，３８５，３４７円

大規模災害や新興感染症等の健康危機管理における保健所体制の強化を図るため、各種健康危機に関する研修・訓練、水害時移転先の通信環境整備、高度衛星回線機器の導入、救護所に配備する医薬品の更新等を行いました。

災害・感染症等に関する研修・訓練の実施　　９件
水害時移転先の通信環境等整備（業務系ＬＡＮ回線敷設）
高度衛星回線機器（スターリンク）の導入
医療救護委員会の開催　　１回

8　健康寿命延伸事業推進費【地域包括ケア企画課】

５０，０００，０００円

運転寿命延伸を目指し、職業ドライバー等への健康運転支援に関する検証や、市民への健康と移動に関するアンケートを実施しました。

9　救急医療電話相談費【地域包括ケア企画課】２４，０９８，９８６円

「とよた急病・子育てコール２４」の運営を行い、市民や豊田市への訪問者が急病時に安心して相談できる体制を整えるとともに、医療の適正受診を促しました。

相談件数　１２，６１４件　（救急相談のみ、ＬＩＮＥ含む）

１０　医療提供体制強化推進費【地域包括ケア企画課】４８５，４８７円

医療対策懇話会を開催し、医療提供体制について協議しました。

急病時の適切な受診に関する啓発講座を実施しました。

医療対策懇話会の開催　１回

啓発講座の実施　３１回（対象者８１０人）

１１　乙ケ林診療所費【地域包括ケア企画課】　３５，４４９，３４７円

乙ケ林診療所の適切な診療体制の確保に努めました。

診療日数　１９１日

延べ患者数　３，６５１人

１２　古瀬間聖苑費【やすらぎ福祉総務課・建築保全・住宅課】

２１７，７８２，８５７円

（１）　管理運営費　１７１，９８４，９８４円

火葬件数　４，３６２件

（２）　施設保全費　４５，１６８，２００円

火葬炉修繕等を行いました。

（３）　施設整備費　６２９，６７３円

火葬用台車修繕等を行いました。

１３　古瀬間墓地公園費【やすらぎ福祉総務課】４３，４９２，５３６円

（１）　管理運営費　３７，７５９，１７１円

（２）　施設整備費　５，７３３，３６５円

市営墓地のあり方を検討するための墓地市民意識調査等を行いました。

１４　豊田地域医療センター施設等整備費１，５０９，６３３，０５０円

【地域包括ケア企画課・建築保全・住宅課】

（１）　医療機器等整備費　１，４８２，８４８，０５０円

電子カルテシステム等を購入しました。

（２）　施設保全費　２６，７８５，０００円

豊田地域看護専門学校空調機更新修繕を行いました。

１５　豊田地域医療センター運営費負担金【地域包括ケア企画課】

５３０，０００，０００円

救急、看護学校、地域医療人材の育成等の運営を支援するため、負担金を支出しました。

１６　公的病院運営費補助金【地域包括ケア企画課】

２４９，４７４，０００円

（１）　補助対象事業者

愛知県厚生農業協同組合連合会

（２）　補助金額

公的病院運営費補助金（定額）　７５，０２４，０００円

公的病院救命救急センター機能運営費補助金（２／３）
１１４，４５０，０００円
へき地医療拠点病院運営費補助金（定額）
６０，０００，０００円
１７　病院群輪番制病院運営費補助金（１０／１０）
【地域包括ケア企画課】　２４，５８０，０００円
（１）　補助対象事業者
トヨタ記念病院、足助病院、豊田地域医療センター、みよし市民病院
（２）　事業実績
実施日数　３６５日
入院患者数　１，７６２人
外来患者数　１０，８０６人
１８　公的病院医療機器整備費補助金【地域包括ケア企画課】
７７，７９６，０００円
（１）　補助対象事業者
愛知県厚生農業協同組合連合会
（２）　補助金額
公的病院医療機器整備費補助金（１／２）
豊田厚生病院への人工心肺装置等を整備
５８，６１３，０００円
へき地医療拠点病院医療機器整備費補助金（１／２）
足助病院へのＦＰＤ型マンモグラフィ撮影装置等を整備
１９，１８３，０００円
１９　小児救急医療支援病院運営費補助金（１０／１０）
【地域包括ケア企画課】　１２，５４９，０００円
（１）　補助対象事業者
豊田厚生病院、トヨタ記念病院
（２）　事業実績
実施日数　３６５日
入院患者数　６１８人
外来患者数　３，３５０人
２０　休日救急診療体制運営費補助金（１０／１０）
【地域包括ケア企画課】　８，４９１，０００円
（１）　補助対象事業者
豊田加茂医師会
（２）　事業実績
外科在宅当番医　診療日数　７２日

患者数　１，６３２人

休日救急内科診療所　診療日数　７３日

患者数　３，７３７人

２１　地域医療提供体制強化費補助金（１／２）【地域包括ケア企画課】

９，１６７，０００円

（１）　補助対象事業者

豊田加茂医師会

（２）　事業実績

交流館での講演会等への医師派遣

ホームページによる市民向けの各種配信

多職種を対象にした講演会や企画研修会の実施　ほか

２２　骨髄提供者等助成事業補助金（定額）【健康政策課】

２８０，０００円

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄・末梢血幹細胞移植及び骨髄バンク登録者の増加を図るため、骨髄提供者に助成金を交付しました。

骨髄提供者　２件

２３　保健衛生費過年度国県支出金返還金　７８，２７５，２３５円

【健康政策課・保健衛生課・感染症予防課・保健支援課】

（１）　健康政策課過年度国県支出金返還金　９３０，０００円

（２）　保健衛生課過年度国県支出金返還金　８１，６７５円

（３）　感染症予防課過年度国県支出金返還金

７７，１０７，５６０円

（４）　保健支援課過年度国県支出金返還金　１５６，０００円

◆特記事項

・豊田地域医療センター運営費負担金において、人事院勧告に伴う人件費等の増加により、３月議会において８０，０００千円の増額補正を行いました。【地域包括ケア企画課】

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、接種数が見込みよりも少なかったため、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫負担（補助）金に、６６，１５２千円の返還が生じました。

【感染症予防課】

4- 1- 2目　健康増進対策費

		（前年度）
当初予算額	759,947,000円	（ 783,713,000円）
予算現額	752,312,000円	（ 770,931,000円）
決算額	691,298,232円	（ 699,996,996円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	61,013,768円	（ 70,934,004円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　健康増進対策事務費【健康づくり応援課】　９０１，７１７円

2　国民健康栄養調査費【健康政策課】　６８８，７５１円

桑田和町の一部　１３世帯　２４人

3　栄養改善推進費【健康政策課】　３０，２６９円

特定給食施設等調査　２１７か所

4　健康づくり豊田２１推進費　２９，９３６，７７４円

【健康政策課・健康づくり応援課・保健支援課】

（１）　地域ウオーキング推進費　８６９，０００円

市民が手軽に取り組める健康づくりの１つであるウオーキングを推進するため、ウオーキングコースに関する情報発信等を行いました。

（２）　受動喫煙防止対策費　７，７００円

受動喫煙防止のため、啓発活動（市内喫煙所等）及び事業所等への指導・助言を行いました。

（３）　歯科健康診査費　１５，２５９，２３７円

妊産婦歯科健康診査受診者数　１，７１８人

幼児歯科健康診査受診者数　１，１５１人

（４）　８０２０運動推進費　１，８２６，５６５円

８０歳で２０本の自歯を残すことを目標に「８０２０運動」を推進しました。

ア　よい子の歯みがき運動啓発用教材配布

イ　親子むし歯予防教室開催　４０回

ウ　口腔機能向上支援事業「お口の健康教室」開催　３８回

エ　歯と口の講座～めざせ！８０２０～開催　２回

（５）　心の健康づくり推進費　１，３７７，０００円

ア　ゲートキーパー研修

開催回数　２０回

イ　自殺予防啓発（９月・３月）

（６）　健康づくり豊田２１計画推進費　１，４８７，７２２円

計画推進委員会・部会　3回

（７）　とよた健康プラス１０推進費　８，３２９，５５０円

幅広い世代の健康意識の向上を図るため、多様な主体と連携した健康づくりを実施しました。

ア　健康アドバイザー派遣

事業所に健康アドバイザーを派遣し、健康課題に対する助言、職場環境の確認、健康教育等を実施しました。

事業所数　２３事業所　実施回数　３３回

イ　健康経営セミナーの開催

事業所の健康経営を促進し、働く世代の健康づくりを推進するため、講話、情報交換会等を実施しました。

ウ　きらちゃん健康アンバサダー

健康講座やイベントに参加した小中学生等が「きらちゃん健康アンバサダー」となり、学んだことを家族や友人に伝えてもらうことで、健康づくりの輪を広げる取組を実施しました。

実施回数　６４回

エ　とよた健康マイレージ事業

登録者数（令和８年３月３１日時点）　２，７３１人

オ　健康づくり啓発動画の制作

事業所向けの健康づくり応援メニューを紹介する動画と若者の朝食摂取を啓発する動画を制作しました。

カ　健康教育事業

地域住民の健康づくりを推進するため、出前講座等で健康に関する正しい知識の普及と健康意識の向上に努めました。

（ア）学校

実施回数　１９回　参加者数　４，３５０人

（イ）自治区等

実施回数　６５回　参加者数　１，６９０人

キ　健康相談事業

市民からの健康保持・増進に関する個別相談を、来所又は電話で行うとともに、交流館、自治区等の地域に出向くほか、民間事業者と連携し、商業施設等で実施しました。

（ア）来所・電話相談

件数　３３５件

（イ）イベント等における健康相談

実施回数　１８４回　参加者数　６，２４５人

（８）　健康づくりつながり合い補助金（１０／１０）

７８０，０００円

多様な主体の連携による健康づくりを推進するため、地区コミュニティ会議、高校及び企業に補助金を交付しました。

交付件数　５件

５　食育推進費【健康づくり応援課】　７７８，６１０円

若者向け食育推進費　７７８，６１０円

（１）親子食育講座

開催回数　４３回

（２）食育人材バンク

登録件数　１８件

（３）食育キャラクター「たべまる」を活用した啓発

母子保健推進員によるこども園等への訪問　３０園

（４）高校生への出前食育講座

実施校数　１校

６　保健事業費【健康政策課】　６５３，７７０，３１１円

健康増進法に基づいて、各種がん等の早期発見のために検診を実施しました。また、各種がん検診の要精密検査未受診者に対し、受診を勧奨しました（歯科健診及び各種がん検診の受診率は当該年度の４月１日人口から算出）。

ア　歯科健診

対象　２０、２５、３０、３５、４０、４５、５０、５５、６０、６５、７０、７５歳

受診者数　２，５６２人

受診率　４．１％（令和６年度　３．６％）

イ　がん検診等

（ア）胃がん検診

対象　３５歳以上（総合がん検診含む。）

	受診者数	要精検者数
エックス線	９，０７１人	７６５人
内視鏡	５，３１３人	５０５人

受診率　８．６％（令和６年度　８．６％）

（イ）大腸がん検診

対象　３５歳以上（総合がん検診含む。）

受診者数　２４，５４６人　要精検者数　１，８６１人

受診率　９．１％（令和６年度　９．１％）

（ウ）乳がん検診

対象　３０歳以上の偶数年齢及び４１歳の女性

（総合がん検診、がん検診推進事業含む。）

	受診者数	要精検者数

超音波検査　３，８５１人　６９人
マンモグラフィ検査　５，１７１人　２０２人
受診率　１２．６％（令和６年度　１２．６％）

（エ）子宮頸がん検診
対象　２０歳以上の偶数年齢及び２１歳の女性
（総合がん検診、がん検診推進事業含む。）
受診者数　７，５８８人　要精検者数　１３１人
受診率　９．４％（令和６年度　９．５％）

（オ）肺がん検診
対象　４０歳以上（総合がん検診含む。）
受診者数　２０，３９０人　要精検者数　６９０人
受診率　８．３％（令和６年度　８．６％）

（カ）前立腺がん検診
対象　５０～７０歳の男性（総合がん検診含む。）
受診者数　４，５５０人　要精検者数　２２３人
受診率　７．９％（令和６年度　８．０％）

（キ）脳ドック検診
対象　５０歳の総合がん検診受診者
受診者数　１５０人

（ク）レディース検診
対象　１９～３９歳の女性
実施回数　２４回
受診者数　１３０人

（ケ）骨粗しょう症検診
対象　４０、４５、５０、５５、６０、６５、７０歳の女性
総合がん検診と同時受診者数　４９６人
単独受診者数　２３５人

（コ）肝炎検診
対象　４０歳以上５歳刻みで過去に肝炎検診を受けていない人
受診者数　２，３５２人

（サ）胸部エックス線検査
対象　４０歳以上の人
受診者数　１８，２１２人　要精検者数　５５１人

（シ）生き生き健診
対象　生活保護受給者、中国残留邦人で４０歳以上の人
受診者数　７６人

７　歯・口の健康づくり推進費補助金（１／２）【健康づくり応援課】
６０１，０００円

市民の歯科保健の充実を図るため、歯・口の健康づくり推進事業の経費を補助しました。

交付先　（一社）豊田加茂歯科医師会

8　禁煙治療費助成事業補助金（１／２）【健康づくり応援課】

１７，６００円

望まない受動喫煙防止対策として、周囲の人と自身の健康被害を防ぐため、禁煙を希望する市民を対象に、禁煙外来治療費の一部を助成しました。

交付件数　３件

9　がん患者補整具購入費補助金（１／２）【健康政策課】

４，５０７，２００円

がん治療に伴う脱毛等の症状により補整具を必要とする方を対象に補整具購入費の一部を助成しました。

申請件数　１７３件

１０　若年がん患者在宅療養支援費補助金（９／１０）【健康政策課】

６６，０００円

若年がん患者の方が、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう療養費の一部を助成しました。

申請件数　５件

4- 1- 3目　高齢者保健費

		（前年度）
当初予算額	12,636,000円	（ 8,714,000円）
予算現額	8,798,000円	（ 8,477,000円）
決算額	8,119,419円	（ 8,066,885円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	678,581円	（ 410,115円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　高齢者保健事業・介護予防一体的実施事業費【健康づくり応援課】

８，１１９，４１９円

後期高齢者を対象に、国保データベースを分析し、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを実施しました。

ハイリスクアプローチ実施者数（個別支援）　延べ　１８１人

ポピュレーションアプローチ実施者数（集団教育）延べ６，２１５人

4- 1- 4目　母子保健費

			（前年度）
当初予算額	983,526,000円	（	942,941,000円）
予算現額	915,473,141円	（	939,504,018円）
決算額	856,759,900円	（	892,320,286円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	58,713,241円	（	47,183,732円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　母子保健対策費【おやこ応援課】　６６３，４２３，５９８円

（１）　多胎妊産婦等支援事業費　５０７，１５０円

多胎ピアサポート事業（相談支援）　７件

多胎産婦等サポーター事業（健診同行）　５件

多胎妊産婦交流事業　２７回

（２）　妊産婦・乳幼児健診費　３８９，０４７，５５３円

＜区分＞	＜受診者数＞	＜受診率＞
３、４か月児健診	２，４８５人	９５．６％
１歳６か月児健診	２，４９９人	９５．７％
３歳児健診	２，６９６人	９６．０％

妊婦健診

（　１回目）　２，５５４件　（　２回目）　２，５５１件

（　３回目）　２，４９７件　（　４回目）　２，５３７件

（　５回目）　２，５０３件　（　６回目）　２，４５３件

（　７回目）　２，４００件　（　８回目）　２，４９０件

（　９回目）　２，３３８件　（１０回目）　２，３４５件

（１１回目）　２，２４２件　（１２回目）　２，３１９件

（１３回目）　１，９２６件　（１４回目）　１，３５６件

（子宮頸がん検査）　２，５０８件

産婦健診

（１回目）　２，４５９件　（　２回目）　２，４１４件

新生児聴覚検査　２，２４０件

乳児健診

（１回目）　２，５００件　（　２回目）　１，６９９件

（３）　おめでとう訪問費　４９３，９４１円

訪問件数　２，０１５件

訪問実施率　９６．０％

（４）　妊産婦・乳児健康診査費補助金（定額）７，４３６，９９４円

愛知県外で受診された方の健康診査費を払い戻しました。

実施件数　１，３８５件

（５）低所得妊婦支援事業費補助金（定額）　３７，９６０円

実施件数　７件

（６）出産・子育て応援給付金給付事業費補助金（定額）

２４，１５０，０００円

出産応援給付金　２件

子育て応援給付金　４８１件

（７）妊婦のための支援給付事業費補助金（定額）

２４１，７５０，０００円

給付件数　４，８３５件

２　母子健康づくり対策費【こども相談課・おやこ応援課】

２８，０２５，０６３円

（１）母子保健指導費　２６，８０６，４０４円

・母子健康手帳交付（実数）　２，５７５件

・パパママ教室　１２回　受講者数　５５３人

・多胎パパママ教室　４回　受講者数　６２人

・２ｎｄマタニティ教室　６回　受講者数　１３７人

・母子保健推進員養成講座　６回　受講者延べ数　３４人

・パパと一緒に楽しむベビー教室

６回　受講者組数　８０組

・ふれあい子育て教室　８回　受講者組数　１９４組

・産後ケア　利用件数１，０５４件

（２）地域母子保健指導費　３２０，５６０円

・育児相談（延べ件数）

来所相談　９３７件

電話相談　５，９２６件

オンライン相談　４９件

（３）思春期教育費　５７７，９４０円

・こころとからだの性教育事業

小・中学校　３０校

（４）子育て家庭訪問指導費　３２０，１５９円

・養育支援訪問（保健師・助産師）延べ人数　２，３７３人

３　医療給付費【おやこ応援課・保健支援課】１４６，９４６，４７２円

（１）未熟児養育医療費　１３，０８６，２４３円

新規承認件数　５５件

（２）障がい者育成医療費（自立支援医療給付）

１，１０５，５８３円

承認件数　２０件

（３）　小児慢性特定疾病医療費　　１３２，７５４，６４６円
　　承認件数　　３６０件
４　不妊治療対策費【おやこ応援課】　　１２，２４３，７２０円
（１）　不妊症・不育症相談費　　１４０，０００円
　　相談件数　　４件
（２）　不育症検査費補助金（７／１０）　　１２０，０００円
　　承認件数　　２件
（３）　不妊治療費補助金（７／１０）　　１１，９８３，７２０円
　　承認件数　　２６１件
５　母子保健費過年度国県支出金返還金　　６，１２１，０４７円
【こども相談課・おやこ応援課・保健支援課】
（１）　こども相談課過年度国県支出金返還金　　３７１，０００円
（２）　おやこ応援課過年度国県支出金返還金　５，３０４，９０６円
（３）　保健支援課過年度国県支出金返還金　　４４５，１４１円

4-1-5目　障がい者保健費

			（前年度）
当初予算額	37,603,000円	（	38,651,000円）
予算現額	31,234,859円	（	29,712,000円）
決算額	29,906,307円	（	29,153,244円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	1,328,552円	（	558,756円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　保健支援事務費【保健支援課】　　１７７，９２８円
２　精神保健予防対策費【保健支援課】　　２，５２８，４３４円

精神障がい者及びその家族を支援するための各教室、市民や支援者を対象とする講演会・研修を開催し、知識の普及と障がいの理解啓発に努めました。また、精神科医師や心理職員、保健師等による相談を行い、相談者の不安解消に努めました。

家族教室等実施回数	実施回数	延べ参加人数
高次脳機能障がいの家族教室	４回	１６人
依存症の家族教室	２回	１１人
精神保健福祉地域普及講演会	１回	２０９人
精神障がい者支援従事者研修会	１回	３８人
精神障がい者地域支援協議会・部会	５回	７８人
ピアサポーターフォローアップ	８回	８人

相談件数	実施回数	延べ件数

精神保健福祉相談	１８回	３１件
依存専門医による相談	２回	６件
心理職員による相談	８回	１０件
来所・電話相談		１，５１０件
家庭訪問		９６件
緊急事例対応		４３件
警察官通報件数		３８件
措置入院者退院後支援事業		１１件
地域移行・地域定着支援		２４件
精神障がい者家族会による相談	５０回	１１９件
精神障がい者家族会による居場所運営	５０回	３０５件
自主グループ等支援	実施回数	
精神障がい者家族会（交流会）	１回	

3　難病患者・家族支援費【保健支援課】　２６，１９４，９８５円

難病・精神保健活動の充実を図るため、特定医療費専用窓口を設置しました。

難病患者及びその家族が安定した療養生活を送ることができるよう、専門医や保健師による相談を行いました。

相談等実施回数	実施回数	延べ人数
医師による個別相談	１回	１人
家庭訪問等		５６人

4　障がい者歯科事業費【健康政策課】　１，００４，９６０円

障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい者社会福祉施設（通所）において、歯科健康診査及びフッ化物歯面塗布、歯科保健指導を実施しました。

実施施設	１１施設
実施人数	２４３人

4－1－6目　感染症予防費

		（前年度）
当初予算額	2,617,317,000円	（ 1,926,121,000円）
予算現額	2,099,087,000円	（ 2,445,385,422円）
決算額	1,733,831,356円	（ 2,034,354,240円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	365,255,644円	（ 411,031,182円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（感染症診査協議会委員７人、予防接種健康被害調査委員会委

員５人）【感染症予防課】　２，０４８，８００円

２　感染症予防事務費【感染症予防課】　６３０，７３６円

３　結核予防対策費【感染症予防課】　３，２５０，６５８円

（１）　結核予防事務費　８０３，６８６円

パンフレットを企業等に配布して知識の普及啓発を行い、結核のまん延防止を図りました。

（２）　接触者健康診断費　２，４４６，９７２円

結核患者の確実な服薬を支援する地域ＤＯＴＳ（直接服薬確認療法）事業を推進しました。また、結核の早期発見と二次感染予防のため、登録患者の接触者を対象にＩＧＲＡ検査（結核感染の補助的診断）を活用した効果的・効率的な健康診断を実施しました。

接触者健康診断

＜区分＞	＜受診者数＞	＜患者発見数＞（発病のおそれ含む）
患者の家族	４７人	３人
他の接触者	１４０人	６人

４　感染症対策費【感染症予防課】　２０，３３０，１７５円

（１）　感染症予防費　１２２，１４６円

感染症の発生予防やまん延防止のため、疫学調査及び消毒指導等を実施しました。また、ホームページなどを通して、感染症の正しい知識の普及啓発を行いました。

ア　三類感染症届出状況

腸管出血性大腸菌感染症	１２件

イ　四類感染症届出状況

レジオネラ症	１０件
重症熱性血小板減少症候群	６件
日本紅斑熱	３件
つつが虫病	２件
Ｅ型肝炎	２件
Ａ型肝炎	１件

ウ　五類感染症届出状況

梅毒	３０件
百日咳	１７９件
その他アメーバ赤痢はじめ１２感染症	３４件

（２）　新興再興感染症対策費　４，９９０，６６２円

新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、備蓄品等を購入しました。

（３）　特定感染症予防費　　１０，２２２，２０６円

保健所において、ＨＩＶ及び梅毒の検査を実施しました。また肝炎については、感染不安のある市民を対象に医療機関において検査を実施しました。さらに、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を目的とした陽性者フォローアップ事業を実施しました。

正しい知識の普及のため、警察やボランティア団体との共働による啓発を行いました。

＜保健所検査＞

検査回数　　２８回

検査件数　　ＨＩＶ　　５２２件

梅毒　　５２２件

＜医療機関検査＞

検査件数　　Ｂ・Ｃ型肝炎検査　２０１件

（４）　感染症発生動向調査費　　４，９９５，１６１円

市内の指定届出機関から感染症発生情報を収集し、国及び県に報告するとともに、医療機関、教育委員会、市民等に発生動向に関する情報を提供しました。令和７年度から新たに急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）の調査を開始しました。

＜指定届出機関＞　　１２医療機関

小児科定点	６定点
ＡＲＩ定点（小児科・内科）	９定点
眼科定点	２定点
ＳＴＤ（性感染症）定点	４定点
基幹定点	１定点
疑似症定点	２定点
病原体定点	２定点

医療機関からの検体提供　　１２０件

５　予防接種費【感染症予防課】　　１，６９９，６５５，５４２円

（１）　定期予防接種費　　１，６２９，９９５，６３３円

感染症の発生及びまん延を予防するため、予防接種法に基づき１８疾病の予防接種を乳幼児や高齢者などに実施しました。

＜種類＞	＜被接種者数＞
Ａ類疾病	
ＢＣＧ	２，４１６人
ポリオ	４０人
４種混合	８５８人
５種混合	９，２５７人
２種混合	２，９８３人

麻しん風しん混合　５，３２３人
日本脳炎　１０，８３９人
子宮頸がん　３，９９６人
ヒブ　３４４人
小児用肺炎球菌　９，９３４人
水痘　４，８２７人
Ｂ型肝炎　７，３０５人
ロタ　６，５７１人
風しん第５期　３人

Ｂ類疾病
インフルエンザ　５９，３３７人
新型コロナ　１８，３５８人
高齢者用肺炎球菌　１，６８８人
帯状疱疹　１４，８０４人

（２）　任意予防接種費　５９，４８０，７０９円

感染症の発生及びまん延を予防するため、５疾病の予防接種等や免疫を失った子への再接種費用について助成しました。

＜種類＞　＜被接種者数＞

ア　任意予防接種費用助成事業
おたふくかぜ　４，０３７人
帯状疱疹　４，３２４人
男性ＨＰＶ　７９人

イ　風しん対策事業
風しん抗体検査　７３７人
麻しん風しん混合　２５８人
風しん　６８人

ウ　麻しん対策事業
麻しん抗体検査　３１９人
麻しん風しん混合　８３人

エ　免疫を失った子への再接種費用助成　２人

（３）　インフルエンザ予防接種費補助金（１０／１０）　１０，１７９，２００円

中学３年生及び高校３年生の世代を対象として、補助金を交付しました。

６　医療給付費【感染症予防課】　４，４８８，１５４円

感染症患者の医療費の自己負担分を公費負担し、負担軽減を図りました。

（１）　結核医療給付費　４，３９６，２３２円

通院医療　　延べ　２７１件
入院医療　　延べ　　４２件

（２）　感染症患者入院医療給付費　　９１，９２２円
新型コロナウイルス感染症の入院医療費を給付しました。

7　結核予防対策事業費補助金（２／３）【感染症予防課】
３，４２７，２９１円
定期健康診断の受診率の向上を図るため、胸部エックス線撮影の経費を補助しました。

学校法人　　５法人　　５施設
社会福祉法人　　８法人　２２施設

◆特記事項
定期予防接種費において、新型コロナ等の接種数が見込みを下回り、３４４，２５１千円の不用額が生じました。【感染症予防課】

4- 1- 7目　生活衛生費

		（前年度）
当初予算額	110,297,000円	（ 99,721,000円）
予算現額	100,645,325円	（ 113,829,560円）
決算額	89,091,533円	（ 101,007,490円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	11,553,792円	（ 12,822,070円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　薬務監視指導費【健康政策課】　　４７５，２６４円
（１）　薬局、毒物劇物販売業者等に対して立入調査を実施するなど、各法令に基づく店舗管理及び医薬品等の適正販売についての監視指導を行いました。

薬局等施設監視　　２５７件
毒物劇物販売施設等監視　　３７件
衛生検査所監視　　１件

（２）　麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用防止に向けた啓発事業を効果的に実施するため、薬物乱用防止推進協議会を開催し、年間を通じて啓発活動を展開しました。

薬物乱用防止推進協議会開催　　１回
街頭啓発活動　　２回
講習会開催　　１７回

2　環境衛生監視指導費【感染症予防課】　　６９７，４９０円
（１）　環境衛生関係営業施設に対し、各法令に基づく衛生管理、自主

管理状況等について調査を行いました。

環境衛生関係営業施設の監視　２８３件

（２）　多数の者が利用し、相当程度の規模を有する特定建築物に対し利用者の衛生的環境を確保するため監視指導を行いました。

特定建築物の監視　５１件

（３）　温泉法に基づき温泉を利用している施設に対し、適切な温泉利用を図るため監視指導を行いました。

温泉利用施設の監視　４件

（４）　ハエや蚊などの衛生害虫や化学物質による室内空気環境汚染など住環境に係る相談を受け付けました。

住環境衛生及び衛生害虫等の相談　３４４件

（５）　風水害等が発生した場合における感染症の発生及びまん延を防止するため、防疫用機器の整備及び操作訓練を実施しました。

防疫用機器の操作訓練　１回

3　食品衛生監視指導費【保健衛生課】　１２，４２１，５４０円

（１）　豊田市食品衛生監視指導計画に基づき、食品営業施設等に対する立入検査を実施するとともに、食品衛生に関する知識の普及を行い、食中毒の発生防止を図りました。

営業許可	新規		１，００３件
	更新		３件
監視指導			１，９０６件
収去検査			２０２件
講習会		開催数	１３回
		受講者数	２，４６０人

（２）　食の安全・安心に関する豊田市の取組について市民各界の意見を伺い、効果的な施策を推進するため、食の安全・安心を語る懇談会を開催しました。

食の安全・安心を語る懇談会	開催数	１回
	出席者数	７人

4　試験検査費【保健衛生課】　３８，４６２，７９６円

（１）　食品等の安全性確保、食中毒・感染症関連の原因究明及び拡大防止のために、食品・ふん便・水等の行政検査を実施しました。

食中毒関連検査		１１０検体	６０８件
感染症関連検査		４９検体	４９件
食品等検査	微生物	１３４検体	３４７件
	理化学	８９検体	２，９６０件
水質検査		８検体	３２件

（２）　ふん便、食品、水に関する依頼検査を実施しました。

ふん便検査　５，９５５検体　１５，９７０件
食品検査　２検体　２件
水質検査　６９検体　５１５件

（３）　試験検査の複雑化、高度化への対応、検査技術レベルの維持・向上のため、検査担当職員が各種研修に参加するとともに、外部機関による精度管理を実施しました。

5　食肉衛生検査費【保健衛生課】　５，０３９，７６３円

食肉の安全確保のため、と畜場に搬入された獣畜について、人獣共通感染症等の疾病検査、動物用医薬品等の残留有害物質検査を実施しました。また、と畜場におけるＨＡＣＣＰ（食品衛生管理手法）が適切に運用されているかを確認するため、外部検証を実施しました。

と畜検査頭数（豚のみ）　８１，０９２頭
残留有害物質検査数　１８７件
外部検証　現場検査　２４２回
記録検査　１２回
微生物試験（６０頭×２項目）　１２０件

6　動物愛護対策費【保健衛生課】　２０，２９７，３６１円

（１）　狂犬病予防法及び豊田市犬による危害防止条例に基づき、犬の登録、狂犬病予防注射、捕獲等を実施しました。

登録頭数　２１，７４６頭
うち新規　１，６２５頭
狂犬病予防注射実施　１８，０１２頭
捕獲　５頭
うち返還　５頭

（２）　動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬・猫の引取り及び負傷動物の保護を行いました。また、殺処分低減のため、飼養が可能な犬・猫の譲渡を行うとともに、飼養に関する相談等に対応しました。

引取り　所有者依頼　犬　３頭　猫　９頭
所有者不明　犬　１２頭　猫　３５頭
負傷動物の保護　犬　０頭　猫　５１頭
譲渡　犬　３頭　猫　６８頭
殺処分　犬　０頭　猫　２４頭
うち収容中死亡　犬　０頭　猫　２０頭
飼養に関する相談等　８７５件

（３）　豊田市人と動物の共生社会の推進に関する条例に基づき、多頭飼養に係る届出を受理し、講習を実施しました。

届出者数　１４件

（４）　動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物（人の生命、身体又は財産に危害を加えるおそれがある動物として政令で定める動物）の飼養又は保管について、基準に適合していることを確認しました。

許可施設数　　水槽型施設　　４件
　　移動用施設　　１件

（５）　動物愛護センターを拠点とし、豊田市人と動物の共生社会の推進に関する条例に基づき、犬のしつけ方講座などの各種講座、教室を開催し、市民の関心と理解を深める事業を実施しました。

１２事業　５０回　参加者２，０２９人

（６）　市民の生きがいづくりと動物愛護意識の普及を図るため、動物愛護ボランティア養成講座でボランティアを育成しました。

ボランティア養成講座　　２回　参加者　６人

（７）　収容動物の里親を見つけるための譲渡会を開催するとともに、犬猫を飼う前講座を実施しました。

譲渡会　　３４回　参加者２２５人

（８）　人とペットの災害対策として、同室避難所設営訓練等を実施しました。

同室避難所設営訓練　　２回　２２７人
防災教室　　１回　　３１人

7　動物愛護センター費【保健衛生課】　　８，８４９，４０６円

動物愛護センターの適切な維持管理を行いました。

来館者数　　１３，５３７人

8　地域猫事業推進費【保健衛生課】　　１，８８６，９１３円

野良猫によるふんや鳴き声による被害を軽減するため、地域で実施する地域猫活動を支援しました。

地域猫活動支援実施地域数　　２２６地域
避妊去勢手術実施頭数　　オス１７７頭、メス１９５頭

9　食品衛生費補助金（１／３）【保健衛生課】　　９６１，０００円

市民の安全な食生活を維持するため、豊田市食品衛生協会が実施する食品衛生指導、衛生知識の普及啓発等の事業に補助金を交付しました。

4款　衛生費

4- 2- 1目　環境衛生費

		（前年度）
当初予算額	1,359,701,000円	（ 1,266,955,000円）
予算現額	1,384,701,000円	（ 1,295,169,000円）
決算額	1,381,705,258円	（ 1,270,076,757円）
翌年度繰越額	0円	（ 25,000,000円）
不用額	2,995,742円	（ 92,243円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　廃止簡易水道施設費【上水運用センター】　４７，５３９，９０６円

（１）管理費　４５９，９０６円

管理施設数　３３施設

（２）撤去費　４７，０８０，０００円

廃止した水道施設２か所を撤去しました。

2　水道事業負担金【経営管理課】　２２５，３５４，３５２円

3　水道事業補助金（１０／１０）【経営管理課】　９００，０００，０００円

4　水道事業出資金【経営管理課】　２０８，８１１，０００円

4- 2- 2目　環境対策費

		（前年度）
当初予算額	787,204,000円	（ 464,326,000円）
予算現額	658,913,000円	（ 5,484,042,000円）
決算額	569,571,491円	（ 5,435,902,523円）
翌年度繰越額	47,445,000円	（ 3,902,000円）
不用額	41,896,509円	（ 44,237,477円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　４７，４４５，０００円

長寿命化改修事業（環境学習施設ｅｃｏ－Ｔ）　３３，９１３，０００円

公共施設太陽光発電設備整備補助事業　１３，５３２，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（環境審議会委員１２人、不良な生活環境を解消するための審議会委員６人）【環境政策課・環境保全課】　６１３，７００円

2　環境政策事務費【環境政策課】　２，３７０，５５６円

3　環境保全事務費【環境保全課】　３，１５３，１２１円

（１）　法令等に係る届出及び報告

件数：大気２１５件、水質２２８件、騒音１８７件、
振動２００件、特定建設作業１，８６０件、
石綿事前調査結果４，２９１件、
公害防止組織８０件、化学物質２９８件、
土壌１９８件、ダイオキシン類２４件、
悪臭５３件及び揚水１１０件

（２）　工場及び事業場等の規制指導

関係法令に基づき立入検査及び行政指導を行いました。

大気汚染防止法	延べ１２７事業所
水質汚濁防止法	延べ１１０事業所
騒音規制法等	延べ６２事業所
振動規制法等	延べ１３事業所
悪臭防止法等	延べ２５事業所
ダイオキシン類対策特別措置法	延べ１７事業所
土壌汚染対策法	延べ５事業所

（３）　光化学スモッグ及びＰＭ２．５緊急時対策

愛知県から光化学スモッグ予報が２回発令され、緊急メールとよた等により市民に周知しました。ＰＭ２．５注意喚起情報は、発令されませんでした。

（４）　苦情処理

苦情件数２８９件（延べ３２３件）

内訳：大気汚染１４６件、水質汚濁１５件、騒音９５件、
振動１９件、悪臭３２件及びその他１６件※重複あり

（５）　河川事故等への緊急対応

河川への濁水や油の流出事故等について、緊急対応しました。

対応件数　６件

4　産業廃棄物対策費【廃棄物対策課】　１１，５６４，０８０円

（１）　事務費　７，６５２，１９８円

（２）　不適正処理産業廃棄物対策費　７７６，８８２円

ア　産業廃棄物処理施設等への立入検査・指導

産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理のため、処理業者、産業廃棄物処理施設等に立ち入り、検査・指導を行いました。

立入件数　延べ１，３３９件

内訳：定期７９件、保管量１５９件、その他１，１０１件

イ　不適正処理に関する行政指導及び行政処分

産業廃棄物処理業者等に行政指導を行いました。

行政指導　指導票　２１件

ウ　産業廃棄物に係る苦情処理

苦情件数　１８２件
内訳：廃棄物の野焼き１３５件、不法投棄２２件、
その他２５件

（３）　航空写真を解析した不法投棄等監視費　３，１３５，０００円
写真画像解析により目視で確認できない現場の監視ほか、不法投棄や不適正処理の早期発見及び早期指導を行いました。
現地調査箇所数　１，０３５箇所
不適正処理発見数　２１箇所（うち年度内改善１１箇所）

5　ＰＣＢ処理推進費【廃棄物対策課】　３，９６０，４６８円
ＰＣＢ処理安全監視費
ア　安全監視委員会等の開催
安全監視委員会による北海道ＰＣＢ処理事業所の視察、作業部会（１回）及び委員会（１回）の開催により豊田ＰＣＢ処理事業所の事業監視及び適切な情報公開に努めました。
イ　ＰＣＢ環境調査
国や近隣自治体の協力を受け、大気３地点、土壌１地点、河川（水質・底質）２地点の調査を行いました。

6　環境基本計画策定費【環境政策課】　８，０３０，０００円
環境基本計画及び地球温暖化防止行動計画の改定に向け、パブリックコメントを実施し、計画を策定しました。

7　公共施設脱炭素対策推進費【環境政策課】　７７，７１６，３９６円
（１）　公共施設太陽光発電設備整備事業費　１２，５８６，３９６円
ア　令和６年度に整備した太陽光発電設備のリース　５施設
イ　新たに太陽光発電設備をリース方式で設置　１０施設
ウ　水道施設の太陽光発電設備の設置可能性調査を実施
エ　太陽光発電設備の設置に向けた地質調査を実施
（２）　公共施設太陽光発電設備整備事業費補助金（１／２）
６５，１３０，０００円
太陽光発電設備整備事業の契約者に対し、整備費用の一部を補助しました。

8　環境対策啓発費【環境政策課・循環型社会推進課】
１３，５５５，３６６円
（１）　とよたＳＤＧｓポイント費
加入者　３１，１１７人
（アプリ：５，６７３人、カード：２５，４４４人）
加盟店　１００店舗
（２）　エコライフ活動推進費
６５団体で構成する「とよたエコライフ倶楽部」の活動を推進

し、環境にやさしいライフスタイルづくりに努めました。４月に開催されたとよたガーデニングフェスタ等への出展やコンポストの使い方講座等を実施したほか、市内３か所に地域拠点として木枠コンポストを設置し、生ごみの資源循環を推進しました。

イベントの出展　８イベント

出前講座の実施　１３回

９　地球温暖化防止対策推進費【環境政策課】２６２，０１２，３００円

（１）　地球温暖化防止対策関連費　１４，４３８，８７６円

ア　温室効果ガス排出量の算定（令和５年度市内全域の排出量）

イ　脱炭素スクールの開催

第４期後期スクール　４回、第５期前期スクール　４回

ウ　とよた・ゼロカーボンアクションの実践

キャンペーン２件、イベント啓発１４件

（２）　気候変動適応推進費　４，２１６，６５５円

ア　気候変動適応情報プラットフォームの運用

イ　クーリングシェルターの設置

公共施設　７３か所、民間施設　６９か所

ウ　熱中症対策講座の開催　３回

（３）　次世代自動車普及促進費　２４４，５５７円

ＳＡＫＵＲＡプロジェクトによる次世代自動車の普及啓発のためのイベント出展を１７件（うち自動車販売店等出展１０件）行いました。

（４）　スマートハウス普及促進費　１，６２５，２１２円

チラシやリーフレットを作成し、スマートハウスの普及啓発を行いました。

（５）　家庭用燃料電池設置費補助金（５／１００）

３，９０９，０００円

交付件数　７９件

（６）　次世代自動車普及促進費補助金（定額）

６２，２９６，０００円

電気自動車・プラグインハイブリッド車　交付台数３３１台

充電設備補助件数　１０２件

（７）　事業者向次世代自動車普及促進費補助金（定額）

１３，５１５，０００円

電気自動車・プラグインハイブリッド車　交付台数　７１台

充電設備補助件数　１４件

（８）　家庭用蓄電池設置費補助金（定額）　４６，４０３，０００円

交付件数　３４６件

（９）　スマートハウス化設備設置費等補助金（定額）
３８，６１０，０００円
交付件数　１５６件（うちＺＥＨ補助件数１１７件）
（１０）　住宅省エネ改修費補助金（定額）　７６，７５４，０００円
交付件数　１３３件
１０　再エネ次世代自動車普及促進費補助金（定額）【環境政策課】
８，９５０，０００円
電気自動車・プラグインハイブリッド車　交付台数　６台
Ｖ２Ｈ・充電設備補助件数　１３件
１１　ＦＣトラック普及促進費補助金（１／１２・定額）【環境政策課】
２６，９７６，０００円
ＦＣトラック　交付台数　７台
１２　環境学習施設ｅｃｏ－Ｔ（エコット）費【環境政策課】
５３，７９５，６３８円
（１）　学習事業

エコット来館者		延べ　１９，５５４人
学校の施設見学学習	６３校	３，８７７人
出前授業	７２回	延べ　３，２５１人
エコライフ講座	１１５回	延べ　２，５７９人
（うち卒ＦＩＴセミナー	２回	延べ　１７９人）
出前講座	９回	延べ　４７３人
積み木キャラバン	５０こども園	１，３１５人

インタープリター登録数（積み木キャラバン隊含む）
延べ１０２人
（２）　イベント事業
エコットフォーラム　８月２４日　１０３人
エコットフェスタ　１２月７日　８３２人
（３）　長寿命化改修
施設の長寿命化改修工事に係る設計を行いました。
１３　不良な生活環境解消推進費【環境保全課】　５８０，８２５円
いわゆる「ごみ屋敷」等の不良な生活環境を解消し、市民が安心して暮らすことができる安全で快適な生活環境を確保するため、関係機関と連携した福祉的な支援や声掛けなど、解消に向けた取組を行いました。
対応件数　８２件（うち新規２３件）
解決　６３件
１４　環境調査費【環境保全課】　４８，９９５，５２５円
（１）　大気汚染調査
ア　有害大気汚染物質等調査

大気汚染防止法に基づき、大気中の有害大気汚染物質等の状況把握のため、実態調査を実施しました。

３地点　年１２回

環境基準設定４物質は全て環境基準を達成しました。

指針値設定１１物質は全て指針値に適合しました。

イ　大気環境中の石綿濃度調査

１地点　　年１回　０．１３本／Ｌ

ウ　微小粒子状物質（ＰＭ２．５）の成分分析調査

２地点　　年４回　４６成分

（２）　水質汚濁調査

ア　河川調査

公共用水域の水質を把握するため、水質調査を実施しました。

４３河川５６地点

カドミウム等の健康項目は、全ての地点で環境基準を達成しました。ＢＯＤ等の生活環境項目は、介木川等４河川の大腸菌数、逢妻女川のＢＯＤ及び逢妻男川の一部の月のｐＨを除き、類型指定された全ての地点で環境基準に適合しました。

ノニルフェノール等の水生生物保全項目は、逢妻川水系で全亜鉛が環境基準を超過し、要監視項目は、全ての地点で指針値に適合しました。

イ　地下水調査

（ア）　概況調査

水質汚濁防止法に基づき、市内の地下水質の状況を把握するため、１１地点で地下水調査を実施しました。

１１地点２７項目を調査した結果、全ての地点で環境基準を達成しました。要監視項目の全マンガンを１地点（前林町）で調査した結果、指針値を超過しました。

（イ）　定期モニタリング調査

水質汚濁防止法に基づき、過去に汚染が判明した地域を継続的に調査しています。

２８井戸で、鉛、トリクロロエチレン等１４項目を調査した結果、６井戸でトリクロロエチレン等４項目が環境基準を超過しました。

（ウ）　汚染井戸周辺地区調査

事業者から土壌汚染の報告があったため、２地点２井戸で、ふっ素等２項目を調査した結果、全ての井戸で環境基準に適合しました。

ウ　排水基準等監視調査

工場を中心に立入確認及び排水検査を実施し、有害物質使用特定事業場は土壌地下水汚染防止対策の確認を行いました。

延べ　９４事業所

８事業所で排水基準等違反があり、改善対策を指導しました。

エ　ゴルフ場排出水中の農薬検査

６ゴルフ場　４項目　延べ１４検体

全て指針値、協定値に適合しました。

（３）　ダイオキシン類常時監視調査

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、公共用水域水質・底質、地下水質及び土壌中のダイオキシン類の状況把握のため、調査を実施しました。

大気　１地点　年４回

公共用水域水質　３地点　年２回

公共用水域底質　３地点　年１回

地下水質　３地点　年１回

土壌　３地点　年１回

全ての地点で環境基準を達成しました。

（４）　環境騒音調査及び振動調査

環境騒音調査（一般地域及び道路に面する地域）、自動車騒音調査及び道路交通振動調査を実施し、市域の状況把握に努めました。

環境騒音調査（一般地域１３地点）環境基準達成率９２．３％

環境騒音調査（道路に面する地域７路線２，６６７戸）環境基準達成率９８．７％

自動車騒音調査は、７地点全てで要請限度を下回りました。

道路交通振動調査は、３地点全てで要請限度を下回りました。

（５）　排出ガス中のダイオキシン類等調査

ダイオキシン類及びばい煙測定を２事業所の３施設で実施し、全て排出基準に適合しました。

１５　水環境指標推進費【環境保全課】　１８７，５９８円

西中山川、伊保川等において、市民と共働調査を実施し、市民に分かりやすい水環境指標の推進に努めました。

調査河川数　１４河川

調査参加者　４８５人

１６　水質浄化対策費【環境保全課】　３０，０００円

豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会（３０市町村等加盟）の活動を通じて三河湾の水質浄化に努めました。

１７　環境保全協定推進費【環境保全課】　９４２，４０６円

市内中小企業の環境法令遵守及び環境取組のレベルアップのため、環境法令学習用教材の配布や、環境取組技術支援セミナーを開催しました。

教材配布数　２，６６９部（ダウンロード含む）

セミナー参加者　４９人

１８　大気測定局費【環境保全課】　３７，１８９，９８０円

（１）　管理費

北部局（加納町）１３項目測定

東部局（宝来町）　９項目測定

中部局（三軒町）１５項目測定

南部局（竹元町）１０項目測定

新田局（花園町）１０項目測定

環境基準設定項目である、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質（ＰＭ２．５）は全局で環境基準を達成し、光化学オキシダントは全局で達成しませんでした。

（２）　伊勢湾岸自動車道関連環境調査費

騒音調査を新田局（花園町）で行いました。また、上郷局（上郷町）始め３局の廃止に伴い、機器の撤去、移設を行いました。

（３）　施設整備費

北部局（加納町）及び南部局（竹元町）の気象計を更新しました。

１９　脱炭素社会推進基金積立金【環境政策課】　８，９４７，５３２円

脱炭素社会実現に向けた取組に活用するため、基金の積立を行いました。

◆特記事項

・長寿命化改修事業（環境学習施設ｅｃｏ－Ｔ）において、事業の平準化を図るため、９月議会で３３，９１３千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【環境政策課】

・公共施設太陽光発電設備整備補助事業において、構造調査の結果、年度内に整備できなかった施設分について、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【環境政策課】

4款　衛生費

4- 3- 1目　清掃総務費

		（前年度）
当初予算額	1,298,729,000円	（ 1,272,619,000円）
予算現額	1,410,794,925円	（ 1,355,383,500円）
決算額	1,373,029,620円	（ 1,315,403,507円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	37,765,305円	（ 39,979,993円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職１６６人、非常勤一般職２８人）【人事課】
１，３２５，２２０，８４４円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　１，５９９，１１０円

3　清掃事務費【循環型社会推進課】　１，５６６，０９２円

4　一般廃棄物処理基本計画策定費【循環型社会推進課】
５，４３８，４００円

廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理基本計画の策定業務を委託し、令和８年３月に策定、公表しました。

5　環境委員活動費【循環型社会推進課】　３８２，３７１円

市民の廃棄物に関する意識の向上及びごみの減量・資源化を推進するため環境委員の活動を支援しました。

6　廃棄物意識啓発費【循環型社会推進課】　１１，４１８，７５５円

（１）　市民等にごみの分別・資源リサイクルの必要性を啓発し、ごみ減量に対する意識の向上に努めました。また、フードドライブの実施とともに、活動を行う事業者へ資材の貸与や共働で啓発活動するなど、食品ロスの削減に取り組みました。

出前講座の実施　１０回　４４５人

資源・ごみ分別アプリの累計ダウンロード数　９７，２３４件

各種啓発冊子、パンフレットの作成

ごみカレンダー　１７８，０００部

ごみガイドブック　１６，２００部

外国語版ごみガイドブック　３，５００部

市内小売店等で食品ロス削減啓発ポスターの掲示　１０４店舗

賞味期限間近の災害備蓄食品アレンジレシピ試食会　１００人

フードドライブの実施・支援　１１回

フードドライブポストの常設設置　４か所

フードシェアリングサービス（令和７年９月まで）

協力店登録店舗数　２０店舗

（２）　災害廃棄物処理の初動対応を強化するため、地域と連携して市

民仮置場の設置・運営訓練を実施し、訓練の成果を踏まえて啓発用のハンドブックを作成しました。

（３）　ごみステーションからのごみの持ち去りを防止するため、行為者に対する厳正な対応を進めました。

警備会社によるパトロール　２０回

行為者への文書指導　１８人

７　庁舎等施設費【清掃施設課】　２７，４０４，０４８円

（１）　清掃庁舎等管理費　２４，８９４，２６８円

（２）　清掃庁舎等整備費　２，５０９，７８０円

4- 3- 2目　塵芥処理費

		（前年度）
当初予算額	1,989,330,000円	（ 2,030,253,000円）
予算現額	1,953,739,075円	（ 1,932,003,500円）
決算額	1,883,851,009円	（ 1,860,958,405円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	69,888,066円	（ 71,045,095円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　ごみ収集事業費【清掃業務課】　１，０７７，５７６，０５７円

（１）　一般家庭から排出されたごみを収集しました。

令和７年度収集量（前年度対比３．５％減）

燃やすごみ　６３，２２３ｔ

金属ごみ　１，０４８ｔ

埋めるごみ　８７４ｔ

資　源　２，４８２ｔ

（内訳　飲料缶１０７ｔ　びん７３１ｔ

ペットボトル２７７ｔ

プラスチック製容器包装１，３６７ｔ）

有害ごみ　１３２ｔ

（内訳　廃乾電池１１３ｔ　廃蛍光管１９ｔ）

危険ごみ　１２２ｔ

（内訳　スプレー缶１１３ｔ　ライター９ｔ）

合計　６７，８８１ｔ

（２）　市民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう次の事業を実施しました。

ア　ごみ収集場所６２か所を新設し、収集場所の適正配置に努めるとともに、ごみ出しマナーの向上、分別出しの徹底による収集の

効率化に努めました。

イ　ひとり暮らしの高齢者・障がい者等を対象としたごみ収集支援「ふれあい収集」を３８９世帯に実施しました。

ウ　ごみの散乱防止等のため、自治区等に対しごみステーション原材料支給を行いました。

（原材料支給　ごみステーション６１か所　防鳥ネット支給１，５８８枚）

エ　じん芥収集車両　９台（小型ワイド６台、中型３台）を購入しました。

オ　「ごみの正しい出し方」「資源の再利用」について以下のとおり実施しました。

（ア）　指定ごみ袋を容易に入手できるようにするため、自治区に指定ごみ袋のあっせんを行いました。

２３３自治区　９６，８１３パック

（イ）　ごみ出しマナーの向上のため、地域と共働でごみステーションに分別方法を示した看板等を設置しました。

分別収集用看板３０２枚、資源収集用看板１０８枚、啓発用看板５３枚

（ウ）　転入者に指定ごみ袋でのごみ出し、分別の周知を図るため、転入者用ごみ袋セットを作成し、市民課や支所・出張所の窓口で配布しました。

転入者用ごみ袋セット　９，４００セット

カ　不燃ごみリサイクル処理事業

金属ごみ、粗大ごみ、廃棄自転車、不法投棄された不燃ごみを民間施設で破砕選別処理を行い資源回収と減容化を図りました。

処理量１，３１４ｔ　資源回収量　９１７ｔ（６９．８％）

回収量　金属　６４９ｔ

非鉄　６４ｔ

小型家電　２０４ｔ

２　勘八不燃物処分場費【清掃施設課】　７６，８４９，８１３円

（１）　施設管理費　６９，８１５，３１３円

処理水放流量　１６，１１２㎥

（２）　施設整備費　７，０３４，５００円

浸出水処理方式について比較検討及び評価を行いました。

３　グリーン・クリーンふじの丘費【清掃施設課】

２６３，７０９，６３５円

ごみ等搬入量　２，８７８ｔ

資源等搬出量　７４９ｔ

埋立量　２，１２９ｔ
処理水放流量　１５，９４３㎥

４　廃棄物資源化事業費【循環型社会推進課】２４１，８８６，５６９円

（１）　資源を集団回収した登録団体に対して報奨金を交付し、ごみの減量及び資源化並びに快適な生活環境の向上を図りました。

報奨金交付額　１４，８６８，１７９円
活動団体数　３５３団体
回収量　古紙類　１，６９６ｔ
古布類　４１ｔ

（２）　市内２２か所のリサイクルステーションにおいて、資源を回収し、ごみの減量及び再資源化を促進しました。

回収量　古紙類　５，２２４ｔ
古布類　３９１ｔ
飲料缶　３２３ｔ
ペットボトル　７２５ｔ
ガラスびん　１，１９６ｔ
プラスチック製容器包装　４６３ｔ
事業系古紙類　６８ｔ
廃食用油　１６ｔ

（３）　国の指定法人である（公財）日本容器包装リサイクル協会へ委託し、「プラスチック製容器包装」及び「ガラスびん（その他の色）」の再商品化を実施しました。

プラスチック製容器包装　１，７０１ｔ
ガラスびん（その他の色）　２３５ｔ

（４）　家庭から粗大ごみ等として排出された家具等を清掃・補修し、リユース（再使用）品として展示し、販売・無償譲渡して循環型社会の構築を図りました。

リユース工房
販売数　６２０点（９ｔ）
売払収入　１，３２３，０００円

リユーススポット
販売・譲渡数　３，１６１点（１５ｔ）
売払収入　９８５，９００円

（５）　コンポスト講座及びカバン型コンポストの貸与等を実施し家庭から排出される生ごみの資源循環を促進しました。

ダンボールコンポスト講座の開催
講座２４回　２１２人参加

カバン型コンポスト講座の開催

講座８か所　９回

カバン型コンポストの貸与　９０９世帯

（６）集団回収された古紙類及び古布類の回収を行う事業者に対して補助金を交付し、ごみの減量及び再資源化の促進を図りました。

補助金交付額　３，３３９，２４２円

交付事業者数　１９事業者

（７）生ごみ処理機器等を購入した世帯に対して補助金を交付し、家庭から排出される燃やすごみの減量・資源化を促進しました。

交付件数　４８７件

補助金交付額　８，６８４，４００円

5　緑のリサイクルセンター費【清掃施設課】１６０，４８２，５８９円

処理量　２，３８８ｔ

堆肥等利用量　７２６ｔ

6　粗大ごみ収集事業費【清掃業務課】　３８，３２３，０３６円

粗大ごみの収集について、戸別収集を行いました。

収集件数　１７，０２１件（令和６年度１７，６３０件）

収集個数　３７，６８３個（令和６年度４１，６７４個）

収集量　６０２ｔ（令和６年度　６５４ｔ）

7　きれいなまちづくり費【清掃業務課】　２５，０２３，３１０円

（１）直営不法投棄班（７人）と会計年度任用職員の不法投棄パトロール員（１５人）で不法投棄のパトロール及び不法投棄物の回収（家電４品目・タイヤ等）を行い、処理しました。

処理件数　１，０６３件　（令和６年度　１，１１４件）

処理量　５６．２ｔ　（令和６年度　４９．６ｔ）

（２）豊田市に登録された不法投棄パトロール隊へ不法投棄対策及びまちの美化活動に必要な資材を支給し、活動を支援しました。

令和７年度不法投棄パトロール隊２１１団体　６，６２６人

（令和６年度不法投棄パトロール隊２０８団体　６，６２９人）

（３）ごみ散乱防止対策として、ポイ捨てごみの多い地域へ看板を配布し、ごみ散乱防止の啓発を行いました。

犬フン公害防止看板　１３４枚

不法投棄禁止看板　１５９枚

4- 3- 3目　し尿処理費

		（前年度）
当初予算額	905,199,000円	（ 919,404,000円）
予算現額	855,813,000円	（ 838,956,909円）
決算額	820,513,943円	（ 806,642,314円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	35,299,057円	（ 32,314,595円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　し尿収集事業費【清掃業務課】　１７６，６４１，９６８円

（１）　直営収集

都市景観や環境に配慮し、側面をパネル架装したし尿収集車で計画的に収集作業を実施しました。（収集世帯数：６７世帯）

（２）　委託収集（１組合、１業者）

し尿収集作業の一部を業者へ委託しました。

（収集世帯数　１，０８８世帯）

し尿搬入量

逢妻衛生プラント	１，４２７ｔ
砂川衛生プラント	３，２７２ｔ
し尿搬入量　計	４，６９９ｔ

2　砂川衛生プラント費【清掃施設課】　２８３，９２８，１２５円

※全体　（　豊田市分　）

し尿処理量　計	３，５７５ｔ（	３，２７２ｔ ）
汚泥処理量　計	５４，９６０ｔ（	４９，９１０ｔ ）

※全体は、みよし市分を含む。

3　逢妻衛生プラント費【清掃施設課】　３４８，７７８，３０１円

※全体　（　豊田市分　）

し尿処理量　計	１，９１１ｔ（	１，４２７ｔ ）
汚泥処理量　計	６５，０９６ｔ（	４９，０４１ｔ ）

※全体は、知立市分を含む。

肥料利用量　３４６ｔ

4　浄化槽対策費【下水道施設課】　４，９７６，２８７円

（１）　事務費

（２）　浄化槽適正管理推進費

地域ぐるみで浄化槽の適正な維持管理を推進する「浄化槽維持管理促進事業」を実施しました。

実施団体	４５団体
実施世帯	３，６２４世帯

5　公衆便所費【清掃業務課】　6，189，262円

名鉄豊田市駅周辺や浄水駅前など10か所の公衆トイレの清掃・補修等の維持管理を行いました。

4- 3- 4目　清掃工場費

		（前年度）
当初予算額	5,599,639,000円	（ 4,209,572,000円）
予算現額	5,820,852,000円	（ 4,370,270,091円）
決算額	5,390,093,106円	（ 4,044,292,635円）
翌年度繰越額	381,344,000円	（ 263,765,000円）
不用額	49,414,894円	（ 62,212,456円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	362，677，000円
渡刈クリーンセンター設備改修事業	362，677，000円
☆繰越明許費☆	18，667，000円
長寿命化改修事業（渡刈クリーンセンター管理棟）	18，667，000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　渡刈クリーンセンター費【清掃施設課】　4，710，804，106円

（1）　管理運営費　2，260，415，117円

ごみ焼却量　3炉合計　84，046ｔ

発電電力量　40，031MWh

売電電力量　19，906MWh

溶融スラグ利用量　2，313ｔ

（2）　施設整備費　2，444，748，189円

基幹的設備改良工事を行いました。

（3）　長寿命化推進費　5，640，800円

2　プラスチック資源化施設費【清掃施設課】　99，041，274円

処理量　1，820ｔ

引渡量　1，701ｔ

3　藤岡プラント費【清掃施設課】　569，541，116円

（1）　管理運営費　565，768，116円

ごみ焼却量　15，175ｔ

（2）　施設整備費　3，773，000円

4　新清掃工場費【循環型社会推進課】　10，706，610円

準備費　10，706，610円

新ごみ焼却施設の整備に係る基本構想の策定等を行いました。

4款　衛生費

◆特記事項

長寿命化改修事業（渡刈クリーンセンター管理棟）において、事業の平準化を図るため、９月議会で１８，６６７千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【清掃施設課】

5款　労働費

			（前年度）
当初予算額	328,176,000円	（	171,001,000円）
予算現額	371,048,000円	（	173,903,000円）
決算額	351,935,926円	（	166,386,467円）
翌年度繰越額	2,969,000円	（	0円）
不用額	16,143,074円	（	7,516,533円）

5- 1- 1目　労働費

			（前年度）
当初予算額	328,176,000円	（	171,001,000円）
予算現額	371,048,000円	（	173,903,000円）
決算額	351,935,926円	（	166,386,467円）
翌年度繰越額	2,969,000円	（	0円）
不用額	16,143,074円	（	7,516,533円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　２，９６９，０００円

長寿命化改修事業（福祉就業センターふれあいの家）　２，９６９，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職９人、非常勤一般職５人）【人事課】
９４，５７５，０２６円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　３０２，１１０円

３　労政事務費【産業人材活躍課】　１３５，２０４円

４　職業訓練校費【産業人材活躍課】　８，８８５，４３８円

職業訓練校の適正な維持管理に努めるとともに、訓練生の授業料や教材用の木材調達への支援により、訓練事業の運営強化を図りました。

指定管理者　職業訓練法人豊田職業訓練協会

訓練生　１２人

５　福祉就業センター費【産業人材活躍課、建築保全・住宅課】
４２，９２５，９６５円

（１）　管理運営費

指定管理者（公社）豊田市シルバー人材センター

（２）　施設保全費

ふれあいの家の屋上防水工事や外壁補修などを実施しました。

（３）　施設整備費

ふれあいの家や山室花はうすのＬＥＤ設備リース料を支出しました。

（４）　長寿命化推進費

受変電設備改修工事に着手し、福祉就業センターの適切な維持管理に努めました。

６　就労支援費【産業人材活躍課】　　１６８，８０６，２６１円

（１）　就労支援室費

就職希望者を対象に、ハローワーク豊田と連携し、一体的就労支援事業を実施しました。

相談件数　３，２５８件

紹介件数　　９１２件

就職件数　　２７５件

（２）　若年者就労支援費

高校生向けキャリア教育イベントや大学生向けインターンシップ等を実施しました。

高校生向けイベント参加者数　　３２人

大学生向けインターンシップ参加者数　１４人

（３）　定住外国人就労支援費

就職に必要な技能習得を目的とした定住外国人向け日本語教室や外国人就労・定着支援を実施しました。

初級・中級日本語教室　　参加実人数　３６人

企業向け就労セミナー等　参加企業数　１１社

（４）　女性就労支援費

女性しごとテラスを運営し、職業相談・職業紹介・キャリア支援など、女性の就労を支援する取組を実施しました。

相談件数　１，４２７件

就職件数　　１２３件

（５）　中高年齢者就労支援費

個別相談、セミナー参加者数　　２１５人

（６）　シルバー人材センター運営費補助金（１０／１０）

（７）　高齢者能力活用推進費補助金（１０／１０）

高齢者の生きがいづくり及び多様な社会参加の促進を図るため（公社）豊田市シルバー人材センターに補助を行いました。

会員数　　１，９８６人

受注件数　　５，０４６件

７　働き方改革推進費【産業人材活躍課】　　１０，３５３，１５８円

（１）　アドバイザー派遣費

市内事業所の働き方改革の取組を促進するため、専門的知識を有する登録アドバイザーの活用促進を図るとともに、市内事業所へ派遣しました。

アドバイザー・講師派遣回数　１９事業所４１回

（２）　啓発事業費

市内事業所の働き方改革への取組意欲を喚起するため、意識啓発を実施しました。

優良事業所表彰　表彰事業所数　１５事業所

確認公表制度　確認公表完了事業所数　７５事業所

（３）　働き方改革推進支援補助金（２／３・１／２）

社内コミュニケーションの活性化やテレワークの導入、多様な人材の活躍推進等に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数　２７件

８　勤労者サービスセンター事業補助金（１０／１０）

【産業人材活躍課】　２１，８２２，７６４円

会員数　６，５２９人（５１９事業所）

９　勤労者対策費【産業人材活躍課】　４，１３０，０００円

（１）　雇用対策協会補助金（１／２）

事業内容　全国高校教員と企業の交流会、業界研究会等

（２）　労働団体公益的事業補助金（１／２）

事業内容　交通安全活動、環境美化活動

◆特記事項

長寿命化改修事業（福祉就業センターふれあいの家）において、事業の平準化を図るため、９月議会で５，２０３千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業人材活躍課】

6款　農林水産業費

		（前年度）
当初予算額	3,564,977,000円	（ 3,110,483,000円）
予算現額	4,006,434,000円	（ 3,242,162,000円）
決算額	3,535,935,535円	（ 3,050,900,030円）
翌年度繰越額	346,616,000円	（ 62,208,000円）
不用額	123,882,465円	（ 129,053,970円）

6- 1- 1目　農業委員会費

		（前年度）
当初予算額	134,024,000円	（ 135,662,000円）
予算現額	126,631,000円	（ 126,746,000円）
決算額	122,441,584円	（ 118,845,187円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	4,189,416円	（ 7,900,813円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（農業委員会委員６４人、一般職７人、非常勤一般職４人）
【農業委員会事務局・人事課】　１０８，０３９，８８４円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　３８６，１８０円

3　農業委員会事務費【農業委員会事務局】　１４，０１５，５２０円

《事務処理状況》

（１）　農地移動等処理状況（令和７年度）

＜項　目＞	＜件　数＞	＜面　積＞
農地法第３条	１１７件	１４．３ｈａ
農地法第３条解除付	０件	０．０ｈａ
農地法第１８条	１４３件	２５．８ｈａ
農地法第４条（許可）	１２件	１．２ｈａ
農地法第５条（許可）	１８２件	１５．５ｈａ
農地法第４条（届出）	４５件	２．６ｈａ
農地法第５条（届出）	１８１件	７．４ｈａ
事業計画変更承認	５件	０．９ｈａ
農地改良届	１３件	０．９ｈａ
現況証明	８６件	２．９ｈａ
生産緑地に係る主たる従事者の証明書	４件	０．６ｈａ
贈与、相続税の納税猶予に係る適格証明	８件	６．７ｈａ

その他　４６７件　１４９．２ｈａ
計　１，２６３件　２２８．０ｈａ

（２）遊休農地発生防止・解消
令和７年度末１号遊休農地面積　５３２．２ｈａ
令和７年度末２号遊休農地面積　９３．５ｈａ

（３）担い手への農地集積・集約
農用地区域内の農地集積率　平坦地　６２．６％
山村地　９．６％

6-1-2目　農業総務費

		（前年度）
当初予算額	649,713,000円	（669,095,000円）
予算現額	610,063,000円	（543,270,000円）
決算額	592,510,574円	（514,835,274円）
翌年度繰越額	0円	（7,500,000円）
不用額	17,552,426円	（20,934,726円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職４２人、非常勤一般職１５人）【人事課】
３９０，５４７，０６９円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　９７８，６７０円

３　農政事務費【農政企画課・農業振興課】　１，２５６，７８８円

４　農政総合推進費【農政企画課・農業振興課】６３，１８７，０００円

（１）農地調整推進費　６６０，０００円
農地転用許可台帳システムの保守管理のための業務委託を行いました。

（２）人・農地プラン（地域農業マスタープラン）推進費
８８０，０００円
地域計画に定めた目標地図をとよたｉマップへ掲載し、円滑な利活用を推進するため、業務委託を行いました。

（３）農業チャレンジ推進補助金（１／２）　８，０９４，０００円
農業のカーボンニュートラル実現に向けて、農業者が営農上の課題解決に向けて自ら取り組む挑戦的な事業を支援しました。
補助件数　１３件

（４）農業人材力強化総合支援費補助金（定額）
１，９５０，０００円
令和３年度までに認定を受けた新規就農者に交付金を交付し、農業への定着を促進しました。

農業次世代人材投資資金　２人

（５）新規就農者育成総合対策補助金　５１，６０３，０００円

令和４年度以降の認定新規就農者に対して資金を助成するとともに、就農に必要な機械等の導入を支援しました。

経営開始資金（定額）　１４人　２０，２５０，０００円

経営発展支援事業（３／４）７件　３１，３５３，０００円

5　農業振興地域整備推進費【農政企画課】　１０，６８６，５００円

豊田農業振興地域整備計画の見直しを行いました。

6　農業基本計画推進費【農政企画課】　２８７，９３７円

農業分野におけるカーボンクレジット創出に向けた実証や制度研究を行うとともに、豊田市農業・農村支援協議会を開催し、農業基本計画を推進しました。

7　農ライフ創生センター費【農業振興課】　１９，５１１，４１２円

（１）運営費　１６，８４３，４１２円

多様な農業の担い手を育成し、「生きがい型農業」の実践を支援することで遊休農地の活用を進めるため、農作物栽培研修を実施しました。

＜農作物栽培技術研修＞

担い手づくりコース（農家志望者対象　２年・週１回）

２１期生２０人（修了）　２２期生１９人（１年□修了）

２３期生２６人（受講決定）

生きがいづくりコース（農を楽しむ者対象　１年・週１回）

７期生　１１人（修了）

８期生　９人（受講決定）

旬の野菜づくりコース（農の基礎を学ぶ者対象　年１２回）

令和７年度　３０人（修了）

令和８年度　３０人（受講決定）

＜担い手づくりコース修了生の農地借入状況＞

２０期生までの累計３１０人　約６２．０ｈａ

（２）整備費　２，０６８，０００円

豊田市家庭菜園協会に対し、家庭菜園の整備等を支援することで家庭菜園の利用環境改善を図りました。

（３）新規就農者就農支援事業補助金（１／２）　６００，０００円

桃・梨専門コースの修了生に対し、新規就農時の経営安定を図るため支援しました。

補助対象　新規就農時の事業経費

補助件数　２件

8　体験農園費【農政企画課】　１，１１３，５５０円

（１）　体験農園費　９６３，５５０円

都市と山村部の交流促進のため、足助地区の市民農園等の管理を行いました。

（２）　市民農園運営等支援費補助金（３／１０）　１５０，０００円

市民農園運営者に対し、農園整備や農業教室の開催等を支援することで市民農園の利用環境の改善と利用率向上を図りました。

補助対象　市民農園運営者

補助件数　１件

９　後継者育成費補助金（２／１０）【農業振興課】　９３，０００円

中核的担い手となる農業後継者グループの組織の育成強化を図りました。

交付先　豊田みよし４Ｈクラブ　会員１２人

豊田加茂青年農業士会　会員１３人

１０　農業近代化資金利子補給補助金【農業振興課】　２８６，０８８円

担い手農業者に対し、自身が立てた経営改善資金計画に即した農業経営の近代化を支援しました。

令和７年度末融資残高　１４件　９４，１４３千円

１１　経営体育成総合融資費【農業振興課】　３７，９８０円

認定農業者等の経営改善計画に即した資本装備高度化を支援し、農業経営の効率化・安定化に努めました。

令和７年度末融資残高　２件　１２，９３８千円

１２　と畜場支援費【農政企画課】　１７，２１８，５８０円

（１）　環境対策負担金　８，３５９，５８０円

と畜場の適正管理を目的として、豊田食肉事業協同組合の行うと畜場の環境対策に係る経費を負担しました。

（２）　施設等整備費補助金（１／２）　８，８５９，０００円

安全な食肉の供給を図るため、と畜場の施設修繕等を支援しました。

補助対象・件数　汚水処理施設・配管取替修繕始め２件

１３　卸売市場特別会計繰出金【農政企画課】　８７，３０６，０００円

6款　農林水産業費

6- 1- 3目　農業振興費

			（前年度）
当初予算額	287,755,000円	（	303,047,000円）
予算現額	497,423,000円	（	298,513,030円）
決算額	257,401,177円	（	279,594,538円）
翌年度繰越額	215,120,000円	（	0円）
不用額	24,901,823円	（	18,918,492円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	２１５，１２０，０００円
農業用資機材購入費補助事業	１８３，０００，０００円
有害鳥獣捕獲機器取得事業	１８，０００，０００円
内水面漁業振興費補助事業	１４，１２０，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　農業振興費【農業振興課】　２，２４５，０００円

収入保険制度への加入を促進し、農業者の経営安定を図るため、保険料の一部を支援しました。

補助対象　５５経営体

2　米政策改革推進費【農業振興課】　１３，７０８，０００円

（１）　水田農業経営所得安定対策推進事務費　３，５２０，０００円

（２）　水田農業経営所得安定対策推進補助金（１０／１０）　６，０００，０００円

水田農業経営安定対策の円滑な推進のため、事務を行う豊田市地域農業再生協議会の運営を支援しました。

（３）　転作団地化推進費補助金（定額）　４，１８８，０００円

連担団地の奨励・育成を図り、集団転作の定着を円滑に推進するため、集団転作参加者を支援しました。

連担団地面積　９０９．６ｈａ

3　中山間地域等直接支払費【農業振興課】　１０９，２４６，１７４円

（１）　事務費　３，４８４，８２２円

（２）　中山間地域等直接支払交付金（定額）　１０５，７６１，３５２円

中山間地域等直接支払制度に参加し、協定を締結した１１８集落と個別協定者２人に対し交付金を支出しました。各集落は、この交付金を活用して耕作放棄の防止、多面的機能の増進、将来に向けた農業生産活動の体制整備等を行いました。

協定数　藤岡１１　小原１７　足助２９　下山１６　旭１４

稲武１５　石野　４　松平１４　計１２０協定

協定締結面積　７２６．３ｈａ

４　地場産業振興費【農政企画課・農業振興課】１３，４８３，３４０円

（１）　地産地食推進費　４，１５４，４７１円

産業フェスタ内農林マーケットを運営したほか、ジビエの普及啓発に向けた講座やマルシェを開催しました。

（２）　農産物直売所推進費　４４６，３６０円

直売所の販売促進と認知度向上を図るため、「豊田市農産物直売所スタンプラリー２０２５」を開催しました。

（３）　豊田地域農業活性化対策負担金　７，６１８，５０９円

市内産農林畜産物のブランド化を推進するための品評会の開催や、機関連携による各種ＰＲイベントの実施など、豊田市農産物ブランド化推進協議会の取組を支援しました。

（４）　生産者組織育成事業費補助金（３／１０）　１，２６４，０００円

生産出荷組織の育成を図り、地場農産物の高品質化を目指すとともに、産地の強化に努めました。

補助件数　２０件

５　山間地営農等振興費【農業振興課】　１５，８８９，０００円

営農条件が不利な山村部における農業振興を図るため、農業者団体に助成を行いました。

補助対象　農業用機械（１／２）

補助件数　５件

６　地域資源活用産業育成支援費【農政企画課】　２，１０４，４７２円

（１）　農商工連携促進費　１２０，４７２円

市内農業者及び小売店と連携して、特産品であるお茶をテーマに「めっ茶！抹茶マルシェ」を開催しました。

出店事業者　４事業者

（２）　６次産業化推進補助金（１／２）　１，９８４，０００円

農業基本計画に掲げる「稼げる農業」の実現に向け、６次産業化に取り組む農業者が行う商品開発や改良、既存商品等の販路の開拓・拡大を支援しました。

補助件数　７件

７　強い農業づくり対策費【農業振興課】　４，８６５，０００円

あいち型産地パワーアップ事業費補助金（４／１０）

産地の生産体制を強化し高収益化を図るため、農業機械等を導入する農業者に対し、補助金を交付しました。

補助件数　４件

８　勘八農場費【農政企画課】　４，２４８，５２８円

勘八農場の適正な管理を実施しました。

９　主要穀物生産振興費【農業振興課】　４，９３０，０００円

安全で安心な豊田市の農産物の品質向上のため、共同利用の農業機械導入に対して補助金を交付しました。

補助対象　農業用機械（３／１０）

補助件数　１件

１０　環境保全型農業推進費【農業振興課】　６，７６９，８００円

（１）　環境保全型農業推進協議会負担金　２０２，７００円

減農薬栽培や有機栽培等特色ある農業生産を進め、環境保全型農業の振興を図るため、豊田・みよし環境保全型農業推進協議会に負担金を交付しました。

（２）　環境保全型農業直接支援対策費補助金（定額）　６，５６７，１００円

環境保全に効果の高い営農活動に取り組む７団体に補助金を交付しました。（７４．４２ｈａ）

１１　農地集積推進費【農政企画課】　５，９１８，９２１円

（１）　農地集積推進補助金（定額）　４，９８２，２００円

農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約に取り組む地域に補助金を交付しました。

補助件数　２件

（２）　農地集積支援事業費補助金（定額）　８１０，０００円

農地の集積・集約を促進するために、畦畔を除去した農地の所有者に補助金を交付しました。

補助件数　２１件

（３）　遊休農地解消対策事業費補助金（定額）　１２６，７２１円

地域計画の実現に向け、農地中間管理権を設定して耕作を行う担い手が遊休農地を解消する際にかかる費用を支援しました。

補助件数　１件

１２　漁業振興費【農業振興課】　１１，７８４，１５０円

（１）　水産多面的機能発揮対策費負担金　４２９，１５０円

水産資源の生態系の維持保全及び多面的機能の理解増進を図るため、市内２団体の活動を支援する愛知県内水面水産多面的機能発揮対策協議会に負担金を交付しました。

（２）　内水面漁業振興費補助金（１／２）　１１，３５５，０００円

内水面漁業の活性化のため稚鮎の放流や産卵場の整備などに対して補助しました

補助対象　４漁業組合（矢作川、巴川、名倉川、三河湖）

１３　鳥獣対策費【農業振興課】　６０，６２８，７９２円

（１）　有害鳥獣捕獲対策費　３６，１８９，１９０円

鳥獣による農作物被害防止のため、農事組合等の依頼に基づき猟友会に委託し、有害鳥獣駆除を実施しました。

また、豚熱の感染防止のため、死亡野生イノシシの防疫措置業務を委託しました。

駆除依頼件数　３３４件

駆除頭羽数（４～３月）　９，４８１頭羽

ニホンカモシカ捕獲　１７頭

死亡野生イノシシ　防疫措置委託件数　２０件

（２）　鳥獣害防止総合対策費負担金　１４，９６４，６０２円

農作物被害を解消するため、農業関係者等で構成する豊田市農作物等鳥獣害対策連絡協議会に負担金を交付しました。

侵入防止柵　３６組合　延長　７６，８２８ｍ

捕獲おり導入　１１組合　１３基

（３）　野生鳥獣被害防止対策事業補助金（１／２）　３，８１９，０００円

イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害を防止するため、電気柵等の侵入防止施設を設置した農業者等（個人）に対し、資材費を補助しました。

補助件数　１０８件

（４）　狩猟免許取得支援費補助金（１０／１０）　５８０，０００円

農作物等に被害を及ぼす野生鳥獣を捕獲する担い手を確保するため、新たに有害鳥獣駆除員になる新規狩猟免許取得者に対し、免許取得費用を補助しました。

補助件数　２９件

（５）　有害鳥獣捕獲奨励補助金（定額）　５，０７６，０００円

農事組合等の集落に対し、イノシシ等の捕獲おり管理（給餌、見回り）の奨励金を支給しました。

支給件数　２０８件

１４　都市と農山村交流事業費【農政企画課】　１，５８０，０００円

都市部の子どもが農山村体験や農家へ宿泊などをする事業に補助金を交付し、グリーンツーリズムを推進しました。

◆特記事項

・農業用資機材購入費補助事業において、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で１８３，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【農業振興課】

・有害鳥獣捕獲機器取得事業において、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で１８，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【農業振興課】
・内水面漁業振興費補助事業において、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で１４，１２０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【農業振興課】

6－1－4目　畜産業費

		（前年度）
当初予算額	7,059,000円	（5,843,000円）
予算現額	7,059,000円	（36,718,970円）
決算額	5,597,952円	（32,576,470円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	1,461,048円	（4,142,500円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　畜産振興費【農業振興課】　５，５９７，９５２円

（１）　事務費　２０４，９５２円

家畜伝染病のまん延防止のため、１１月に畜産農家の防疫対策用消石灰を購入しました。

（２）　家畜導入奨励費補助金（２／１０）　９７９，０００円

畜産農家の経営と生産基盤の安定を図るため、優良家畜（牛）の導入事業に補助金を交付し、その推進を支援しました。

補助対象　畜産農家４戸（肉用牛４頭、乳用牛５頭）

（３）　酪農ヘルパー円滑化補助金（１／２０）　１０６，０００円

酪農家の後継者育成とゆとりある酪農経営を進めるヘルパー制度を推進するため、補助金を交付しました。

補助対象　豊田酪農ヘルパー利用組合
組合員４人

（４）　山間地獣医療支援事業費補助金（定額）２，２７８，０００円

診療効率の悪い山間地で往診する家畜診療所に対し、往診にかかる経費を支援することで、獣医療体制の確保を図りました。

補助対象家畜診療所　４か所

（５）　後継牛確保対策費補助金（定額）　３０６，０００円

一定の成績をもつホルスタイン雌雄判別精液の導入費用を補助し、計画的な搾乳後継牛を確保する体制を支援しました。

（６）　配合飼料価格安定制度加入支援事業費補助金（定額）　１，７２４，０００円

飼料価格の変動による経営リスクを軽減するため、配合飼料価格安定基金の積立金の一部を支援しました。

補助農家実数　２３経営体

6-2-1目　農地総務費

		（前年度）
当初予算額	181,728,000円	（133,008,000円）
予算現額	352,583,000円	（262,106,000円）
決算額	218,463,270円	（196,101,078円）
翌年度繰越額	122,496,000円	（54,708,000円）
不用額	11,623,730円	（11,296,922円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　１２２，４９６，０００円

地籍調査事業　１２２，４９６，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　農地管理事務費【農地整備課】　７，７４３，７８６円

２　農業用施設管理費【農地整備課】　６２，１０８，２３４円

大雨・洪水時における湛水防除のため、排水機場７か所、野見・門田樋門及び枝下用水関連２４施設等の管理を委託し、適正な運用に努めました。

３　地籍調査費【都市計画課】　１０７，４８８，２５０円

実施地区

貝津地区、加納地区、上郷大成地区、栃立地区、小田木地区
猿投地区、伊保地区

事業内容

事前調査４５ｈａ、境界立会８５ｈａ、境界測量４３ｈａ、
成果閲覧３６ｈａ、認証登記１３１ｈａ

４　農村環境改善センター費【農地整備課・建築保全・住宅課】　２２，９１８，０００円

高岡農村環境改善センターの適切な維持管理に努めました。

施設利用者数　４８，８５９人

利用者ふれあい発表会　１回、講習会　７回

玄関前タイル修繕

５　土地改良区運営費補助金【農地整備課】　１８，２０５，０００円

豊田土地改良区、藤岡土地改良区、下山土地改良区、旭土地改良区に対して補助金を交付しました。

◆特記事項

地籍調査事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で１１８，０５５千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。また、法務局の登記が年度内に完了しなかったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市計画課】

6- 2- 2目　農地整備費

		（前年度）
当初予算額	91,991,000円	（ 88,421,000円）
予算現額	90,484,000円	（ 94,321,000円）
決算額	86,915,369円	（ 91,586,434円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	3,568,631円	（ 2,734,566円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　農地環境整備事業費【農地整備課】　７０，５８２，７０９円

県営事業の下山地区始め４地区の排水路等の工事に対し負担金を執行しました。

２　農業農村基盤整備推進費【農地整備課】　８，２３２，７００円

旭土地改良区が実施する、矢作旭地区（旧矢作川沿岸地区）の農地環境整備事業立ち上げに向けた計画調査業務に対し、負担金を執行しました。

３　経営体育成基盤整備事業費【農地整備課】　８，０９９，９６０円

県営事業の若林狸山地区の測量、設計、換地計画に対し、負担金を執行しました。

6- 2- 3目　施設整備費

		（前年度）
当初予算額	1,281,647,000円	（ 832,348,000円）
予算現額	1,386,691,000円	（ 933,496,000円）
決算額	1,365,228,604円	（ 900,532,653円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	21,462,396円	（ 32,963,347円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　農道整備費【農地整備課】　８０，６７１，７１４円

修繕　東大林（１）地区始め１６地区

手数料　新盛（１）地区始め３地区　倒木撤去等

委託　西広瀬地区農道橋補修設計、土質調査

工事　霧山地区始め３地区　延長＝３０５ｍ
原材料　９か所
負担金　大坪町庄司下地区始め１２地区　延長＝１，０８１ｍ

2　ため池整備費【農地整備課】　６３，９５６，５７５円
（１）　ため池整備事業費　５０，７１４，５００円
寺沢池始め２４池の修繕、樹木伐採、測量調査を行いました。
（２）　緊急老朽ため池整備事業費　１３，２４２，０７５円
県営事業の切山池１号地区工事に対し負担金を執行しました。

3　防災ダム事業費【農地整備課】　５，８９２，７９９円
県営事業の徳間池始め４地区の実施設計及び工事に対し、負担金を執行しました。

4　水路整備費【農地整備課】　７３，７１５，４０７円
（１）水路整備事業費　７０，１９５，４０７円
修繕　押山（１）地区始め５５地区
工事　稲武地区始め２地区　延長＝１０８ｍ
原材料　２９か所
負担金　浅谷町滝ノ上地区始め２１地区　延長＝９２ｍ
（２）緊急農地等防災事業費　３，５２０，０００円
御立地区の事業計画策定業務を行いました。

5　排水機場整備費【農地整備課】　１７５，７１４，０００円
千石排水機場始め３排水機場の修繕を行いました。

6　中山間地域等活性化戦略費【農地整備課】　１，０１１，０１０円
中山間地域の耕作放棄地の拡大を抑制するためにイノシシ被害復旧等を実施しました。
修繕　１か所
原材料　６か所

7　用水保全費【農地整備課】　３５２，９４７，６３０円
（１）　放水門自動装置点検費　８，９２８，０００円
豊田土地改良区が実施する枝下用水放水門等の設備保守点検に対して負担金を執行し、正常な機能確保を図り、災害の未然防止に努めました。
（２）　水質保全対策事業費　４９９，９５０円
逢妻地区の老朽化した幹線水路の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
（３）　農業水利施設保全対策事業費　２，２５５，３００円
枝下用水幹線１期地区の老朽化した農業用施設の改修を行うための県が実施する実施設計に対し、負担金を執行しました。
（４）　県営震災対策農業水利施設整備費（枝下用水地区）

３１０，８９０，９７８円

枝下用水の耐震対策工事を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。

（５）県営かんがい排水費（明治用水西井筋地区）１４５，４８５円

明治用水西井筋地区の農業用施設の老朽化、耐震化対策を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。

（６）農業用用水保全対策費　１，０４３，０００円

矢作川流域の農業用水を安定的に確保するため、明治用水土地改良区が実施する水源かん養林事業に対し、負担金を執行しました。

（７）矢作川総合第二期地区支援事業費　２８，１３６，０００円

国が実施する明治用水の耐震対策事業に伴う、他目的使用施設の撤去等に係る共同工事の負担金を執行しました。

（８）矢作川用水緊急整備事業費　１，０４８，９１７円

国の機能保全計画に基づき、県が実施する羽布ダム１期地区始め２地区の水利施設整備事業に対し、負担金を執行しました。

８　土地改良施設適正化事業費【農地整備課】１６８，６１１，４１１円

枝下用水４号放水門の開閉機更新工事及び千石排水機場排水ポンプ修繕を実施しました。

９　県営湛水防除費【農地整備課】　４８，８２２，４３８円

上郷２期地区始め２地区の県営事業に対し、負担金を執行しました。

１０　多面的機能支払費【農地整備課】　１８９，６５６，５８８円

農地、農業用施設の草刈りや景観植物の植栽など農村環境保全に取り組む７０の活動組織を支援しました。

認定面積　２，４２６ｈａ

１１　土地改良事業費補助金【農地整備課】　２０３，７７９，９００円

（１）かんがい排水事業補助金

（１０／１０・８．５／１０・４／１０・２．５／１０）

森（１）地区始め８７地区　１１７，８０８，３００円

（２）農道整備事業補助金（１０／１０・５／１０・４／１０）

舞木（１）地区始め１０地区　２０，８３４，２００円

（３）農業用施設安全対策事業補助金（４．５／１０）

大清水№１地区　１，３４２，１００円

（４）機械揚水事業補助金（９．２５／１０・０．７５／１０）

枝下用水（１）地区始め６地区　３，４０２，０００円

（５）農村総合整備事業補助金（６／１０・４／１０）

枝下用水№１地区始め２地区　４，０６０，０００円

（６）緊急農地防災事業補助金（２．８９／１０）

吉原補助用水地区　２７，４１７，３００円
（７）　調査設計事業補助金（１０／１０）
加納（１）地区始め４地区　２２，２７５，０００円
（８）　用水機維持管理事業補助金（３／１０）
配津揚水機場始め３６施設　６，６４１，０００円
１２　ふるさと・水と土保全基金積立金【農地整備課】４４９，１３２円

6- 3- 1目　林業費

			（前年度）
当初予算額	931,060,000円	（	943,059,000円）
予算現額	935,500,000円	（	946,991,000円）
決算額	887,377,005円	（	916,828,396円）
翌年度繰越額	9,000,000円	（	0円）
不用額	39,122,995円	（	30,162,604円）

●翌年度繰越額
☆繰越明許費☆　９，０００，０００円
林業ＤＸ推進事業費補助事業　９，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要
１　人件費（森づくり委員会委員９人、一般職１８人、非常勤一般職１人）
【森林課・人事課】　１５８，７４４，１５８円
２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　１０９，５６０円
３　林業振興事務費【森林課】　１３，０９７，３９３円
４　市有林管理費【森林課】　１５，６６４，７７０円
切置き間伐　１４．５４ｈａ（御内市有林）
御内市有林等管理委託（御内自治区）
５　森林会館費【森林課】　１４，４００，０００円
指定管理者　（一社）ウッディーラー豊田
６　矢作川水源林対策費【森林課】　６３，３６６，９９２円
矢作川流域の水源となる森林を保全するため、（公財）矢作川水源基金の助成を受け、森林及び作業路の整備に補助しました。
また、この事務の一部を豊田森林組合に委託しました。
矢作川水源林対策事業事務費　１，９７９，９９２円
矢作川水源林対策費補助金　６１，３８７，０００円
人工造林　０．５６ｈａ
獣害対策　０．２５ｈａ
下刈　１０．９３ｈａ
枝打ち　０．２８ｈａ

除伐　０．２８ｈａ
間伐　１００．９７ｈａ
作業路新設　１路線　５２６ｍ

７　森づくり推進費【森林課】　１４５，４４６，７６６円

（１）　森林管理支援費　３２０，７２０円

森林所有者が抱える管理・所有に関する課題に対応するため、森の相談窓口を開設しました。

（２）　計画推進費　２４，２１８，８７１円

次期森づくり構想策定を見据え、第４次森づくり基本計画において課題となった事項についての検討委託等を実施しました。

また、今後の森づくりの計画を立てるため、市内全域のスギ・ヒノキの分布と生育状況を航空写真により把握しました。

森づくり構想策定会議運営等支援業務　８８５，３７６円
森づくり基盤情報更新業務　２３，２２１，３２１円

（３）　団地化推進費　７８，１２４，７７５円

人工林の健全化を進めるため、団地化を推進するとともに、県が実施するあいち森と緑づくり事業と保安林事業の間伐事業地取りまとめ業務を実施しました。

あいち森と緑づくり事業
取りまとめ面積　３３７．３３ｈａ
保安林事業
取りまとめ面積　４０．１６ｈａ

（４）　モニタリング調査費　３，７１８，０００円

間伐効果を検証するため、間伐モニタリング調査を実施しました。

（５）　人材育成費　２，５００，０００円

森林作業員の人材確保・育成を図るため、若手森林作業員に対する基礎技術研修や県内の高校生等を対象とした林業体感・見学ツアーを開催しました。

（６）　森づくり推進組織育成費交付金　３６，５６４，４００円

豊田市森づくり基本計画に基づき、人工林の間伐を推進する地域組織として「地域森づくり会議」の設立を進めるとともに、実際に間伐を行う「森づくり団地」の取りまとめを推進しました。

また、森づくり団地の計画認定面積に応じて、地域森づくり会議と豊田森林組合に交付金を支出しました。

森づくり会議設置数　１地域
森づくり団地設置数　３６団地
森づくり団地計画認定面積　９１４．１１ｈａ

８　林道整備調査費【森林課】　１，９２９，７９６円

林道舗装工事に必要な土質調査及び紙資料のデータ化を実施しました。

９　林道舗装費【森林課】　９０，７２９，１００円

林道の走行性及び安全性向上のため、雨水洗堀等により浸食された道路路面の舗装を行いました。

大下里線	舗装延長：	３６０ｍ	幅員：	４ｍ
陣手線	舗装延長：	１２０ｍ	幅員：	３．５ｍ
野入立野線	舗装延長：	３９３ｍ	幅員：	４ｍ
大見山線	舗装延長：	２８０ｍ	幅員：	４ｍ
尾根線	舗装延長：	２４０ｍ	幅員：	４ｍ
小川線	舗装延長：	２７０ｍ	幅員：	４ｍ
	舗装延長計：１，６６３ｍ			

１０　林道改良費【森林課】　７１，３１９，６００円

林道の安全性向上のため、道路のり面危険箇所及び道路路面損傷箇所の改良を行いました。

臼木２号線	整備延長：	２５０ｍ
月ケ平線	整備延長：	５００ｍ
根山日掛線	整備延長：	３６ｍ
野入月ケ平線	整備延長：	２１ｍ
寺洞浦山２号線	整備延長：	５０３ｍ
坪崎連谷線	整備延長：	４６０ｍ
	整備延長計：１，７７０ｍ	

１１　林道維持管理費【森林課】　２８，８９７，１８８円

林道を適切に管理するため、林道パトロール管理業務委託を実施しました。また、倒木・崩土撤去や側溝浚渫を実施しました。

１２　林道修繕費【森林課】　６６，４４６，６００円

林道の機能維持と安全性を高めるため、破損した危険箇所の修繕を実施しました。

１３　林道橋りょう維持管理費【森林課】　１０，３８６，２００円

橋りょうの機能維持と安全性を高めるため、橋りょう修繕を実施しました。

武瀬田線　（明川橋）

羽布下り沢線（新大禮橋）

１４　間伐材搬出利用促進費【森林課】　５６，５３８，５００円

（１）中核製材工場費　１７６，０００円

中核製材工場敷地の樹木を伐採しました。

（２）搬出路網整備費　５１１，５００円

作業道の維持補修をするため、原材料を支給しました。

（３）間伐材搬出路網開設費補助金　５５，８５１，０００円

間伐材を搬出するため、作業道・搬出路の整備に要する経費を補助しました。

作業道新設延長　１，３９３ｍ　１７，３３１，０００円

搬出路整備延長　３９，６３１ｍ　３８，５２０，０００円

１５　間伐促進事業費【森林課】　５８，７６０，０００円

森林の公益的機能の増進を図るため、人工林での間伐に対して補助しました。

間伐面積　１０２．１７ｈａ

１６　林業労働力対策費【森林課】　１９，１２５，０００円

新規林業就業者を確保するため、豊田森林組合の緑の雇用事業修了者への奨励金及び新規採用職員の林業大学校等への就学に要する経費を補助しました。

１７　森林環境教育推進費【森林課】　１０，７６６，３８２円

森づくりへの市民理解を醸成するため、実行委員会の運営としたとよた森林学校はじめ、小学校向け流域学習プログラム校外学習や森林出前講座を実施しました。

また、講座の開催案内などを周知する「森の総合サイトＴｏｍｏｒｉ」の運営を行いました。

とよた森林学校実行委員会負担金　９，５６９，１７６円

１１講座（３１回）１７２人

流域学習プログラム校外学習　９校　（１２回）４７７人

森林出前講座　１４回　２８８人

１８　地籍調査費【森林課】　５，５７７，０００円

森林地域の地籍調査を推進するため、森林組合が実施する地籍調査事業にかかる経費を補助しました。

１９　高性能林業機械施業促進費【森林課】　３，６２３，０００円

機械化・省力化を推進し、木材生産量を増加させるため、林業経営体が行う高性能林業機械の導入及び借入れに要する経費を補助しました。

リース　３台、　レンタル　５台

２０　地域材利用拡大推進費【森林課】　２０，１９４，０００円

豊田市産材の認知向上と活用促進のため、商品開発、普及啓発、利用拡大等に係る費用を支出しました。

地域材利用促進事業負担金　１団体　８，０９０，０００円

テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金

６件　１２，１０４，０００円

２１　森林整備市民活動費【森林課】　５８６，０００円

市民グループによる自主的な森林整備を進めるため、グループの立ち上げ経費及び保険料を補助しました。

森林ボランティア始動支援　２団体　１５０，０００円

森林ボランティア安全対策　１２団体　４３６，０００円

２２　危険木伐採支援事業補助金【森林課】　３１，６６９，０００円

市民の生活環境を保全するため、住宅に倒れる恐れのある危険木の伐採に要する経費を補助しました。

交付件数　８９件

◆特記事項

・林業ＤＸ推進事業費補助事業において、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で９，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【森林課】

・市の予算執行関係では、間伐促進事業、矢作川水源林対策事業及び水道水源林保全事業（水道水源保全会計）で３１８．４６ｈａの私有林を間伐しました。【森林課】

・市全体では、あいち森と緑づくり事業等の県の予算執行関係を加え、８４１．６０ｈａの私有林を間伐しました。【森林課】

・「地域森づくり会議」は、これまでに１２３会議が設立され、７９１団地、１８，５２３．９１ｈａの人工林が団地化されました。【森林課】

7款　商工費

		（前年度）
当初予算額	4,359,030,000円	（ 3,958,160,000円）
予算現額	5,757,595,868円	（ 5,321,067,000円）
決算額	4,728,369,337円	（ 4,059,216,600円）
翌年度繰越額	814,918,972円	（ 440,848,868円）
不用額	214,307,559円	（ 821,001,532円）

7- 1- 1目　商工総務費

		（前年度）
当初予算額	452,656,000円	（ 430,392,000円）
予算現額	629,698,900円	（ 442,537,000円）
決算額	482,017,322円	（ 418,981,714円）
翌年度繰越額	135,000,000円	（ 0円）
不用額	12,681,578円	（ 23,555,286円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　１３５，０００，０００円

中小事業所等ＬＥＤ照明器具更新費補助事業　１３５，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職５１人、非常勤一般職１０人）【人事課】
４８０，９９０，２９６円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　５７２，１８０円

３　商工総務事務費【産業振興課】　４５４，８４６円

◆特記事項

中小事業所等ＬＥＤ照明器具更新費補助事業において、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で１３５，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【産業振興課】

7- 1- 2目　商業振興費

		（前年度）
当初予算額	1,174,804,000円	（ 928,112,000円）
予算現額	2,244,605,368円	（ 1,059,562,000円）
決算額	1,627,091,418円	（ 948,325,554円）
翌年度繰越額	568,918,972円	（ 40,848,868円）
不用額	48,594,978円	（ 70,387,578円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	１１０，７８８，９７２円
豊田参合館長寿命化等改修負担事業（共用部）	１１０，７８８，９７２円
☆繰越明許費☆	４５８，１３０，０００円
喜多町駐車場消防設備更新事業	１０２，９５５，０００円
商店街等プレミアム商品券発行補助事業	３５５，１７５，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（商業振興委員会委員９人）【産業振興課】４５１，２００円

2　商業振興費【産業振興課】　１３５，０８９，６５４円

（１）　事務費　４９４，２２０円

（２）　施設整備費　１３４，５９５，４３４円

足助商工会館修繕工事を実施しました。また、工事の設計監理を委託しました。

3　産業文化センター費【産業振興課、建築保全・住宅課】

１８６，７７６，４５５円

（１）　管理費　１３７，８９５，１５５円

（２）　施設保全費　４３，１７６，６１２円

多目的ホール照明設備修繕等を行いました。

（３）　施設整備費　５，７０４，６８８円

小ホール及び多目的ホールのプロジェクターが故障したため、買い換えました。また、子育て世帯の利便性向上のため、１階トイレにベビーキープ、ベビーシートを増設しました。

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数　４０５，９０９人

4　ウェルカムセンター費【産業振興課】　８６，９００円

ｎ６（エヌロク）の適正な維持管理のため、設備の修繕を実施しました。

5　都心駐車場費【産業振興課】　１６，０５５，４６１円

（１）　管理費　５，９４５，１３９円

（２）　施設整備費　１０，１１０，３２２円

都心地区駐車場の適正な維持管理のため、施設修繕及び管理費の負担を行いました。

6　再開発施設費【産業振興課】　２１７，９５９，７０８円

（１）　管理費　１６４，４８８，１６１円

（２）　施設整備費　５３，４７１，５４７円

再開発施設の適正な維持管理のため、専用部火災保険料、共用部管理費・修繕費の負担を行いました。また、豊田参合館長寿命化等改修事業において、管工事等に係る費用を負担しました。

7　フリーパーキング費【産業振興課】　１３７，５００，０００円

フリーパーキング対象駐車場において、公共施設の利用者の駐車料金の一部を負担し、都心駐車場の利便性向上を図りました。

8　商業活性化対策費【産業振興課】　１７０，６７９，３１３円

（１）　商業活性化対策費　１１，７０４，３１３円

個店等への商業アドバイザー派遣、創業希望者向けの創業機運醸成事業、「とよた産業ナビ」への補助金の採択事業の掲載等を実施しました。また、高齢者の買い物の実態把握のため、買い物環境の調査・分析を行いました。

（２）　商業活性化推進交付金　２団体　２０，５４５，０００円

商業振興条例に基づき、商業活性化推進３か年計画を策定した団体から申請のあった各種事業について支援しました。

（３）　商業・サービス機能誘致奨励金（定額）

１団体　９４７，０００円

商業振興条例に基づき、商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針を策定した地域内で、商業・サービス機能の拠点となる施設を誘致した事業者に奨励金を交付しました。

（４）　商店街等事業機会拡大事業補助金

（９／１０・８／１０・５／１０・４／１０）

９団体　１０，９５６，０００円

商店街等活性化計画を策定した地域経済団体及び商店街団体が実施する販売促進等の事業機会の拡大や、研修会開催などの人材育成事業に対して支援しました。

（５）　商店街等施設整備事業補助金（９／１０・５／１０）

２団体　１，０４９，０００円

地域経済団体及び商店街団体が実施する商店街の活性化を図る施設・設備の整備に対して支援しました。

（６）　街路灯電灯料支援事業補助金（９／１０）

１６団体　９，７９６，０００円

地域経済団体及び商店街団体が維持管理する街路灯の電灯料に

ついて支援しました。

（７）　街路灯整備事業補助金（９／１０・８／１０・５／１０）

５団体　　７，４７７，０００円

地域経済団体及び商店街団体が設置する街路灯のＬＥＤ化などの改修等を支援しました。

（８）　中小企業指導事業補助金（８／１０・５／１０）

８団体　　８５，２８７，０００円

豊田商工会議所や商工会等が行う経営改善普及事業等について支援しました。

（９）　中心市街地活性化協議会活動支援事業補助金

（８／１０・５／１０）　１団体　　１３６，０００円

（１０）　商業パワーアップ支援補助金（５／１０）

２９件　　１９，６８０，０００円

市内事業者の事業転換、事業拡大、業務効率化に対して支援しました。

（１１）　買い物困難者支援事業費補助金（５／１０）

３件　　３，１０２，０００円

山村地域の買い物困難者のために実施する移動販売事業等を支援しました。

９　中心市街地活性化対策費【産業振興課】　　６４，９８４，１２２円

（１）　中心市街地情報提供費　　２，６００，８８３円

歩行者通行量自動計測装置等の管理を行いました。

（２）　中心市街地活性化調査費　　１４，９９９，４００円

中心市街地商業の活性化に向け、テナントミックスビジョン推進における課題分析及び連携体制の調査・研究を実施しました。

（３）　まちなか賑わい・回遊性向上費　　３７，３８３，８３９円

中心市街地での回遊性を高めるため、博物館・美術館の企画展と連携したまちなか回遊事業の経費及びラリー駅前イベントの開催に係る経費を負担しました。

（４）　イルミネーションストーリー実行委員会負担金

１０，０００，０００円

中心市街地の賑わいを創出するため、中心市街地一帯をイルミネーションで装飾する費用を負担しました。

１０　エリアマネジメント推進費【産業振興課】２６，６３９，４５４円

（１）　公共空間活用推進費　　１３，６３９，４５４円

都市再生推進法人に対し、公共的空間活用事業の経費及びエリアマネジメント推進に向けた事業の経費を支援しました。

（２）　エリアマネジメント推進人材活用補助金

（１０／１０・８／１０）　　１３，０００，０００円

都市再生推進法人がまちづくりに関して事業を実施する上で必要となる人材の登用に係る費用を支援しました。

１１　農商工連携促進費【産業振興課】　　１，１９９，１５１円

特産品の販路拡大のために「とよたの特産品展実行委員会」が行う特産品展の開催について負担しました。

１２　産業展負担金【産業振興課】　　１５，７００，０００円

名　称　第４７回とよた産業フェスタ２０２５

開催日　令和７年９月１３日（土）、９月１４日（日）２日間

１３　コンベンション及びスポーツ・文化合宿等開催支援補助金

（１／２・定額）【シティプロモーション課】

４７件　　９，１４５，０００円

市内消費を喚起するため、宿泊を伴うコンベンション並びにスポーツ・文化の大会及び合宿に対して、支援しました。

１４　プレミアム商品券発行事業負担金【産業振興課】

５００，０００，０００円

とよた元気プロジェクト実行委員会が行うデジタル媒体を活用したプレミアム商品券発行事業に負担金を支払いました。

１５　商店街等プレミアム商品券発行事業補助金

（１０／１０・９／１０・８／１０・６／１０）【産業振興課】

１４４，８２５，０００円

地域経済団体や商店街団体等によるポイント還元事業も含めたプレミアム商品券発行事業を支援しました。

◆特記事項

・喜多町駐車場消防設備更新事業において、アスベストの処分及び更新する消防設備の製作期間が２か年に渡るため、９月議会で３９，６４３千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業振興課】

・商店街等プレミアム商品券発行補助事業において、物価高騰による家計負担の軽減及び消費喚起策を継続的に実施するため、１２月議会で５００，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。また、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で財源補正を行いました。【産業振興課】

7- 1- 3目　工業振興費

		（前年度）
当初予算額	1,913,439,000円	（ 1,838,330,000円）
予算現額	2,012,461,100円	（ 2,711,833,000円）
決算額	1,764,153,554円	（ 1,692,505,330円）
翌年度繰越額	111,000,000円	（ 400,000,000円）
不用額	137,307,546円	（ 619,327,670円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	１１１，０００，０００円
建設業者高度安全機械等導入促進補助事業	５０，０００，０００円
新エネルギー活川促進補助事業	６１，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（産業振興委員会委員１０人、成長投資審査会委員４人、
ものづくり創造補助事業審査会委員４人）５１２，２００円
【産業振興課・次世代産業課】

2　工業振興事務費【産業振興課・産業用地整備課・産業人材活躍課】
１，８８５，３３５円

3　工業振興推進費【次世代産業課】　１７１，１３３，５２３円

（１）　イノベーションセンター運営費

産学官の連携により「とよたイノベーションセンター」を運営し、イノベーションセミナー、人材育成講座、技術経営相談、支援機関への講習会等を実施しました。また、豊田市ＤＸ推進プラットフォーム事業として相談窓口やＤＸ促進アドバイザー派遣、ＤＸ推進セミナー等を実施しました。

セミナー・講座等受講者	４４０人
技術・経営相談	９３０件
支援機関への講習会等	３０回
ＤＸ相談窓口等支援社数	５３社

（２）　ものづくり創造拠点運営費

ものづくりスペース、交流スペース、セミナールーム等を併せ持つ「ものづくり創造拠点」や実証フィールドで、ものづくり企業・団体の新事業展開、人材育成等を支援しました。

登録団体	１２７団体
ものづくりミライ塾参加者	２３人

（３）　新事業展開支援費

新規事業計画策定に向けたワークショップや、事業拡大やオープンイノベーションの推進を図るイベント等をオンライン併用で

実施し、市内企業の新たな事業展開を支援しました。

新規事業創出取組促進事業ＳＰＡＲＫ　　１１社

アクセラレータープログラムＴＡＫＥＯＦＦ　　６者

ＳＥＮＴＡＮ共創ラボＥｄｇｅ　　全８回延べ２６４人

（４）　ビジネスチャンス拡大支援費

とよたビジネスフェア２０２５を開催しました。

出展者数　　１４３社・団体

来場者数　　６，３０２人

からくり＆デジタル展２０２５を開催しました。

出展作品数　　１５８作品

来場者数　１２，４００人

（５）　ものづくりブランド創出活用費

市内企業の優れた技術や製品を豊田ものづくりブランドとして認定し、ＰＲ動画を制作しました。

認定技術・製品数　５件

（６）　ものづくり創造補助金（１／２）

市内中小企業の新事業展開や、スタートアップの事業化に向けた活動に必要な経費の一部を補助しました。

補助件数　　２件

（７）　次世代航空モビリティ産業化推進費

次世代航空モビリティ協業ネットワークを中心に、開発報告や普及啓発イベント、参入促進プログラムを実施し、研究・開発用地を提供しました。

市内企業等との協業実績　　４件

4　デジタル化促進費【産業人材活躍課・次世代産業課】

２２，４９９，９９８円

（１）　デジタル人材育成支援費

デジタル人材育成のため、求職者を対象としたスキルアップ研修を実施しました。

研修受講者　延べ　４１人

（２）　デジタル技術活用促進費

ＤＸに挑戦する中小企業に対して支援しモデル事例を創出するとともに、市内企業へ横展開を図りました。

支援件数　　５件

5　経営力高度化支援費【産業振興課・産業人材活躍課】

４８，８８９，２５８円

（１）　人材マッチング支援費

市内の中小企業に対して、人材確保や育成に関わるコンサル

ティング・若年層との接点づくりや企業同士の学びあいとコミュニティ化に向けた伴走支援を行いました。また、イントレプレナーシップ研修やダイバーシティ経営推進研修など、人的資本経営強化を目的とした企業支援プログラムを実施しました。

イントレ＆ダイバー経営研修参加者数　延べ１９４人

（２）人材活躍支援補助金（２／３・１／２）

人材育成、人材確保等の経営課題に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数　８３件

（３）経営力強化支援補助金（１／２）

販路拡大等の経営課題に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数　４９件

6　カーボンニュートラル促進費【産業振興課・次世代産業課】

４１５，５３４，０００円

（１）カーボンニュートラル取組拡大支援費

中小企業等のカーボンニュートラル取組促進のため、相談窓口の設置や個別コンサルティング支援を行いました。

相談窓口件数　１７件

コンサルティング支援件数　９件

（２）カーボンニュートラル創エネ促進補助金（２／３・１／２）

再生可能エネルギー発電設備等を導入する中小製造業事業者に対し、経費の一部を補助しました。

交付件数　８事業所　１９８，２９５千円

（３）カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金（１／２・１／３）

既存設備をエネルギー消費効率の優れた指定生産設備に更新する中小製造業事業者に対し、経費の一部を補助しました。

交付件数　１１事業所　１３３，８９５千円

（４）新エネルギー活用促進補助金（２／３・１／２）

再生可能エネルギー発電設備等を導入する中小企業者等に対して経費の一部を補助しました。

交付件数　５事業所　７５，０９４千円

7　産業立地政策推進費【産業振興課・産業用地整備課】

１，０８５，６７６，７９７円

（１）産業誘致活動費　９，１１９，３８５円

市内への立地意向を把握するため、全国の製造業や物流業等の企業を対象に企業進出意向調査を行いました。

（２）　貞宝地区産業用地整備促進費　　４０４，４１２円

豊田貞宝次世代産業地区用地造成事業に係る地権者交渉を行いました。

（３）　企業立地奨励補助金（定額）

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金	１２事業所	９６０，５８５千円
中小企業設備投資奨励金	３事業所	４４，４３６千円
市民雇用奨励金	１事業所	１，０００千円

（４）設備投資奨励金（３０／１００・２０／１００・１０／１００）

地域産業の高度化及び雇用機会の創出を図るため、設備投資を行う者に対して設備投資奨励金の交付を行いました。

◎交付件数及び交付金額

設備投資奨励金	６事業所	７０，１３２千円

８　産業情報提供費【産業振興課】　　７９９，７００円

産業振興施策に必要な情報を収集するとともに、企業支援情報サイト「とよた産業ナビ」により、市内企業に対して積極的に情報提供を行いました。

９　建設業振興推進費【産業振興課】　　４００，３８２円

豊田商工会議所建設業部会と連携し、各展示会等で効果的に建設業界のＰＲ活動ができるよう、重機の操縦シミュレーターを展示しました。

１０　先人顕彰事業負担金【産業振興課】　　１，０８３，３１４円

本市の礎を築いた先人の「まちづくり」「ものづくり」精神を伝承するため、「中村寿一・豊田喜一郎顕彰会事業」に負担金を支払いました。

献花式開催日　令和８年３月７日（土）

１１　ものづくり未来創造基金積立金【次世代産業課】

３，１９９，４４７円

１２　産業用地造成事業特別会計繰出金【産業用地整備課】

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金

１２，５３９，６００円

◆特記事項

・建設業者高度安全機械等導入促進補助事業において、国の補正予算（第１号（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金））に伴い、１月議会で５０，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【産業振興課】

・新エネルギー活用促進補助事業において、事業者による２か年に渡る設備工事に対応するため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業振興課】

7款　商工費

7- 1- 4目　金融対策費

			（前年度）
当初予算額	351,034,000円	（	281,507,000円）
予算現額	368,904,000円	（	411,507,000円）
決算額	365,917,060円	（	366,426,170円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	2,986,940円	（	45,080,830円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　金融対策事務費【産業振興課】　２９１，０６０円

融資を希望する小規模企業等に、事前信用調査を実施しました。

2　信用保証料補助金（１０／１０・７．５／１０）【産業振興課】

５１，６２６，０００円

中小企業者等が信用保証料制度を利用して融資を受ける際に負担する信用保証料を補助しました。

補助件数　５６６件

3　資金融資費【産業振興課】　３１４，０００，０００円

中小企業者等の事業活動を支援するため、融資取扱い金融機関へ預託を行いました。

（１）　小規模企業等振興資金預託金（振、振小）

預託額　２３３，０００，０００円

融資決定件数　４３８件

融資決定金額　２，４６６，１９０，０００円

（２）　商工業者事業資金預託金（マルトヨ）

預託額　８１，０００，０００円

融資決定件数　６１件

融資決定金額　２３４，６７０，０００円

7- 1- 5目　消費者行政費

			（前年度）
当初予算額	27,640,000円	（	26,273,000円）
予算現額	28,057,000円	（	26,273,000円）
決算額	27,595,401円	（	25,328,237円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	461,599円	（	944,763円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　消費者行政推進費【市民相談課】　１，２３０，５９０円

消費者の権利を守るため、消費生活相談業務を行いました。

相談件数　４，３３３件

２　消費者啓発費【市民相談課】　５，１２７，４５０円

消費者被害を未然に防止するため、市内企業や団体の依頼を受け消費生活講座を行いました。

講座開催　３０回（参加者１，９４９人）

消費者啓発資料の配布やＣＡＴＶ等を利用して消費者に情報提供しました。

３　豊田消費生活センター費【市民相談課】　１３，３５５，０９５円

４　計量行政推進費【産業振興課】　７，８８２，２６６円

計量の適正化を図るため、定期検査や商品量目検査を実施しました。

商品量目検査	１０店	４００個
特定計量器定期検査	３９９営業所	１，１７３器
（うち、大型計量器	１８営業所	３０器）

7-1-6目　観光費

		（前年度）
当初予算額	439,457,000円	（ 453,546,000円）
予算現額	473,869,500円	（ 669,355,000円）
決算額	461,594,582円	（ 607,649,595円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	12,274,918円	（ 61,705,405円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　観光事務費【シティプロモーション課】　６，０９０，９１１円

２　観光まちづくり推進費【シティプロモーション課】

１１，７８３，６９７円

本市の歴史や山城の魅力を市内外に広く発信するため、冊子「とよた人」を制作しました。また、観光人材を育成するため、足助高校観光ビジネスコースの生徒と連携したツアーを実施しました。

３　観光プロモーション費【シティプロモーション課】

６，６２９，６５６円

ロケーション撮影地情報の検索及び登録等ができるホームページを新たに制作しました。

４　来訪者受入環境推進費【産業振興課】　１，５４０，０００円

豊田市駅東口のデジタルサイネージを活用し、情報発信を実施しました。

５　松平地区回遊歩道費【シティプロモーション課】　２３０，１４０円

6　松平郷観光施設費【シティプロモーション課】
２５，１４６，４８０円
（１）　施設管理費　９，７４２，０８０円
松平郷園地年間利用者数　７２，９００人
（２）　施設整備費　１５，４０４，４００円
菖蒲園・看板塔・木製橋・入口駐車場トイレ壁面の修繕、天下池の浚渫を実施しました。

7　王滝渓谷観光施設費【シティプロモーション課】
１６，７０３，４１０円
（１）　施設管理費　１３，１８０，１１０円
王滝渓谷　年間利用者数　１２８，８６０人
うちバーベキュー場利用者数　２，７８６人（３５５組）
（２）　施設整備費　３，５２３，３００円
王滝渓谷駐車場の白線修繕や、王滝湖園地擬木柵の修繕等を実施しました。

8　猿投地区観光施設費【シティプロモーション課】
４，８５７，２２６円
施設管理費
猿投山　年間利用者数　３６４，７９９人

9　東海自然歩道費【シティプロモーション課】　１，７５７，２００円
施設管理費
東海自然歩道　４地区（豊田、藤岡、足助、旭）
年間利用者数　１９０，１０８人

１０　豊田おいでんまつり開催負担金【産業振興課】
２７８，００７，２５１円
第５７回豊田おいでんまつり（マイタウン、総踊り、花火大会）を開催しました。

１１　観光協会補助金【シティプロモーション課】
１０８，８４８，６１１円
（１）　ツーリズムとよた補助金（定額）　１０３，６９８，６１１円
ホームページ総ページビュー数　４６６万件
正会員数　２０９会員
（２）　松平観光協会補助金（定額）　５，１５０，０００円

8款　土木費

		（前年度）
当初予算額	34,208,681,000円	（30,954,766,000円）
予算現額	42,261,605,480円	（45,978,169,239円）
決算額	31,616,391,011円	（39,463,304,712円）
翌年度繰越額	9,818,218,350円	（ 5,872,833,480円）
不用額	826,996,119円	（ 642,031,047円）

8- 1- 1目　土木総務費

		（前年度）
当初予算額	619,417,000円	（ 605,601,000円）
予算現額	704,708,000円	（ 614,100,000円）
決算額	690,290,022円	（ 597,487,643円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	14,417,978円	（ 16,612,357円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職７４人、非常勤一般職７人）【人事課】　６８６，５１３，１１７円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　５８１，３４０円

3　土木総務事務費【土木管理課】　３，１９５，５６５円

8- 1- 2目　建築管理費

		（前年度）
当初予算額	27,233,000円	（ 12,935,000円）
予算現額	21,406,000円	（ 12,947,000円）
決算額	19,909,627円	（ 12,184,297円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	1,496,373円	（ 762,703円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　建築管理事務費【建築整備課】　１７，８０５，５７４円

2　建築保全事務費【建築保全・住宅課】　８７４，２５３円

3　公共建築物設計費【建築整備課】　１，２２９，８００円

美和こども園トイレ改修工事等のアスベスト分析調査を行いました。

8款　土木費

8- 1- 3目　建築審査費

		（前年度）
当初予算額	203,440,000円	（ 200,156,000円）
予算現額	225,723,000円	（ 207,778,000円）
決算額	220,115,212円	（ 174,275,143円）
翌年度繰越額	0円	（ 27,500,000円）
不用額	5,607,788円	（ 6,002,857円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（建築審査会委員５人、空家等対策協議会委員５人、開発審査会委員５人）【開発調整課・建築相談課】　５５１，６００円

2　建築審査事務費【建築相談課】　７，６８０，２７５円

（１）　建築確認申請等受付件数（中間・完了検査含む。）　７９件

許可・認定申請受付件数　２１件

仮使用認定申請受付件数　４件

（２）　長期優良住宅建築等計画認定申請受付件数　１，１５５件

（３）　人にやさしい街づくりの推進に関する条例

整備計画届出受理件数　８１件

適合証請求受理件数　１３件

（４）　建築基準法道路情報の更新データを作成しました。

作成件数　１１９件

（５）　建築基準法道路公開情報を更新しました。

3　開発審査事務費【開発調整課】　２，０６１，３１２円

（１）　都市計画法

開発許可申請受付件数　１５１件

建築許可申請受付件数　２７４件

（２）　盛土規制法

許可申請受付件数　５０件

4　開発事業監視費【開発調整課】　１３３，３６４円

パトロール実施回数　７５３回

5　造成宅地防災区域指定等調査費【開発調整課】

５９，９５６，６００円

（１）　既存盛土調査　２４５か所

（２）　盛土等情報管理システムを構築しました。

6　建築安全対策事務費【建築相談課】　１３４，１４３円

管理不全空家等候補の相続人調査を行いました。

7　後退用地整備費【土木管理課・土木課】　１４９，５９７，９１８円

狭あいな生活道路解消のため、道路側溝、舗装等の整備を行いま

した。

寄附採納筆数	１２４筆
寄附採納面積	２，０７７㎡
整備工事	３件
整備延長	１，２４１ｍ

8- 2- 1目　道路橋りょう総務費

		（前年度）
当初予算額	692,470,000円	（ 608,632,000円）
予算現額	714,655,210円	（ 685,492,000円）
決算額	693,798,097円	（ 669,825,219円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	20,857,113円	（ 15,666,781円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職５０人、非常勤一般職２３人）【人事課】
５２４，１７９，７５６円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２，１７３，２９０円

３　道路橋りょう総務事務費　２４，２０９，１５９円
【建設企画課・土木管理課・道路維持課・道路予防保全課・土木課・地域建設課】
道路等占用物の適正化のため、管理システムの保守管理等を行いました。

４　道路橋りょう台帳等整備費【土木管理課】　７２，１９３，０００円
道路・橋りょうの管理の適正化のため、道路法に基づき道路台帳の更新を行いました。
道路台帳整備　路線数　１７８路線　延長　２５．１ｋｍ

５　道路内民地処理費【土木管理課・地域建設課】
１１，６５７，６８２円
道水路内の民有地について、所有権移転登記を行いました。
７４筆（５，３２０㎡）

６　公有地境界確認費【土木管理課】　５９，３３５，２１０円
道水路の敷地境界の確認を行いました。
境界立会件数　８５９件

７　県道改修促進期成同盟連合会等補助金（定額）【地域建設課】
５０，０００円

8- 2- 2目　道路橋りょう維持費

		（前年度）
当初予算額	4,378,693,000円	（ 4,071,942,000円）
予算現額	5,697,870,000円	（ 4,756,934,120円）
決算額	4,604,351,770円	（ 4,202,547,317円）
翌年度繰越額	985,480,000円	（ 450,979,000円）
不用額	108,038,230円	（ 103,407,803円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	９８５，４８０，０００円
橋りょう長寿命化修繕事業（大清水歩道橋外５橋）	２８，７００，０００円
路面舗装事業（市道殿貝津挙母線外３路線）	９５６，７８０，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　道路橋りょう維持管理費【道路維持課・地域建設課】

２１３，２８７，５０３円

生活環境と道路を適正に管理するため、側溝、排水管の清掃及び道路の維持修繕等を行いました。

また、降雪、凍結時に道路の安全を確保するため、凍結防止剤の散布を行いました。

2　道路等管理費【市街地整備課・道路維持課】

１，１７４，９０６，４０７円

（１）　道路等管理委託費　１，０８４，７２２，７２１円

道路利用者の安全確保と景観向上を図るため、街路樹の点検、剪定及び植栽帯の草刈を行いました。

高中木　１１，６９０本
低　木　A＝１５３，１６５㎡
草　刈　A＝５８１，２７５㎡
道路清掃　L＝　１，１００ｋｍ

（２）　歩行者専用道等維持管理費　３１，０４４，６２５円

歩行者の安全を確保するため、豊田市駅東デッキの巡視点検、昇降機の保守点検及び修繕を行いました。

（３）　浄水駅歩行者専用道等維持管理費　３９，０３６，４６５円

（４）　市道上橋駅南北歩行者道線維持管理費１２，０７１，１９９円

（５）　鞍ケ池スマートインターチェンジ周辺維持管理費

８，０３１，３９７円

3　道路修繕費【道路維持課・地域建設課】

２，３３４，３２７，１６０円

（１）　道路側溝修繕費　２７４，４７７，１７０円

豊田・藤岡・小原地区において、生活環境を改善するため、道路側溝修繕を行いました。

工事　　１９か所　　Ｌ＝　１，２９３ｍ

また、１１６か所の緊急修繕を行いました。

（２）　地域道路側溝修繕費　　４０６，４９６，５６３円

旭・足助・稲武・下山地区において、生活環境を改善するため、道路側溝修繕を行いました。

工事　　２３か所　　Ｌ＝　１，８３８ｍ

また、１７３か所の緊急修繕を行いました。

（３）　路面舗装修繕費　　１，２４５，７４３，４００円

豊田・藤岡・小原地区における交通安全対策として、路面舗装修繕を行いました。

工事　　１６か所　　Ａ＝　３８，５８９㎡

また、５２４か所の部分補修及び１，６３５ｍの亀裂充填を行いました。

（４）　地域路面舗装修繕費　　３５８，８２７，２２７円

旭・足助・稲武・下山地区における交通安全対策として、路面舗装修繕を行いました。

工事　　２１か所　　Ａ＝　２４，２６２㎡

また、５９か所の緊急修繕を行いました。

（５）　歩道修繕費　　４５，９９２，１００円

歩行者の安全を確保するため、歩道の修繕を行いました。

市道豊田市停車場線始め５路線

（６）　街路樹補植費　　２，７９０，７００円

快適な道路環境を整備し良好な道路景観を確保するため、木の補植を行いました。

高木　１０本

４　橋りょう修繕費【道路予防保全課】　　５０３，６８２，５００円

（１）　橋りょう修繕費　　９，９５２，８００円

施設の安全を確保するため、橋りょう等の緊急修繕を行いました。

橋りょう等緊急修繕　　５か所

（２）　橋りょう長寿命化修繕費　　４９３，７２９，７００円

施設の延命化を図り安全を確保するため、橋りょう等の長寿命化修繕及び点検を実施しました。

橋りょう長寿命化修繕　　２０橋

橋りょう定期点検　　２２７橋

トンネル等定期点検　　５か所

8款　土木費

5　道路防災対策費【道路予防保全課・地域建設課】
２４８，３０８，６００円

道路の安全を確保するため、のり面の防災対策を実施しました。

（１）道路防災対策費　３４，１０７，７００円

（２）地域道路防災対策費　２１４，２００，９００円

市道稲武梨野大桑線始め５路線　５か所

6　耐震対策費【道路予防保全課】　１２９，８３９，６００円

地震に対する橋りょうの安全を確保するため、重要法定外道路橋の耐震補強を実施しました。

重要法定外道路橋耐震補強工事　４橋

◆特記事項

・橋りょう長寿命化修繕事業（大清水歩道橋外５橋）において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路予防保全課】

・路面舗装事業（市道殿貝津挙母線外３路線）において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で９５６，７８０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路維持課】

8- 2- 3目　道路新設改良費

		（前年度）
当初予算額	1,591,997,000円	（ 1,200,718,000円）
予算現額	2,136,467,790円	（ 2,260,460,000円）
決算額	1,550,410,679円	（ 1,642,030,464円）
翌年度繰越額	444,377,000円	（ 529,991,000円）
不用額	141,680,111円	（ 88,438,536円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	３３１，３７７，０００円
市道新設事業（市道豊田西部２号線）	１９９，０３１，０００円
市道改良事業（市道上橋竜神１号線）	１３２，３４６，０００円
☆繰越明許費☆	１１３，０００，０００円
市道改良事業（市道四郷２５号線外１路線）	１１，０００，０００円
市道改良事業（市道松平足助線）	８１，０００，０００円
市道改良事業（市道旧宮上知立２号線）	２１，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　市道新設費【幹線道路推進課・土木課】　３７６，６４６，１６９円

住民の利便性向上と交通の安全確保を図るため、市道の新設事業を行いました。

市道豊田西部２号線始め３事業　整備延長Ｌ＝７４０ｍ

2　市道改良費１　４３０，８０８，１９５円

【市街地整備課・幹線道路推進課・土木課・地域建設課】

歩行者の交通の安全確保と住民の利便性向上を図るため、市道の改良事業を行いました。

市道林添九久平１号線始め１１事業　整備延長Ｌ＝１，４４６ｍ

3　市道改良費２　７４１，９２１，２１５円

【区画整理支援課・幹線道路推進課・土木課・地域建設課】

住民の交通の安全確保と利便性向上を図るため、市道の改良事業を行いました。

市道歌石挙母線始め１８事業　整備延長Ｌ＝１，９７８ｍ

4　法定外道路改良費【地域建設課】　１，０３５，１００円

住民の利便性向上を図るため、豊田市法定外道路整備工事分担金条例に基づき法定外道路の整備を行いました。

１か所　整備延長Ｌ＝２０ｍ

◆特記事項

・市道改良事業（市道四郷２５号線外１路線）において、関連する愛知県事業との工程調整により、年度内完了が困難となったため、１２月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】

・市道改良事業（市道松平足助線）において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で８１，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

・市道改良事業（市道旧宮上知立２号線）において、愛知県が実施する事業の進捗により、負担金の年度内執行が困難となったため、１２月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8- 3- 1目　安全維持費

		（前年度）
当初予算額	855,025,000円	（ 628,699,000円）
予算現額	819,025,000円	（ 641,092,000円）
決算額	793,361,559円	（ 612,366,073円）
翌年度繰越額	0円	（ 10,000,000円）
不用額	25,663,441円	（ 18,725,927円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　安全維持事務費【交通安全防犯課・道路維持課】　１，１３６，６１４円

（１）　交通対策事務費　６０８，５０４円

（２）　安全施設事務費　５２８，１１０円

2　交通安全施設維持管理費【道路維持課・地域建設課】

４３８，７９６，３７０円

（１）　道路照明灯等維持管理費　２１４，２７３，３９６円

豊田・藤岡・小原地区において、道路照明灯の電気料、ＬＥＤ道路照明灯リース料を支払いました。

（２）　地域道路照明灯等維持管理費　２，１４２，４６４円

（３）　危険箇所維持補修費　１０４，６１１，６５０円

豊田・藤岡・小原地区において、老朽化する道路照明灯、ガードレール等の修繕を行いました。

修繕　１４０か所

（４）　地域危険箇所維持補修費　２，０３２，８００円

旭・足助・稲武・下山地区において、老朽化する道路照明灯、カーブミラー等の修繕を行いました。

修繕　１１か所

（５）　交通安全施設更新事業　１０８，７２２，４６０円

豊田・藤岡・小原地区において、交通安全施設を適正に管理するため、計画的な点検と修繕を行いました。

交通安全施設点検

道路照明灯　５９０基

（６）　地域交通安全施設更新事業　７，０１３，６００円

旭・足助・稲武・下山地区において、交通安全施設を適正に管理するため、計画的な修繕を行いました。

交通安全施設修繕

道路照明灯ＬＥＤ化　１１基

道路規制標識　２基

ガードレール　７２ｍ

3　交通安全施設整備費【交通安全防犯課】　２８０，５６２，８７７円

（１）　事故防止対策費　２７７，０３１，８７７円

交通事故防止対策として、交差点、カーブ、通学路等の交通危険箇所に対し、交通安全施設の整備を行いました。

対策箇所　４７９か所

主な内容　防護柵　１，８６５ｍ

カーブミラー　９１基

区画線　１０７，４３４ｍ

カラー舗装　１，１９６㎡

押しボタン式横断者明示標識　６か所

（２）　ゾーン３０施設整備費　３，５３１，０００円

上丘地区において、交通安全施設の整備を行いました。

主な内容　カラー塗装　５４㎡

区画線　２３５ｍ

４　二輪車駐車場費【交通安全防犯課】　７２，２１９，９９８円

（１）　管理運営費　５０，９８６，０２１円

（２）　施設整備費　９，９６５，５００円

若宮町駐輪場の整備を行いました。

（３）　朝日ケ丘自転車等保管所管理費　１，０２７，１５２円

（４）　放置自転車等防止対策費　１０，２４１，３２５円

自転車等撤去台数１，０５９台

自転車等返還台数　２００台

自転車等売却台数　６８３台

５　違法駐車等防止対策費【交通安全防犯課】　６４５，７００円

勧告等による自主撤去　５台

8- 3- 2目　歩道等整備費

			（前年度）
当初予算額	420,786,000円	（	297,427,000円）
予算現額	485,942,000円	（	373,356,000円）
決算額	313,478,657円	（	298,438,386円）
翌年度繰越額	156,797,000円	（	37,000,000円）
不用額	15,666,343円	（	37,917,614円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	１５６，７９７，０００円
歩道設置事業（市道六ツ木岩倉線）	８９，７９７，０００円
歩行者・自転車通行環境整備事業	６７，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　交差点改良費【土木課】　７，４３０，３５０円

交差点の交通安全を確保するため、市道志賀郷中線の用地取得を行いました。

２　歩道設置費【土木課】　２６９，２９９，５０７円

歩行者の交通安全を確保するため、歩道の新設改良事業を行いました。

市道御立野見１号線始め８事業　整備延長Ｌ＝１，１２２ｍ

３　歩行者・自転車通行環境整備費【土木課】　３６，７４８，８００円

歩行者及び自転車利用者の交通安全を確保するため、豊田市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間の整備を行いました。

8款　土木費

歩行者・自転車通行環境整備事業　　整備延長Ｌ＝１６０ｍ

◆特記事項

・歩道設置事業（市道六ツ木岩倉線）において、岩盤や転石の出現により掘削に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

・歩行者・自転車通行環境整備事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で６７，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8- 4- 1目　河川総務費

		（前年度）
当初予算額	553,185,000円	（ 537,160,000円）
予算現額	606,119,000円	（ 723,208,500円）
決算額	572,038,934円	（ 679,772,037円）
翌年度繰越額	0円	（ 20,746,000円）
不用額	34,080,066円	（ 22,690,463円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職２２人、非常勤一般職８人）【人事課】　２２６，１９９，０３９円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　７５７，４８０円

３　河川総務事務費【河川課】　１，９４６，１０１円

４　河川等施設費【河川課】　１５２，７３６，５４７円

（１）　樋門施設の維持管理　宝蔵川始め１４施設

（２）　調整池の草刈り及び施設維持

（３）　排水ポンプ車の維持管理

（４）　雨水排水施設等の維持管理

５　矢作川研究所費【河川課】　１４，０９５，１４５円

（１）　事務費　５，２０４，９２２円

（２）　河川環境啓発広報費　１，４２６，０６４円

矢作川研究所広報誌の作成及びシンポジウムを開催しました。

（３）　河川等環境調査研究費　８５，４０６円

健全な河川環境を回復するため、地域住民等と共働で外来生物対策を行いました。

（４）　矢作川生態系リフレッシュ費　６，８９７，４２５円

矢作川の河床環境の改善策を検討するため、川底の生物生息状況を調査しました。

（５）　矢作川流域モニタリング調査費　４８１，３２８円

矢作川本流で水生生物のモニタリング調査を行いました。

6　総合雨水計画策定費【河川課】　１６，３２２，０５０円

豊田市総合雨水対策マスタープランに基づき、浸水常襲箇所等における流域治水対策の検討を行いました。

7　総合雨水対策費【河川課】　４２３，５３３円

雨水浸透阻害行為の許可標識等を製作し、設置しました。

8　矢作川水防災協議会費【河川課】　５，５３１，９００円

水害に備える防災意識の向上を図るため、３D洪水ハザードマップを活用し、事前防災の啓発活動を行いました。

9　矢作川改修促進費【河川課】　９５，４９４，９４２円

矢作川改修事業を促進するため、矢作緑地の用地取得や、普通河川桑原川の設計を行いました。

１０　（仮）水辺ふれあいプラザ整備費【河川課】

１，６１５，８７８円

環境学習の利活用を推進するため、草刈り等の維持管理を行いました。

１１　急傾斜地崩壊対策負担金【土木管理課】　５６，４２４，３１９円

愛知県の急傾斜地崩壊対策事業の実施に伴い、事業費の一部を負担しました。

工事　　１４か所

調査・設計　　９か所

１２　雨水貯留浸透施設補助金（１／２）【下水道建設課】

４９２，０００円

降雨時の河川の負担軽減及び雨水の有効利用を目的として、雨水貯留浸透施設を新たに設置するものに対し、経費の一部を補助しました。

補助実績：１４件

8- 4- 2目　河川改良費

		（前年度）
当初予算額	1,256,619,000円	（ 1,056,694,000円）
予算現額	1,715,587,780円	（ 1,636,626,400円）
決算額	1,292,058,959円	（ 1,085,846,866円）
翌年度繰越額	371,632,050円	（ 526,968,780円）
不用額	51,896,771円	（ 23,810,754円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆　１６６，６５７，６００円

河川改良事業（準用河川長田川）	１６６，６５７，６００円
☆繰越明許費☆	２０４，９７４，４５０円
河川改良事業（長田川）	６３，０８５，４５０円
河川改良事業（準用河川大見川）	１１９，０５３，０００円
流域貯留施設整備事業（大別当池）	２２，８３６，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　河川改良費【河川課】　７１１，９９８，５３４円

治水安全度を高めるため、準用河川大見川始め４河川の改良工事及び設計等を行いました。

２　河川修繕費【地域建設課・河川課】　４９４，００６，６０９円

河川施設の機能を維持するため、損傷箇所の修繕を行いました。

準用河川逢妻男川始め１３８か所

３　河川監視事業費【河川課】　９，８０９，１４０円

漁協との共働により、河川管理施設の監視活動を行いました。

４　安永川浄化対策費【河川課】　１３，３１３，６０９円

市街地における準用河川の水質浄化を図るため、安永川浄化用水施設の維持管理を行いました。

５　矢作川環境対策費【河川課】　４，４０９，４１０円

市民の憩いの場として矢作緑地の活用を図るため、散策路等の管理を行いました。

６　矢作川環境整備費【河川課】　７，６５６，０００円

矢作川水辺プロジェクト費

矢作川水辺空間の利活用を推進するため、散策路等の整備に向けた関係機関との協議を行いました。

７　河川一般環境整備費【河川課】　１２，８４０，７９８円

河川環境及び水辺の生態系を維持保全するため、河川愛護団体の活動を支援しました。

支援愛護会　２６団体

８　河畔環境整備費【河川課】　１，１５５，６５５円

良好な河川空間を形成するため、地域との共働による河畔整備を行いました。

９　流域貯留施設整備費【河川課】　３５，０２６，２００円

（１）　丸根池　２１，５６２，２００円

境川流域総合治水対策を推進するため、丸根池の貯留施設の整備を行いました。

（２）　大別当池　１３，４６４，０００円

境川流域総合治水対策を推進するため、大別当池の貯留施設の整備を行いました。

１０　矢作川学校運営負担金【河川課】　２３３，００４円

１１　矢作川環境整備促進事業補助金（１／２）【河川課】
１，６１０，０００円

矢作川流域の草刈り等の環境美化活動に対し補助しました。

◆特記事項

・河川改良事業（長田川）において、鉄道交差箇所における関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

・河川改良事業（準用河川大見川）において、工事の通行規制に関する調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

・流域貯留施設整備事業（大別当池）において、関係者との調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 4- 3目　排水路費

		（前年度）
当初予算額	547,638,000円	（ 404,022,000円）
予算現額	539,638,000円	（ 429,561,100円）
決算額	444,047,555円	（ 422,325,201円）
翌年度繰越額	55,302,900円	（ 0円）
不用額	40,287,545円	（ 7,235,899円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　５５，３０２，９００円

排水路改良事業（丸根町外１か所）　５５，３０２，９００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

排水路改良費【地域建設課・河川課】　４４４，０４７，５５５円

排水施設の機能を維持するため、改良工事及び損傷箇所の修繕を行いました。

丸根町排水路始め２０３か所

◆特記事項

排水路改良事業（丸根町外１か所）において、関係者との調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8款　土木費

8- 5- 1目　都市計画総務費

		（前年度）
当初予算額	1,772,007,000円	（ 1,559,670,000円）
予算現額	1,839,314,000円	（ 5,280,919,000円）
決算額	1,739,633,541円	（ 5,165,878,700円）
翌年度繰越額	57,049,000円	（ 47,452,000円）
不用額	42,631,459円	（ 67,588,300円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	５７，０４９，０００円
総合都市交通体系調査事業	７，８００，０００円
駐車場整備計画策定事業	２０，０００，０００円
鉄道計画調査事業	１２，９８０，０００円
公園整備計画策定事業	１６，２６９，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（都市計画審議会委員１４人、景観アドバイザー４人、一般職１４８人、非常勤一般職３１人）

【都市計画課・建築相談課・人事課】１，４７５，６５５，０８８円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２，２０６，７１０円

３　都市計画総務事務費【都市計画課・建築相談課】

１３，５９８，３６３円

（１）　都市計画事務費　１１，８１８，３２５円

（２）　都市景観事務費　１，７８０，０３８円

景観アドバイザーによる景観計画区域内行為の事前相談を実施しました。

景観アドバイザーによる事前相談件数　２７件

景観計画区域内行為届出受付件数　９１件

屋外広告物の許可審査を実施しました。

新規許可申請受付件数　９５件

更新等許可申請受付件数　４８０件

屋外広告物のパトロール、簡易除却を実施しました。

パトロール、簡易除却　６回

４　都市計画道路調査費【都市計画課】　１２，２２１，０００円

（１）　鉄道計画調査費　１６５，０００円

名鉄三河線速達化に向けて、駅周辺人口及び人口密度の推移について、集計を行いました。

（２）　パーソントリップ調査費　８，７７８，０００円

パーソントリップ調査の結果から都市交通課題を把握するとと

もに、将来交通施策の検討に向けた基礎資料を整理しました。

5　都市計画公園緑地調査費【都市計画課】　５，９８４，０００円

公園整備計画策定費

都市計画公園・緑地の見直しガイドラインに基づき、長期未整備公園・緑地の見直し方針案を作成しました。

6　土地利用調査費【都市計画課・市街地整備課・区画整理支援課】

２２９，９６８，３８０円

（１）　都市計画マスタープラン策定費　７，８９７，７００円

都市計画マスタープラン等の改定に向けて、計画素案を作成しました。

（２）　地区計画調査費　１，４４１，０４２円

区域区分変更の検討に向けた登記情報の調査を行いました。

（３）　既成市街地土地利用調査費　２，６６７，５００円

三河豊田駅駅前広場において、地域住民等で構成される協議会の支援等を行いました。

（４）　用途地域見直し調査費　６，１１１，６００円

用途地域等の見直しに向けた現状分析・課題把握を行いました。

（５）　上豊田駅周辺土地利用調査費　１０８，４３８，２００円

上豊田駅周辺において、まちづくり事業の整備手法等の検討を行いました。

（６）　竹村駅周辺土地利用調査費　１２，２７３，０１１円

竹村駅東側周辺の乗降場整備に向けた用地調査及び物件調査を行いました。

（７）　八草駅周辺土地利用調査費　８５，９１４，３２７円

八草駅周辺において、市街地整備に向けた道路詳細設計、現地測量等を行いました。

（８）　市街地整備調査費　５，２２５，０００円

市街地整備を行う候補地の調査・検討を行いました。

◆特記事項

・総合都市交通体系調査事業及び駐車場整備計画策定事業において、業務に必要な中京都市圏総合都市交通計画協議会の将来交通量推計の結果の公表に時間を要したことにより、年度内完了が困難となったことから、１２月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市計画課】

・鉄道計画調査事業において、名鉄三河線速達化に係る需要予測の将来推計に関する鉄道事業者との協議に時間を要し、推計作業の年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市計画課】

・公園整備計画策定事業において、毘森公園の再整備検討にあたり、こども起点で中心市街地の賑わいづくりに必要となる機能について幅広い意見を収集する時間を確保するため、３月議会で繰越明許費補正し翌年度へ繰り越しました。【都市計画課】

8- 5- 2目　土地区画整理費

		（前年度）
当初予算額	780,043,000円	（ 1,410,588,000円）
予算現額	710,364,000円	（ 1,480,850,000円）
決算額	615,879,577円	（ 1,419,899,778円）
翌年度繰越額	86,900,000円	（ 58,594,000円）
不用額	7,584,423円	（ 2,356,222円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	８６，９００，０００円
若林駅周辺土地区画整理調査事業	２３，２００，０００円
公共施設管理者負担事業（花園土地区画整理事業）	６３，７００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　土地区画整理事務費【市街地整備課・区画整理支援課】
１５，４４８，４４３円

２　記念碑等修繕費【区画整理支援課】　１４５，２００円

３　土地区画整理調査費【区画整理支援課】　３４，５７３，２００円
若林駅周辺のまちづくりについて、地元組織の活動を支援するとともに、事業方針の見直しを行いました。

４　土地区画整理関連事業費【市街地整備課・区画整理支援課】
５７，５２７，７３４円

（１）　四郷駅周辺土地区画整理関連事業費　３９，４３１，６３４円
改良区財産（道路・水路）の清算を行いました。

（２）　四郷駅周辺土地区画整理関連事業費　１８，０９６，１００円
四郷駅前の広場の整備を行いました。

５　公共施設管理者負担金【市街地整備課】　１２０，０００，０００円

（１）　土橋土地区画整理事業負担金　８２，０００，０００円
出来形確認測量、道路築造工事

（２）　花園土地区画整理事業負担金　３８，０００，０００円
道路築造工事

６　都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金【市街地整備課】
３８８，１８５，０００円

（１）　土橋土地区画整理事業繰出金　１３３，６４５，０００円

（２）　花園土地区画整理事業繰出金　　２５４，５４０，０００円

◆特記事項

・若林駅周辺土地区画整理調査事業において、事業方針の検討に時間を要し、年度内での完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】

・公共施設管理者負担事業（花園土地区画整理事業）において、社会資本整備総合交付金の配分を受けた工事の一部が年度内での完了が困難となったため、３月議会で２０，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【市街地整備課】

8- 5- 3目　街路事業費

		（前年度）
当初予算額	7,827,560,000円	（ 6,700,628,000円）
予算現額	10,152,220,027円	（10,082,517,000円）
決算額	5,597,304,896円	（ 9,033,737,763円）
翌年度繰越額	4,520,900,000円	（ 1,032,837,000円）
不用額	34,015,131円	（ 15,942,237円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	４，５２０，９００，０００円
街路建設事業（都市計画道路西岡吉原線）	３２，０００，０００円
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	４，４８８，９００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　街路事業事務費【街路課】　　５，１５２，８７９円

２　街路建設費【区画整理支援課・幹線道路推進課・街路課】

５，５９２，１５２，０１７円

（１）　名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業の推進のため、高架本体の整備を行いました。

（２）　名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業ほか３事業の測量設計等の委託を行いました。

（３）　都市計画道路西岡吉原線ほか３事業の用地取得を行いました。

◆特記事項

・街路建設事業（都市計画道路西岡吉原線）において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で３１，３００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】

・名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業において、関係機関との協議調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】

8款　土木費

8- 5- 4目　特定道路費

		（前年度）
当初予算額	863,548,000円	（ 1,714,029,000円）
予算現額	2,860,344,673円	（ 4,369,862,619円）
決算額	1,509,585,805円	（ 2,660,211,848円）
翌年度繰越額	1,306,574,700円	（ 1,695,098,700円）
不用額	44,184,168円	（ 14,552,071円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	１，０５３，５８８，７００円
内環状線建設事業（高橋細谷線長興寺第１工区）	１，０５３，５８８，７００円
☆繰越明許費☆	２５２，９８６，０００円
内環状線建設事業（都市計画道路高橋細谷線）	１１０，２８６，０００円
特定道路建設事業（都市計画道路豊田刈谷線）	５０，７００，０００円
特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連市道上原１４号線）	９２，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　特定道路事務費【建設企画課】　２，０５５，６５７円

２　高規格道路建設促進費【幹線道路推進課】　１８，３６８，６６０円

豊田上郷スマートインターチェンジの供用開始から５年が経過したことに伴い、整備効果の検証を行いました。

３　特定道路建設費【建設企画課・街路課】

１，１９２，５７７，６０２円

(1)　周辺土地利用の変化等を踏まえ、豊田市幹線道路網整備計画（２０２５年度～２０３４年度）に位置付けられた路線の整備効果の検討を行いました。

(2)　内環状線を担う都市計画道路高橋細谷線の事業推進を図るため、道路改良工事及び用地取得を行いました。

(3)　都市計画道路豊田刈谷線の事業推進を図るため、道路改良工事及び用地取得を行いました。

４　特定道路改良促進費【幹線道路推進課】　２９５，５８３，８８６円

豊田南・北バイパス事業に伴い、地域道路の安全や機能を確保するため、道路改良工事及び用地取得を行いました。

５　幹線道路整備促進協議会負担金【建設企画課】１，０００，０００円

◆特記事項

・内環状線建設事業（都市計画道路高橋細谷線）において、設計時には確認できなかった地下埋設物の撤去処分に時間を要し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【街路課】

・特定道路建設事業（都市計画道路豊田刈谷線）において、他現場から流用する予定であった建設発生土の搬入時期が遅延し、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】

・特定道路改良促進事業（豊田北バイパス関連市道上原１４号線）において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で９２，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【幹線道路推進課】

8- 5- 5目　下水道管理費

		（前年度）
当初予算額	3,443,863,000円	（ 3,175,025,000円）
予算現額	3,344,725,000円	（ 3,134,612,000円）
決算額	3,221,277,819円	（ 3,098,390,386円）
翌年度繰越額	77,777,500円	（ 0円）
不用額	45,669,681円	（ 36,221,614円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	７７，７７７，５００円
柳川瀬浄化センター解体事業	７７，７７７，５００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　浄化槽整備事務費【下水道施設課】	２０３，２５３円
２　施設等管理費【下水道施設課】	７９，９６３，００５円
（１）　廃止施設管理（１０施設）	
（２）　旧柳川瀬浄化センター撤去工事	
３　合併処理浄化槽整備費【下水道施設課】	１２２，８４６，０００円
合併処理浄化槽補助実績　１４６件	
４　下水道事業負担金【経営管理課】	２，４１４，２８７，０７９円
５　下水道事業補助金（１０／１０）【経営管理課】	１３３，９７８，４８２円
６　下水道事業出資金【経営管理課】	４７０，０００，０００円

◆特記事項

・柳川瀬浄化センター解体事業において、部分払い請求がなかったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【下水道施設課】

8款　土木費

8- 5- 6目　公園費

		（前年度）
当初予算額	2,072,945,000円	（ 1,698,494,000円）
予算現額	2,553,727,000円	（ 3,575,643,000円）
決算額	2,457,039,833円	（ 3,310,215,199円）
翌年度繰越額	64,079,000円	（ 227,844,000円）
不用額	32,608,167円	（ 37,583,801円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	６４，０７９，０００円
長寿命化改修等設計事業（西山公園）	１２，１１１，０００円
矢作緑地勘八公園整備事業	１８，９６８，０００円
土橋曙東公園整備事業	３３，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　公園事務費【公園緑地課】　３，９５７，２２４円

2　公園維持管理費【公園緑地課】　１，２４５，９６２，３１３円

（１）　都市公園の維持管理を委託し、公園利用者の安全性・利便性を確保しました。

（２）　鞍ケ池緑地において民間活力を導入し、公園利用者の安全性・利便性を確保しました。

（３）　西山公園の維持管理を委託し、公園利用者の安全性・利便性を確保しました。

（４）　平戸橋公園において、老朽化した桜の植替え業務を委託し、桜の保全を図りました。

（５）　鞍ケ池公園、水無瀬川緑道、桜城址公園の桜を効率的に保全するため、委託業務にて桜の調査を実施し、保全計画を作成しました。

3　市民広場等維持管理費【公園緑地課】　７，１１４，２７７円

4　街区公園整備費【公園緑地課】　４２，００１，８５０円

（１）　土橋駅北公園の整備を行い、供用しました。

（２）　土橋曙西公園の設計を行いました。

（３）　土橋曙中央公園の設計を行いました。

（４）　土橋曙東公園の設計を行いました。

（５）　花園中央公園の設計を行いました。

5　地区公園整備費【公園緑地課】　９５，７４０，６７８円

高岡公園の整備を行い、供用しました。

6　近隣公園整備費【公園緑地課】　２５７，４１１，４６４円

深田公園の用地を取得しました。

7　緑地整備費【公園緑地課】　４８０，８０９，４５０円

（１）　枝下緑道の施設復旧設計を行いました。

（２）　枝下緑道の照明灯整備を行いました。

（３）　枝下緑道の復旧整備を行いました。

（４）　勘八公園の設計を行いました。

（５）　中央公園第二期整備の造成工事を行いました。

8　公園施設修繕費【公園緑地課・建築保全・住宅課】

１５７，３０６，８８６円

公園施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。

公園遊具修繕　　１２件

公園施設修繕　１３６件

9　花のあるまちづくり推進費【公園緑地課】　５７，８７７，５９０円

花やか豊田プランに基づき、花のあるまちづくり協議会の運営、豊田市駅東口ペデストリアンデッキの花飾りやフラワーロード事業の継続等の施策を実施し、ボランティア技術の向上並びに市民への普及及び啓発を行いました。

１０　地域広場整備費【公園緑地課】　１０８，１３９，４６２円

広場施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。

広場遊具修繕　　５件

広場施設修繕　２０件

１１　樹木資源保全基金積立金【公園緑地課】　７１８，６３９円

樹木資源保全基金の利子を同基金に積み立てました。

◆特記事項

・長寿命化改修等設計事業（西山公園）において、事業の平準化を図るため、９月補正で１２，１１１千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【公園緑地課】

・矢作緑地勘八公園整備事業において、国や地元との調整に時間を要したため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【公園緑地課】

・土橋曙東公園整備事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月補正で３３，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【公園緑地課】

8- 5- 7目　自然保全費

		（前年度）
当初予算額	272,614,000円	（ 264,950,000円）
予算現額	277,536,000円	（ 258,067,000円）
決算額	268,214,818円	（ 254,548,686円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	9,321,182円	（ 3,518,314円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　自然保全事務費【開発調整課】　１０１，８２６円

自然公園法に基づく許可申請等受付件数　９８件

2　緑化推進費【公園緑地課】　１５，９５１，７９２円

市民が行う優良な緑化事業へ補助金を交付しました。

交付件数　４件

3　自然保護費【環境政策課】　１５，４９７，３５８円

（１）　管理費

名木指定件数　２２１件

（２）　自然共生型地域づくり推進費

森林や湿地等身近な自然の整備を進める市民団体の活動を支援しました。

支援団体　３団体

（３）　野生生物共生費

ツキノワグマ目撃等の通報受付、現地調査、住民や学校等への情報提供、注意喚起などの対応を行いました。

ツキノワグマ対応件数　１３４件

（４）　生物多様性啓発推進費

ア　特定外来生物オオキンケイギクについて、市民との共働による防除活動を実施しました。

イ　動植物の生育生息状況の調査及び特定外来生物オオバナミズキンバイの分布状況調査を委託しました。

（５）　湿地保全促進費

ア　ラムサール条約湿地の保全管理を委託しました。

矢並湿地保存会、上高湿地を守る会、山中町自治区

イ　恩真寺湿地保全のため、森林整備を委託しました。

ウ　用地管理

土地賃貸借　５筆　１０７，７７３㎡

使用貸借　１筆　４６６㎡

4　緑地保全費【公園緑地課】　１０８，３８３，７００円

開発緑地等の枝払い、伐採、草刈等を行い、適正な維持管理に努めました。

開発緑地等　８０か所　　７４５，２３１㎡

５　自然観察の森費【環境政策課・建築保全・住宅課】　１２５，３３３，３０４円

（１）　指定管理者　とよたの自然パートナーズ

ネイチャーセンター利用者　延べ　２９，３１１人

（２）　環境学習

自然体験講座等	１５４回	延べ　２，０１２人
環境学習プログラム	４８校	延べ　３，４６２人
出前授業	１８件	延べ　４４５人
湿地学習	４校	延べ　５５７人
矢並湿地一般公開	４日	延べ　５２２人

（３）　施設ボランティア活動支援

登録者　４団体　６７人

（４）　用地管理

土地賃貸借	１，１１０筆	１，０１７，３２９．８２㎡
使用貸借	３筆	１，４２９．００㎡

（５）　施設の修繕等

エレベーター修繕、案内看板修繕、観察路修繕、木製回廊修繕標本資料館排煙窓修繕を実施しました。また、公道沿いの危険木伐採を委託しました。

６　緑の推進基金積立金【公園緑地課】　２，９４６，８３８円

緑の推進基金の利子を同基金に積み立てました。

8- 5- 8目　都心整備費

		（前年度）
当初予算額	3,585,104,000円	（ 2,833,786,000円）
予算現額	4,581,868,000円	（ 3,393,989,500円）
決算額	2,847,587,870円	（ 2,134,593,603円）
翌年度繰越額	1,691,349,200円	（ 1,205,623,000円）
不用額	42,930,930円	（ 53,772,897円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	１，５３５，６０６，０００円
豊田市駅西口施設整備事業	１，５３５，６０６，０００円
☆繰越明許費☆	１５５，７４３，２００円
歩車共存道路整備事業（市道西町若宮線）	６，９５１，２００円

豊田市駅東口駅前広場整備事業　９４，７９２，０００円
豊田市駅西口昇降施設整備事業　５４，０００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　都心整備事務費【都市整備課】　６９，７７２，０４３円

２　都心環境計画推進費【都市整備課】　２，７７７，８１５，８２７円

（１）　都心環境計画整備費　３８７，７５０円
豊田市駅周辺整備イメージのパンフレット増刷を行いました。

（２）　サイン施設再整備費　１７，０００，０００円
歩行者誘導案内サインの設置工事を行いました。

（３）　歩車共存道路整備費　３７，６２１，７３５円
市道西町若宮線電線共同溝整備に伴う設備工事の負担金を支出しました。

（４）　豊田市駅東口駅前広場整備費　９６，８１３，０００円
豊田市駅東口駅前広場のロータリー整備工事を行いました。

（５）　豊田市駅東口施設整備費　１４２，０４３，０００円
豊田市駅東口ペデストリアンデッキの耐震補強工事を行いました。

（６）　豊田市駅西口施設整備費（単年度）２５４，８９３，８０９円
豊田市駅西口バス停関連のサイン整備工事及び西口昇降施設整備に関する負担金を支出しました。

（７）　豊田市駅西口施設整備費（継続費）
１，６４４，５０３，６００円
豊田市駅西口ペデストリアンデッキの改築及び耐震補強、バス乗降場整備工事を行いました。

（８）　豊田市駅整備費　５５５，０００，０００円
豊田市駅整備事業の施行に関する年度協定書に基づき、負担金を支出しました。

（９）　新豊田駅東口駅前広場整備費　１，２７４，９００円
新とよパークの照明灯及び木製ベンチ等の修繕を行いました。

（１０）　新豊田駅西口駅前広場整備費　４，７０４，７００円
新豊田駅西口バスプールの整備工事を行いました。

（１１）　鉄道駅耐震補強事業補助金（１／６）２３，５７３，３３３円
鉄道事業者が実施する豊田市駅耐震補強事業を支援しました。

◆特記事項

・歩車共存道路整備事業（市道西町若宮線）において、占用物の支障移転に時間を要したため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】

・豊田市駅東口駅前広場整備事業において、関係者との協議に時間を要し

たため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【都市整備課】

・豊田市駅西口昇降施設整備事業において、関係者との協議に時間を要したため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【都市整備課】

8- 5- 9目　総合交通対策費

		（前年度）
当初予算額	1,387,294,000円	（ 1,094,724,000円）
予算現額	1,256,907,000円	（ 1,049,277,000円）
決算額	1,171,587,820円	（ 1,009,211,583円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	85,319,180円	（ 40,065,417円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　交通政策事務費【交通政策課】　１，２４６，４８８円

2　ＩＴＳ管理費【交通政策課】　９，９１７，４９３円

（１）　道路交通情報システム管理費

ＩＴＳセンターの維持管理を行いました。

（２）　駐車場案内システム管理費

駐車場案内システムの維持管理及び保守点検を行いました。

（３）　公共交通利用促進システム管理費

乗換情報を提供している総合交通案内板等の維持管理及び保守点検を行いました。

（４）　総合交通システム管理費

おいでんバス情報等を提供しているウェブサイト「みちナビとよた」の保守管理を行いました。

3　旧名鉄三河線費【交通政策課】　５，４５９，９９８円

廃線敷地の維持管理及び修繕を行いました。

4　総合交通対策調整費【交通政策課】　７，８１３，４００円

豊田市地域公共交通計画（令和８年度から令和１７年度）を作成しました。

5　地域公共交通推進費【交通政策課】　９８９，７８０円

豊田市バスマップを作成しました。

6　生活交通対策費【交通政策課】　４１，１９９，２２１円

（１）　地域内交通確保調査費

自家用車を活用した有償による輸送サービスである公共ライドシェアについて、敷島自治区（旭地区）において実証運行を行い

ました。また、バス運転手不足対策の検討を行いました。

（２）　住民共助交通推進費

市内の共助交通の取組事例を紹介するシンポジウムの開催や、地域交通を紹介するガイドブックを作成しました。また、既に共助交通に取り組む団体に対して、ボランティアドライバーへの安全運転講習を開催しました。

（３）　地域バス運行費

上郷地域バスのデマンド運行に負担金を支出しました。

＜利用者数＞

・対象期間：令和７年４月～令和８年３月

上郷地域バス（チョイソコにこにこバス）	４，３０８人

（４）　地域タクシー運行費

地域バスの代替として４地域の地域タクシーの運行に負担金を支出しました。

＜地域タクシー別　年間利用回数及び利用者数＞

・対象期間：令和７年４月～令和８年３月

鞍ケ池地域タクシー	４００回	１，１８５人
水源東地域タクシー	２２５回	２４０人
つくばね地域タクシー	７５５回	８５２人
松平地域タクシー	２，７５１回	３，３７２人
合　計	４，１３１回	５，６４９人

（５）　住民共助輸送支援事業費補助金（１０／１０・９／１０・１／２）

自家用車等を用いた住民主体の移動支援に補助金を支出しました。

＜交付件数＞

・対象期間：令和７年４月～令和８年３月

コミュニティ・カーシェアリングの運営支援（本運行）２件	
移動支援サービス専用保険の費用支援	２件

（６）　共助タクシー運行支援事業費補助金（９／１０）

乗用タクシーを活用した住民主体の移動支援に補助金を支出しました。

＜交付件数＞

・対象期間：令和７年４月～令和８年３月

共助タクシーの運営支援	２件

７　バス運行推進費【交通政策課】　　１，０３１，００３，７７６円

（１）　バス施設設備管理費

ＩＣカード決済システム運用業務委託等を行いました。また、

バス停標識の基礎更新を行いました。

（２）　公共交通利用促進費

７０歳以上対象の割引定期券「おでかけパス７０」の発行、公共施設等で利用可能な期間限定クーポン券の配布による外出促進の実証実験及び効果検証を行いました。また、小学生を対象に「子どもモニター」を募集し、公共交通の利用を通じた学び体験等の実証実験を行いました。

（３）　基幹バス運行費

都心、駅、地域拠点を相互に結ぶ基幹バス１１路線の運行負担金を支出しました。

＜路線別年間利用者数＞

対象期間：令和７年４月～令和８年３月

藤岡・豊田線（加納経由）	９９，９８２人
小原・豊田線	１９１，３８４人
藤岡・豊田線（西中山経由）	１０１，７２９人
旭・豊田線	１０９，７５１人
旭・足助線	１４，３０１人
稲武・足助線	３０，５８４人
さなげ・足助線	２２５，２６９人
下山・豊田線	２２８，４９９人
保見・豊田線	４１８，７７４人
中心市街地玄関口バス	７３，００３人
土橋・豊田東環状線	９５０，２６１人
合　計	２，４４３，５３７人

（４）　公共交通バス購入費

燃料電池バス「ＳＯＲＡ」３台を借り上げました。

（５）　次世代バス推進費

燃料電池バス「ＳＯＲＡ」３台をおいでんバスとして運行しました。

（６）　乗合バス運行費補助金（１０／１０）

市内を走る乗合バス路線を維持・存続するため、民間バス事業者に対し運行経費の一部を補助しました。

・対象期間：令和６年１０月～令和７年９月

・対象路線：豊田西市内線（豊田市～聖心寮前）
　　矢並線増便分（豊田市～足助）
　　豊田・渋谷線（豊田市～桑原公園）
　　岡崎市内線（三河上郷駅～ＪＲ岡崎駅）
　　大沼線（大沼～名鉄東岡崎駅）

岡崎・足助線（名鉄東岡崎駅～足助）

8　愛知環状鉄道整備促進費【交通政策課】　４２，４７２，９２３円

（１）　愛知環状鉄道駅前施設管理費

市内１０駅のトイレ清掃や浄化槽の維持管理を行いました。

（２）　愛知環状鉄道整備改修費補助金（定額）

愛知県及び沿線市と協調し、愛知環状鉄道に対し鉄道の安全安定輸送、利便性向上に資する信号保安設備、線路設備等の更新に要する経費の一部を補助しました。

9　パークアンドライド推進費【交通政策課】　８７０，６２０円

八草駅前駐車場の土地使用料を支払いました。

１０　高校生バス通学支援費補助金（定額）【交通政策課】

２６，７０９，６００円

高校生のバス通学定期券の購入費用を補助しました。

＜交付件数＞

・対象期間：令和７年４月～令和８年３月

通学定期券購入費支援　１，５９９件（申請人数５３７人）

１１　都市交通研究所運営費補助金（１０／１０）【交通政策課】

３，９０４，５２１円

8- 6- 1目　住宅管理費

		（前年度）
当初予算額	648,396,000円	（ 697,852,000円）
予算現額	625,727,333円	（ 792,664,000円）
決算額	613,263,961円	（ 763,376,680円）
翌年度繰越額	0円	（ 2,200,000円）
不用額	12,463,372円	（ 27,087,320円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職３人）【人事課】　２３，９６７，４０１円

2　市営住宅管理事務費【建築保全・住宅課】３７６，９５８，４９２円

管理代行者及び指定管理者　愛知県住宅供給公社

≪管理戸数２，３２２戸≫

管理代行　初吹住宅始め２１住宅　２，０５４戸

指定管理　桑田和住宅始め２７住宅　２６８戸

3　手呂住宅汚水処理施設管理費【建築保全・住宅課】

５，９３８，０６０円

4　市営住宅整備費【建築保全・住宅課】　１９９，５１０，００８円

市営住宅営繕費

電気設備改修工事　水源町住宅始め５住宅
給排水管改修工事　一ノ木住宅始め２住宅
外部鉄部塗装工事　東山住宅始め２住宅
外壁・屋上防水改修工事　中河原住宅始め４住宅

５　分譲住宅建設事業特別会計繰出金【建築保全・住宅課】
６，５１５，０００円

６　住宅費過年度国県支出金返還金【都市計画課】　３７５，０００円

8- 6- 2目　住宅建設費

		（前年度）
当初予算額	408,804,000円	（ 181,034,000円）
予算現額	391,730,667円	（ 218,213,000円）
決算額	381,154,000円	（ 216,141,840円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	10,576,667円	（ 2,071,160円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　公営住宅等関連事業推進費【都市計画課】　７，７７８，８００円
住宅マスタープラン推進費
次期住宅マスタープランの計画素案を作成しました。

２　定住対策事業費【都市計画課・都市整備課】
３４６，１７４，０００円

（１）　陣中町二丁目地区優良建築物等整備費補助金（２／３）
５０，８００，０００円
宅地の共同化・高度利用化を促進するため、設計費を支援しました。

（２）　三河豊田駅前地区優良建築物等整備費補助金（２／３）
２４７，０００，０００円
宅地の共同化・高度利用化を促進するため、設計費及び建築工事費を支援しました。

（３）　移住支援補助金（定額）　２，６００，０００円
首都圏からの移住に要する費用の一部を補助しました。
補助件数　２件

（４）　結婚新生活支援補助金（定額）　４５，７７４，０００円
結婚新生活に伴う住居費用や引越し費用を補助しました。
補助件数　２６９件

３　住まい相談総合支援事業費【建築相談課】　１，２９５，８００円
住まいの相談対応　４４件

住まいに関するセミナー　２０回

4　住宅建設費【建築保全・住宅課】　６，３０７，４００円

浜居場住宅

浜居場住宅の一部を解体する工事の設計を行いました。

5　空き家対策事業費【建築相談課】　８，８０８，０００円

老朽空き家等解体費補助金（１／２）

倒壊等のおそれのある危険な空き家の除却に係る費用の一部を補助しました。

補助件数　１８件

6　家族形成期世帯向け賃貸住宅リノベーション支援補助金【都市計画課】　１０，７９０，０００円

民間賃貸住宅の改修費用の一部を補助しました。

9款　消防費

		（前年度）
当初予算額	12,027,091,000円	（ 8,646,641,000円）
予算現額	12,524,931,640円	（ 8,625,996,000円）
決算額	12,082,092,708円	（ 7,904,674,266円）
翌年度繰越額	82,663,000円	（ 494,431,640円）
不用額	360,175,932円	（ 226,890,094円）

9- 1- 1目　常備消防費

		（前年度）
当初予算額	6,188,543,000円	（ 5,727,235,000円）
予算現額	6,428,442,600円	（ 6,062,038,058円）
決算額	6,342,888,375円	（ 5,871,416,209円）
翌年度繰越額	5,071,000円	（ 85,703,000円）
不用額	80,483,225円	（ 104,918,849円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　５，０７１，０００円

長寿命化改修設計事業（南消防署）　５，０７１，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職５４３人、非常勤一般職１９人）【人事課】
５，１７７，５９９，９８７円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　７７５，１５０円

３　消防本部費【（消）総務課・警防課・救急課・予防課】
２０３，０４７，７４５円

（１）　消防本部運営費　１３，０３４，１７２円

（２）　交際費　３６，０００円

（３）　職員厚生費　３９，６８３，３９３円

（４）　職員研修費　２１，９７５，３３０円

専門的知識・技術の習得及び資格取得のため、各種学校及び研修会等に派遣しました。

消防大学校　６人（　３科３コース）

愛知県消防学校　５８人（１５科）

各種研修会・講習会　２１６人（２６種類）

（５）　消防音楽隊費　１，９４３，８９６円

防火意識の普及啓発を目的とし、隊長始め３５人で活動しました。

演奏回数　１２回

練習回数　２４回

（６）予防業務運営事務費　５，０４８，０１７円

防火対象物や危険物施設の紙台帳を電子化し、立入検査業務等の効率化を図りました。

防火対象物査察	２，１８２件
危険物施設査察	６７０件
各種訓練指導（消火・通報・避難訓練等）	３５３件
消防同意	４５７件
消防用設備等点検指導	３１７件
消防設備検査	１，３５８件
防火対象物台帳の電子化	９６０件
危険物施設許認可（承認・完成含む）	１，７６１件
危険物施設台帳の電子化	１，３２６件

（７）防災学習センター運営費　１１，００１，６３４円

市民が防火防災を学ぶために、災害発生状況を踏まえた企画展等を開催しました。

利用者数　２３，６４５人

（８）消防フェスタ開催費　１，９００，０００円

とよた消防フェスタを豊田スタジアムで開催しました。

来場者数　２，０７５人

（９）火災予防活動費　２，６０３，４４３円

火災予防の推進を図るため、消防こども写生大会の優秀作品を地震体験車の側面や消防団格納庫のシャッターに掲示しました。

応募作品数　１０２点

（１０）高齢者住宅防火促進費　２９９，４７０円

住宅火災による高齢者の被害軽減を図るため、高齢者クラブ等への出前講座や福祉事業者と連携した防火指導を実施しました。

（１１）競技訓練活動費　３８３，５００円

全国消防救助技術大会（三木市）に救助隊員を派遣しました。

（１２）消防活動企画運営費　７，９４４，２５３円

ア　まちかど救急ステーション広報のため、ステッカーを９０部増刷し、配付しました。

イ　関係機関に負担金を執行しました。

愛知県防災ヘリコプター運営負担金

愛知県下高速道路消防連絡協議会負担金

（１３）救急高度化推進費　９７，１９４，６３７円

ア　救急救命士の養成及び育成を実施しました。

救急救命士養成施設への派遣　６人

薬剤投与等の資格取得に係る育成　２５人
救急救命士再教育の履修　１１８人

イ　救急業務のデジタル化による医療機関との情報共有及び事務負担の軽減のため、救急ＤＸシステムを構築しました。

ウ　心肺停止傷病者に対し、質の高い胸骨圧迫を継続するため、自動心臓マッサージ器の配備を全救急隊に拡充しました。

4　北消防署費【警防課・救急課・（北）管理課】

３９，３２７，４７１円

（１）　管理運営費　２０，４６０，９７５円

ア　消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ　地域の防火防災力を強化するため、交流館と連携した防火防災啓発を行いました。

（２）　救助・警防活動費　８，９７１，００６円

ア　水難救助事案に対応するため、潜水器具を更新しました。

イ　下水道管における救助技術の高度化と関係機関との連携を強化するため、上下水道局等と合同で下水道管路災害対応訓練を行いました。

火災件数　４８件（前年度比　１件増）
救助出動　７４件（前年度比　６件減）
その他の出動　１，１２１件（前年度比　２６件減）

（３）　救急活動費　９，８９５，４９０円

ア　医療機関とのＥＭ－ＰＡＳＳ連携のほか、関係機関と合同研修等を行い、円滑な救急搬送業務を推進しました。

イ　救命体制を強化するため、事業所及び愛知県ドクターヘリと合同で救急連携訓練を行いました。

救急出動　４，５８１件（前年度比　１１９件増）
搬送人員　４，１６４人（前年度比　８９人増）

5　中消防署費【警防課・救急課・（中）管理課】

５８，７９７，５１５円

（１）　管理運営費　２４，７８４，８７４円

ア　消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ　土砂災害訓練施設の訓練環境を整備するため、重機を購入しました。

（２）　救助・警防活動費　１１，３４３，９０６円

土砂災害発生時における現場対応力を向上させるため、新たに整備された訓練施設で掘削技術等の基礎訓練を行いました。

火災件数　４７件（前年度比　５件増）
救助出動　１２１件（前年度比　２件増）

その他の出動　１，３４５件（前年度比　１５５件減）

（３）　救急活動費　１７，２７９，４０６円

日勤救急隊のほか、管内救急隊の適切な運用に努めました。

救急出動　９，４０９件（前年度比　１２１件減）

搬送人員　８，３８０人（前年度比　１７７人減）

（４）　救急高度化推進費　５，３８９，３２９円

ア　心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

児童・生徒	１０２校	７，４１５人
教員	１３２回	２，５９９人
一般市民	１，２２７回	２２，０６５人
普及員による講習	６６１回	８，１８１人

イ　応急手当インストラクター派遣を適切に行いました。

インストラクター派遣数　延べ９０６人

６　南消防署費【警防課・（南）管理課】　４２，７６０，６４８円

（１）　管理運営費　２２，７６２，７９１円

ア　消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ　防火防災意識を啓発するため、南消防フェスタを開催しました。

来場者数　１，８００人

（２）　救助・警防活動費　８，９７３，６３１円

交通救助活動における高度な手技習得のため、研修会を開催しました。

火災件数	４９件	（前年度比　１２件増）
救助出動	１２０件	（前年度比　４件増）
その他の出動	１，２５０件	（前年度比　１７２件減）

（３）　救急活動費　１１，０２４，２２６円

救急活動における法的知識を習得するため、専門家を講師に招いて救急活動法律研修会を開催しました。

救急出動	６，７７８件	（前年度比　増減なし）
搬送人員	６，１１１人	（前年度比　４６人減）

７　足助消防署費【警防課・（足）管理課】　３０，５１３，５１４円

（１）　管理運営費　１２，５４０，２６０円

ア　消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ　防火防災意識を啓発するため、足助消防署ふれあい広場を足助地区ふれあいまつり、商工まつりと同時開催しました。

来場者数　延べ２，５００人

（２）　救助・警防活動費　１１，０９５，２６５円

ア　総務省消防庁から無償貸与された小型救助車の運転操作を向上させるため、専門技術者による講習会を行いました。

イ　消防用ホースの維持管理のため、補修用資機材を導入しました。

火災件数　１６件（前年度比　８件増）
救助出動　２８件（前年度比　９件増）
その他の出動　２７１件（前年度比　４４件減）

（３）　救急活動費　6，８７７，９８９円

救急救命士を目指す中部大学の学生を迎え、救急技術向上のため、合同で救急技術発表会を行いました。

救急出動　１，０９７件（前年度比　１６件増）
搬送人員　１，００３人（前年度比　２人減）

8　常備消防活動費　７８８，６１０，３４５円

【建築保全・住宅課・（消）総務課・警防課・指令課】

（１）　消防庁舎管理費　１０６，６７２，０４４円

施設数　１本部・４消防署・５分署・７出張所

（２）　消防庁舎営繕費　１５１，９３４，３２４円

ア　女性職員を配置するため、女性専用施設を整備しました。

３施設（藤岡小原、逢妻、西）

イ　土砂災害に対応するため、中消防署に土砂災害訓練施設を整備しました。

（３）　施設保全費　２７，８７３，９４５円

中消防署ほか１施設のオーバースライダー部品交換修繕等を行いました。

（４）　消防車両管理費　１，０５４，４５２円

（５）　救急救助施設管理費　３，５４０，５３５円

ヘリポートの維持管理のため、竹伐採等を行いました。

（６）　通信機器管理費　４９７，５３５，０４５円

消防指令システム及び通信機器を適正に維持管理しました。

9　防火危険物安全協会運営交付金【予防課】　１，４００，０００円

市民に対する防火・防災意識の普及啓発事業等を推進し、安全で住みよい地域社会を築くため、防火危険物安全協会の活動を支援しました。

会員事業所数　３１８事業所

１０　女性消防クラブ運営交付金【予防課】　５６，０００円

各家庭の火災の減少を図るため、地域住民へ火災予防の普及啓発を実施するクラブを支援しました。

クラブ数　４クラブ

会員数　　９４人

◆特記事項

長寿命化改修設計事業（南消防署）において、事業の平準化を図るため９月議会で５，０７１千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【（消）総務課】

9- 1- 2目　非常備消防費

		（前年度）
当初予算額	590,563,000円	（ 609,161,000円）
予算現額	557,757,640円	（ 589,317,000円）
決算額	459,320,765円	（ 547,874,740円）
翌年度繰越額	77,592,000円	（ 12,794,640円）
不用額	20,844,875円	（ 28,647,620円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	７７，５９２，０００円
消防団車両取得事業	７２，５２１，０００円
詰所格納庫下水道接続等設計事業（土橋詰所格納庫外１施設）	５，０７１，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費【防災対策課】　１４０，６８２，９５６円

（１）　消防団員報酬（基本団員１，５６７人）　９１，５６３，６２０円

（２）　消防団員報酬（機能別団員９５人）　１，０３４，７６３円

（３）　公務災害補償共済基金負担金　５，８７２，８５５円

（４）　退職報償金共済基金負担金　３８，６４９，６００円

（５）　災害補償費　３，５６２，１１８円

２　非常備消防活動費【防災対策課・（消）総務課】　１５５，８８３，１７７円

（１）　消防団運営費　１４，４０７，２０２円

（２）　消防団員厚生費　４２，２４１，１１８円

（３）　消防団充実強化推進費　３８，５８５，０８１円

消防団員への確実、迅速な出動連絡や参集状況の把握管理が行える消防団アプリを新たに導入したほか、計画に基づき電動チェーンソーやホースブリッジ等を配備しました。

（４）　警防技術大会開催費　１，８２１，６１６円

消防団の火災対応力の向上を図るため、第３回警防技術交換会を開催しました。

（５）　任免式開催費　１９８，９３０円

（６）　愛知県消防操法大会開催費　　１７５，０００円
（７）　消防団車両管理費　　１７，１８１，６９３円
（８）　消防団運営交付金　　４１，２７２，５３７円
消防団が火災、風水害等に備えた即応体制をとるため、資機材の点検等の活動に係る経費として交付しました。

３　詰所・格納庫費【防災対策課・建築保全・住宅課】
６５，３１４，２１８円
（１）　管理費　　７，１８９，３２５円
（２）　施設保全費　　７，１２８，０００円
消防団詰所格納庫の長寿命化修繕を行いました。
長寿命化　４か所（竹生・広川・渡刈・小峯）
（３）　整備費　　５０，９９６，８９３円
消防団詰所格納庫の整備を行いました。
整備　　１か所（近岡）

４　消防団消防機械整備費【防災対策課】　　９７，４４０，４１４円
消防団車両を更新しました。
小型動力ポンプ付き積載車　８台
（小坂・金谷・本新・深田・大林・堤・上丘・前林）
消防ポンプ自動車　　１台
（大平）

◆特記事項
・消防団車両取得事業において、一部の更新車両の購入が契約不成立となり、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【防災対策課】
・詰所格納庫下水道接続等設計事業（土橋詰所格納庫外１施設）において、事業の平準化を図るため、９月議会で５，０７１千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【防災対策課】

9－１－３目　消防施設費

		（前年度）
当初予算額	4,460,934,000円	（　270,236,000円）
予算現額	4,401,883,916円	（　248,093,442円）
決算額	4,384,678,813円	（　236,300,882円）
翌年度繰越額	0円	（　0円）
不用額	17,205,103円	（　11,792,560円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要
１　消防水利整備費【警防課】　　３４，５６４，９５２円

9款　消防費

（１）　消防水利施設管理費　　１４，５５７，５５２円

ア　防火水槽

金網修繕　　２か所

漏水修繕　　１か所

イ　消火栓

修繕　　４２基

ウ　消火栓用ホース格納箱

修繕　　１２基

（２）　消火栓整備費　　２０，００７，４００円

消防水利施設の整備充実を図るため、消火栓を２３基設置しました。

2　消防機械整備費　　２５，８５４，９６３円

【警防課・（北）管理課・（南）管理課・（足）管理課】

救急隊員の資質向上のため、救急訓練用資機材を整備しました。

救急処置訓練用人形　　3体

消防力の強化を図るため、消防資機材を整備しました。

空気ボンベ用高圧エアーコンプレッサー　　1台

環境測定用ロボット　　1台

3　通信施設整備費【指令課】　　３，７８６，５６９，６６９円

新たに消防指令システム等を整備し、既存機器を撤去しました。

4　消防車両整備費【警防課】　　５３７，６８９，２２９円

消防力の強化を図るため、消防車両を整備しました。

高規格救急自動車（救急、力石、逢妻、西）　4台

はしご自動車（中）　1台

水槽付き消防ポンプ自動車（藤岡小原、足助）2台

小型動力ポンプ付き積載車（下山）　1台

トイレカー（警防）　1台

9-1-4目　水防費

		（前年度）
当初予算額	3,700,000円	（　3,504,000円）
予算現額	5,239,484円	（　3,508,500円）
決算額	4,899,022円	（　3,193,588円）
翌年度繰越額	0円	（　0円）
不用額	340,462円	（　314,912円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　水防対策費【（消）総務課】　　１，７８６，６４０円

施設の適正な維持管理を行いました。

2　矢作川豊田防災ステーション費【（消）総務課】　2，978，382円

3　水防施設費【建築保全・住宅課】　108，900円

4　県水防管理団体連合会負担金【防災対策課】　25，100円

9-1-5目　災害対策費

		（前年度）
当初予算額	783,351,000円	（2,036,505,000円）
予算現額	1,131,608,000円	（1,723,039,000円）
決算額	890,305,733円	（1,245,888,847円）
翌年度繰越額	0円	（395,934,000円）
不用額	241,302,267円	（81,216,153円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（防災会議委員12人、一般職22人、非常勤一般職4人）
【防災対策課・人事課】　221，385，163円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　259，110円

3　災害対策事務費【防災対策課・予防課】　4，555，851円

（1）　防災指導事務費　1，092，044円

防火・防災意識の向上を目指し、地震体験車や資機材を活用した啓発を行いました。

地震体験車派遣　275回　体験者数　19，912人

（2）　防災対策事務費　3，463，807円

4　防災計画費【防災対策課】　32，443，640円

（1）　ハザードマップ作成費　3，781，140円

（2）　帰宅困難者対策費　60，000円

（3）　受援体制推進費　2，500円

（4）　危機管理体制調査費　28，600，000円

5　危機管理対策費【防災対策課・警防課】　55，269，340円

（1）　災害対策本部運営費　19，853，326円

大雨、台風等の災害に備えて、非常配備体制をとり、応急対策活動等を実施しました。

準備体制　15回

第1非常配備体制　1回

（2）　防災拠点施設維持管理費　97，905円

（3）　災害用便槽整備費　33，284，790円

避難所における避難者の健康と衛生環境の確保を図るため、災

害用便槽（マンホールトイレ）及び資機材を整備しました。

下水道接続型災害用便槽の整備　２か所

災害用マンホール直結型トイレ・テント（一般型）　５組

災害用マンホール直結型トイレ・テント（車椅子対応型）　２組

（４）　緊急救助費　４５，０２１円

大規模な災害に備えて、令和７年度緊急消防援助隊中部ブロック訓練及び令和７年度緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練に参加しました。

（５）　災害ボランティア対策費　１，９６８，２９８円

災害時、ボランティアの受入れと活動支援を円滑に行うため、災害ボランティア支援センターの開設・運営に必要な資機材の整備及び災害ボランティアコーディネーターの育成を行いました。

養成講座修了者数　５１人

（６）　防災連携推進費　２０，０００円

6　防災設備費【防災対策課】　４２９，９６２，６１２円

（１）　防災設備維持管理費　２８，４６３，４１３円

（２）　高度情報通信ネットワーク維持管理費３３，２１８，３１４円

災害時に県と市町村をつなぐ高度情報通信ネットワークの更新を行いました。

（３）　防災行政無線維持管理費　７７，９４２，８０５円

（４）　防災設備整備費　２０，９６６，０００円

（５）　災害時情報通信設備整備費　２６９，３７２，０８０円

豊田市防災行政無線システムの更新に伴い既存設備の撤去を行いました。

7　防災意識普及啓発費【防災対策課・建築相談課】　１３，６４４，６４１円

（１）　自主防災育成費　４，５８９，０７３円

共助の取組促進により地域防災力の強化を図るため、地域の防災活動を先導する自主防災リーダーの育成、自主防災会の実施する防災訓練に対し、指導員派遣、訓練用資機材貸出等の支援を行いました。

自主防災リーダー養成講座

育成数　１１８人

防災訓練支援

訓練実施回数　１９３回

訓練実施自主防災会数　１７６団体

訓練参加者数　２２，１１５人

豊田市自主防災会連絡協議会事業
定期総会　１回
消防防災専門指導員
自主防災会の訓練等への派遣　１１６回

（２）防災啓発費　７，２６１，５６８円

市民に対する防災・減災意識の啓発と防災教育の推進を図るため、とよた防災啓発推進協議会において啓発事業を行い、車中泊やまちなか防災ゼミ等、防災を学ぶイベントを開催しました。

また、小中学校を対象とした防災キャンプの実施支援を行いました。

とよた防災啓発推進協議会事業
事業概要　「あなたの避難生活、大丈夫？」を開催
防災キャンプ
事業概要　小中学校で行う避難所生活体験
実施箇所　７校
参加者数　６２７人

（３）企業防災推進費　８３０，０００円

災害発生時に、市内の事業者が業務を継続できるよう「ＢＣＰ作成セミナー」の入門編及び中級編を開催し、ＢＣＰ作成に向けた支援の充実を図りました。

参加事業者数　入門編　１８事業者　延べ２１人
中級編　１５事業者　延べ２２人

（４）ブロック塀撤去奨励補助金（２／３）　９６４，０００円

危険なブロック塀等の撤去費に対し補助金を交付しました。

補助件数　８件

８　国民保護計画費【防災対策課】　３２，８００円

９　震災対策消防施設設備整備費【警防課】　７７，２９８，５７６円

（１）震災対策消防設備整備費　１，５０１，５００円

震災時に防火水槽を効果的に活用するため、震災用可搬式小型動力ポンプを整備しました。

更新　末野原分署　１台

（２）耐震性貯水槽整備費　７５，７９７，０７６円

震災対応力の強化を図るため、耐震性貯水槽を設置しました。

耐震性貯水槽（４０㎥）
２基（岩神町、折平町）

防火水槽の機能維持を図るため、修繕を実施しました。

長寿命化修繕　１１か所
蓋板修繕　１か所

１０　民間木造住宅耐震対策費【建築相談課】　４７，７９６，０００円

（１）　耐震診断費　３，３０４，０００円

昭和５６年５月以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しました。

診断件数　７０件

（２）　耐震補強工事費等補助金　４４，４９２，０００円

木造住宅の無料耐震診断等の結果、耐震性能が不足する住宅の改修工事等に対し補助を行いました。

耐震補強設計補助	１５件	２，９４６，０００円
耐震改修補助	２０件	２２，０２０，０００円
解体補助	４８件	１８，６２６，０００円
耐震シェルター補助	３件	９００，０００円

１１　民間建築物等耐震対策費【建築相談課】　７，６５８，０００円

（１）　防災まちづくり啓発推進費　５，２５８，０００円

無料耐震診断の受診啓発等を行いました。

戸別訪問　９６８件

建築物耐震改修促進計画の中間評価及び見直しを行いました。

（２）　民間非木造建築物耐震化補助金　２，４００，０００円

耐震診断の結果、耐震性能が不足する建築物の耐震改修設計に対し補助を行いました。

耐震改修設計　１件

10款　教育費

		（前年度）
当初予算額	34,505,830,000円	（31,720,372,000円）
予算現額	37,813,074,040円	（34,670,099,460円）
決算額	34,285,950,592円	（31,067,206,699円）
翌年度繰越額	2,147,633,345円	（ 2,257,198,040円）
不用額	1,379,490,103円	（ 1,345,694,721円）

10- 1- 1目　教育委員会費

		（前年度）
当初予算額	6,652,000円	（ 6,661,000円）
予算現額	6,609,000円	（ 6,646,000円）
決算額	6,156,971円	（ 6,254,740円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	452,029円	（ 391,260円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（教育委員会委員５人）【教育政策課】５，４３６，０００円
2　委員会事務費【教育政策課】　６７７，４４１円
3　教育委員会交際費【教育政策課】　４３，５３０円

10- 1- 2目　事務局費

		（前年度）
当初予算額	283,702,000円	（ 261,330,000円）
予算現額	302,277,000円	（ 284,274,000円）
決算額	297,871,836円	（ 276,175,528円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	4,405,164円	（ 8,098,472円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（教育行政計画審議会委員１３人、特別職１人、一般職２８人
非常勤一般職１人）【教育政策課・人事課】
２８９，９０９，２５９円
2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　１８８，０００円
3　事務局事務費【教育政策課】　３，１１７，１１９円
4　教育行政計画策定費【教育政策課】　３，３２５，９７４円
第５次豊田市教育行政計画策定に関わる子どもワークショップ企画運営業務委託及び計画図書等制作業務委託を行いました。

5　教育行政外部評価費【教育政策課】　１５７，６００円

外部の有識者委員を交えて、教育委員会点検・評価に係る事業説明会、現地視察、ヒアリングを実施しました。

6　教育施設整備基金積立金【教育政策課・学校づくり推進課】

１，１７３，８８４円

10-1-3目　奨学費

		（前年度）
当初予算額	38,385,000円	（35,861,000円）
予算現額	30,905,000円	（33,594,000円）
決算額	30,422,820円	（33,537,548円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	482,180円	（56,452円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（奨学金審査委員会委員４人）【教育政策課】３２，０００円

2　私立高等学校授業料補助費【教育政策課】　１６，４８６，８２０円

	交付者数	補助額（定額）
区分Ⅰ	３７８人	３０，０００円
区分Ⅱ	２５７人	２０，０００円

3　奨学生交付金【教育政策課】　１３，８０４，０００円

交付者数１２６人（新規７０人、継続５６人）

4　奨学基金積立金【教育政策課】　１００，０００円

10-1-4目　私学振興費

		（前年度）
当初予算額	522,372,000円	（594,817,000円）
予算現額	476,208,000円	（594,117,000円）
決算額	390,274,282円	（452,631,011円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	85,933,718円	（141,485,989円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　私立幼稚園振興費【保育課】　３８６，３９４，２８２円

職員の処遇向上、施設の運営改善、教育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。

私立幼稚園　１０園

園児数　１，１１３人（令和７年４月１日時点）

また、保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況等に応じて、給食費の減免を行いました。

給食費補足給付費対象児童数　１０５人

旧制度幼稚園における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。

授業料軽減給付費対象児童数　８３５人

２　多様な集団活動事業利用支援給付費【保育課】３，８８０，０００円

自然保育活動や各種学校等の多様な集団活動事業の利用料に関する支援を行いました。

給付対象児童数　２７人

10- 2- 1目　学校管理費

		（前年度）
当初予算額	1,822,176,000円	（ 1,758,197,000円）
予算現額	1,848,052,556円	（ 1,687,235,000円）
決算額	1,760,090,971円	（ 1,602,259,513円）
翌年度繰越額	0円	（ 11,989,000円）
不用額	87,961,585円	（ 72,986,487円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（非常勤一般職２３２人）【人事課】

４２３，５４１，２８６円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　１１，８１３，６６５円

３　施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】

１，２３６，６７８，８９７円

４　地域施設管理運営費【旭支所】　１９８，０００円

旧築羽小学校の施設定期点検を行い、施設の適正管理に努めました。

５　校舎建設校管理備品等整備費【学校づくり推進課】

７６，２９８，３４１円

中山小学校の校舎増築に伴い、管理備品を整備しました。

６　通学バス購入費【学校づくり推進課】　１１，５６０，７８２円

10- 2- 2目　教育振興費

		（前年度）
当初予算額	2,069,347,000円	（ 422,035,000円）
予算現額	1,938,507,000円	（ 410,306,000円）
決算額	1,917,582,175円	（ 376,928,262円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	20,924,825円	（ 33,377,738円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】

３００，０８８，５７８円

教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。

2　ＧＩＧＡスクール構想推進事業費【学校教育課】

１，５５４，３４３，７８０円

ＧＩＧＡスクール構想の推進のため、児童及び教員が使用する学習用タブレット端末等を更新しました。

3　校長会等負担金【学校教育課】　３，４２４，７７０円

4　就学援助費【学校教育課】　５９，７２５，０４７円

（１）　要保護準要保護就学援助費

教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和８年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。

認定児童数　１，７９３人

入学前支給児童数　１２０人

（２）　特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に在学している児童の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費等の扶助を行いました。

認定児童数　６３７人

10- 2- 3目　学校建設費

		（前年度）
当初予算額	2,801,597,000円	（ 3,543,400,000円）
予算現額	4,452,442,544円	（ 5,224,607,000円）
決算額	3,449,301,561円	（ 4,196,948,450円）
翌年度繰越額	838,452,200円	（ 871,838,100円）
不用額	164,688,783円	（ 155,820,450円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆	３７，８４６，２００円
中山小学校増築等事業	３７，８４６，２００円
☆繰越明許費☆	８００，６０６，０００円
小学校受変電設備改修設計事業（伊保小学校外２校）	５，９４０，０００円
トイレ再整備・屋根外壁改修事業（小清水小学校外７校）	４８９，０１６，０００円
バリアフリー化整備事業（加納小学校）	１３８，０５０，０００円
屋外遊具整備事業（中山小学校外１１校）	１６７，６００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　学校建設事務費【学校づくり推進課】　１，７０３，４８３円

2　施設整備費【学校づくり推進課】　２，５７６，８８３，２７８円

（１）　施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるため、トイレ再整備及び屋根外壁改修の設計委託・工事を行いました。

〔保全改修費〕

トイレ再整備設計委託	幸海小学校　ほか７校
トイレ再整備工事	岩倉小学校　ほか２校
屋根外壁改修設計委託	小清水小学校　ほか３校
屋根外壁改修工事	青木小学校　ほか３校

（２）　近年の暑さ、雷雨などの天候への対応、プールの維持管理の負担軽減等を検証するため、梅坪小学校ほか２４校で学校水泳授業の民間委託モデル事業を行いました。〔長寿命化改修費〕

（３）　肢体の不自由な児童や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるため、加納小学校のバリアフリー化整備設計委託を行いました。〔バリアフリー化整備費〕

（４）　安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校の暑さ対策として、岩倉小学校ほか３４校の体育館に空調設備を整備しました。〔体育館等暑さ対策費〕

（５）　児童の安全・安心の確保や運動能力向上を図るため、小原中部小学校ほか１１校の屋外遊具整備工事を行いました。

〔遊具整備費〕

（６）　環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、青木小学校ほか１９校に緑のカーテンを設置しました。
〔緑のカーテン整備費〕

（７）　児童の安全確保や学習環境の充実を図るため、工事・修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

３　校舎建設費【学校づくり推進課】　８７０，７１４，８００円

（１）　中山小学校の校舎増築等工事を行いました。

（２）　中山小学校の太陽光発電設備工事を行いました。

（３）　中山小学校の校舎改修工事に着手しました。

◆特記事項

・小学校受変電設備改修設計事業において、工事の平準化のため、９月議会で５，９４０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。
【学校づくり推進課】

・トイレ再整備・屋根外壁改修事業、バリアフリー化整備事業及び屋外遊具整備事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で７９４，６６６千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。
【学校づくり推進課】

10- 3- 1目　学校管理費

		（前年度）
当初予算額	948,167,000円	（ 888,653,000円）
予算現額	960,385,885円	（ 873,029,237円）
決算額	911,999,010円	（ 826,036,509円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	48,386,875円	（ 46,992,728円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職３人、非常勤一般職８７人）【人事課】
１７２，００２，７２５円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　４，１５６，１７０円

３　施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】
７２４，２０２，３３３円

４　通学バス購入費【学校づくり推進課】　１１，６３７，７８２円

10- 3- 2目　教育振興費

			（前年度）
当初予算額	1,151,263,000円	（	242,043,000円）
予算現額	1,091,149,000円	（	237,666,000円）
決算額	1,067,204,032円	（	216,999,947円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	23,944,968円	（	20,666,053円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】

１３９，２２７，１１１円

教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。

2　ＧＩＧＡスクール構想推進事業費【学校教育課】

８４４，７０７，４６８円

ＧＩＧＡスクール構想の推進のため、生徒及び教員が使用する学習用タブレット端末等を更新しました。

3　校長会等負担金【学校教育課】　１，２６７，９２０円

4　就学援助費【学校教育課】　８２，００１，５３３円

（１）　要保護準要保護就学援助費

教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和８年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。

認定生徒数　１，１２６人

入学前支給生徒数　１８９人

（２）　特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に在学している生徒の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費等の扶助を行いました。

認定生徒数　２２７人

10- 3- 3目　学校建設費

		（前年度）
当初予算額	1,599,174,000円	（ 2,094,050,000円）
予算現額	2,352,554,215円	（ 2,845,584,763円）
決算額	1,827,449,914円	（ 2,432,411,793円）
翌年度繰越額	414,810,000円	（ 341,855,100円）
不用額	110,294,301円	（ 71,317,870円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	４１４，８１０，０００円
中学校受変電設備改修設計事業（藤岡中学校）	１，９８０，０００円
トイレ再整備・屋根外壁改修事業（朝日丘中学校外７校）	４１２，８３０，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　学校建設事務費【学校づくり推進課】　３４９，３７５円

２　施設整備費【学校づくり推進課】　１，８２７，１００，５３９円

（１）　施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるため、トイレ再整備及び屋根外壁改修の設計委託・工事を行いました。

〔保全改修費〕

トイレ再整備設計委託	朝日丘中学校　ほか２校
トイレ再整備工事	逢妻中学校　ほか１校
屋根外壁改修設計委託	逢妻中学校　ほか５校
屋根外壁改修工事	井郷中学校　ほか３校

（２）　安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校の暑さ対策として、石野中学校ほか１１校の体育館・武道場に空調設備を整備しました。〔体育館等暑さ対策費〕

（３）　環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、逢妻中学校ほか５校に緑のカーテンを設置しました。

〔緑のカーテン整備費〕

（４）　朝日丘中学校の借地用地の整理を行いました。

〔校地占有物件等整理費〕

（５）　生徒の安全確保や学習環境の充実を図るため、工事・修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

◆特記事項

・中学校受変電設備改修設計事業において、工事の平準化のため、９月議会で１，９８０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

・トイレ再整備・屋根外壁改修事業において、国の補正予算（第１号）に伴い、３月議会で４１２，８３０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越し

ました。【学校づくり推進課】

10- 4- 1目　特別支援学校費

			（前年度）
当初予算額	253,260,000円	（	223,683,000円）
予算現額	259,702,000円	（	220,873,000円）
決算額	239,880,876円	（	208,012,537円）
翌年度繰越額	1,980,000円	（	0円）
不用額	17,841,124円	（	12,860,463円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　１，９８０，０００円

特別支援学校受変電設備改修設計事業（豊田特別支援学校）　１，９８０，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（非常勤一般職３９人）【人事課】１１６，３５７，７８６円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２，２４９，５４５円

３　施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】

５９，０９３，０７０円

４　教材備品整備費【学校教育課】　２，１５４，１５５円

５　ＧＩＧＡスクール構想推進事業費【学校教育課】

５，４７３，３９１円

ＧＩＧＡスクール構想の推進のため、児童生徒及び教員が使用する学習用タブレット端末等を更新しました。

６　通学バス運行費【学校教育課】　４２，５７１，００１円

（１）　豊田特別支援学校運行費　２８，３３４，８０１円

豊田特別支援学校の児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。　利用者数　７，０２８人

（２）　岡崎特別支援学校運行費　１４，２３６，２００円

豊田市から岡崎聾学校及び岡崎盲学校に通学する児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。　利用者数　１，６３１人

７　児童生徒対象事業費【学校教育課】　３５０，０００円

豊田特別支援学校の児童生徒の社会的自立を支援するため、芸術鑑賞会を実施しました。

８　施設整備費【学校づくり推進課】　１１，６３１，９２８円

児童生徒の安全確保や学習環境の充実を図るため、修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

◆特記事項

特別支援学校受変電設備改修設計事業において、工事の平準化のため、

９月議会で１，９８０千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

10- 5- 1目　幼稚園費

		（前年度）
当初予算額	1,059,396,000円	（ 842,027,000円）
予算現額	935,419,000円	（ 856,819,000円）
決算額	663,495,347円	（ 801,795,903円）
翌年度繰越額	233,856,400円	（ 0円）
不用額	38,067,253円	（ 55,023,097円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆　２３３，８５６，４００円

野兒こども園園舎改修事業　２３３，８５６，４００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職１８人、非常勤一般職１９人）【人事課】
２２３，１１０，７７４円

２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　５０９，４４５円

３　管理運営費【保育課】　３６，７９０，４６２円

公立こども園　６園（うち２園休園）

園児数　１０８人（令和７年４月１日時点）

４　こども園給食運営費【保育課】　１１２，９０２，０８７円

公立こども園（幼稚園機能）、私立幼稚園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。

５　園児対象事業費【保育課】　１，６７３，６５０円

（１）　自然とのふれあい事業（総合野外センター）　５歳児対象

（２）　動物とのふれあい事業（移動動物園）　全園児対象（隔年）

６　施設整備費【保育課】　２８５，５１１，７３４円

（１）　備品等整備費　２９，９１９，５４９円

園の環境整備のため、遊具の更新や保育所化に向けた備品整備園児用の机・椅子等を購入しました。

（２）　諸営繕工事　２３６，５２８，３３５円

保育所への認可変更のため、高橋こども園の改修工事を行いました。

（３）　トイレ改修費　１５，７０４，７００円

洋式トイレの再整備として、高橋こども園の改修工事を行いました。

（４）　ＩＣＴ推進費　３，３５９，１５０円

保育士、保護者の負担軽減及び幼児教育の質の向上を図るため、保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。

また、保育業務支援システム用タブレット端末の更新やインターネットバンキングサービスを新たに導入しました。

7　こども園地域活動費【保育課】　８４，４９５円

こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種行事を実施しました。

（１）　子育てひろば利用者（公立こども園分）　３０２人
（２）　高齢者福祉施設訪問等世代間交流事業　５回
（３）　地域における異年齢児交流事業　８回
（４）　保護者等への育児講座　６回
（５）　郷土文化伝承活動　３回
（６）　こども園卒園児との交流　２回

8　幼稚園費過年度国県支出金返還金【保育課】　２，９１２，７００円

10- 6- 1目　学校教育総務費

		（前年度）
当初予算額	2,036,014,000円	（ 2,158,787,000円）
予算現額	2,326,359,400円	（ 2,605,299,000円）
決算額	2,101,505,828円	（ 2,230,456,290円）
翌年度繰越額	0円	（ 143,185,000円）
不用額	224,853,572円	（ 231,657,710円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職６４人、非常勤一般職７２９人）【人事課】　１，４５５，４０３，４１６円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２２，３８４，４６５円

3　学校教育総務事務費【学校教育課】　１８，４７０，３１０円

4　就学事業費【学校教育課】　３，０２８，５０４円

入学指定通知等就学に係る事務費を執行しました。また、みよし市との規約に基づいて、教育事務を委託し、通学の利便を図りました。

対象者数　小学校２４人　中学校３人

5　副読本・教師用教科書等購入費【学校教育課】　１５２，２２４，９６６円

小・中・特別支援学校の児童生徒用副読本及び教師用教科書・指導書を購入しました。

6　通学路整備費【学校教育課】　59，662，075円

児童生徒の通学途上の安全を確保するため、通学路整備推進会議を開催し、国・県・市の関係機関等と連携して通学路整備を行いました。

安全のみどり線設置工事　27校　L＝20，356m

通学路標識　修繕　4か所　撤去　6か所

7　通学バス運行費【学校教育課】　168，491，539円

旭地区、足助地区、小原地区、石野地区、下山地区及び松平地区の学校統廃合等により、遠距離通学となった児童生徒をスクールバスで送迎し、通学の利便を図りました。

8　教職員会館費【建築保全・住宅課・学校教育課】

175，547，126円

（1）　施設管理運営費　28，229，626円

施設利用者数　53，060人

（2）　施設保全費　5，362，500円

（3）　長寿命化推進費　141，955，000円

防水、空調設備等改修工事を行いました。

9　共働の学校づくり推進費【学校教育課】　45，343，427円

地域学校共働本部全104か所の運営支援を行いました。

10　中学生通学困難者電動アシスト自転車購入補助金（1／2）【学校教育課】　200，000円

交付者数　4人

11　外国人学校教育推進費補助金（1／50）【教育政策課】

700，000円

交付学校数　1校

12　私立幼稚園保護者の会連合会補助金（1／3）【保育課】

50，000円

幼稚園教育に関する進展活動を行い、幼児教育に対する意識向上を図るため、連合会に対して補助金を支出しました。

10- 6- 2目　教育指導費

		（前年度）
当初予算額	842,394,000円	（ 848,433,000円）
予算現額	575,570,149円	（ 552,407,919円）
決算額	542,624,575円	（ 521,884,827円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	32,945,574円	（ 30,523,092円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（非常勤一般職２４人）【学校教育課】
１７５，７４２，７２１円

2　教育指導事務費【学校教育課・保健給食課】　２，８２３，５２４円

3　児童生徒対象事業費【学校教育課】　２９７，４０３，７４６円

（１）　文化的部活動指導奨励費　１，２７４，０００円

文化的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。

特別指導者　１９人　実績時間　６３７時間

（２）　感動体験事業費　２２，２０２，５１０円

一流の文化、芸術に直接触れることで、豊かな心を育むため、コンサートホールで名古屋フィルハーモニー交響楽団の鑑賞会を実施しました。

（３）　自然体験等学習費　１１，１７５，６８７円

豊かな自然の中での集団宿泊生活を通じて、調和のとれた児童生徒の健全育成を図るため、六所山等で野外学習（小学５年生、中学１年生）を実施しました。

（４）　公共施設体験学習費　９，６７３，８６２円

地域社会の構成員としての自覚や地域社会を大切にする気持ちを育てるため、公共施設見学（小学４年生）を実施しました。

（５）　児童生徒対象行事費　２，１６７，７６９円

豊かな感性を育て、教育の向上を図るため、科学研究作品展、書き初め大会等各種行事を実施しました。

（６）　へき地小規模校教育推進費　３，１７７，６８９円

へき地小規模校の児童に集団の中で学習する機会を与えるため、あすけ集合学習、都市体験学習及び芸術鑑賞会を実施しました。

（７）　外国人講師費　１５６，８６０，０００円

外国人英語指導助手を小・中・特別支援学校へ派遣し、小学校での外国語活動や外国語科の授業、中学校での英語科の授業の充実を図りました。

（８）　特別支援教育推進費　３９，７７８，６０４円

特別支援教育を推進するため、就学支援、巡回相談活動等を実施しました。

また、医療的ケアの必要な児童生徒に対して、学校へ看護師を派遣しました。

（９）　生徒進路対策費　３２，４５９，７２３円

児童生徒の健全育成を図るため、学力検査、進路指導等を実施しました。

知能検査及び学力検査（小学５年生）、進路指導及び生徒指導（全中学生）

（１０）外国人児童生徒教育推進費　１３，７５５，５５８円

外国人児童生徒等の教育を推進するため、学校日本語指導員の派遣、ことばの教室の運営、プレスクール事業等を実施しました。

外国人児童生徒数　１，４１２人（令和７年５月１日現在）

（１１）教育介護員派遣費　６０１，０５４円

肢体不自由、発達障がい等の児童生徒が、安全に修学旅行や自然教室等の学校行事に参加できるよう、教育介護員を派遣しました。

（１２）校外学習活動費　２，９６６，７００円

交通不便、地域固有の条件等で教育活動に支障のある学校に対して、校外学習のためのバスを借り上げました。

（１３）小中学校文化的大会選手派遣費補助金（１０／１０・５／１０）　１，３１０，５９０円

文化的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。

４　中高連携費【学校教育課】　８，３４１，０６２円

市内にある県立高等学校、特別支援学校及び豊田工業高等専門学校１５校の特色ある取組や教育課程等を、ステージ及び各校のブースにおいて発信する「豊田市高等学校魅力発見フェスタ」を開催しました。来場した中学生及び保護者等へ魅力をアピールする場となりました。

５　国際交流活動費【学校教育課】　２９，６３５，４９２円

国際感覚を身に付けるとともに、海外での生活体験の中で実際に見聞きし、学んだことを周囲の生徒に報告、広めるなど国際理解教育に役立てるため、イギリスとアメリカへの派遣を実施しました。現地へ直接足を運び、見聞きした経験から、異文化理解を深めました。

６　教育問題研究費【学校教育課】　２８，４７８，０３０円

（１）教育指導研究費　２，００７，００２円

教育行政計画推進のため、１０の委員会を設置し、具体的な事業遂行のための研究を行いました。また研究の振興のため、２４の部会を設置し、各教科等の特性に応じた研究を行いました。

（２）帰国児童生徒教育推進費　１５，１３５円

帰国児童生徒対策等の充実を図るため、教育国際化推進連絡協議会の事業を推進しました。

（３）キャリア教育推進費　９３０，０００円

地域の教育力を最大限に生かし、子どもたちの職業観や勤労観を磨き、社会性やコミュニケーション能力を高めるため、職場体験学習等を実施しました。

（４）　教育研究指定校活動費　　１，０３２，０２０円

教育の課題解決や地域に根ざした学校教育の充実を図るため、研究推進校・継続校を指定し、教育実践を行いました。

（５）　特色ある学校づくり推進費　　１８，６２５，６６５円

伝統や地域性を生かした教育活動を推進するため、小中学校１０３校で、学校の自由裁量による研究、活動を実践しました。また、都市（旧市内）と山間（旧町村）の学校間の教育交流や海外の学校と国際交流を行いました。

（６）　少人数教育対応費　　２，１５５，７０３円

小学校１～３学年及び中学校２・３学年で市独自の少人数学級編制を、中学校２・３学年で少人数指導授業を実施することにより、個に応じたきめ細かな指導を行いました。

（７）　学校図書館司書配置費　　２４１，１３０円

学校図書館に司書を週１回程度配置し、児童生徒の読書活動、調べる学習の支援を行い、学校図書館の利用充実を図りました。

（８）　小規模特認校制度推進費　　１０９，７７５円

小規模特認校制や特認校の魅力をＰＲするために、ポスター及びちらしを作成しました。

（９）　ＷＥ　ＬＯＶＥ　とよた教育プログラム推進費【学校教育課】　　３，３６１，６００円

市内教育資源に出向くことで学びを深められる教育プログラムを１５本検証しました。

７　小・中学校講師向け新豊田市民応援補助金（１／２・定額）【学校教育課】　　２００，０００円

小中学校講師の人材確保のため、市内に転入してくる講師に対し転居に係る経費の一部を補助しました。

対象者数　１人

10- 6- 3目　教育センター費

		（前年度）
当初予算額	1,350,498,000円	（ 494,136,000円）
予算現額	1,236,012,000円	（ 485,189,000円）
決算額	1,194,376,428円	（ 474,636,314円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	41,635,572円	（ 10,552,686円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（教育センター企画運営委員会委員３人）【学校教育課】
４８，０００円

2　施設管理運営費【学校教育課】　２，６５１，５４８円

3　学校情報化推進費【学校教育課】　４４０，９０５，７７０円

学校の情報化を推進するため、学校のコンピュータ機器の円滑な運用を図りました。

また、リース満了に伴い、校務支援システム、統合センターサーバ等を更新しました。

4　ＧＩＧＡスクール構想推進事業費【学校教育課】
７３４，１９４，８９０円

ＧＩＧＡスクール構想の推進のため、児童及び教員が使用する学習用タブレット端末等を更新しました。

5　教職員研修費【学校教育課】　１６，５７６，２２０円

学校教育における教育目標を効果的に達成し、教職員の資質・能力の向上を図るため、専門職としての理論や技術の各種研修を実施しました。

10- 6- 4目　学校保健費

		（前年度）
当初予算額	330,122,000円	（ 332,979,000円）
予算現額	330,587,451円	（ 345,094,081円）
決算額	314,861,694円	（ 328,399,990円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	15,725,757円	（ 16,694,091円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（こども園医４人、こども園歯科医４人、こども園薬剤師４人、学校医８０人、学校歯科医９７人、学校眼科医１１人、学校耳鼻咽喉科医１７人、学校薬剤師６０人、学校医等災害補償費）

【保育課・保健給食課】　１８４，８８４，８９７円

２　学校保健衛生管理費【保健給食課】　１２０，４１２，８４７円

（１）　管理費　２５，４７９，５５８円

学校保健の円滑な運営のため、保健室の医薬材料・備品などの購入、機器の検査・修繕及び環境衛生検査などを実施しました。

（２）　結核予防費　４，０９８，０７０円

感染症法・学校保健安全法による予防事業として、児童生徒及び教職員の結核の感染を防ぐため健康診断などを実施しました。

（３）　健康診査費　５９，９３３，２６４円

学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、各種健康診断を実施しました。

（４）　治ゆ証明費　７１２，２５０円

児童生徒が学校保健安全法に規定する感染症に感染した場合に出席停止の指示及び当該疾病に係る治ゆが確認できる証明書の交付業務を委託しました。

（５）　学校災害共済負担金　３０，１８９，７０５円

学校管理下の災害における医療費等の給付を目的とする災害共済給付制度について、児童生徒の加入契約に係る共済掛金を負担しました。

３　健康づくり推進費【保健給食課】　２，７３１，８８３円

むし歯予防事業を実施しました。

４　学校プール管理費【保健給食課】　６，８３２，０６７円

10－ 6－ 5目　学校体育費

		（前年度）
当初予算額	13,284,000円	（ 13,319,000円）
予算現額	8,741,000円	（ 8,187,000円）
決算額	6,551,926円	（ 7,348,319円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	2,189,074円	（ 838,681円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　学校体育事務費【学校教育課】　２，０４９，９５６円

２　体育的部活動指導奨励費【学校教育課】　１８８，０００円

体育的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。

特別指導者　４人　実績時間　８１．５時間

3　体育大会開催費【学校教育課】　２，７８２，３２４円

体力の向上を図るとともに、スポーツの推進を図るため、中学校総合体育大会を開催しました。

4　体育大会選手派遣費補助金（１０／１０）【学校教育課】　１，５３１，６４６円

体育的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。

全国大会出場　弓道（３校）ほか

10- 6- 6目　学校給食費

		（前年度）
当初予算額	30,954,000円	（ 99,502,000円）
予算現額	30,954,000円	（ 21,136,220円）
決算額	26,085,470円	（ 19,262,595円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	4,868,530円	（ 1,873,625円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　学校給食運営費【保健給食課】　２６，０８５，４７０円

（１）　運営費　６５２，１６２円

安全な給食提供に向け、アレルギー給食検討委員会及び食物アレルギー対応審査会を開催しました。

（２）　配膳費　２０，０２１，８０８円

（３）　子育て特別支援費　５，４１１，５００円

給食費無償化に伴い、市の給食提供が受けられない児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を給付しました。

支給実績　小学校児童　１６６人

中学校生徒　１０５人

10- 6- 7目　給食センター費

		（前年度）
当初予算額	5,062,378,000円	（ 4,739,907,000円）
予算現額	5,298,918,000円	（ 5,073,888,780円）
決算額	5,162,143,858円	（ 4,882,490,308円）
翌年度繰越額	36,080,000円	（ 108,178,000円）
不用額	100,694,142円	（ 83,220,472円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　３６，０８０，０００円
中部給食センター天吊り消毒保管庫修繕事業　４，１８０，０００円
南部給食センター空調修繕事業　３１，９００，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（学校給食センター運営委員会委員９人）【保健給食課】
７２，０００円

2　給食業務管理運営費【保健給食課】　３００，４６１，９６５円

（１）　管理費　５４，３６３，００２円

給食システムの改修により、ウェブで食物アレルギー確認ができるようにし、より安全で効率的な管理体制を構築しました。

（２）　配送業務委託費　２１４，２７８，０２０円

配送実績（１９６日間）

小学校２２校　中学校１０校　こども園など５６園

（３）　給食用食器整備費　３１，８２０，９４３円

3　給食材料費【保健給食課】　１，０３２，９９９，２１０円

魅力ある給食を提供するため、地域で生産される食材を活用し、児童生徒の栄養面、嗜好面などを考慮しながら、給食の質を確保しつつ、安全な給食材料の購入に努めました。

4　学校給食協会委託費【保健給食課】　１，６４５，４９９，３６９円

（公財）豊田市学校給食協会に委託し、給食調理業務及び給食用物資の調達を行いました。

各給食センター年間調理実績

中部給食センター　１，１８６，５２２食
南部給食センター　１，６４０，２６７食
平和給食センター　１，３２６，８６８食
豊田特別支援学校　３２，８５９食

5　施設管理運営費【保健給食課】　７３，７９２，５２３円

給食センターの効率的な管理運営を図るため、施設設備等の維持管理に必要な業務を委託しました。

6　地域給食施設管理運営費【保健給食課】　５６，９６１，９４９円

（１）　足助地域給食施設管理運営費　４１，４３８，５０４円

年間調理実績　１３１，７２１食

（２）　旭地域給食施設管理運営費　９，３６１，３２６円

年間調理実績　３８，２４０食

（３）　稲武地域給食施設管理運営費　６，１６２，１１９円

年間調理実績　２７，８８９食

7　施設整備費【保健給食課】　１５５，５９３，８２４円

旧北部給食センターの解体工事を行いました。

8　東部給食センター費【保健給食課】　６９１，８３３，４２６円

（１）　管理運営費　４９８，５９９，９２４円
年間調理実績　２，０１１，２１３食
（２）　建設費　１９３，２３３，５０２円
東部給食センター改築整備運営事業（ＰＦＩ事業）契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。

９　北部給食センター費【保健給食課】　５６３，２８１，４３６円
（１）　管理運営費　５１３，７０１，００１円
年間調理実績　１，５１６，０２５食
（２）　建設費　４９，５８０，４３５円
北部給食センター改築整備運営事業（ＰＦＩ事業）契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。

１０　学校給食協会運営費補助金（１０／１０）【保健給食課】
６４１，６４８，１５６円

◆特記事項

・中部給食センター天吊り消毒保管庫修繕事業において、修繕に必要な部品の納期が９か月程度かかることが判明し、年度内完了が困難となったため、１２月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保健給食課】

・南部給食センター空調修繕事業において、長期休業期間での作業が必要であり、年度内完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保健給食課】

10- 7- 1目　社会教育総務費

		（前年度）
当初予算額	232,881,000円	（ 241,560,000円）
予算現額	345,705,000円	（ 254,249,000円）
決算額	318,495,867円	（ 232,542,022円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	27,209,133円	（ 21,706,978円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（一般職１４人、非常勤一般職３３人）【人事課】
２３０，６９６，６６９円
２　非常勤一般職管理事務費【人事課】　２，２９６，３６０円
３　市民活躍支援総務事務費【学び体験推進課】　５１４，２０５円
４　家庭教育費【こども・若者政策課】　２８０，３６６円
家庭教育の学習機会や情報取得機会を提供するため、家庭教育講座の開催を支援しました。

家庭教育講座　　１４か所　　２，３８７人

5　生涯学習推進費【スポーツ振興課】　　３，３７６，０００円

市民の多様な学習活動を奨励し、生涯学習の推進を図るため、体育・文化等に関する全国大会や国際大会の出場者に対し報奨金を交付しました。

個人　３０５人、団体　１７団体

6　生涯学習事業費【学び体験推進課】　　９，５０１，４９２円

（１）　こどもたちの自ら考え判断する力を育むため、２つの事業を開催しました。

中学生と地域の大人による対話事業（５校）

生徒６４３人／大人２１９人

高校生アントレプレナーシップ教育事業

出前授業（４校）　　１，０４２人

起業家体験講座（全３日間）　１０人

（２）　ミドルシニア世代が学び、活躍する機会を創出するため、地域をフィールドとした「とよたローカルキャリア・デザインスクール」を開催しました。

キックオフイベント４５人、連続講座（全５回）８人

7　ＰＴＡ活動費【こども・若者政策課】　　１，１４８，０００円

ＰＴＡ活動の推進と充実を図るため、豊田市ＰＴＡ連絡協議会に補助対象経費の１／２を上限として、補助金を交付しました。

8　ものづくり科学創造推進費【学び体験推進課】

４８，６０１，０４４円

（１）　企画運営費　　３９，３１０，４８８円

指定管理者　　（公財）豊田市文化振興財団

とよた科学体験館入場者数　　２３０，６９３人

内訳　プラネタリウム入場者数　　５６，００２人

サイエンスホール入場者数　１７４，６９１人

（２）　施設整備費　　２７９，６２０円

とよた科学体験館の施設備品を更新しました。

（３）　科学技術教育推進費　　１，０１０，９３６円

児童・生徒を対象とした科学講座、中学生による科学ものづくりイベントなど、１３種の事業を開催しました。

（４）　少年少女発明クラブ補助金（１／２）　８，０００，０００円

9　ものづくり文化のまち推進費【学び体験推進課】

１７，３４０，１６７円

（１）　ものづくり教育推進費　　４，５３３，１７０円

ものづくり教育プログラムを小学校等７３校で実施しました。

ものづくりサポーター登録者数　１２５人

（２）　ものづくりサポートセンター管理運営費２，８２０，９１５円

ものを作る仕事の魅力を学び体験する講座として、３事業を開催し、１９３人が参加しました。

豊田市名誉市民である藤嶋昭東京理科大学栄誉教授から同氏の経験や発想を学ぶ「藤嶋塾」を２回開催し、７５人が受講しました。

（３）　とよたものづくりフェスタ開催負担金　９，９８６，０８２円

１０月１９日にとよたものづくりフェスタ２０２５を開催しました。

来場者数　１４，０００人　体験者数　６，６４５人

１０　ものづくりプロジェクト推進費【学び体験推進課】　３，４４７，８６６円

丘ＫＯＢＡプロジェクト負担金

チームをひとつの会社に見立て、協力企業の社員とこども達が一緒になって「未来のモビリティ」の製作に取り組みました。

１１　青少年ものづくり基金積立金【学び体験推進課】２３１，８７０円

１２　博学未来創造基金積立金【博物館】　１，０６１，８２８円

10- 7- 2目　文化財保護費

		（前年度）
当初予算額	426,955,000円	（ 389,910,000円）
予算現額	415,449,400円	（ 478,542,400円）
決算額	327,547,194円	（ 386,346,169円）
翌年度繰越額	69,834,000円	（ 77,380,400円）
不用額	18,068,206円	（ 14,815,831円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆　６９，８３４，０００円

旧鈴木家住宅保存整備事業（その５）　６９，８３４，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（文化財保護審議会委員１４人、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員９人）【文化財課】　４１６，０００円

２　文化財等保護保存費【文化財課】　８６，６５７，０５９円

（１）　指定文化財、史跡等の適切な保存管理に謝礼を支出しました。

史跡、天然記念物　２１件

（２）　史跡等の草刈りやニホンカモシカの対応等を行い、史跡・天然記念物等の維持管理に努めました。

池田３号墳・平井大塚古墳支障木伐採、車塚古墳・馬場瀬古墳倒木伐採、旧今井貯木場施設枯木伐採

ニホンカモシカ死体処理　７９件

（３）　老朽化した史跡説明看板を修繕しました。

旧今井貯木場施設

（４）　史跡名勝等の保存・整備を行いました。

曽根遺跡公園遺構展示保守修繕、稲荷塚古墳フェンス修繕等

（５）　旧龍性院庭園の整備に向け、追加指定範囲の検討と境界測量を行いました。

（６）　埋蔵文化財の発掘調査、出土品整理、調査報告書の刊行を行いました。

発掘調査　高橋遺跡

範囲確認調査等　根中２号墳始め１０件

埋蔵文化財工事立会　高橋遺跡始め７８件

報告書等刊行

「令和６年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書」　４００部

「日陰田遺跡」　４００部

（７）　民俗文化財の保存継承活動を支援しました。

豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会運営支援

民俗芸能発表会開催（５団体参加）

（８）　有形・無形民俗文化財、伝統的郷土芸能の保存、継承及び後継者育成に補助金を交付しました。

有形民俗文化財　１５団体（挙母神社の山車等）

無形民俗文化財　３１団体（棒の手、歌舞伎等）

伝統的郷土芸能　１７団体（はやし、神楽等）

（９）　指定文化財の修理等補助金

足助八幡宮本殿屋根・防災設備・消防設備点検（足助八幡宮）

隣松寺本堂消防設備点検（隣松寺）

遊佐家長屋門消防設備（個人）

挙母神社の山車（西町）上山・山車蔵（西町山車保存会）

高月院枯損木伐採（高月院）

挙母神社の山車（神明町）提灯（大神明山車囃子保存会）

小原歌舞伎背景幕（小原歌舞伎保存会）

高橋町の山車襖複製（高橋町山車保存会）

挙母神社の山車（中町）襖複製（中町挙母祭山車保存会）

挙母神社の山車（喜多町）芯棒（喜多町祭保存会）

ハチヤガキ伐採（個人）

莨屋岡本家防災設備・雨樋（個人）

守綱寺石塔（守綱寺）

（１０）伝統的郷土芸能保存修理費補助金

献馬装飾品（長興寺巫女舞・献馬保存会）

小太鼓張替・羽織（足助西町お囃子会）

3　豊田市郷土資料館費【文化財課】　２，２２４，７７０円

旧郷土資料館及び文化財倉庫（旧図書館・保見文化財倉庫）の維持管理を行いました。

4　郷土史充実費【文化財課】　９，１３６，２００円

（１）　郷土史に関する刊行物等を作成しました。

「１００項目で読み解くとよたの歴史」刊行　７００部

（２）　郷土ゆかりの人物等の事績を顕彰・紹介・研究するため、顕彰会に補助金を支出しました。

鈴木正三顕彰会始め３団体

5　歴史的町並み保存費【文化財課】　１９０，９９７，５０２円

（１）　重伝建地区内の建物の修理等に補助金を交付しました。

修理修景４件

（２）　旧鈴木家住宅保存修理工事第７・８期工事、防災対策第２期工事、活用整備第３期工事を行いました。

（３）　旧鈴木家住宅主屋を部分公開しました。

入館者数（開館日数２０３日）　２０，５６４人

（４）　旧鈴木家住宅に遺された民具等の展示や、歴史や文化を学び楽しむ講座及びイベントなどを実施しました。

足助・紙屋鈴木家ｄｅ端午の節句	入場者数	１，２５４人
紙屋鈴木家のおひなたち	入場者数	８，２５０人
四季の香りの線香づくり	参加者数	２９人
小作地をめぐる紙屋鈴木家と村々	参加者数	３５人
重要文化財の大商家で愉しむ茶道体験	参加者数	１８人

（５）　旧鈴木家住宅の修理現場見学を開催しました。

修理現場見学１１回	参加者数	２５人

6　文化財施設費【文化財課】　２７，３９３，３５７円

（１）　文化財施設の適切な管理運営に努めました。

喜楽亭	年間入館者数	５，３１３人
松平郷館	年間入館者数	８，９１０人
旧松本家長屋門	年間入館者数	８１３人

（２）　文化財施設の修理設計を行いました。

城跡公園足助城排水実施設計

7　地域文化財管理費【足助支所・小原支所・藤岡支所】

１０，７２２，３０６円

（１）　藤岡地域文化財管理費　　５１７，５１２円

県指定文化財である旧山内家住宅の適切な管理を行いました。

（２）　小原地域文化財管理費　　１，１８８，４２６円

市指定文化財である市場城跡等の適切な管理を行いました。

（３）　足助地域文化財管理費　　５７６，７４７円

県指定文化財である足助中馬館の適切な管理を行いました。

年間入館者数　　９，１６７人

（４）　城跡公園足助城管理費　　８，４３９，６２１円

指定管理者　　（株）三州足助公社

年間入場者数　　９，２８３人

10- 7- 3目　民芸館費

		（前年度）
当初予算額	88,780,000円	（ 88,358,000円）
予算現額	100,729,670円	（ 87,874,000円）
決算額	97,959,058円	（ 83,189,342円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	2,770,612円	（ 4,684,658円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（運営協議会委員５人）【博物館】　　８０，０００円

２　施設管理運営費【博物館】　　６２，０８８，８２９円

民芸館、民芸の森の施設運営や各種修繕を行いました。

指定管理者　　（株）技研サービス

民芸館施設総利用者数　　６８，５７８人

民芸の森施設総利用者数　　１８，６８４人

３　展覧会開催費【博物館】　　１８，５９８，４５３円

（１）　展覧会準備費

次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。

（２）　常設企画展

「民芸館講座作品展」

会期　令和７年４月１日～５月１８日（４３日間）

観覧者数　　６，０６３人

「藤本巧写真紀行『絣の道』」

会期　令和７年６月２８日～９月２１日（７７日間）

観覧者数　　５，８６７人

「国際芸術祭あいち２０２５　巡回展示　ホップ・アップ！」

会期　令和７年１０月２４日～１０月２６日（３日間）

観覧者数　　７１１人
「郷土玩具展　干支と午」
会期　令和７年１２月６日～令和８年２月１日（４４日間）
観覧者数　　１，９９３人
「民芸館講座作品展」
会期　令和８年２月１７日～３月３１日（３８日間）
観覧者数　　３，９６７人
民芸の森　コレクション展２回、アート展２回
会期　令和７年４月５日～令和８年３月１５日（２４３日間）
観覧者数　　５，９３３人

（３）　企画展
「おいしい民窯―食のうつわ―」
会期　令和７年４月１日～５月２５日（４９日間）
観覧者数　　３，００２人
「海のシルクロード　絣の道」
会期　令和７年６月２８日～９月２１日（７７日間）
観覧者数　　３，５９０人
「鈴木繁男　手と眼の創作」
会期　令和７年１０月１１日～令和８年１月１２日（７７日間）
観覧者数　　３，１１７人
ふたつのコレクション展「芹沢銈介の仕事」「筆と言葉　杉本健吉と本多静雄の交流」
会期　令和８年２月７日～３月３１日（４６日間）
観覧者数　　２，２２８人

4　民芸の森普及推進費【博物館】　　１２４，０００円
暮らしを彩る民芸講座（手仕事講座）を開催しました。

5　民芸館講座開催費【博物館】　　１７９，０００円
暮らしを彩る民芸講座（薬膳講座）を開催しました。

6　施設整備費【博物館】　　１６，４６１，５００円

（１）　民芸館整備費　　６，３７４，５００円
ＩＰＭ業務、民芸館事務室環境改善修繕等を行いました。

（２）　民芸の森整備費　　１０，０８７，０００円
旧海老名三半宅屋根葺替修繕や収蔵庫扉修繕等を行いました。

7　資料購入費【博物館】　　４２７，２７６円
衣食住及び伝統的な手仕事に関する展示資料として、日本民藝館展優秀作品４点を購入しました。

10- 7- 4目　図書館費

		（前年度）
当初予算額	1,234,887,000円	（ 1,556,374,000円）
予算現額	1,286,939,691円	（ 965,469,000円）
決算額	1,081,163,195円	（ 912,262,993円）
翌年度繰越額	204,745,030円	（ 52,066,691円）
不用額	1,031,466円	（ 1,139,316円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆　２０４，７４５，０３０円

豊田参合館長寿命化等改修負担事業（中央図書館・共用部）　２０４，７４５，０３０円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（図書館協議会委員７人）【図書館管理課】２００，０００円

2　図書館管理事務費【図書館管理課】　１，３２６，８７８円

3　中央図書館費【図書館管理課】　６５７，３９３，７３１円

指定管理者制度による図書館運営や施設管理を行いました。

指定管理者　ＴＲＣ・ホーメックス共同企業体

施設利用者数　７６５，２８２人

4　こども図書室費【図書館管理課】　６９３，６８２円

5　図書館システム費【図書館管理課】　１０４，０２５，９８１円

6　豊田参合館運営費負担金【図書館管理課】３１７，５２２，９２３円

（１）　管理運営費　１５２，５３０，０９６円

（２）　施設整備費　１６４，９９２，８２７円

豊田参合館の適正な維持管理のため、共用部の維持管理及び施設整備の費用を負担しました。また、豊田参合館長寿命化等改修負担事業において、緊急修繕（管工事等）を実施しました。

10- 7- 5目　博物館費

		（前年度）
当初予算額	569,607,000円	（ 540,774,000円）
予算現額	536,142,330円	（ 535,229,000円）
決算額	516,466,193円	（ 482,173,958円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	19,676,137円	（ 53,055,042円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（運営協議会委員７人）【博物館】　１５８，８００円

2　博物館事務費【博物館】　８，６２９，６３６円

3　博物館管理運営費【博物館】　３２０，５６３，４８０円

博物館総利用者数　４９７，３４３人

展覧会観覧者数　４０４，９１３人

開館日　２６９日

セミナールーム利用者数　１３，３６０人

体験室利用者数　１０，４２１人

むかしの家利用者数　８，１６９人

みんなの研究室利用者数　７，７４４人

庭園利用者数　７，３６６人

4　附属施設管理運営費【博物館】　４２１，２０４円

七州城・又日亭利用者数　１７７人

5　みんなでつくる博物館費【博物館】　３３，４７９，２６２円

（１）　市民共働による常設展事業費

常設展で展示する映像の作成等を行いました。

（２）　ミュージアムショップカフェ等運営費

カフェ利用者数　２１，６１６人

ショップ利用者数　２３，５７７人

（３）　パートナー運営費

個人パートナー　１６２人

団体パートナー　１０８団体

博物館の楽しみ方ガイドグループ

活動延べ回数　９６回、延べ人数　３８６人

自然体験グループ

活動延べ回数　９回、延べ人数　１１５人

博物館学習グループ

活動延べ回数１２１回、延べ人数　９０８人

博物館の環境維持グループ

活動延べ回数　２３回、延べ人数　１８１人

あつめるプロジェクトグループ

活動延べ回数　５５回、延べ人数　１１０人

（４）　講座等開催費

実施回数２４回、参加延べ人数　２，０５８人

（５）　理解活動費

こどもはくぶつかんだよりを２回（各回　５，５００部）発行しました。

公共交通機関における博物館の広報活動等を実施しました。

（６）　博物館学習費

実施延べ校数３９１校、参加延べ人数２７，６３７人

6　展覧会開催費【博物館】　１３０，９６６，４７１円

(1)　展覧会調査費

次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。

(2)　常設展

年３回の展示替えとコレクション展示を実施しました。

観覧者数　１５８，１４６人

(3)　「和食」展

会期　令和７年４月１日～４月６日（６日間）

観覧者数　３，７３１人

(4)　「岸田吟香と岸田劉生」展

会期　令和７年４月２６日～６月１５日（４６日間）

観覧者数　１５，２８７人

(5)　「古代エジプト」展

会期　令和７年６月２８日～９月７日（６４日間）

観覧者数　１３３，９１６人

(6)　「深宇宙」展

会期　令和７年１０月１８日～令和８年１月１８日（７８日間）

観覧者数　６９，９２１人

(7)　「伊能忠敬」展

会期　令和８年１月３１日～３月２９日（５１日間）

観覧者数　２３，９１２人

(8)　「教えて、千田先生！」展

「教えて、千田先生！」展の準備を行いました。

7　地域施設管理運営費【博物館】　５，８８９，８３２円

地域施設の適切な管理運営に努めました。

歌舞伎伝承館

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数　７，３２８人

8　郷土史充実費【博物館】　１１，４９７，０９４円

（１）　資料調査研究費

地域資料館に収蔵されている民具資料の整理・調査等を行いました。

（２）　資料購入費

博物館学習や講座等で使用するための「織田信長像（長興寺本）」（複製）等の購入を行いました。

9　資料管理費【博物館】　４，８６０，４１４円

所蔵資料の燻蒸、虫菌害対策のための保存環境整備等を行い、資料の適切な保存管理に努めました。

10- 8- 1目　文化体育総務費

		（前年度）
当初予算額	3,207,510,000円	（ 2,659,634,000円）
予算現額	3,166,360,934円	（ 2,803,098,456円）
決算額	3,085,749,689円	（ 2,703,395,934円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	80,611,245円	（ 99,702,522円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（一般職９１人、非常勤一般職２２７人）【人事課】
１，３９０，６５２，６８２円

2　非常勤一般職管理事務費【人事課】　１２，６４０，７８５円

3　こどもの文化・スポーツ地域活動推進費【学び体験推進課】
１２５，４０２，６４５円

地域指導者等と教員が連携しながら、学校部活動を実施するとともに、ガイドラインを策定するなど、とよた地域クラブ活動への完全移行に向けた準備を進めました。

4　文化振興財団運営費補助金（１０／１０）【文化振興課】
１，５５７，０５３，５７７円

派遣職員１０人、正規職員６７人、再任用職員８人、
特定業務職員１９４人、限定職員５人、臨時職員２３８人

10- 8- 2目　文化活動費

		（前年度）
当初予算額	208,261,000円	（ 176,478,000円）
予算現額	208,261,000円	（ 176,478,000円）
決算額	190,260,398円	（ 162,461,525円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	18,000,602円	（ 14,016,475円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　文化活動事務費【文化振興課】　３８９，０３４円

2　文化芸術振興計画推進費【文化振興課】　１，１６７，２００円

文化芸術振興委員会（３回）での協議やこどもワークショップ、パブリックコメントを実施し、第３次豊田市文化芸術振興計画を策定しました。

3　文化事業開催費【文化振興課】　４０，２８６，４９７円

（１）　市民文化会館５０周年記念事業開催費１４，９９７，４５０円

これまでの歩みを振り返るとともに、未来の文化活動を支える世代や多様な市民との新たなつながりを生み出す場として、「みんなで祝う１日限りの記念事業」を開催しました。

（２）　市民美術展　　４，３８８，４８３円

公募展・関連企画

入場者数　３，６２１人

応募点数　３４２点（うち入選点数　２６３点）

（３）　国際芸術祭あいち　　２１９，１６７円

国際芸術祭あいち２０２５巡回展ポップアップ！の運営を支援しました。

（４）　文化事業負担金　　２０，６８１，３９７円

市民が様々な文化に触れる機会を提供し、文化への興味や関心を高めるため、文化事業を開催しました。

ア　市民アート展（５・６月／参加者数　１，６０５人）

イ　小倉百人一首競技かるた全日本選手権大会

（４月／参加者数　７６５人）

ウ　とよた将棋フェスタ（６月／参加者数　３２４人）

エ　吹奏楽フェスティバル（１１月／参加者数　１，０５０人）

オ　秋季市民茶会（１１月／参加者数　３９１人）

カ　文化な日（３月／参加者数　６，３０４人）

キ　とよた市民アートプロジェクト

（文化イベント等実施数　２事業　参加者数　１，９２３人）

ク　とよたデカスプロジェクト

（応募　２１件　採択　６件　参加者数　４，９５０人）

４　青少年音楽活動費【文化振興課】　　５５，６２７，１４２円

豊田市少年少女合唱団

団員数　　１００人

主な活動　定期演奏会１回　イベント参加１０回　大会出場３回

豊田市ジュニアマーチングバンド

団員数　　１２１人

主な活動　定期演奏会１回　イベント参加８回　大会出場３回

豊田市ジュニアオーケストラ

団員数　　６３人

主な活動　定期演奏会２回　イベント参加１２回

５　コンサートホール・能楽堂運営費【文化振興課】

８３，７２２，６５４円

（公財）豊田市文化振興財団と共催し、コンサートホール・能楽堂、交流館等において、一流の奏者・演者による公演から幅広く親

しみやすいプログラムまで、多様な芸術文化に触れる機会を提供しました。

ア　企画運営委員会　３回開催

イ　クラシック音楽鑑賞会事業　１６事業

名古屋フィルハーモニー交響楽団公演等

※出演者病気療養により１事業中止

（入場者数　７，８０５人）

ウ　クラシック音楽市民参加事業　２事業

豊田市民クラシックコンサート等（入場者数２，２２３人）

エ　クラシック音楽普及啓発事業　７事業

かーるくラシック等（入場者数　６，８４２人）

オ　能楽鑑賞会事業　７事業

納涼能等（入場者数　２，１０９人）

カ　能楽市民参加事業　２事業

豊田市民演能会等（入場者数　２０４人）

キ　能楽普及啓発事業　３事業

能・狂言が見たくなる講座等（入場者数　１，２６７人）

ク　地域活性化事業　２事業

出前コンサート等（入場者数　５，７５２人）

６　郷土作家美術品収集費【文化振興課】　４６７，５００円

美術品の適正な維持管理に努めました。

７　文化芸術人材育成活用推進費【文化振興課】　８，６００，３７１円

（１）　文化活動者派遣事業費　１，５４８，３９２円

文化芸術活動者を小中学校に派遣し、こどもたちが文化への興味や関心を高める機会を提供しました。

（実施回数　５７回　参加者数　３，４２０人）

（２）　舞台芸術人材育成活用・創造事業費　７，０５１，９７９円

舞台芸術（演劇）等への市民の関心を高めるとともに、支える人材の育成を図る事業を実施しました。

ア　とよたこども創造劇場

（参加者数　３７人　公演入場者数　５３７人）

イ　とよた演劇ファクトリー

（参加者数　１９人　公演入場者数　３０３人）

ウ　劇団四季こころの劇場

（参加校　４４校　　入場者数　２，００９人）

10- 8- 3目　青少年活動費

		（前年度）
当初予算額	225,046,000円	（ 202,260,000円）
予算現額	213,684,000円	（ 200,180,236円）
決算額	204,310,167円	（ 187,701,446円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	9,373,833円	（ 12,478,790円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　青少年活動事務費【こども・若者政策課】　６３１，７６５円

2　青少年センター費【こども・若者政策課】　９，８６４，３５６円

青少年センターについて適正な維持管理に努めました。

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数　延べ１１０，９１３人

登録団体　３５団体

3　総合野外センター費【こども・若者政策課・建築保全・住宅課】

９１，８９０，６７７円

（１）　管理費　７９，７４９，９８９円

総合野外センターについて適正な維持管理に努めました。

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数　延べ３０，０５０人

（２）　施設保全費　１，７４９，０００円

全熱交換器等の更新を行いました。

（３）　施設整備費　１０，３９１，６８８円

備品購入や各種修繕等を行いました。

4　こども・若者支援対策費【こども相談課】　５３，５９２，４３６円

こども・若者が円滑に社会生活を送ることができるよう支援するこども・若者総合相談センターや、こども・若者が抱える課題に連携して支援を行うこども・若者支援地域協議会を運営しました。

こども・若者総合相談センター登録者数　４４６人

こども・若者支援地域協議会　１回開催

5　青少年健全育成費【こども・若者政策課】　３７，２４５，９３３円

（１）　ライフデザイン事業費　５，１１２，７００円

市内の高校・大学・企業と連携し、未来の自分の姿や子育て、キャリアについて考えるワークなどを行う若者向けのセミナーを開催しました。また、未来の自分の姿やライフプランについて考えるきっかけを提供する若者向けの動画を制作しました。

セミナー開催数　５回

セミナー参加者数　６６７人

（２）　二十歳のつどい開催費　２０，２３０，５２７円

各地区コミュニティ会議で二十歳のつどいを開催しました。

出席者数　３，３８５人（出席率６６．６％）

（３）　青少年健全育成推進協議会負担金　５，０９６，９２２円

豊田市青少年健全育成推進協議会の活動に対し、負担金を支出しました。

（４）　青少年育成事業負担金　６，８０５，７８４円

（公財）豊田市文化振興財団に対し、青少年の社会参加、指導者育成等の事業を行うための負担金を支出しました。

２６事業　延べ１４，５４９人

６　地域子ども会活動費補助金（８／１０・１／２）

【こども・若者政策課】　６，８１１，０００円

子ども会及びジュニアクラブの活動に対し、補助金を交付しました。

単位子ども会　２３８団体

ジュニアクラブ　３８団体

７　更生保護対策費【こども・若者政策課】　１，６０５，０００円

（１）　更生保護対策費補助金（１／２）　１，３６４，０００円

豊田市保護司会の活動に対し、補助金を交付しました。

（２）　更生保護女性会費補助金（１／２）　１６７，０００円

豊田市更生保護女性会の活動に対し、補助金を交付しました。

（３）　更生保護における雇用及び就労支援対策費補助金（１／２）　７４，０００円

豊田保護区協力雇用主会の活動に対し補助金を交付しました。

８　青少年健全育成関連団体活動支援補助金（１／２）

【こども・若者政策課】　２，６６９，０００円

豊田市子ども会育成連絡協議会を始め９団体の青少年健全育成関連団体の活動に対し、補助金を交付しました。

10- 8- 4目　青少年教育費

		（前年度）
当初予算額	100,158,000円	（ 116,850,000円）
予算現額	167,487,660円	（ 189,193,422円）
決算額	151,751,514円	（ 105,140,764円）
翌年度繰越額	0円	（ 67,000,000円）
不用額	15,736,146円	（ 17,052,658円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　人件費（いじめ防止対策委員会委員５人）【学校教育課】
１９３，３００円

2　青少年非行化防止費【学校教育課】　２，０００，０００円
豊田少年補導委員会、足助少年補導委員会の活動に対して負担金を支出しました。

3　青少年相談センター費【学校教育課】　１１７，４６３，９８２円

（１）　管理運営費　１７，３７８，５５４円

（２）　相談活動費　３６，３１３，７２８円

ア　相談指導事業
青少年や保護者の悩みに応じるため、関係機関と連携し、相談活動等を実施しました。

面接相談延べ回数　５，９２１回
サポートチーム会議（ケース会議）教職員　５４６回
関係機関　２１５回
スクールソーシャルワーカーによる延べ支援児童生徒数
２０，９０９人

イ　電話相談「はあとラインとよた」事業
青少年や保護者等に対する電話相談を実施しました。

電話相談延べ回数　９６回

（３）　公開セミナー費　１０７，０００円
発達障がいや、いじめ・不登校等の諸問題に関するセミナーを開催しました。

実施回数　６回
参加人数　３６３人

（４）長寿命化推進費　６３，６６４，７００円
外壁改修工事、屋上防水改修工事を行いました。

4　いじめ不登校問題対策費【学校教育課】　３１，３５４，７３２円

（１）　いじめ・不登校対策事業
いじめ・不登校の未然防止のために、相談連絡先カードの更新と児童生徒への配布、ｈｙｐｅｒ－ＱＵ検査（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）等を実施しました。

（２）　パルクはあとラウンジ（教育支援センター）事業
登校できない児童生徒の社会的自立のために、集団生活や体験活動を通して「対人関係の改善」「自立性・自発性の育成」「基礎学力の補充」を目的にパルクはあとラウンジの運営を行いました。

教育支援専門員　１０人

ふれあい指導員　８人
パルクはあとラウンジ登録児童生徒　１４６人

５　フリースクール等利用支援補助金（定額）【学校教育課】
７３９，５００円

経済的に困難を抱える不登校児童生徒が学校外で安心して過ごせる居場所を確保し、地域等のつながりの中で社会的自立を図ることを目的とし、フリースクール等を利用する際の補助を行いました。

補助金交付件数　８件

10-8-5目　ジェンダー平等費

		（前年度）
当初予算額	12,565,000円	（16,393,000円）
予算現額	11,317,000円	（15,149,000円）
決算額	9,925,125円	（12,895,708円）
翌年度繰越額	0円	（0円）
不用額	1,391,875円	（2,253,292円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　ジェンダー平等推進センター費【多様性社会共創課】
４，０４４，７４０円

（１）　管理運営費　２，７９９，０９０円
利用者数　３２，３５５人

（２）　相談費　１，２４５，６５０円
電話相談件数　クローバーコール（女性）　１，２２７件
メンズコールとよた（男性）　６６件

２　ジェンダー平等推進費【多様性社会共創課】　５，１８０，３８５円

（１）　推進会議費　２６２，２００円
ジェンダー平等推進懇話会　委員１０人　３回開催

（２）　講座開講費　５６８，９７０円
１３講座　参加者数　３９５人

（３）　啓発費　８１０，６８６円
ジェンダー平等社会実現に向け、情報誌の発行など啓発を行いました。
情報誌クローバー（２回発行）　５，３６２部
配布先　市内公共施設、市内事業所等

（４）　こども・若者啓発費　６１１，２７５円
若者の固定的性別役割意識の解消を目的に、小学生を対象として、性別イメージにとらわれない職業選択を促進する「夢ひろが

る☆小学生おしごと体験パーク」を実施しました。
参加者数　６２人

（５）　ジェンダー平等推進団体育成費　　１３５，０００円
団体が行う市民への啓発講座や研修会等にかかる講師料を助成しました。

（６）　女性のライフプラン・キャリア形成支援費
２，４４８，２００円
女性のためのスキル＆マインドアップセミナーを開催しました。
２３講座　　参加者数　２４８人

（７）　働き方改革推進費　　５６，８４８円
ワーク・ライフ・バランスキャンペーンとして、事業所への定時退社協力依頼を実施しました。
キャンペーン実施期間　　１１月１２日～１９日

（８）　性的少数者理解促進費　　２８７，２０６円
性的少数者に対する理解促進のため、生涯学習出前講座、啓発クリアファイルの作成、スポーツイベントでの啓発等を実施しました。

３　女性労働能力活用費補助金（１／２）【多様性社会共創課】
７００，０００円
豊田市ファミリー・サービス・クラブの運営に対し、補助金を交付しました。

10- 8- 6目　社会体育費

		（前年度）
当初予算額	1,093,630,000円	（ 788,130,000円）
予算現額	1,346,605,000円	（ 1,021,750,552円）
決算額	1,307,701,996円	（ 983,743,951円）
翌年度繰越額	4,891,000円	（ 2,079,000円）
不用額	34,012,004円	（ 35,927,601円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	４，８９１，０００円
公共下水道接続事業（梅坪浄水運動広場外１施設）	４，８９１，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（スポーツ推進審議会委員８人、スポーツ推進委員１５８人）
【スポーツ振興課】　７，６０３，６００円

２　社会体育事務費【スポーツ振興課】　６４７，９７５円

３　スポーツ推進委員活動費【スポーツ振興課】　１，９５７，６９４円

4　アジア競技大会開催支援費【シティプロモーション課】
８，３１８，７８８円

大会周知及び機運醸成のため、１年前イベント及び２００日前イベントを実施するとともに、横断幕やチラシ等の啓発物を作成しました。

5　スポーツ振興費【スポーツ振興課】　９，６２６，５０３円
（１）　生涯スポーツ推進費　８，９２２，５０３円
第４４回豊田マラソン　参加者　５，７６６人
（２）　スポーツボランティア推進費　７０４，０００円
ボランティア事務局の運営　登録者　３，８２６人

6　学校開放費【スポーツ振興課】　３９，４３９，６５４円

	＜学校数＞	＜開放校＞	＜利用回数＞	＜利用人数＞
小学校	７５	７４	２２，１０４	５３５，４５４人
中学校	２８	２８	１９，１０７	３６８，０３９人
計	１０３	１０２	４１，２１１	９０３，４９３人

7　地域学校開放費　１，４７７，７９５円
【旭支所・足助支所・稲武支所・下山支所・藤岡支所】
（１）　藤岡地域学校開放費　９９，５５０円
（２）　足助地域学校開放費　４９８，３００円
（３）　下山地域学校開放費　２３４，２４５円
（４）　旭地域学校開放費　５１３，７００円
（５）　稲武地域学校開放費　１３２，０００円

8　生涯スポーツプラン策定費【スポーツ振興課】１，８２５，２５６円
スポーツ推進審議会（３回）での協議やこどもワークショップ、パブリックコメントを実施し、第５次豊田市生涯スポーツプランを策定しました。

9　競技会誘致費【シティプロモーション課】　２，７００，０００円

＜大会・試合＞	＜観客数＞
女子ソフトボールリーグ（ＪＤリーグ）	１１，３３９人
女子バスケットボールリーグ（Ｗリーグ）	４，９０７人
女子バスケットボールリーグセミファイナル	１０，１０６人
男子バスケットボールリーグ（Ｂリーグ）	２５，５４８人
日本バレーボールリーグ（ＳＶリーグ）	２，６３７人
Ｕ２５車いすバスケットボール大会	１，８１５人
日本ハンドボールリーグ（リーグＨ）	２，３８１人
日本ボッチャ選手権	１，３９７人
ジャパンラグビーリーグワン	２４，８６５人

１０　ホームチーム応援費【スポーツ振興課】　２，２８３，２７０円

ホームチームを応援する機運醸成のため、選手の等身大パネルの作成、バスのラッピング及び工事壁面の装飾を実施しました。

１１　夢の教室開催費【スポーツ振興課】　１４，８６４，６００円

こどもたちに、夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さを学ぶ機会を提供するため、小学５年生と中学２年生を対象に夢を実現したアスリート等を夢先生として派遣する「夢の教室」を開催しました。

＜実施校＞　小学校６８校１３５クラス、中学校７校２３クラス

１２　スポーツ教室開催費【スポーツ振興課】　４，６７９，７４３円

企業や大学と連携したスポーツ教室を開催しました。

１３　地域スポーツクラブ育成支援費【スポーツ振興課】

２６，５３５，９８７円

（１）　育成支援事務費　１，１５１，３９４円

（２）　連携事業負担金　８，２４５，０３１円

（３）　活動費補助金（９／１０・４／５・２／３・１／２）

補助金交付クラブ数　６クラブ　６，２２２，０００円

（４）　集いの場創出事業費　３，０７５，０００円

（５）　クラブハウス管理運営費　３，４００，２６２円

（６）　クラブハウス整備費（工事費）　２，７１２，０００円

（７）　クラブハウス整備費（設計費）　１，７３０，３００円

１４　Ｊリーグホームタウン推進費【スポーツ振興課】

５，５０５，８２１円

名古屋グランパスのホーム開幕応援事業やマイタウン金鯱グランパスくんを活用した市内周遊促進事業を実施しました。

１５　スポーツツーリズム推進費【シティプロモーション課】

１７，９４１，７４１円

スポーツツーリズムの推進を図るため、「ＷＥ　ＬＯＶＥ　サッカー・豊田ゲームス２０２５」や「豊田ジュニアラグビー２０２５」を実施しました。

また、新規大会やイベントの誘致に向けた分析・セールスシートの作成等を行いました。

１６　トップアスリート・スポーツチーム応援費【スポーツ振興課】

６，９１７，７４５円

オリンピック・パラリンピック・デフリンピックを契機とした、わがまちアスリートの応援事業や都市対抗野球大会の応援事業を実施しました。

１７　スポーツ協会負担金【スポーツ振興課】　７，４１５，０００円

市民総合体育大会　４１種目　参加者数　３９，６９３人

スポーツ少年団　１９種目　団員数　６，１０２人

１８　世界ラリー選手権開催推進費　【ラリーまちづくり推進課】

１，１４７，９６０，８２４円

ラリージャパン２０２５の開催機運を高めるため、豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会による盛り上げや各種事業の実施のほか、ラリーに関するイベントを開催しました。

また、ラリージャパン２０２５の開催に向け、実行委員会に対して負担金及び出資金を支払いしたほか、ラリージャパン２０２６の開催準備に向け、同委員会に対して出資金を支払いました。

・豊田しもやまラリーの開催支援（５月２５日）
　来場者数　９００人
・ラリージャパン２０２５の開催（１１月６～９日）
　来場者数　５３０，６００人
　参加ボランティア数　延べ１，９７６人
　大会パートナー　２９社
　ホストタウンパートナー　１４１社
　経済波及効果　約１３３億円
　メディア露出価値　約　８０億円
　大会満足度（イベント全体）　８５．２％
　ＦＩＡ環境認証プログラム三ツ星更新（最高ランク）
・ＴＧＲラリーチャレンジｉｎ豊田の開催（１１月３０日）
　来場者数　８，５００人
・ラリー教室の開催　１０回（うち市内５回）

◆特記事項

公共下水道接続事業（梅坪・浄水スポーツクラブハウス）において、事業の平準化を図るため、９月議会で７，６０３千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【スポーツ振興課】

10-　8-　7目　文化施設費

		（前年度）
当初予算額	984,370,000円	（ 1,534,167,000円）
予算現額	1,066,604,155円	（ 892,493,740円）
決算額	824,289,757円	（ 810,776,624円）
翌年度繰越額	225,120,215円	（ 65,115,749円）
不用額	17,194,183円	（ 16,601,367円）

●翌年度繰越額

☆継続費☆　２２５，１２０，２１５円

豊田参合館長寿命化等改修負担事業（コンサートホール・能楽堂・共用部）
２２５，１２０，２１５円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　文化施設管理費【文化振興課】　１，１４８，３７３円

2　市民文化会館費【文化振興課・建築保全・住宅課】
２５２，３５７，７８５円

（１）　管理運営費　１８７，０９４，２３５円
指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団
施設利用者数　２８７，７８０人

（２）　施設保全費　５２，８００，０００円
市民文化会館空調吹出口修繕を行いました。

（３）　施設整備費　１２，４６３，５５０円
多目的ホール扉修繕等を行いました。

3　コンサートホール・能楽堂費【文化振興課・建築保全・住宅課】
３１０，８７７，９０５円

（１）　管理運営費　２３３，１０７，０８９円
指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団
施設利用者数　６４，４３１人

（２）　施設保全費　６６８，８００円
能楽堂建具修繕を行いました。

（３）　施設整備費　７７，１０２，０１６円
豊田参合館長寿命化等改修負担事業及び豊田参合館の共用部に係る修繕費負担金を支出しました。

4　地域文化広場費【学び体験推進課】　１４２，４３０，１４３円

（１）　管理運営費　１３５，９８８，６５６円
指定管理者　ホーメックスグループ共同企業体
施設利用者数　２８１，４１５人

（２）　施設整備費　６，４４１，４８７円
地域文化広場におけるプールの男子更衣室トイレやテニスコートの人工芝張り替え等の修繕を行いました。

5　猿投棒の手ふれあい広場費【文化財課】　７９，２１７，１５２円

（１）　管理運営費　４５，７１０，０５２円
指定管理者　ホーメックス（株）
施設利用者数　７５，３２０人

（２）　施設整備費　９，９００，０００円
棒の手会館の展示リニューアルに係る実施設計を行いました。

（３）　長寿命化推進費　２３，６０７，１００円
猿投棒の手ふれあい広場の長寿命化工事のための設計を行いました。

6　平戸橋いこいの広場費【博物館・建築保全・住宅課】
２５，８４９，５１９円
（１）　管理運営費　２４，０９０，０００円
指定管理者　（株）技研サービス
施設利用者数　８６，９６０人
（２）　施設保全費　１，７５９，５１９円
平戸橋いこいの広場の会議室床張り換え修繕を行いました。
7　文化ゾーン費【文化振興課】　１２，４０８，８８０円
地元ワークショップ等を実施し、枝下緑道の再整備計画を検討しました。また、枝下緑道東側の駐車場修繕を行いました。

10-8-8目　体育施設費

		（前年度）
当初予算額	2,885,467,000円	（2,921,997,000円）
予算現額	3,472,515,000円	（3,665,558,660円）
決算額	3,275,806,365円	（3,110,728,893円）
翌年度繰越額	112,876,000円	（516,511,000円）
不用額	83,832,635円	（38,318,767円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	１１２，８７６，０００円
公共下水道接続事業（梅坪浄水運動広場外１施設）	１０，９７５，０００円
長寿命化改修等事業（高岡公園体育館外１施設）	１０１，９０１，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　体育施設事務費【スポーツ振興課】　３５，２５４，５８３円
2　体育施設整備費【スポーツ振興課】　１３，０１９，４００円
3　豊田市運動公園費【スポーツ振興課】　１５７，５４２，７３２円
（１）　管理運営費　１３３，６１２，２３２円
指定管理者　（公財）豊田市スポーツ協会
施設利用者数　２９３，８５１人
（２）　長寿命化推進費　３，９１２，７００円
長寿命化改修受変電設備工事設計委託を行いました。
（３）　施設整備費　２０，０１７，８００円
写真判定装置を購入しました。
4　五ケ丘運動広場費【スポーツ振興課】　２１，７６０，５００円
管理運営費
指定管理者　（公財）豊田市スポーツ協会

施設利用者数　４５，１７２人

５　運動広場費【スポーツ振興課】　２４，８１７，５５１円

（１）　管理運営費　２０，４０３，５０４円

石野運動広場ほか４施設

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数　７０，８５０人

（２）　施設整備費　４，４１４，０４７円

土橋公園野球場不陸修繕等を行いました。

６　保見マレットゴルフ場費【スポーツ振興課】　２，０２５，３３５円

管理運営費

施設利用者数　１１，４２８人

７　勘八漕艇庫費【スポーツ振興課】　１，９５５，６７８円

管理運営費

８　東山体育センター費【スポーツ振興課】　３４，１１６，６００円

（１）　管理運営費　３１，８００，０００円

指定管理者　（特非）美里スポーツクラブ

施設利用者数　１１９，４１２人

（２）　施設整備費　２，３１６，６００円

東山運動広場テニスコート人工芝の修繕等を行いました。

９　毘森公園費【スポーツ振興課】　２１，８２０，８００円

（１）　管理運営費　２１，５５３，５００円

指定管理者　（公財）豊田市スポーツ協会

施設利用者数　４４，３２６人

（２）　施設整備費　２６７，３００円

草刈機を購入しました。

１０　高岡公園費【スポーツ振興課】　５６，４１１，９７４円

（１）　管理運営費　４３，１７８，２７４円

指定管理者　ホーメックス（株）

施設利用者数　１５７，４０２人

（２）　長寿命化推進費（工事）　３，１２８，０００円

高岡公園体育館受変電設備改修工事を開始しました。

（３）　長寿命化推進費（設計）　７，６７４，７００円

高岡公園体育館受変電設備改修工事等設計委託を行いました。

（４）　施設整備費　２，４３１，０００円

高岡公園テニスコート浄化槽修繕等を行いました。

１１　柳川瀬公園費【スポーツ振興課】　６４，７４２，０３３円

（１）　管理運営費　５８，３３７，２８３円

指定管理者　（特非）かみごうスポーツクラブ

施設利用者数　２５６，５８５人

（２）施設整備費　６，４０４，７５０円

放送設備修繕等を行いました。

１２　井上公園費【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】

１６１，１７０，９０８円

（１）管理運営費　１１５，７３７，４４３円

指定管理者　（特非）いさとスポーツクラブ　水泳場除く

施設利用者数　３８，３０１人

指定管理者　井上公園水泳場運営企業体　水泳場部分

施設利用者数　１２９，２０１人

（２）施設保全費　６，０９７，４６５円

水泳場建具修繕等を行いました。

（３）長寿命化推進費　１０，６４８，０００円

井上公園水泳場長寿命化工事設計委託を行いました。

（４）施設整備費　２８，６８８，０００円

入退場管理システムを購入しました。

１３　中央公園費【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】

１，９０１，２０２，６９０円

（１）管理運営費　７９８，３４３，３４０円

指定管理者　（株）豊田スタジアム

施設利用者数　１，８１３，９０６人

（２）施設保全費　３６，９９３，０００円

ランニングタイマー修繕等を行いました。

（３）長寿命化推進費　８７９，０００，０００円

豊田スタジアム長寿命化改修工事（第二期）を行いました。

（４）施設整備費　１８６，８６６，３５０円

トイレ洋式化改修工事等を行いました。

１４　中央公園スポーツパーク費【スポーツ振興課】

３，８１１，０６０円

施設整備費

サッカーゴールネット等を購入しました。

１５　総合体育館費【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】

２６２，０９４，０９８円

（１）管理運営費　１７６，０８５，６１８円

指定管理者　（公財）豊田市スポーツ協会

施設利用者数　４０６，２７３人

（２）施設保全費　６２，２３２，６７６円

駐車場舗装修繕等を行いました。

（３）　施設整備費　２３，７７５，８０４円
授乳室修繕等を行いました。

１６　西部体育館・逢妻運動広場費
【スポーツ振興課・建築保全・住宅課】　３２，６１８，３５９円

（１）　管理運営費　２８，７５０，７５９円
指定管理者　（株）フィールダー
施設利用者数　８５，９５５人

（２）　施設保全費　３，４３７，５００円
アリーナ床メンテナンス修繕を行いました。

（３）　施設整備費　４３０，１００円
メタルハライドランプを購入しました。

１７　梅坪浄水運動広場費【スポーツ振興課】　２４，５９６，９００円

（１）　管理運営費　２０，３９１，０００円
指定管理者　（一社）梅坪・浄水スポーツクラブ
施設利用者数　２３，１６４人

（２）　施設整備費（工事）　２，２７１，０００円
梅坪浄水運動広場公共下水道工事を開始しました。

（３）　施設整備費（設計）　１，９３４，９００円
梅坪浄水運動広場公共下水道工事設計委託を行いました。

１８　松平体育館費【スポーツ振興課】　５３，６２６，２１０円

（１）　管理運営費　５２，６５７，０００円
指定管理者　（一社）松平スポーツクラブ
施設利用者数　１７３，１９３人

（２）　施設整備費　９６９，２１０円
松平運動広場の支障木伐採等を行いました。

１９　藤岡地域体育施設費【藤岡支所】　１８，４０３，８４０円
管理運営費

ア　藤岡体育センターほか３施設
指定管理者　（株）都市環境サービス
施設利用者数　３８，０９３人

イ　藤岡山村広場
指定管理者　藤岡石畳地区地域づくり協議会
施設利用者数　１，４８６人

２０　小原地域体育施設費【小原支所・建築保全・住宅課】
２６，６３２，８０２円

（１）　管理運営費　２５，３５４，４７０円
緑の公園、小原トレーニングセンター
指定管理者　（公社）豊田市シルバー人材センター

施設利用者数　３９，１０３人

（２）施設保全費　８７４，５００円

小原トレーニングセンター南側屋根防水修繕を行いました。

（３）施設整備費　４０３，８３２円

ＬＥＤ化を推進しました。

２１　足助地域体育施設費【足助支所】　３２，４８９，１７５円

（１）管理運営費　３０，４２８，８７５円

ア　足助グラウンドほか３施設

指定管理者　（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数　２６，２２０人

イ　足助プール

指定管理者　（株）メイギガードサービス

施設利用者数　３，６２７人

ウ　ふれあいセンター萩野

施設利用者数　５，７１０人

（２）施設整備費　２，０６０，３００円

足助グラウンドの浄化槽修繕等を行いました。

２２　下山地域体育施設費【下山支所・建築保全・住宅課】

６３，２０６，０２２円

（１）管理運営費　１８，８２６，３７９円

ア　下山トレーニングセンター及び下山運動場

指定管理者　しもやまスポーツクラブ

施設利用者数　１３，６５３人

イ　下山西部プール

指定管理者　（株）日本クリーナー

施設利用者数　１，３２７人

（２）施設保全費　４４，２７５，０００円

下山トレーニングセンター屋上防水修繕等を行いました。

（３）施設整備費　１０４，６４３円

ＬＥＤ化を推進しました。

２３　旭地域体育施設費【旭支所】　１８，２０５，６７１円

（１）管理運営費　１５，８４２，８７１円

旭総合体育館ほか３施設

指定管理者　（公社）豊田市シルバー人材センター

施設利用者数　２３，９２５人

（２）施設整備費　２，３６２，８００円

旭総合体育館舞台吊物装置撤去等を行いました。

２４　稲武地域体育施設費【稲武支所】　５，７１２，９９２円

（１）　管理運営費　５，７０７，８００円
稲武夏焼グラウンド
指定管理者　（公社）豊田市シルバー人材センター
施設利用者数　１，５５４人

（２）　施設整備費　５，１９２円
ＬＥＤ化を推進しました。

２５　河川敷スポーツ施設費【スポーツ振興課】　３，５４６，４００円
管理運営費
川田公園、白浜公園、平井公園始め１０施設
施設利用者数　２４８，３３８人

２６　体育施設予約システム管理開発費【スポーツ振興課】
１８，０８７，４８７円
ＴＯＳＳシステム管理運営費

２７　スポーツ協会運営費補助金（１０／１０）【スポーツ振興課】
２１６，９３４，５６５円

◆特記事項

・公共下水道接続事業（梅坪浄水運動広場）において、事業の平準化を図るため、９月議会で１３，２４６千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【スポーツ振興課】

・長寿命化改修等事業（高岡公園体育館外１施設）において、事業の平準化を図るため、１０５，０２９千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【スポーツ振興課】

10- 8- 9目　美術館費

		（前年度）
当初予算額	1,014,578,000円	（ 887,667,000円）
予算現額	1,013,920,000円	（ 1,018,880,994円）
決算額	984,644,500円	（ 999,376,986円）
翌年度繰越額	4,988,500円	（ 0円）
不用額	24,287,000円	（ 19,504,008円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆　４，９８８，５００円
展覧会会場撤去事業　４，９８８，５００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　人件費（美術館運営協議会委員６人）【美術館】　１０３，４００円
２　美術館事務費【美術館】　６，４０３，９４５円
３　美術館施設管理費【美術館】　３１９，４６３，７６６円

美術館総利用者数　６１６，４２２人
展覧会観覧者数　４９８，１７９人
開館日　２６８日
ギャラリー利用　１２展覧会
ギャラリー入場者数　９，８９５人
レストラン利用者数　２５，９６３人
講堂利用者数　６，４３５人
ワークショップルーム利用者数１，０３６人
庭園利用者数　６，４９４人

４　附属施設管理運営費【美術館】　１２，００２，２３６円
童子苑　利用者数　２４，４５９人

５　美術館施設保全費【建築保全・住宅課】　１６７，８２５，６６２円
外構照明修繕等を行いました。

６　美術館運営費【美術館】　５，０８１，９０２円
ミュージアムショップ
利用者数　３５，７３４人

７　展覧会開催費【美術館】　１４１，６５４，３８７円

（１）　常設展
３期に分けて名品の展示を実施しました。
観覧者数　１５５，７６７人（常設特別展と同数）

（２）　常設特別展（常設展の中で開催）
「開館３０周年記念コレクション展」星と星図Ⅰ～Ⅲ
観覧者数　１５５，７６７人（常設展と同数）

（３）　企画展調査費
次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。

（４）　「玉山拓郎：フロア」展
会期　令和７年４月１日～５月１８日（４４日間）
観覧者数　１１，８６４人

（５）　「生誕１２０年　人間国宝　黒田辰秋」展
会期　令和７年４月１日～５月１８日（４４日間）
観覧者数　１３，３７１人

（６）　「モネ　睡蓮のとき」展
会期　令和７年６月２１日～９月１５日（７７日間）
観覧者数　１９２，５１９人

（７）　「アンチ・アクション　彼女たち、それぞれの応答と挑戦」展
会期　令和７年１０月４日～１１月３０日（５３日間）
観覧者数　１３，２４３人

（８）　「没後５０年　高島野十郎展」

会期　令和８年１月６日～３月１５日（６２日間）
観覧者数　３０，５３９人

（９）「櫃田伸也」展
「櫃田伸也」展の調査、準備を行いました。

（１０）「アンドリュー・ワイエス展」
「アンドリュー・ワイエス展」の調査・準備を行いました。

８　教育普及活動費【美術館】　７，７９８，１０３円
紀要の作成、広報、記録ビデオの作成、託児サービス等を行いました。

９　美術図書室活動費【美術館】　１，９４４，９１３円
展覧会調査研究用資料等の購入を行いました。
ライブラリーの利用者数　８，２２７人

１０　作品管理費【美術館】　１２，５１６，９９５円
作品修復等を行い、所蔵作品の適切な保存管理に努めました。

１１　作品収集費【美術館】　２９９，８３６，０２８円
美術品収集委員会を開催し、収集候補作品の審査・評価結果に基づき、ゲルハルト・リヒター「８枚のガラス」を購入しました。

１２　高橋節郎館活動費【美術館】　７，８０１，２８５円
「高橋節郎館リニューアルオープン記念　高橋節郎展」及び常設展を３回開催しました。
観覧者数　８０，８７６人
漆講座、庭園活用事業（マルシェ）、３館共通年間パスポートの発行等を行いました。

１３　高橋節郎館活動基金積立金【美術館】　２，２１１，８７８円
高橋節郎館活動基金の利子を同基金に積み立てました。

◆特記事項
展覧会会場撤去事業において、年度内の完了が困難となったため、３月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【美術館】

11款　災害復旧費

			（前年度）
当初予算額	242,660,000円	（	350,160,000円）
予算現額	1,028,038,879円	（	564,190,500円）
決算額	923,540,887円	（	508,606,450円）
翌年度繰越額	68,846,000円	（	0円）
不用額	35,651,992円	（	55,584,050円）

11- 1- 1目　農林施設災害復旧費

			（前年度）
当初予算額	125,160,000円	（	202,660,000円）
予算現額	521,349,900円	（	202,660,000円）
決算額	520,774,704円	（	172,722,050円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	575,196円	（	29,937,950円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　農業施設現年災害復旧事業費【農地整備課】

４８３，９２２，５０４円

令和７年度の台風及び大雨により被災した農地及び農業施設の災害復旧を実施しました。

施設災害　１９４件

農地災害　６４件

2　農業施設過年災害復旧事業費【農地整備課】　６，９５２，０００円

過年度の大雨により被災した農業施設の災害復旧等を実施しました。

施設災害　２件

3　林業施設現年災害復旧事業費【森林課】　２９，９００，２００円

令和７年度の台風及び大雨により被災した林道施設の災害復旧を実施しました。

林道災害　１５件

11款　災害復旧費

11- 1- 2目　土木施設災害復旧費

		（前年度）
当初予算額	99,500,000円	（ 129,500,000円）
予算現額	477,188,979円	（ 334,166,500円）
決算額	387,902,983円	（ 322,868,400円）
翌年度繰越額	68,846,000円	（ 0円）
不用額	20,439,996円	（ 11,298,100円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	６８，８４６，０００円
土木施設災害復旧事業（都市計画道路高橋細谷線）	４０，０００，０００円
土木施設災害復旧事業（市道足助国閑ロクロ木線外１路線）	２８，８４６，０００円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１　土木施設現年災害復旧事業費　３８７，９０２，９８３円

【道路維持課・街路課・地域建設課・河川課】

（１）　道路施設　９４，７６８，７７４円

令和７年９月等の大雨により被災した市道松平日影線始め４８か所の道路災害復旧を行いました。

（２）　地域道路施設　９６，２９６，２００円

令和７年９月等の大雨により被災した市道下山岸原坂峠線始め５１か所の道路災害復旧を行いました。

（３）　河川施設　１４７，０５２，００９円

令和７年９月等の大雨により被災した普通河川松平川始め３２か所の河川災害復旧を行いました。

（４）　地域河川施設　４９，７８６，０００円

令和７年９月等の大雨により被災した小町排水路始め７か所の河川災害復旧を行いました。

◆特記事項

・土木施設災害復旧事業（都市計画道路高橋細谷線）において、河川施設の災害復旧に時間を要し、年度内完了が困難となったことから、１０月臨時議会で４０，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【街路課】

・土木施設災害復旧事業（市道足助国閑ロクロ木線外１路線）において、道路施設の災害復旧に時間を要し、年度内完了が困難となったことから、１０月臨時議会で３９，０００千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【地域建設課】

11款　災害復旧費

11- 1- 3目　都市施設災害復旧費

		（前年度）
当初予算額	2,000,000円	（ 2,000,000円）
予算現額	13,500,000円	（ 2,330,000円）
決算額	12,991,000円	（ 2,321,000円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	509,000円	（ 9,000円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　公園施設現年災害復旧事業費【公園緑地課】１２，９９１，０００円

令和７年９月の台風１５号により被災した保見団地緑地ほか２公園の災害復旧を実施しました。

公園施設災害　３か所

11- 1- 4目　公営住宅災害復旧費

		（前年度）
当初予算額	1,000,000円	（ 1,000,000円）
予算現額	1,000,000円	（ 670,000円）
決算額	715,000円	（ 0円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	285,000円	（ 670,000円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　公営住宅現年災害復旧事業費【建築保全・住宅課】７１５，０００円

市営住宅（単独事業）

雪で倒れた樹木を伐採しました。

11- 1- 5目　文教施設災害復旧費

		（前年度）
当初予算額	12,000,000円	（ 12,000,000円）
予算現額	12,000,000円	（ 12,000,000円）
決算額	0円	（ 0円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	12,000,000円	（ 12,000,000円）

11款　災害復旧費

11－ 1－ 6目　その他施設災害復旧費

		（前年度）
当初予算額	3,000,000円	（ 3,000,000円）
予算現額	3,000,000円	（ 12,364,000円）
決算額	1,157,200円	（ 10,695,000円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	1,842,800円	（ 1,669,000円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　地域振興施設現年災害復旧事業費【小原支所】　８８０，０００円

令和７年９月の大雨により土砂が流入した小原支所駐車場側溝の浚渫を実施しました。

2　観光施設現年災害復旧事業費【シティプロモーション課】

２７７，２００円

令和７年６月の大雨により、東海自然歩道で発生した倒木の伐採作業を実施しました。

12款　公債費

		（前年度）
当初予算額	6,954,426,000円	（ 7,084,873,000円）
予算現額	6,950,498,000円	（ 7,077,189,000円）
決算額	6,925,326,174円	（ 7,007,271,442円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	25,171,826円	（ 69,917,558円）

12- 1- 1目　元金

		（前年度）
当初予算額	6,802,468,000円	（ 6,891,907,000円）
予算現額	6,802,468,000円	（ 6,891,907,000円）
決算額	6,802,467,852円	（ 6,891,906,216円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	148円	（ 784円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　元金【財政課】　６，８０２，４６７，８５２円

建設事業等に充当した市債の元金を償還しました。

＊　資料編「地方債現在高の状況」参照

12- 1- 2目　利子

		（前年度）
当初予算額	151,958,000円	（ 192,966,000円）
予算現額	148,030,000円	（ 185,282,000円）
決算額	122,858,322円	（ 115,365,226円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	25,171,678円	（ 69,916,774円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　利子【財政課】　１２２，８５８，３２２円

建設事業等に充当した市債の利子を償還しました。

＊　資料編「地方債現在高の状況」参照

13款　諸支出金

		（前年度）
当初予算額	1,000円	（ 1,000円）
予算現額	1,000円	（ 0円）
決算額	0円	（ 0円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	1,000円	（ 0円）

13- 1- 1目　土地取得費

		（前年度）
当初予算額	1,000円	（ 1,000円）
予算現額	1,000円	（ 0円）
決算額	0円	（ 0円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	1,000円	（ 0円）

14款　予備費

		（前年度）
当初予算額	500,000,000円	（　500,000,000円）
予算現額	99,078,424円	（　51,954,182円）
決算額	0円	（　0円）
翌年度繰越額	0円	（　0円）
不用額	99,078,424円	（　51,954,182円）

14- 1- 1目　予備費

		（前年度）
当初予算額	500,000,000円	（　500,000,000円）
予算現額	99,078,424円	（　51,954,182円）
決算額	0円	（　0円）
翌年度繰越額	0円	（　0円）
不用額	99,078,424円	（　51,954,182円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1　予備費【財政課】　４００，９２１，５７６円

衆議院議員選挙（２款５項５目）、令和７年９月の大雨に関する災害復旧事業（１１款１項１目、１１款１項２目）などの経費として充しました。

第１４表　　主要工事実績表

※（１）支出額　30,000千円以上を掲載
　（２）請負金額の（　　）書は契約総額、外書は本年度執行額

財　産　管　理　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市役所南庁舎 長寿命化改修建築工事	西町	7. 3.20 7.12.15	302,390 (302,390)	三栄工業	屋根外壁改修工事　一式 （R6～8年度　継続費）
市役所西庁舎 長寿命化改修空調・管工事	西町	7. 6.27 9. 1.29	176,428 (931,150)	川崎設備工業	空気調和設備改修工事　一式 （R6～8年度　継続費）
市役所西庁舎・環境センター 長寿命化改修電気工事	西町	7. 3.20 8. 8.31	106,842 (391,380)	豊田電気	電気設備改修工事　一式 （R6～8年度　継続費）
市役所環境センター 長寿命化改修空調・管工事	西町	7. 3.20 8. 8.31	55,905 (203,170)	森島設備管工	空気調和設備改修工事　一式 （R6～8年度　継続費）
市役所衛生試験所 長寿命化改修建築工事	西町	7. 4.25 8. 1.30	35,299 (35,299)	マルコオ・ ポーロ化工	屋根外壁改修工事　一式 （R6～8年度　継続費）
市役所衛生試験所 長寿命化改修空調工事	西町	7.12.19 9. 2.26	47,215 (511,500)	三和	空気調和設備改修工事　一式 （R6～8年度　継続費）

小 原 地 域 振 興 費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
川見・雑敷四季桜の里 災害復旧工事	川見町ほか	6.10.25 7. 5.30	40,761 (40,761)	田中建設工業	排水構造物工　Ｌ＝52m 法面工　　Ａ＝710㎡ 擁壁工　　Ｌ＝22m 付帯工　　一式 （R6年度　繰越明許費）

稲 武 地 域 振 興 費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
どんぐり工房通路設置工事	武節町	7. 9.12 8. 3.19	31,018	杉田組	通路設置工事　一式 擁壁工　　Ｌ＝25m 舗装工　　Ａ＝170㎡ 防護柵工　　Ｌ＝102m

障がい者福祉施設費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
青少年相談センターほか １施設長寿命化改修建築工事	栄町	6. 8. 9 7. 4.30	30,099 (30,099)	マルコオ・ ポーロ化工	けやきワークス　屋上防水改修、外壁改修 （R6年度　繰越明許費） （合併施行）

高齢者福祉施設費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
老人福祉センター豊寿園 長寿命化改修ほか 空調・管工事	渡刈町	7. 3.20 8. 7.17	82,499 (279,950)	桶兼住設・ 八百正 住宅機器 建設 共同企業体	空調・給湯設備改修 浄化槽一部撤去 下水道接続 （R6～8年度　継続費）

児童福祉総務費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
逢妻ふれあい子ども館 ほか１１施設解体ほか工事	新町ほか	6. 8. 9 7. 6.30	64,967 (104,327)	須藤建設工業	逢妻ふれあい子ども館解体工事 駐車場整備 （R6年度　繰越明許費） （合併施行）

保育園費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
大草こども園増築ほか工事	小原町	7. 2.21 7.10.17	82,918 (137,830)	小原 ハウジング	園舎増築、屋根外壁長寿命化改修　一式 （R6年度　繰越明許費）
高美こども園ほか２園 トイレ改修工事	若林西町 ほか	6. 8. 9 7. 5.20	37,180 (62,348)	天野建設工業	高美、堤ケ丘、本地こども園 トイレ改修　一式 （R6年度　繰越明許費）
飯野こども園ほか１施設 トイレ改修ほか工事	藤岡飯野町 ほか	7. 3. 7 7. 9.30	49,423 (49,423)	中外商工	飯野こども園 トイレ改修、屋根外壁長寿命化改修　一式 東広瀬こども園 トイレ改修　一式 （R6年度　繰越明許費）
駒場こども園 長寿命化改修建築工事	駒場町	7. 8. 8 8. 2.27	58,300	マルコオ・ ポーロ化工	屋根外壁長寿命化改修　一式

清掃工場費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
渡刈クリーンセンター 基幹的設備改良工事	渡刈町	4. 9.30 9. 2.26	2,403,666 (7,069,810)	カナデビア	機械設備工事　各一式 土木建築工事　各一式 （R4～8年度　継続費）

施設整備費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
４号放水工ゲート整備工事	井上町	7. 7.18 8. 2.27	33,493	三基工業	扉体取替　1か所 開閉機取替　2か所

商　業　振　興　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
重要伝統的建造物 足助商工会館修繕工事	足助町	6. 9.20 8. 3.16	129,314 (139,412)	三濃建設	屋根葺き替え、木造腐食部修繕、基礎石据え直し等 (R6～7年度　継続費)

建　築　審　査　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
後退用地内整備工事 （その２）	堤町ほか	7. 4.25 7.11.14	34,620	矢野建設土木	工事延長　　Ｌ＝489m 工事箇所　　Ｎ＝6か所 排水構造物工　Ｌ＝458m 舗装工　　Ａ＝391㎡ （R7年度　債務負担行為）

道路橋りょう維持費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市道小原北篠平多治見線ほか 道路修繕工事	大平町ほか	7. 3.25 7.10.31	75,098 (75,098)	海老澤建設	工事延長　　Ｌ＝521m 排水構造物工　Ｌ＝712m 舗装工　　Ａ＝976㎡ （R7年度　債務負担行為）
市道藤岡深見御内平線ほか 道路修繕工事	深見町ほか	7. 7.25 8. 2.27	50,175	松尾組	工事延長　　Ｌ＝505m 排水構造物工　Ｌ＝581m 舗装工　　Ａ＝1,190㎡
市道大釜鳥坂根線ほか 舗装修繕工事	御船町ほか	7. 3.25 7. 8.29	116,626 (116,626)	ヤハギ道路	工事延長　　Ｌ＝1,285m 舗装工　　Ａ＝9,725㎡ （R7年度　債務負担行為）
市道藤岡御作御船線ほか 舗装修繕工事	西中山町 ほか	7. 3.25 7. 9.12	143,941 (143,941)	太啓建設	工事延長　　Ｌ＝1,166m 舗装工　　Ａ＝7,009㎡ （R7年度　債務負担行為） （R6年度　繰越明許費）
市道西広見長久手線ほか 舗装修繕工事	八草町ほか	7.10.10 8. 2.27	147,374	ヤハギ道路	工事延長　　Ｌ＝1,270m 舗装工　　Ａ＝8,120㎡
市道原山線ほか 舗装修繕工事	浄水町ほか	7.10.10 8. 2.27	128,129	藤和アスコン	工事延長　　Ｌ＝1,334m 舗装工　　Ａ＝6,838㎡
市道大林南１９号線ほか 舗装修繕工事	大林町	7.10.10 8. 2.27	144,645	太啓建設	工事延長　　Ｌ＝821m 舗装工　　Ａ＝6,897㎡
市道下山東大沼和合線ほか 道路修繕工事	大沼町ほか	7. 7.18 8. 1. 9	30,869	菊池建設	工事延長　　Ｌ＝160m 排水構造物工　Ｌ＝275m 舗装工　　Ａ＝905㎡

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市道下山宇連野阿蔵線ほか 舗装修繕工事	阿蔵町ほか	7. 7. 4 8. 2. 6	42,926	ヤハギ道路	工事延長　　L＝675m 排水構造物工　L＝25m 舗装工　　A＝3,620㎡
市道下山二タ瀬草木線 舗装修繕工事	羽布町	7. 7.18 8. 2.27	73,751	ヤハギ道路	工事延長　　L＝1,764m 舗装工　　A＝6,730㎡ 排水構造物工　L＝18m
市道稲武峯山線 道路防災対策工事	野入町	7. 7. 4 8. 1.30	35,932	杉田組	工事延長　　L＝100m かご工　　L＝444m モルタル吹付工　A＝270㎡ 排水構造物工　L＝162m
市道稲武梨野大桑線 道路防災対策工事	大野瀬町	7. 7. 4 8. 1. 9	36,260	青木建設	工事延長　　L＝27m 法枠工　　A＝277㎡
市道旭小渡明賀線 道路防災対策工事	明賀町	7. 8. 8 8. 1.30	33,053	豊緑化技研	工事延長　　L＝32m 吹付枠工　　A＝210㎡ ワイヤーネット被覆工　A＝21㎡
新閑羅瀬橋 橋りょう補修工事	閑羅瀬町 ほか	6.11.29 7. 7.18	70,795 (108,459)	舟橋塗装店	橋りょう補修　　N＝1橋 橋梁塗装工　　A＝1,340㎡ 伸縮装置止水工　L＝13.1m 水切り設置工　　L＝162m （R6年度　繰越明許費）
赤沢橋ほか 橋りょう補修工事	時瀬町ほか	6.11.29 7. 6.30	50,248 (81,039)	建装工業	橋りょう補修　　N＝4橋 橋梁塗装工　　A＝456㎡ 伸縮装置補修工　L＝37.6m 断面修復工　　一式 （R6年度　繰越明許費）
豊田大橋ほか 橋りょう補修工事	千石町ほか	7. 7.25 8. 2.27	68,387	浜田建設	橋りょう補修　　N＝2橋 伸縮装置止水工　L＝44.3m 伸縮目地補修工　L＝298m
足助記念橋ほか 橋りょう補修工事	岩神町ほか	7. 9.12 8. 2.27	52,835	大岡建設	橋りょう補修　　N＝4橋 伸縮装置補修工　L＝40.5m 橋面防水工　　A＝489㎡ 断面修復工　　一式 沓座モルタル補修工　一式 床版補修工　　一式
花ケ崎橋ほか 橋りょう補修工事	上野町ほか	7. 9.12 8. 2.27	44,798	浜田建設	橋りょう補修　　N＝2橋 ひび割れ補修工　L＝192.9m 伸縮装置補修工　L＝45.5m 橋面防水工　　A＝322㎡
さかうえ跨道橋 重要法定外道路橋 耐震補強工事	扶桑町	7. 1.24 7.11.21	53,609 (87,181)	テクナス	橋りょう耐震補強　N＝1橋 床版増厚補強工　A＝194㎡ 工場製作工　　W＝5.8ｔ 支承補強工　　N＝14基 （R7年度　債務負担行為） （R6年度　繰越明許費）

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
百岩跨道橋ほか 重要法定外道路橋 耐震補強工事	百々町ほか	7. 9.12 8. 2.27	58,946 (58,946)	松山建設工業	橋りょう耐震補強　N＝4橋 落橋防止装置工　N＝4橋 （R7年度　債務負担行為） （R6年度　繰越明許費）

道 路 新 設 改 良 費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市道林添九久平１号線 道路改良工事（その４）	九久平町	6. 9.13 7. 7.31	82,725 (133,443)	東工建設	工事延長　L＝380m 道路土工　V＝4,340㎥ 擁壁工　一式 排水構造物工　L＝515m （R6年度　繰越明許費）
市道林添九久平１号線 道路改良工事（その５）	九久平町	7. 2. 7 7. 8.29	49,211 (80,838)	原田工務店	工事延長　L＝505m 道路土工　V＝1,300㎥ 排水構造物工　L＝336m 舗装工　A＝4,700㎡ （R6年度　繰越明許費）
市道松平足助線 道路改良工事（その６）	豊松町	7. 5.16 8. 2. 6	68,536	原田工務店	工事延長　L=300m 道路土工　V＝2,650㎥ 擁壁工　一式 排水構造物工　L＝554m
市道乙尾深田山２号線 ほか１路線道路改良工事	田代町ほか	7. 6.13 8. 1.16	51,765	シラカワ ドケン	工事延長　L＝341m 道路土工　一式 排水構造物工　L＝356m 舗装工　A＝1,764㎡
市道旧坂上大内線ほか１路線 道路改良工事	大内町ほか	7. 8. 1 8. 2.27	60,121	コメジ・ ソシオ	工事延長　L＝263m 道路土工　V＝1,080㎥ 排水構造物工　L＝482m 舗装工　A＝1,308㎡
市道小原簗平川下線 道路改良工事（その４）	簗平町	7. 6.13 8. 1.16	36,080	中澤建設	工事延長　L＝100m 道路土工　一式 擁壁工　一式 排水構造物工　L＝149m
市道乙部舞木線舗装工事	舞木町ほか	7. 6.27 7.12. 5	51,271	フクタ建設	工事延長　L＝509m 道路土工　一式 舗装工　A＝3,650㎡ 区画線工　L＝1,586m
市道豊田西部２号線 道路新設工事（その２）	大池町	6.12.20 8. 7.31	181,752 (512,137)	ヤハギ道路	工事延長　L＝280m 道路土工　一式 地盤改良工　一式 擁壁工　L＝265m （R6～9年度　継続費）
市道豊田西部２号線 道路新設工事（その３）	大池町	8. 1.23 8.10.16	30,221 (126,720)	太啓建設	工事延長　L＝460m 道路土工　一式 排水構造物工　L＝1,344m 舗装工　A＝5,620㎡ （R6～9年度　継続費）

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市道土橋竜神１号線 道路築造工事	曙町	6.12.20 8.11.27	41,000 (189,698)	太啓建設	舗装工　　A＝3,920㎡ ＰＣ橋工　　N＝１橋 （R6～8年度 継続費）

安　全　維　持　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市道鴛鴨畔畑石根線ほか エアー遮断装置設置工事	鴛鴨町ほか	7. 9.19 8. 3.13	50,105	シーキューブ	エアー遮断機　N＝4台 水位検出器　N＝2基
市道浄水駅南通り２号線ほか 押しボタン式横断者明示標識 設置工事	浄水町ほか	7. 9.19 8. 2.27	47,997	東陽工業	押しボタン式横断者明示標識　N＝6か所

歩　道　等　整　備　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市道野見線ほか２路線 歩道設置工事	野見町	6.10.11 7. 7.31	43,289 (72,047)	東工建設	工事延長　　L＝260m 道路土工　　V＝793㎥ 排水構造物工　L＝528m 舗装工　　A＝2,495㎡ （R7年度　債務負担行為）
市道御立野見１号線 ほか２路線歩道設置工事	野見町ほか	7. 8. 1 8. 3.13	60,133	東工建設	工事延長　　L＝312m 道路土工　　V＝1,070㎥ 排水構造物工　L＝427m 舗装工　　A＝2,055㎡
市道六ツ木岩倉線 歩道設置工事（その１１）	松平志賀町	7. 6.27 8. 6.30	52,703 (137,468)	小野組	工事延長　　L＝95m 道路土工　　V＝765㎥ 擁壁工　　一式 排水構造物工　L＝42m （R7年度　繰越明許費）
市道環状４号線ほか１路線 自転車通行空間整備工事	元宮町	7. 7. 4 8. 3.13	48,463	大岡建設	工事延長　　L＝160m 舗装工　　A＝988㎡ 縁石工　　L＝202m 区画線工　　L＝461m

河　川　改　良　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
準用河川大見川 河川改修工事	室町ほか	7. 8. 1 8. 3.19	85,741 (85,741)	テクナス	場所打擁壁工　L＝50m 矢板工　　N＝42枚 排水構造物工　L＝71m （R7年度　債務負担行為） （R6年度　繰越明許費）
都市計画道路高橋細谷線 長興寺第１工区道路改良工事 （その４）	秋葉町ほか	5. 3.17 10. 3.24	332,158 (943,322)	前田・ 太啓建設 共同企業体	護岸工　　A＝2,258㎡ 管渠工　　L＝65m （R2～9年度　継続費） （合併施行）

排　水　路　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
丸根町排水路 排水路改良工事	丸根町	8. 2.13 9. 2.15	32,556 (81,391)	東工建設	排水構造物工　L＝103m 舗装工　A＝412㎡ 区画線工　L＝419m （R8年度　債務負担行為） （R7年度　繰越明許費）

街　路　事　業　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
都市計画道路勘八峡線 公共残土搬入路整備工事	御船町	7. 6.13 8. 1.30	42,386	シビル	工事延長　L＝150m 道路土工　V＝10,100㎥ 排水構造物工　L＝688m 舗装工　A＝630㎡

特　定　道　路　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
旧終末処理場施設撤去工事	秋葉町	7. 6.27 8. 9.29	73,524 (183,810)	河木興業	土工　V＝16,100㎥ 構造物撤去工　V＝2,056㎥ （R7年度　繰越明許費）
都市計画道路豊田刈谷線 道路改良工事	本田町	6. 7. 5 7. 6.30	69,000 (117,092)	須藤建設工業	工事延長　L＝320m 地盤改良工　A＝382㎡ 擁壁工　L＝112m 舗装工　A＝2,598㎡ （R6年度　繰越明許費）
都市計画道路高橋細谷線 長興寺第１工区道路改良工事 （その４）	秋葉町ほか	5. 3.17 10. 3.24	544,602 (2,128,906)	前田・ 太啓建設 共同企業体	工事延長　L＝360m 道路改良工　一式 門型カルバート工　L＝116m （R2～9年度　継続費） （合併施行）
市道一色三軒家１号線 ほか２路線道路改良工事	宮口町ほか	7. 6.13 8. 2. 6	52,835	エイディー グリーン	工事延長　L＝267m 道路土工　一式 排水構造物工　L＝184m 舗装工　A＝1822㎡
市道上原１１号線 道路新設工事	上原町	7．5.16 8. 3.10	53,257 (53,257)	フクタ建設	工事延長　L＝141m 道路土工　一式 排水構造物工　L＝270m 舗装工　A＝981㎡ (R6年度　繰越明許費)
市道上原１４号線 道路新設工事	上原町	7. 7.18 8. 2.27	41,444 (41,444)	東工建設	工事延長　L＝40m 道路土工　一式 法面工　A＝210㎡ 調整池工　一式 (R6年度　繰越明許費)

下 水 道 管 理 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
柳川瀬浄化センター撤去工事	畝部東町	7. 9.25 9. 3.12	62,222 (432,300)	須藤建設工業	柳川瀬浄化センター撤去工事 一式 (R8年度 債務負担行為) (R7年度 繰越明許費)

公 園 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
高岡公園拡張区域整備工事 (その2)	高丘新町 ほか	6. 9.20 8. 2. 6	89,751 (131,925)	松尾組	敷地造成工 一式 植栽工 一式 砂舗装 A=7,030㎡ 柵工 L=761m (R7年度 債務負担行為) (R6年度 繰越明許費)
枝下緑道復旧整備工事	梅坪町	7. 8.22 8. 2.27	33,891	高岡造園土木	L=184m 舗装工 A=1,000㎡ 柵工 L=356m
中央公園第二期整備事業 基盤造成工事	広川町	5.12.22 7. 6.30	395,508 (550,410)	ヤハギ道路	A=4.6ha 路床安定処理工 一式 (R5～7年度 継続費)
公園施設長寿命化対策工事 (中部)	梅坪町ほか	7. 9.26 8. 2.27	35,417	三共造園	公園施設撤去工 N=46基 遊具組立設置工 N=23基 ベンチ工 N=14基
公園施設長寿命化対策工事 (南部)	竜神町ほか	7. 9.26 8. 2.27	31,838	豊田緑化苑	公園施設撤去工 N=30基 遊具組立設置工 N=23基 ベンチ工 N=8基

都 心 整 備 費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
豊田市駅東口 交通広場整備工事	喜多町	7. 6.27 8.10.30	65,208 (347,007)	ヤハギ道路	交通広場整備工事 A=4,400㎡ (R8年度 債務負担行為)
豊田市駅東口 ペデストリアンデッキ 橋りょう耐震補強工事	喜多町	6. 6.28 7. 9.30	142,043 (216,843)	日京工設	橋りょう耐震補強 N=4橋脚 (R6年度 繰越明許費)
豊田市駅西口ほか サイン施設整備工事	若宮町ほか	7. 8.29 8. 3.25	94,322	海老澤建設	サイン設置 N=30基
豊田市駅西口 ペデストリアンデッキ Dブロック改築工事	若宮町	5. 6.30 7. 7.11	323,084 (753,804)	矢作建設・ ヤハギ道路 建設共同 企業体	ペデストリアンデッキ改築 L=10.5m W=24.5m (R4～7年度 継続費)

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
豊田市駅西口周辺整備工事	若宮町ほか	6. 3.23 8. 7.10	1,321,420 (5,038,691)	大林組・ ヤハギ道路 特定建設工事 共同企業体	ペデストリアンデッキ耐震補強　L＝204.2m バス乗降場整備　L＝95.4m 大屋根整備　一式 昇降施設整備　一式 （R5～8年度　継続費）

住　宅　管　理　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
市営住宅等工事代行業務	水源町ほか	7. 4. 1 8. 3.20	199,510	愛知県 住宅供給公社	電気設備改修工事（水源町住宅始め5住宅） 給排水管改修工事（一ノ木住宅始め2住宅） 外部鉄部塗装工事（東山住宅始め2住宅） 外壁・屋上防水改修工事（中河原住宅始め4住宅）

常　備　消　防　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
南消防署改修工事	和会町	7. 3.14 8. 2.13	44,253 (44,253)	三幸建設	トイレ、浴室、仮眠室ほか改修工事　一式 （R6年度　繰越明許費）
南消防署西分署 内部改修工事	聖心町	7. 6.20 8. 1.14	36,157	伊藤組	トイレ、浴室、脱衣所ほか改修工事　一式
逢妻ふれあいこども館 ほか１１施設解体ほか工事	新町ほか	6. 8. 9 7. 6.30	12,143 (20,303)	須藤建設工業	旧藤岡飯野詰所格納庫解体 旧若林詰所格納庫解体 火の見櫓解体 （R6年度　繰越明許費） （合併施行）

小　学　校　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
中山小学校 校舎増築ほか建築工事	西中山町	6. 7.17 8. 1.15	588,731 (723,800)	太啓建設	校舎、渡り廊下増築に係る建築工事　一式 1,690.54㎡ （R5～8年度　継続費）
中山小学校 校舎増築ほか空調・管工事	西中山町	6. 7.17 8. 1.15	157,172 (200,200)	三河商事	校舎、渡り廊下増築に係る空調・管工事　一式 1,690.54㎡ （R5～8年度　継続費）
中山小学校 校舎増築ほか電気工事	西中山町	6. 8. 2 8. 1.15	94,089 (97,702)	豊田電気	校舎、渡り廊下増築に係る電気工事　一式 1,690.54㎡ （R5～8年度　継続費）
中山小学校 増築太陽光発電設備工事	西中山町	7. 5.30 8. 1.15	30,723 (30,723)	豊田電気	太陽光発電設備設置　40kw （R5～8年度　継続費）
御作小学校 土砂災害防止対策工事	御作町	7. 6.13 8. 2.27	61,783	豊緑化技研	落石防護柵工　N＝12本 場所打擁壁工　V＝210㎥ 法枠工　A＝214㎡

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
古瀬間小学校 屋外排水施設改修工事	志賀町	7. 8.29 8. 3. 6	30,038	イトネクスト	工事延長　　L＝278m 側溝工　　L＝227m 集水桝工　　N＝9か所
青木小学校ほか１校 屋内運動場ほか 長寿命化改修工事	青木町	7. 4.25 7.10.21	38,705 (38,705)	眞栄	青木小学校 屋内運動場屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費） （合併施行）
大林小学校ほか１校 トイレ改修ほか工事	大林町ほか	7. 4.25 7.10.31	85,393 (85,393)	白武	大林小学校 北棟西トイレ再整備 高嶺小学校 屋内運動場屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費）
岩倉小学校ほか１校 トイレ改修ほか工事	岩倉町ほか	7. 4.25 7.10.31	87,318 (87,318)	大幸	岩倉小学校 北棟トイレ改修工事 東山小学校 屋内運動場屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費）
童子山小学校ほか１校 トイレ改修ほか工事	御幸町ほか	7. 4.25 7.11.20	71,709 (71,709)	神谷組工業	童子山小学校 北棟トイレ再整備 根川小学校 屋内運動場屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費）
大蔵小学校ほか３校 学校遊具更新工事（その２）	大蔵町ほか	7. 6.13 8. 2. 6	50,585 (50,585)	加藤造園	大蔵、萩野、新盛、明和小学校 遊具組立設置工、 構造物取壊し工、仮設工 （R6年度　繰越明許費）
則定小学校ほか３校 学校遊具更新工事（その３）	則定町ほか	7. 6.13 8. 2. 6	51,758 (51,758)	加納造園	則定、佐切、追分、冷田小学校 遊具組立設置工、 構造物取壊し工、仮設工 （R6年度　繰越明許費）
道慈小学校ほか３校 学校遊具更新工事（その１）	千洗町ほか	7. 6.13 8. 2.13	52,539 (52,539)	豊田ガーデン	道慈、小原中部、本城、御蔵小学校 遊具組立設置工、 構造物取壊し工、仮設工 （R6年度　繰越明許費）

中　学　校　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
石野中学校 土砂災害防止対策工事	力石町	7. 7.25 8. 1.30	30,250	中澤建設	落石防護柵工　N＝8本 場所打擁壁工　V＝87㎥ 法枠工　A＝87㎡
青木小学校ほか１校 屋内運動場ほか 長寿命化改修工事	青木町	7. 4.25 7.10.21	10,190 (10,190)	眞栄	猿投台中学校 武道場屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費） （合併施行）
保見中学校ほか１校 屋内運動場ほか 長寿命化改修工事	保見町ほか	7. 4.25 7.10.20	115,390 (115,390)	伊藤建設	保見、井郷中学校 屋内運動場、武道場ほか 屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費）
若園中学校ほか１校 トイレ改修ほか工事	花園町ほか	7. 6.13 7.12.15	68,739 (68,739)	岡田工務店	若園中学校 教室棟トイレ再整備 上郷中学校 武道場屋根・外壁改修 （R6年度　繰越明許費）
逢妻中学校トイレ改修工事	新町	7. 6.27 8. 1. 6	82,500 (82,500)	小原 ハウジング	管理教室棟東側、屋内運動場トイレ再整備 （R6年度　繰越明許費）

幼　稚　園　費

工　事　名	場　所	工　期	請負金額	請負業者名	摘　　要
高橋こども園改修建築工事	水間町	7. 6.27 8. 1.30	62,326	三栄工業	保育所化改修、トイレ再整備
高橋こども園改修電気工事	水間町	7. 6.27 8. 1.30	42,185	日晶電機	保育所化改修、トイレ再整備
高橋こども園 改修空調・管工事	水間町	7. 7.25 8. 1.30	51,623	三河商事	保育所化改修、トイレ再整備
野見こども園 保育所認可改修建築工事	美里	7. 6.13 8. 5.29	46,150 (140,800)	伊藤建設	保育所化改修 （R7～8年度　継続費）

学校教育総務費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
教職員会館 長寿命化改修建築工事	保見町	6. 8. 9 7. 4.30	58,289 (58,289)	カトー 建材工業	屋上防水改修工事　一式 （R6年度　繰越明許費）
教職員会館 長寿命化改修空調・管工事	保見町	6.11. 8 7. 8.22	83,666 (138,930)	中根管工	空調設備改修、電気設備改修、天井改修　一式 （R6年度　繰越明許費）

給食センター費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
旧北部給食センター解体工事	井上町	6. 9.20 7. 8.29	83,798 (134,640)	今井組	解体工事　一式 （R6年度　繰越明許費）

文化財保護費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
重要文化財旧鈴木家住宅 保存修理工事（第７期工事）	足助町	5.11.28 8. 3.13	70,316 (148,102)	魚津 社寺工務店	新座敷・上蔵・米蔵等保存修理 （R4～7年度　継続費）

青少年教育費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
青少年相談センターほか １施設長寿命化改修建築工事	栄町	6. 8. 9 7. 4.30	63,665 (63,665)	マルコオ・ ポーロ化工	青少年相談センター　屋上防水改修、外壁改修 （R6年度　繰越明許費） （合併施行）

体育施設費

工事名	場所	工期	請負金額	請負業者名	摘要
豊田スタジアム 長寿命化改修電気工事 （第二期）	千石町	6. 9.26 8. 2.27	517,277 (709,500)	小野・ 日晶建設 共同企業体	非常照明、誘導灯設備改修 電力貯蔵、発電設備改修 駐車場をＭＤＦ室へ改修 （R5～7年度　継続費）
豊田スタジアム 長寿命化改修空調・管工事 （第二期）	千石町	6. 9.26 8. 2.28	361,723 (496,100)	三河商事	換気設備改修 ろ過設備改修 自動制御設備改修 （R5～7年度　継続費）
豊田スタジアム トイレ洋式化改修工事	千石町	7. 6.13 8. 1.30	103,994	宮川建設	トイレ洋式化　一式 オストメイト、ベビーチェア、手すり設置

第１５表　土地取得実績表（補償費を除く。）

区分	取得の目的	場　所	面積（㎡）	金額（円）
財産管理	普通財産	柿本町	442.82	45,736,486
	財産管理　計		442.82	45,736,486
地域振興	田町活性化施設	足助町	134.84	6,636,731
	地域振興　計		134.84	6,636,731
福祉施設	福祉センター駐車場	錦町	905.11	155,280,965
	福祉施設　計		905.11	155,280,965
市道	市道豊田西部２号線	久岡町ほか	7,043.24	110,237,047
	市道百々１号線外３路線	百々町	876.91	21,725,610
	市道若石山住宅５号線	花園町	48.73	6,983,009
	市道松平足助線（豊松工区）	豊松町	575.88	2,141,396
	市道矢並池田線	池田町	1,919.78	8,146,095
	市道下山下田上平線	黒坂町	236.51	624,564
	公共補償（国道３０１号林添ＢＰ）	林添町	5,242.75	25,081,153
	公共補償（市道林添高ノ山線）	林添町	1,491.87	3,566,855
	公共補償 （市道林添九久平２号線外１路線）	林添町	589.60	9,787,814
	市道下山越田和ドドメキ線	大沼町	62.76	1,594,104
	公共補償（国道４７３号）	神殿町ほか	231.06	612,424
	市道　計		18,319.09	190,500,071
安全対策	市道志賀郷中線	志賀町	295.53	6,964,527
	市道六ツ木岩倉線	松平志賀町	293.28	1,642,332
	市道名鉄豊田新線側道３号線	上原町	66.26	1,991,680
	安全対策　計		655.07	10,598,539
河川等	矢作緑地	秋葉町	7,045.62	54,846,045
	河川等　計		7,045.62	54,846,045

区分	取得の目的	場　所	面積（㎡）	金額（円）
街路	市道西岡吉原１号線	前林町ほか	17,681.63	563,666,477
	市道高岡本町若林西１号線外１路線	高岡本町ほか	69.09	5,399,501
	市道浄水駅南通り２号線	大清水町	4,981.52	145,862,497
	市道殿貝津拳母線外２路線	大清水町ほか	689.98	281,735,695
	市道若林高架側道３号線外９路線	若林東町ほか	1,469.92	718,648,879
	街路　計		24,892.14	1,715,313,049
特定道路	市道高橋細谷線（長興寺第１工区）外２路線	秋葉町ほか	99.35	15,603,701
	市道豊田刈谷６号線外２路線	本田町	1,189.29	86,633,862
	市道堤環状１号線外１路線	本田町	953.15	143,995,111
	市道福谷一色線外１路線	宮口町	182.16	12,587,256
	市道上原１４号線	上原町	2,124.73	76,128,474
	特定道路　計		4,548.68	334,948,404
公園	深田公園	深田町	4,084.47	257,321,610
	公園　計		4,084.47	257,321,610
消防	近岡詰所格納庫	井ノ口町	212.90	4,098,538
	消防　計		212.90	4,098,538

Ⅲ　特別会計

国民健康保険特別会計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳入総額	34,601,093千円	（35,902,504千円）
歳出総額	33,866,558千円	（35,192,433千円）
歳入歳出差引額	734,535千円	（710,071千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（0千円）
実質収支額	734,535千円	（710,071千円）

（歳　入）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 国民健康保険税	6,891,967	7,499,156	（7,331,560）	21.7
2 国庫支出金	117	116	（190）	0.0
3 県支出金	22,054,360	22,004,158	（22,196,584）	63.6
4 財産収入	4,458	4,459	（1,136）	0.0
5 繰入金	4,339,297	4,277,598	（5,731,695）	12.4
6 繰越金	710,070	710,071	（587,436）	2.1
7 諸収入	96,749	105,535	（53,903）	0.3
歳入合計	34,097,018	34,601,093	（35,902,504）	100.0

（歳　出）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 総務費	521,155	504,476	（737,756）	1.5
2 保険給付費	21,585,203	21,435,442	（21,829,670）	63.3
3 国民健康保険事業費納付金	10,575,243	10,575,241	（10,909,092）	31.2
4 保健事業費	351,430	302,193	（298,392）	0.9
5 基金積立金	1,014,985	1,014,985	（1,382,789）	3.0
6 諸支出金	49,002	34,221	（34,734）	0.1
7 予備費	0	0	（0）	—
歳出合計	34,097,018	33,866,558	（35,192,433）	100.0

2　事業の概要

国民健康保険は、被用者保険等に属さない全ての人が加入し、国民皆保険の最後の砦として、地域医療や市民の健康増進に寄与しています。

国民健康保険特別会計の主な財源は、県支出金（63.6%）、国民健康保険税（21.7%）で、国民健康保険税については、前年度比2.3%の増加となりました。主な歳出は保険給付費（63.3%）で、前年度比1.8%の減少となりました。

平成30年度に財政運営が都道府県単位化された影響による国民健康保険税の急激な負担増に対応するため、令和２年度以降、市独自の激変緩和措置を講じてきました。その財源として５億円余を一般会計から繰り入れ、前年度繰越金の一部などと合わせて、総額10億１千万円余を基金に積み立てました。

これにより、保険税率の引上げと並行して被保険者の負担の平準化を図っていますが、県に支払う国民健康保険事業費納付金の伸びが続いており、依然として財政運営は厳しい状況にあります。

被保険者数や保険給付費、収納率の動向に加え、令和11年度までに予定されている保険税水準の県内統一の影響を注視し、引き続き健全な財政運営に努めます。

（１）加入状況　　（単位：世帯、人）

区　分	６年度末現在	７年度末現在	（再掲）未就学児	（再掲）前期高齢者	（再掲）70歳以上一般	（再掲）70歳以上現役並所得者	７年度年度平均
世帯数	41,744	40,467					41,304
被保険者数	61,863	59,094	1,055	28,118	14,609	2,140	60,732

（２）被保険者異動状況　　（単位：件）

７年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢者離脱	その他	計
	1,955	10,420	139	120	10	1,151	13,795
７年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢者加入	その他	計
	2,178	8,793	239	391	4,463	500	16,564

（３）保険税の課税状況（現年）　　（単位：千円）

保険税算定額及び割合				減免	保険税軽減額	限度超過額	月割減額	調定額
所得割 ①	均等割 ②	平等割 ③	合計 ④=①+②+③	⑤	⑥	⑦	⑧	④-⑤-⑥-⑦-⑧
6,541,430	3,076,536	1,437,198	11,055,164	19,993	1,005,942	349,317	2,078,580	7,601,332
59.17%	27.83%	13.00%	100%					

※税率及び課税限度額

	所得割率	均等割額	平等割額	課税限度額
医療分	6.39%	28,800円	22,000円	660,000円
後期支援分	2.34%	11,000円	6,500円	260,000円
介護分	2.16%	10,500円	5,800円	170,000円

・各区分の所得割、均等割、平等割の合計が国民健康保険税額になる。

（４）保険給付費支払状況　（単位：千円）

区　　分	支払額
療養給付費	18,326,654
療養費	133,361
高額療養費	2,816,456
高額介護合算療養費	3,749
出産育児一時金	74,128
葬祭費	16,600
審査支払手数料	64,494
移送費	0
傷病手当金	0
計	21,435,442

（５）収納率（現年分）

６年度 ①	７年度 ②	増減 ②-①
95.91%	95.77%	△0.14%

（滞納繰越分）

６年度 ①	７年度 ②	増減 ②-①
28.44%	28.04%	△0.40%

（６）経理関係（被保険者１人当たり）　（単位：円）

歳　　入	６年度 ①	７年度 ②	増減 ②-①
国民健康保険税	115,300	123,479	8,179
国庫支出金	3	2	△1
県支出金	349,074	362,316	13,242
財産収入	18	73	55
繰入金	90,139	70,434	△19,705
繰越金	9,238	11,692	2,454
諸収入	848	1,738	890
合計	564,620	569,734	5,114

歳　　出	６年度 ①	７年度 ②	増減 ②-①
総務費	11,602	8,307	△3,295
保険給付費	343,304	352,951	9,647
国民健康保険事業費納付金	171,562	174,130	2,568
保健事業費	4,693	4,976	283
基金積立金	21,746	16,713	△5,033
諸支出金	546	563	17
予備費	0	0	0
合計	553,453	557,640	4,187

※各年度の１人当たりの額は、決算額を年度平均被保険者数で除したもの
　令和６年度　63,587 人　　令和７年度　60,732 人

都市計画事業土地区画整理特別会計
（土橋土地区画整理事業）

1　歳入歳出決算額

			（前年度）
歳　入　総　額	508,914千円	（	678,540千円）
歳　出　総　額	300,945千円	（	389,165千円）
歳入歳出差引額	207,969千円	（	289,375千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	206,187千円	（	226,273千円）
（継続費逓次繰越	206,187千円）		
実　質　収　支　額	1,782千円	（	63,102千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 事業収入	1	0	（ 48,075）	－
2 負担金	82,000	82,000	（ 107,000）	16.1
3 使用料及び手数料	50	67	（ 49）	0.0
4 繰入金	133,645	133,645	（ 227,232）	26.3
5 繰越金	289,375	289,375	（ 269,036）	56.9
6 諸収入	3,802	3,827	（ 27,148）	0.8
歳入合計	508,873	508,914	（ 678,540）	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 土橋土地区画整理費	508,873	300,945	（ 389,165）	100.0
歳出合計	508,873	300,945	（ 389,165）	100.0

２　事業の概要

（１）公共施設整備工事及び宅地造成工事等を実施し、事業の推進を図りました。

・道路築造工事、宅地造成工事等

96,742 千円

（２）仮住居補償、ガス本支管埋設工事負担金等を執行し、事業の推進を図りました。

・ガス本支管埋設工事負担金、仮住居補償等

154,736 千円

（３）事業の推進を図るため、土橋土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

49,467 千円

都市計画事業土地区画整理特別会計
（花園土地区画整理事業）

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳　入　総　額	957,874千円	（　1,786,618千円）
歳　出　総　額	385,658千円	（　1,429,047千円）
歳入歳出差引額	572,216千円	（　357,571千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	445,242千円	（　326,932千円）
（継続費逓次繰越	445,242千円）	
実　質　収　支　額	126,974千円	（　30,639千円）

（歳　入）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 事業収入	180,000	304,715	（　99,177）	31.8
2 負担金	101,700	38,000	（　366,200）	4.0
3 使用料及び手数料	70	98	（　73）	0.0
4 繰入金	254,540	254,540	（ 692,049）	26.6
5 繰越金	357,571	357,571	（　628,776）	37.3
6 諸収入	2,251	2,950	（　343）	0.3
歳入合計	896,132	957,874	（ 1,786,618）	100.0

（歳　出）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 花園土地区画整理費	896,132	385,658	（ 1,429,047）	100.0
歳出合計	896,132	385,658	（ 1,429,047）	100.0

２　事業の概要

（１）公共施設整備工事を実施し、事業の推進を図りました。

・道路築造工事

117,845 千円

（２）汚染土壌運搬処理、移転者用仮住居、仮倉庫賃貸借等を実施し、事業の推進を図りました。

・汚染土壌運搬処理業務委託、仮住居・仮倉庫賃貸借等

197,587 千円

（３）事業の推進を図るため、花園土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

70,226 千円

分譲住宅建設事業特別会計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳入総額	20,958 千円	（ 19,984 千円）
歳出総額	5,465 千円	（ 5,582 千円）
歳入歳出差引額	15,493 千円	（ 14,402 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	（ 0 千円）
実質収支額	15,493 千円	（ 14,402 千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 事業収入	1	0	（ 11,732）	―
2 使用料及び手数料	30	30	（ 30）	0.1
3 繰入金	6,515	6,515	（ 6,023）	31.1
4 繰越金	14,402	14,402	（ 2,196）	68.7
5 諸収入	11	11	（ 3）	0.1
歳入合計	20,959	20,958	（ 19,984）	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 宅地造成費	6,456	5,465	（ 5,582）	100.0
2 予備費	100	0	（ 0）	―
3 諸支出金	14,403	0	（ 0）	―
歳出合計	20,959	5,465	（ 5,582）	100.0

2　事業の概要

移住人口の増加を図るため、小原町に所在する市の未利用財産を活用して、宅地分譲を行っています。

また、過去に分譲を行った団地の残地維持管理業務を行っています。

なお、令和７年度における主な執行経費は次のとおりです。

（１）小原町分譲地の鑑定及び査定を改めて行い、残り１区画の売却に努めました。

２２１千円

（２）残地維持管理業務を行い、かつ、適正な職員人件費の執行に努めました。

５，２４４千円

卸　売　市　場　特　別　会　計

1　歳入歳出決算額

			（前年度）
歳　入　総　額	278,133 千円	（	238,561 千円）
歳　出　総　額	249,741 千円	（	205,259 千円）
歳入歳出差引額	28,392 千円	（	33,302 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	（	0 千円）
実　質　収　支　額	28,392 千円	（	33,302 千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 使用料及び手数料	90,421	91,635	（ 90,966）	32.9
2 繰　入　金	87,306	87,306	（ 50,875）	31.4
3 繰　越　金	33,302	33,302	（ 32,113）	12.0
4 諸　収　入	66,395	65,890	（ 64,607）	23.7
歳　入　合　計	277,424	278,133	（ 238,561）	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 卸売市場費	276,924	249,741	（ 205,259）	100.0
2 予　備　費	500	0	（ 0）	－
歳　出　合　計	277,424	249,741	（ 205,259）	100.0

2　事業の概要

豊田市及び周辺地域の生鮮食料品の供給基地として、荷揃えの充実等により生鮮食料品の安定供給に努めました。

取扱数量は、青果、水産物ともに増加しました。原因は、野菜の豊作や営業の強化等による影響が考えられます。また、取扱金額は、青果で減少し、水産物で増加しました。原因は、青果では入荷量の増加等による需給緩和などの影響が、水産物では量販店との集荷販売に関する取組強化の成果が出たことなどの影響が考えられます。

老朽化が進む市場の再整備に向け、基本計画を策定しました。

（１）取扱実績

年度／区分	６　年　度		７　年　度		前年度対比(%)	
	数量(t)	金　額(千円)	数量(t)	金　額(千円)	数　量	金　額
青　　果	23,548	8,389,370	24,126	8,020,570	102.5	95.6
水 産 物	2,752	2,527,232	2,916	2,733,410	106.0	108.2
計	26,300	10,916,602	27,042	10,753,980	102.8	98.5

（２）コンテナ利用実績

（単位：個、%）

区　分／年　度	６年度	７年度	前年度対比
利　用　個　数	127,212	136,869	107.6

（３）主な執行経費

○　市場光熱水費（水道・電気・ガス）　60,171 千円
○　警備・清掃・電気等管理業務委託　36,630 千円
○　豊田市公設地方卸売市場再整備基本計画策定支援及び PFI 手法等導入可能性調査業務委託　24,200 千円
○　市場業務委託（市場協会）　14,490 千円
○　コンテナ還付金　10,787 千円

3　他会計繰入金（不課税・対価外収入）の使途特定について

一般会計繰入金 87,306 千円については、一般職給料等（特定収入以外）に充当しました。

水道水源保全事業特別会計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳入総額	87,946千円	（95,916千円）
歳出総額	82,875千円	（93,366千円）
歳入歳出差引額	5,071千円	（2,550千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（0千円）
実質収支額	5,071千円	（2,550千円）

（歳　入）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 負担金	43,344	43,616	（43,733）	49.6
2 財産収入	3,582	3,582	（922）	4.1
3 寄附金	1	0	（0）	－
4 繰入金	38,141	38,141	（49,782）	43.4
5 繰越金	2,550	2,550	（1,468）	2.9
6 諸収入	54	57	（11）	0.1
歳入合計	87,672	87,946	（95,916）	100.0

（歳　出）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 水道水源保全費	87,672	82,875	（93,366）	100.0
歳出合計	87,672	82,875	（93,366）	100.0

2　事業の概要

平成6年度から「水道使用量1立方メートル(トン)当たり1円」を、水資源の保全、水源かん養事業及び水質保全の環境整備のため「豊田市水道水源保全基金」として積み立てています。この基金は、将来にわたり安全でおいしい水を提供するためには、水源の保全が必要であることから、水源かん養事業や水質保全の環境整備などを進めるため、学識経験者や市民代表で構成された豊田市水道事業審議会の答申を受けて、平成6年4月に全国に先駆け設立されたものです。

事業としては、平成18年度までは間伐を中心とした森林の水源かん養機能の維持向上に取り組んできました。平成19年度からは、矢作ダム上流域の森林を恒久的に保全し、必要な水量確保を目的とする「水源の森事業」と水道原水取水口上流域の水道原水の水質保全を目的とした「水質保全対策事業」に事業転換し、現在に至っています。また、平成27年度からは、新たに「水道水源林間伐事業」、「水道水源林確保事業」及び「水道水源林モニタリング事業」をスタートしました。継続事業を含む全5事業を展開し、水道水源の積極的かつ恒久的な保全に取り組んでいます。

母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳入総額	18,342千円	（32,945千円）
歳出総額	11,521千円	（20,876千円）
歳入歳出差引額	6,821千円	（12,069千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（0千円）
実質収支額	6,821千円	（12,069千円）

（歳　入）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 事業収入	8,132	5,351	（6,526）	29.2
2 繰入金	898	898	（5,898）	4.9
3 繰越金	12,069	12,069	（10,515）	65.8
4 諸収入	121	24	（6）	0.1
5 市債	0	0	（10,000）	－
歳入合計	21,220	18,342	（32,945）	100.0

（歳　出）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 貸付事業費	18,051	8,352	（8,403）	72.5
2 公債費	1,861	1,861	（7,325）	16.2
3 諸支出金	1,308	1,308	（5,148）	11.4
歳出合計	21,220	11,521	（20,876）	100.0

2　事業の概要

母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、20歳未満の児童を養育している配偶者のいない者及びこれに準ずる者並びに配偶者のない女子であって、かつて配偶者のない女子として民法第877条の規定により児童を扶養していたことのある者に対し、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせて、その扶養している児童の福祉を増進するため、資金を貸し付けるものです。

本年度は、児童を学校に入学させるための就学支度資金を８人、授業料等のための修学資金を７人（新規４人、継続３人）、住居移転に伴う敷金等のための転宅資金を１人に貸し付けました。

母子父子寡婦福祉資金貸付状況

区分	資　金　名	令和７年度	
		件数	金　額（円）
母子	就学支度資金	8	3,860,000
	修学資金	5	1,920,000
	転宅資金	1	258,000
寡婦	修学資金	2	1,521,708
合　　計		１６	7,559,708

介護保険事業特別会計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳入総額	29,059,731千円	（27,869,056千円）
歳出総額	28,623,738千円	（27,500,409千円）
歳入歳出差引額	435,993千円	（368,647千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（0千円）
実質収支額	435,993千円	（368,647千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 保険料	7,276,529	7,278,968	(7,149,510)	25.0
2 手数料	1,360	1,890	(1,235)	0.0
3 国庫支出金	5,431,407	5,454,525	(5,074,455)	18.8
4 支払基金交付金	7,533,473	7,351,796	(7,050,360)	25.3
5 県支出金	3,972,813	3,934,150	(3,772,365)	13.5
6 財産収入	31,448	31,449	(8,075)	0.1
7 寄附金	1	0	(0)	—
8 繰入金	4,745,269	4,607,320	(4,398,795)	15.9
9 繰越金	368,646	368,647	(398,069)	1.3
10 諸収入	28,024	30,986	(16,192)	0.1
歳入合計	29,388,970	29,059,731	(27,869,056)	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 総務費	736,577	693,750	(638,571)	2.4
2 保険給付費	26,962,497	26,297,922	(25,227,559)	91.9
3 地域支援事業費	1,505,513	1,461,051	(1,356,512)	5.1
4 基金積立金	1	0	(0)	—
5 諸支出金	176,048	171,015	(277,767)	0.6
6 予備費	8,334	0	(0)	—
歳出合計	29,388,970	28,623,738	(27,500,409)	100.0

2　事業の概要

介護保険事業は、介護を社会全体で支えるための制度として平成 12 年度から開始されました。65 歳以上の第 1 号被保険者と 40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者のうち要介護（要支援）認定を受けた人を対象に介護保険給付を行いました。また、平成 29 年度から地域支援事業が見直され、要支援者に対する予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が地域支援事業の総合事業に移行するなど再編されました。

財源は令和 6～令和 8 年度の 3 年間の第 9 期介護保険事業計画に基づいて、居宅サービスについては第 1 号被保険者保険料 28%、第 2 号被保険者保険料 27%、国 20%（施設サービス等は 15%）、県 12.5%(施設サービス等は 17.5%)、市 12.5%で賄っています。このうち、第 1 号被保険者の保険料は所得により 13 段階に分かれており、その基準額は月額 5,300 円となっています。

（1） 認定者数（令和 8 年 3 月末現在）

（単位：人）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合　計
第１号被保険者	2,780	3,193	3,503	2,691	1,811	2,146	1,208	17,332
７５歳以上	2,511	2,889	3,202	2,439	1,648	1,955	1,085	15,729
６５歳以上７５歳未満	269	304	301	252	163	191	123	1,603
第２号被保険者	57	71	75	57	50	45	28	383
合　　計	2,837	3,264	3,578	2,748	1,861	2,191	1,236	17,715

（2） 主な執行経費

（単位：円、%）

区　　分			前年度支出額	本年度支出額	保険給付構成比
1　総　　務　　費			638,570,830	693,749,860	－
2 保険給付費	介護サービス等諸費	居宅介護サービス等給付費	9,973,643,467	10,466,788,060	39.8
		地域密着型介護サービス等給付費	4,599,495,619	4,783,042,526	18.2
		施設介護サービス等給付費	7,229,527,071	7,446,052,570	28.3
		居宅介護福祉用具購入費	30,377,055	34,296,497	0.1
		居宅介護住宅改修費	69,818,245	70,874,187	0.3
		居宅介護サービス計画等給付費	1,295,998,795	1,322,561,316	5.0
	介護予防サービス等諸費	介護予防サービス等給付費	600,961,330	665,084,397	2.5
		地域密着型介護予防サービス等給付費	24,506,132	38,404,397	0.1
		介護予防福祉用具購入費	16,447,378	18,070,282	0.1
		介護予防住宅改修費	60,603,928	66,469,674	0.3
		介護予防サービス計画等給付費	162,893,059	177,284,162	0.7
	審査支払諸費	介護報酬審査支払等手数料	14,750,702	15,413,971	0.1
	高額介護サービス等費	高額介護サービス費	615,182,396	652,899,555	2.5
		高額介護予防サービス費	684,389	835,276	0.0
	高額医療合算介護サービス等費	高額医療合算介護サービス費	98,290,415	109,963,717	0.4
		高額医療合算介護予防サービス費	517,117	312,953	0.0
	特定入所者介護サービス等費	特定入所者介護サービス等費	302,099,660	291,718,157	1.1
		特定入所者介護予防サービス等費	638,821	561,192	0.0
	特別給付費	特別給付費	131,123,662	137,289,552	0.5
	合　　計		25,227,559,241	26,297,922,441	100.0
3　地域支援事業費			1,356,512,301	1,461,051,353	－
4　基金積立金			0	0	－
5　諸支出金			277,766,898	171,014,724	－
総　　計			27,500,409,270	28,623,738,378	－

財　産　区　特　別　会　計

（盛岡財産区）

1　歳入歳出決算額

			（前年度）
歳　入　総　額	4,915千円	（	4,175千円）
歳　出　総　額	4,474千円	（	3,921千円）
歳入歳出差引額	441千円	（	254千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（	0千円）
実　質　収　支　額	441千円	（	254千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 財産収入	4,226	4,224	（ 3,869）	85.9
2 繰入金	400	400	（ 0）	8.1
3 繰越金	254	254	（ 275）	5.2
4 諸収入	34	37	（ 31）	0.8
歳入合計	4,914	4,915	（ 4,175）	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 総務費	4,118	3,678	（ 2,683）	82.2
2 基金積立金	796	796	（ 1,238）	17.8
歳出合計	4,914	4,474	（ 3,921）	100.0

2　事業の概要

例年どおり財産区区有林保育作業管理委託で区有林の草刈りを行いました。また、管理委員による林道、作業道の維持管理、区有林内見回りを実施しました。

区有林保育業務委託　　2,717千円

財　産　区　特　別　会　計
（賀茂財産区）

1　歳入歳出決算額

			（前年度）
歳　入　総　額	5,836千円	（	11,394千円）
歳　出　総　額	4,683千円	（	11,150千円）
歳入歳出差引額	1,153千円	（	244千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（	0千円）
実　質　収　支　額	1,153千円	（	244千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 財産収入	688	688	（ 193）	11.8
2 繰入金	4,884	4,884	（ 4,549）	83.7
3 繰越金	243	244	（ 6,651）	4.2
4 諸収入	20	20	（ 1）	0.3
歳入合計	5,835	5,836	（ 11,394）	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 総務費	4,792	3,640	（ 3,132）	77.7
2 基金積立金	1,043	1,043	（ 8,018）	22.3
歳出合計	5,835	4,683	（ 11,150）	100.0

2　事業の概要

例年どおり財産区区有林保育作業管理委託で区有林や作業道の維持管理を行いました。寧比曽岳頂上周辺整備事業として、シカによる食害対策のために金網防護柵を設置し、雑木林の再生を推進しました。

区有林保育業務委託　　2,354千円

後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳　入　総　額	9,095,717千円	（ 8,171,320千円）
歳　出　総　額	8,653,069千円	（ 7,734,225千円）
歳入歳出差引額	442,648千円	（ 437,095千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（ 0千円）
実 質 収 支 額	442,648千円	（ 437,095千円）

（歳　　入）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 後期高齢者医療保険料	7,676,010	7,624,711	（ 7,104,252）	83.8
2 繰　入　金	1,018,708	1,018,708	（ 984,558）	11.2
3 繰　越　金	437,094	437,095	（ 73,567）	4.8
4 諸　収　入	21,115	15,203	（ 8,943）	0.2
歳　入　合　計	9,152,927	9,095,717	（ 8,171,320）	100.0

（歳　　出）　　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 総　務　費	156,023	150,334	（ 134,763）	1.7
2 広域連合納付金	8,980,784	8,490,779	（ 7,593,021）	98.1
3 諸　支　出　金	16,120	11,956	（ 6,441）	0.1
歳　出　合　計	9,152,927	8,653,069	（ 7,734,225）	100.0

2　事業の概要

平成20年度から後期高齢者医療制度が開始され、75歳（一定の障がいのある方は65歳）以上の方を対象として、資格確認書等の引渡し、保険料の賦課徴収、給付申請受付等を行いました。

本事業の保険者は、愛知県後期高齢者医療広域連合であり、広域連合が資格管理・保険料の決定・医療の給付業務を行い、市が受付業務、保険料の徴収業務を行いました。

（１）　被保険者数の推移

区　　分	令和7年3月	令和8年3月	
75歳以上	57,459人	59,558人	
65歳以上の障がい認定者	1,795人	1,717人	
計	59,254人	61,275人	（3.4％増）

（２）主な制度の概要

○ 保険料率等（2年ごとに改定）

	令和4、5年度	令和6、7年度
均等割額	49,398円	53,438円
所得割率	9.57 %	11.13 %

・保険料（年額）＝均等割額 ＋ 所得割額（賦課のもととなる所得金額×所得割率）
・令和6年度の所得割率は、賦課のもととなる所得金額が58万円以下の場合、10.40%になります。

○ 保険料の納付方法と徴収金額

・特別徴収（年金からの天引き）
・普通徴収（窓口払・口座振替）

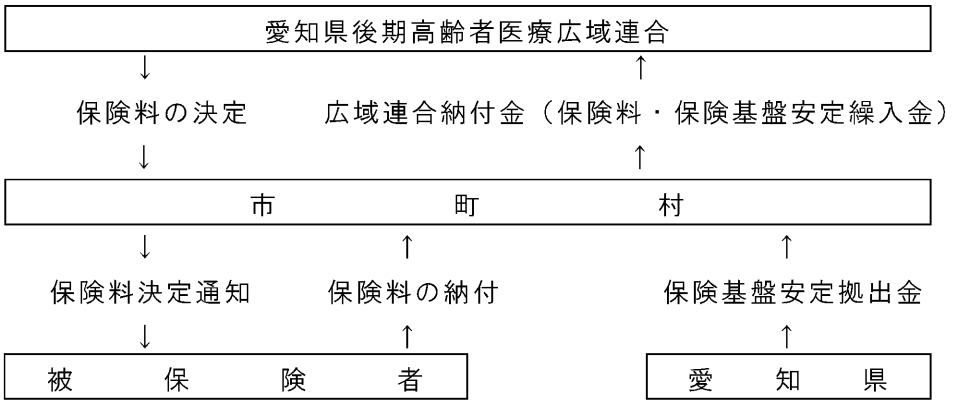
保険料の納付方法は、原則、特別徴収ですが、年金額の年額が18万円未満の場合や、介護保険料との合計額が年金額の2分の1を超えてしまう場合等は普通徴収になります。
また、特別徴収対象者でも、口座振替に変更することで納付方法を普通徴収にすることができます。

（納付方法別徴収金額等）

納付方法	徴収金額	収納率
特別徴収	3,987,700,300円	100.00%
普通徴収（現年度分）	3,626,202,134円	99.44%
普通徴収（過年度分）	10,808,914円	37.52%
計	7,624,711,348円	99.50%

（R6：99.58%）

（３）広域連合との関係



産業用地造成事業特別会計

1　歳入歳出決算額

		（前年度）
歳入総額	12,730千円	（7,175千円）
歳出総額	11,578千円	（7,004千円）
歳入歳出差引額	1,152千円	（171千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	（0千円）
実質収支額	1,152千円	（171千円）

（歳　入）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 繰入金	14,508	12,540	（7,000）	98.5
2 繰越金	170	171	（165）	1.3
3 諸収入	19	19	（10）	0.2
歳入合計	14,697	12,730	（7,175）	100.0

（歳　出）　（単位：千円、％）

款	予算現額	決算額	（前年度）	決算構成比
1 産業用地造成費	14,697	11,578	（7,004）	100.0
歳出合計	14,697	11,578	（7,004）	100.0

2　事業の概要

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業は、産業誘導エリアとして位置付けている豊田東インターチェンジ北側の地区を産業用地として開発する事業です。企業投資の受皿となる産業用地を整備することで、企業の新規立地や事業拡大の促進及び市内企業の市外流出防止を図ります。

なお、令和７年度における主な執行経費は次のとおりです。

（１）物件調査業務委託を実施し、事業の推進を図りました。

・物件調査業務（東工区）　5,540千円

（２）職員人件費の適正な執行に努めました。　6,038千円

Ⅳ　基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書

運用状況

（単位：円）

区　分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増　加　高	減　少　高	
土　地	(1,659,149,101)	(703,997,803)	(1,102,913,038)	(1,260,233,866)
	1,521,306,804	736,497,935	1,102,913,038	1,154,891,701
補　償	(393,174,180)	(290,465,316)	(137,018,920)	(546,620,576)
	275,760,738	70,221,080	137,018,920	208,962,898
貸付金	(5,740,611,136)	(3,040,611,136)	(4,240,611,136)	(4,540,611,136)
	5,740,611,136	3,040,611,136	4,240,611,136	4,540,611,136
預金等	(7,207,065,583)	(5,480,543,094)	(4,035,074,255)	(8,652,534,422)
	7,462,321,322	5,480,543,094	3,847,330,151	9,095,534,265
基金の額（合計）	15,000,000,000	(9,515,617,349)	(9,515,617,349)	15,000,000,000
		9,327,873,245	9,327,873,245	

（　　）上段……支出負担行為（差引簿）ベース
下段……現金(出納簿）ベース

収益金及び利子の内訳

（単位：円）

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	58,944,544	58,944,544

1　本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

（1）土　地

ア　取　得

（単位：円、㎡）

区　分	面　積	契約額	支払額	未払額	備　考
西山上挙母線・挙母保見線	35.64	3,460,644	2,421,000	1,039,644	
市道高岡本町若林西１号線外１路線交差点改良事業	40.07	3,646,370	3,646,370	0	
市道西岡吉原１号線道路新設事業	2,403.83	74,167,816	51,910,000	22,257,816	
市道高橋細谷２号線道路改良事業	218.74	20,659,500	4,083,000	16,576,500	
市道百々１号線外３路線道路新設事業	1,609.51	40,111,895	40,111,895	0	
市道名鉄豊田新線側道３号線　歩道設置事業	28.08	791,856	791,856	0	
市道志賀郷中線交差点改良事業	337.75	7,935,141	7,297,991	637,150	
市道西広見長久手線　歩道設置事業	105.77	4,875,997	4,875,997	0	
市道坂上若林線外１路線　道路改良事業	46.95	338,979	237,000	101,979	
市道林添九久平１号線（林添工区）道路改良事業	4,978.72	31,254,683	25,958,620	5,296,063	
市道旧加茂川志賀２号線道路改良事業	72.27	1,531,082	337,140	1,193,942	
市道豊田西部２号線道路新設事業（２工区）	3,766.59	28,362,422	28,362,422	0	
市道四郷西山1号線道路改良事業	37.37	291,486	204,000	87,486	
市道上原１４号線道路新設事業（１工区）	1,991.50	72,291,450	72,291,450	0	
市道林添九久平２号線ほか1路線道路改良事業	4,594.88	24,281,433	21,300,876	2,980,557	
準用河川　長田川	318.59	33,611,245	0	33,611,245	
矢作緑地用地取得事業	6,345.50	45,102,323	45,102,323	0	
深田公園用地取得事業（公拡法第５条第１項の申出に基づく買収）	4,084.47	257,321,610	257,321,610	0	
市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	298.21	1,186,735	414,000	772,735	
市道浄水駅南通り２号線　道路新設事業	1,842.45	52,775,136	52,775,136	0	
計	33,156.89	703,997,803	619,442,686	84,555,117	

イ　処　分

（単位：円、㎡）

区　分	面　積	契約額	収入額	未収入額	備　考
市道高岡本町若林西１号線外１路線交差点改良事業	40.07	3,646,370	3,646,370	0	0
市道高橋細谷線（長興寺第１工区）外２路線道路改良事業	66.43	3,935,102	3,935,102	0	3,935,102
市道西岡吉原１号線道路新設事業	10,636.70	340,798,834	340,798,834	0	340,798,834
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	293.28	1,642,332	1,642,332	0	1,642,332
市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	575.88	2,141,396	2,141,396	0	2,141,396
市道若石山住宅５号線道路改良事業	48.73	6,983,009	6,983,009	0	6,983,009
市道百々１号線外３路線道路新設事業	876.91	21,725,610	21,725,610	0	2,841,433
市道矢並池田線道路改良事業	1,919.78	8,146,095	8,146,095	0	8,146,095
市道名鉄豊田新線側道３号線　歩道設置事業	66.26	1,991,680	1,991,680	0	1,199,824
市道志賀郷中線交差点改良事業	295.53	6,964,527	6,964,527	0	1,150,536
市道福谷一色線外１路線道路改良事業	182.16	12,587,256	12,587,256	0	12,587,256
市道豊田西部２号線道路新設事業（２工区）	7,043.24	110,237,047	110,237,047	0	81,874,625
市道上原１４号線道路新設事業（１工区）	2,124.73	76,128,474	76,128,474	0	3,837,024
矢作緑地用地取得事業	7,045.62	54,846,045	54,846,045	0	18,336,427
深田公園用地取得事業（公拡法第５条第１項の申出に基づく買収）	4,084.47	257,321,610	257,321,610	0	0
市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	62.76	1,594,104	1,594,104	0	1,594,104
市道下山下田上平線道路改良事業	236.51	624,564	624,564	0	624,564
市道浄水駅南通り２号線　道路新設事業	4,981.52	145,862,497	145,862,497	0	93,087,361
代替地	442.82	45,736,486	45,736,486	0	45,736,486
計	41,023.40	1,102,913,038	1,102,913,038	0	626,516,408

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

（２）補　償

ア　取　得

（単位：円）

区　分	契約額	支払額	未払額	備　考
西山上挙母線・挙母保見線	7,989,663	5,591,000	2,398,663	
市道西岡吉原１号線道路新設事業	5,668,002	1,164,374	4,503,628	
市道高橋細谷２号線道路改良事業	52,360,814	0	52,360,814	
市道百々１号線外３路線道路新設事業	1,024,496	1,024,496	0	
市道志賀郷中線交差点改良事業	1,188,718	970,823	217,895	
市道林添九久平１号線（林添工区）道路改良事業	2,407,977	1,700,920	707,057	
市道旧加茂川志賀２号線道路改良事業	165,151	0	165,151	
市道林添九久平２号線ほか1路線道路改良事業	12,769,898	9,244,022	3,525,876	
準用河川　長田川	205,326,790	0	205,326,790	
矢作緑地用地取得事業	1,563,807	1,563,807	0	
計	290,465,316	21,259,442	269,205,874	

イ　処　分

（単位：円）

区　分	契約額	収入額	未収入額	備　考
市道西岡吉原１号線道路新設事業	21,104,767	21,104,767	0	21,104,767
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	2,061,798	2,061,798	0	2,061,798
市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	12,148,899	12,148,899	0	12,148,899
市道若石山住宅５号線道路改良事業	52,351,109	52,351,109	0	52,351,109
市道百々１号線外３路線道路新設事業	875,462	875,462	0	875,462
市道志賀郷中線交差点改良事業	465,823	465,823	0	0
市道福谷一色線外１路線道路改良事業	38,189,286	38,189,286	0	38,189,286
矢作緑地用地取得事業	1,563,807	1,563,807	0	0
市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	4,419,635	4,419,635	0	4,419,635
市道浄水駅南通り２号線　道路新設事業	3,838,334	3,838,334	0	3,838,334
計	137,018,920	137,018,920	0	134,989,290

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

2　過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

（1）土　地

（単位：円）

区　分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備　考
市道西岡吉原１号線道路新設事業	81,629,715	81,629,715	0	
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	494,332	494,332	0	
市道本地柿本線道路改良事業（その２）	20,787,048	0	20,787,048	
市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	399,810	399,810	0	
市道若石山住宅５号線道路改良事業	2,095,009	2,095,009	0	
市道百々１号線外３路線道路新設事業	854,433	854,433	0	
市道矢並池田線道路改良事業	1,968,829	1,968,829	0	
市道志賀郷中線交差点改良事業	152,276	152,276	0	
市道福谷一色線外１路線道路改良事業	3,779,256	3,779,256	0	
市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	479,104	479,104	0	
市道下山下田上平線道路改良事業	189,564	189,564	0	
市道浄水駅南通り２号線　道路新設事業	25,012,921	25,012,921	0	
計	137,842,297	117,055,249	20,787,048	

（2）補　償

（単位：円）

区　分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備　考
市道西岡吉原１号線道路新設事業	13,377,096	13,377,096	0	
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	621,798	621,798	0	
市道本地柿本線道路改良事業（その２）	68,451,804	0	68,451,804	
市道松平足助線（豊松工区）道路改良事業	3,647,899	3,647,899	0	
市道若石山住宅５号線道路改良事業	15,708,109	15,708,109	0	
市道百々１号線外３路線道路新設事業	263,462	263,462	0	
市道矢並池田線道路改良事業	129,019	129,019	0	
市道福谷一色線外１路線道路改良事業	12,730,286	12,730,286	0	
市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	1,331,635	1,331,635	0	
市道浄水駅南通り２号線　道路新設事業	1,152,334	1,152,334	0	
計	117,413,442	48,961,638	68,451,804	

3　本年度豊田市土地開発公社に対する貸付け及び償還の状況は、次のとおりです。

（1）貸　付

３，０４０，６１１，１３６円

（2）償　還

４，２４０，６１１，１３６円

4　令和８年３月３１日の現在高は、次のとおりです。

（単位：円、㎡）

区　分		面　積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
土地	豊田刈谷線・大洞筋違橋線	172.69	12,295,528	12,295,528	0	-
	小坂若林線・山之手第３７号線	257.16	27,258,960	27,258,960	0	-
	豊田北バイパス	187.73	12,503,484	12,503,484	0	-
	衣浦豊田線	2,483.45	62,079,248	62,079,248	0	-
	西山上挙母線・挙母保見線	35.64	3,460,644	2,421,000	1,039,644	-
	室町細川線	371.99	16,330,361	16,330,361	0	-
	豊田西部線	47.93	1,433,107	1,433,107	0	-
	市道西岡吉原１号線道路新設事業	2,403.83	74,167,816	51,910,000	22,257,816	-
	市道高橋細谷２号線道路改良事業	218.74	20,659,500	4,083,000	16,576,500	-
	市道本地柿本線道路改良事業（その２）	585.22	69,290,048	48,503,000	20,787,048	-
	市道百々１号線外３路線道路新設事業	829.79	21,227,718	21,227,718	0	-
	市道矢並池田線道路改良事業	996.13	6,557,829	6,557,829	0	-
	市道志賀郷中線交差点改良事業	89.50	2,121,150	1,484,000	637,150	-
	市道西広見長久手線　歩道設置事業	105.77	4,875,997	4,875,997	0	-
	市道坂上若林線外１路線　道路改良事業	46.95	338,979	237,000	101,979	-
	市道林添九久平１号線（林添工区）道路改良事業	4,978.72	31,254,683	25,958,620	5,296,063	-
	市道旧加茂川志賀２号線道路改良事業	72.27	1,531,082	337,140	1,193,942	-
	市道上原１１号線道路新設事業	773.95	24,147,240	24,147,240	0	-
	市道四郷西山1号線道路改良事業	37.37	291,486	204,000	87,486	-
	市道桜町線道路改良事業	7.08	1,994,436	1,994,436	0	-
	市道平戸橋１３号線道路改良事業（その２）	6.92	206,908	206,908	0	-
	市道林添九久平２号線ほか1路線道路改良事業	4,594.88	24,281,433	21,300,876	2,980,557	-
	準用河川　長田川	318.59	33,611,245	0	33,611,245	-
	矢作緑地用地取得事業	1,909.49	8,592,705	8,592,705	0	-
	市道下山越田和ドドメキ線道路改良事業	298.21	1,186,735	414,000	772,735	-
	足助バイパス残土処理地	45,978.42	55,709,644	55,709,644	0	-
	旧いこいの村	829,709.98	121,209,328	121,209,328	0	-
	代替地	9,511.07	621,616,572	621,616,572	0	-
	計	907,029.47	1,260,233,866	1,154,891,701	105,342,165	-

区　分		面　積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
補償	西山上挙母線・挙母保見線	-	7,989,663	5,591,000	2,398,663	-
	市道西岡吉原１号線道路新設事業	-	5,668,002	1,164,374	4,503,628	-
	市道高橋細谷２号線道路改良事業	-	52,360,814	0	52,360,814	-
	市道本地柿本線道路改良事業（その２）	-	228,160,804	159,709,000	68,451,804	-
	市道百々１号線外３路線道路新設事業	-	1,024,496	1,024,496	0	-
	市道矢並池田線道路改良事業	-	429,019	429,019	0	-
	市道志賀郷中線交差点改良事業	-	722,895	505,000	217,895	-
	市道林添九久平１号線（林添工区）道路改良事業	-	2,407,977	1,700,920	707,057	-
	市道旧加茂川志賀２号線道路改良事業	-	165,151	0	165,151	-
	市道林添九久平２号線ほか1路線道路改良事業	-	12,769,898	9,244,022	3,525,876	-
	準用河川　長田川	-	205,326,790	0	205,326,790	-
	足助バイパス残土処理地	-	29,595,067	29,595,067	0	-
	計	-	546,620,576	208,962,898	337,657,678	-
貸付金		-	4,540,611,136	4,540,611,136	0	-
預金等		-	-	-	-	9,095,534,265
合計		907,029.47	6,347,465,578	5,904,465,735	442,999,843	9,095,534,265

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

（単位：㎡）

宅　地	田	畑	山　林	その他	計
4,418.45	20,518.23	5,968.80	864,055.38	12,068.61	907,029.47

豊田市都心整備基金運用状況に関する調書

運用状況

（単位:円）

区　分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土　地	（ 989,265,258 ） 989,265,258	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 989,265,258 ） 989,265,258
補　償	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0
貸付金	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0
預金等	（ 3,325,862,737 ） 3,325,862,737	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 3,325,862,737 ） 3,325,862,737
基金の額 （合計）	4,315,127,995	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	4,315,127,995

（　　）　上段…支出負担行為（差引簿）ベース
　　下段…現金（出納簿）ベース

収益金及び利子の内訳

（単位：円）

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	20,495,834	20,495,834

1　本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

（1）土　地

ア　取　得

該当なし

イ　処　分

該当なし

（2）補　償

ア　取　得

該当なし

イ　処　分

該当なし

2　過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

（1）　土　地

該当なし

（2）　補　償

該当なし

3　本年度豊田市土地開発公社に対する貸付及び償還の状況は、次のとおりです。

（1）貸　付

該当なし

（2）償　還

該当なし

４　令和８年３月３１日の現在高は、次のとおりです。

（単位：円、㎡）

区分		面　積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土地	都心活性化用地	774.07	980,132,140	980,132,140	0	－
	市道薬師1号線道路改良事業	42.01	9,133,118	9,133,118	0	－
	計	816.08	989,265,258	989,265,258	0	－
補　償		－	0	0	0	－
貸付金		－	0	0	0	－
預金等		－	－	－	－	3,325,862,737
合　計		816.08	989,265,258	989,265,258	0	3,325,862,737

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

（単位：㎡）

宅地	田	畑	山林	その他	計
816.08	0.00	0.00	0.00	0.00	816.08

豊田市産業振興基金運用状況に関する調書

運用状況

（単位：円）

区　分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土　地	（ 163,157,399 ） 163,157,399	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 163,157,399 ） 163,157,399
補　償	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0	（ 0 ） 0
貸付金	（ 84,455,143 ） 84,455,143	（ 0 ） 0	（ 42,223,000 ） 42,223,000	（ 42,232,143 ） 42,232,143
預金等	（ 1,352,387,458 ） 1,352,387,458	（ 42,223,000 ） 42,223,000	（ 0 ） 0	（ 1,394,610,458 ） 1,394,610,458
基金の額 （合計）	1,600,000,000	（ 42,223,000 ） 42,223,000	（ 42,223,000 ） 42,223,000	1,600,000,000

（　　）　上段…支出負担行為（差引簿）ベース
　　下段…現金（出納簿）ベース

収益金及び利子の内訳

（単位：円）

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	15,961,877	15,961,877

1　本年度の公益財団法人豊田加茂環境整備公社の償還の状況は、次のとおりです。

（単位：円）

貸付目的	償還額	償還日	貸付日	備考
産業廃棄物処分場建設事業費	42,223,000	R8. 3. 25	H4. 3. 31	
計	42,223,000			

２　令和８年３月３１日の現在高は、次のとおりです。

（単位：円、㎡）

区　分	面　積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土　地	19,708.00	163,157,399	163,157,399	0	－
補　償	－	0	0	0	－
貸付金	－	42,232,143	42,232,143	0	－
預金等	－	－	－	－	1,394,610,458
合　計	19,708.00	205,389,542	205,389,542	0	1,394,610,458

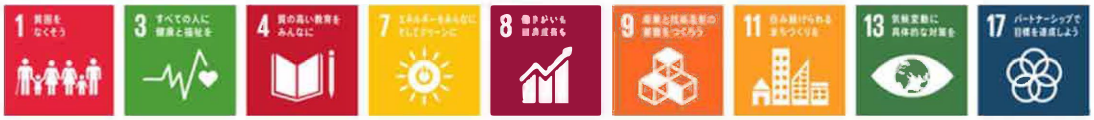
※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

（単位：㎡）

宅地	田	畑	山林	その他	計
0.00	0.00	0.00	19,708.00	0.00	19,708.00

Ⅴ　資　料



令和７年度　豊田市当初予算編成方針

1　財政見通し

我が国の景気は、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、海外景気の下振れ、物価上昇、地政学的リスク、金融資本市場の変動等の影響に十分留意する必要があります。

本市の歳入についても、令和６年度当初予算の市税収入は過去最高額を見込みましたが、令和７年度当初予算編成に当たっては、今後の国内外の経済情勢等を注視する必要があります。歳出については、物価や労務費上昇の影響、扶助費の増額の影響が懸念されるため、社会情勢や国の動向等を的確に把握する必要があります。

2　本市を取り巻く環境変化

我が国は、2008 年（平成 20 年）をピークに人口減少社会に突入しています。本市の人口も、少子化の進行等に伴い 2019 年（令和元年）をピークに人口減少に転じており、人口構造が大きく変化しています。また、価値観・ライフスタイルの多様化、激甚化・頻発化する自然災害、デジタルトランスフォーメーションの加速、生成ＡＩ等の技術革新の進展等、本市を取り巻く状況は、ますます変化が激しく、予測困難になってきています。

変化のスピードが速く不確実性の高い社会環境において、持続可能なまちづくりを進めるためには、ミライ志向で将来の社会を常に想像し、チェンジ・チャレンジ思考でしなやかに変化し、適応することが重要です。

3　予算編成の基本方針

令和７年度は、第９次総合計画のスタートの年です。将来像「つながる　つくる　暮らし楽しむまち・とよた」を目指し、社会環境の変化による課題への的確な対応と将来のまちづくりを見据えた挑戦の一歩を踏み出すため、次の４点を基本として予算編成します。

（１）新たに策定する第９次総合計画を推進します。
（２）超高齢社会への適応や防災・減災に関する取組など市民生活の「安全・安心」を確保する取組を着実に推進します。
（３）将来を見据えたまちづくりへの投資を計画的かつ効果的に推進します。
（４）歳入の積極的な確保と歳出の最適化を進め、「施策の推進」と「持続可能な財政運営」を両立します。

４　具体的な取組

（重点的に取り組む施策）

第９次総合計画「ミライ実現戦略 2030」取組目標（案）を実現するための施策に重点的に予算を配分します。

＜第９次総合計画「ミライ実現戦略 2030」取組目標（目指す姿）案＞
（１）こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる
（２）誰もがつながり合いの中で安心して暮らすことができる
（３）産業中枢都市として深化し続ける
（４）将来を展望した都市環境の形成を進める
（５）脱炭素社会の実現に挑戦する

（歳出の最適化、歳入の確保）

（１）持続可能な財政運営に向け、最少の経費で最大の効果を挙げるため、実施効果を見極めた事業立案と全庁横断的な視点での取組の最適化を徹底します。
（２）新規事業、拡大事業については、特定財源の確保や既存事業の縮小・廃止による一般財源の確保を徹底します。
（３）行政と民間の持つ経営資源を効果的かつ効率的に活用するため、公民連携を推進し、柔軟な発想で市と民間の役割分担や、民間活力導入による事業手法の見直しを行います。
（４）国県補助については、制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法への検討と調整を進め、積極的に確保します。また、市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減、ふるさと寄附金等を始めとする歳入確保に積極的に取り組みます。
（５）効率的で持続可能な都市経営に向け、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理や保全を行います。

（投資的経費の確保）

（１）ミライへの投資である普通建設事業費は、３００億円以上を確保します。
（２）市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サ―ビスの提供のため、将来への負担を留意しながら必要に応じて有効活用します。

（特別会計、企業会計、協会公社等への対応）

（１）特別会計及び企業会計は、一般会計から繰出金等を支出していることから、この方針に準じた予算編成を行います。
（２）協会公社等に対する補助金や委託料等についても、この方針に準じた予算計上を行います。

地方債現在高の状況

（１）　地方債事業別現在高の状況

（単位：千円）

区　　分	６年度末現在高（Ａ）	７年度発行額（Ｂ）	７年度元利償還金			差引現在高
			元金（Ｃ）	利　子	計	(A)+(B)-(C)
公共事業等債	15,284,936	1,551,600	2,256,810	58,285	2,315,095	14,579,726
防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	2,144,664	605,700	276,011	5,875	281,886	2,474,353
一般単独事業債	5,643,391	724,600	1,010,811	14,282	1,025,093	5,357,180
公営住宅建設事業債	378,857	0	83,250	490	83,740	295,607
学校教育施設等整備事業債	7,521,908	0	1,673,085	22,046	1,695,131	5,848,823
一般廃棄物処理事業債	1,320,810	968,200	121,406	8,328	129,734	2,167,604
減税補填債	323,096	0	215,277	99	215,376	107,819
臨時財政対策債	4,470,220	0	659,212	6,745	665,957	3,811,008
災害復旧事業債	194,475	0	32,412	38	32,450	162,063
社会福祉施設整備事業債	341,174	0	68,242	292	68,534	272,932
過疎対策事業債	747,775	61,900	258,325	1,318	259,643	551,350
一般補助施設整備等事業債	245,867	0	75,035	418	75,453	170,832
施設整備事業債（一般財源化分）	19,400	0	19,400	0	19,400	0
（旧）緊急防災・減災事業債	338,053	0	26,060	4,642	30,702	311,993
その他	143,192	0	27,132	0	27,132	116,060
合　　計	39,117,818	3,912,000	6,802,468	122,858	6,925,326	36,227,350

（２）　地方債借入先別現在高の状況

（単位：千円）

区分 / 借入先		６年度末 現在高（Ａ）	７年度 発行額（Ｂ）	７年度 償還元金（Ｃ）	差引現在高 （Ａ）+（Ｂ）-（Ｃ）
政府資金		27,356,018	3,157,000	3,948,851	26,564,167
内訳	財政融資資金	26,996,549	3,157,000	3,720,964	26,432,585
	うち　旧資金運用部資金	29,938		12,987	16,951
	旧簡保資金	359,469		227,887	131,582
地方公共団体金融機構		19,458		14,610	4,848
市内金融機関		10,395,381	635,000	2,593,369	8,437,012
共済組合		1,203,769	120,000	218,506	1,105,263
その他		143,192		27,132	116,060
合計		39,117,818	3,912,000	6,802,468	36,227,350

※地方公共団体金融機構は旧公営企業金融公庫

基　金　残　高　の　状　況

（単位：千円）

基　金　名	会計区分	令和６年度末 残　高	令和７年度増減 積　立	令和７年度増減 取　崩	令和７年度末 残　高
資　金　積　立　基　金					
財政調整基金		41,471,587	4,400,000	7,871,587	38,000,000
減債基金		2,166,163	16,187		2,182,350
足助観光施設整備基金		284,687	67		284,754
介護予防事業推進基金		423,695	2,852	76,109	350,438
幹線道路建設基金		960,000			960,000
教育施設整備基金		9,550,403	1,174		9,551,577
公共施設安全安心基金		11,100,000		1,200,000	9,900,000
樹木資源保全基金		1,000,000	719	24,671	976,048
青少年活動施設整備基金		320,000			320,000
青少年ものづくり基金		28,653	231	3,480	25,404
総合運動公園建設基金		25,000			25,000
髙橋節郎館活動基金		274,138	2,212	7,249	269,101
脱炭素社会推進基金		5,685,109	8,947	166,140	5,527,916
地域づくり振興基金		10,189,962		800,000	9,389,962
都市高速鉄道整備基金		3,300,000		2,000,000	1,300,000
都心環境計画推進基金		4,600,000		350,000	4,250,000
博学未来創造基金		83,001	1,061	17,791	66,271
ふるさと・水と土保全基金		60,406	449		60,855
保健医療福祉基金		7,900,000		1,000,000	6,900,000
緑の推進基金		394,637	2,947		397,584
ものづくり未来創造基金		415,475	3,200	11,187	407,488
森づくり基金		934,000		23,221	910,779
国民健康保険事業財政調整基金	特	1,978,401	1,014,985	1,381,653	1,611,733
水道水源保全基金	特	434,659	3,583	38,141	400,101
介護給付費準備基金	特	3,910,437		348,059	3,562,378
盛岡財産区基金	特	23,044	796	400	23,440
賀茂財産区基金	特	96,113	1,043	4,884	92,272
小　計		107,609,570	5,460,453	15,324,572	97,745,451
うち一般会計分		101,166,916	4,440,046	13,551,435	92,055,527

（単位：千円）

基金名	会計区分	令和６年度末残高	令和７年度増減		令和７年度末残高
			積立	取崩	
財産維持基金					
クリエイティブ基金		20,500			20,500
交通安全基金		126,687			126,687
社会福祉基金		557,997	1,554		559,551
奨学基金		156,037	100		156,137
スポーツ振興基金		4,781			4,781
青少年健全育成基金		58,326			58,326
民芸・猿投古窯基金		40,000			40,000
矢並小学校教育振興基金		18,430			18,430
小計		982,758	1,654	0	984,412
資金運用基金					
産業振興基金		1,600,000			1,600,000
都心整備基金		4,315,128			4,315,128
土地開発基金		15,000,000			15,000,000
小計		20,915,128	0	0	20,915,128
合計		129,507,456	5,462,107	15,324,572	119,644,991

※会計区分の空欄は一般会計、「特」は特別会計です。